

岐阜県文化財保護センター

調査報告書 第164集

毘沙門遺跡

2024

岐阜県文化財保護センター

毘沙門遺跡

2024

岐阜県文化財保護センター



A区・B区発掘区遠景（南から）



C区発掘区遠景（北西から）



SJ01 ~ SJ04 (南から)



SJ02 (東から)



埋設土器

序

岐阜県の南東部に位置する恵那市は、北部に木曽川が、南部には矢作川が流れ、笠置山や恵那山、焼山などに囲まれた自然豊かな地域です。また、国道19号や中央自動車道・JR中央本線が通じ、古来より東山道や中山道などの街道が整備された交通の要所です。

このたび、国土交通省中部地方整備局多治見砂防国道事務所による国道19号瑞浪恵那道路事業に伴い、恵那市武並町にある毘沙門遺跡の発掘調査を実施しました。毘沙門遺跡は、縄文時代から中世にかけての複合遺跡です。今回の発掘調査では、縄文時代前期の土器埋設遺構24基のほか、土坑や溝を確認し、縄文時代前期の墓域あるいは祭祀場として利用されていたことがわかりました。本報告書が埋蔵文化財に対する認識を深めるとともに、当地の歴史研究の一助となれば幸いです。

最後となりましたが、発掘調査及び出土遺物の整理・報告書作成に当たりまして、御支援・御協力をいただきました関係諸機関並びに関係者各位、恵那市教育委員会、地元地区の皆様に深く感謝申し上げます。

令和6年3月

岐阜県文化財保護センター
所長 岡田 知也

例　　言

- 1 本書は、岐阜県恵那市武並町に所在する毘沙門遺跡(岐阜県遺跡番号21210-8110)の発掘調査報告書である。
 - 2 本調査は、国道19号瑞浪恵那道路事業に伴うもので、国土交通省中部地方整備局から岐阜県文化財保護センターが委託を受けた。発掘作業及び整理等作業は、岐阜県文化財保護センターが実施した。
 - 3 水ノ江和同同志社大学文学部教授の指導のもとに、発掘作業は令和3年度、整理等作業は令和4年度に実施した。
 - 4 発掘作業及び整理等作業の担当は、本書第1章第2節に一括して掲載した。
 - 5 本書の執筆は、第1章を主に澤村が行い、他は春日井が行った。
 - 6 発掘作業における現場管理、掘削、測量、景観写真撮影、出土遺物の洗浄・注記などの支援業務は令和3年度に橋本技術株式会社岐阜営業所に、整理等作業における作業管理、出土遺物の整理作業、挿図・写真図版作成などの支援業務は、令和4年度に株式会社イビソクに委託して行った。
 - 7 遺物の写真撮影は、アートフォト右文に委託して行った。
 - 8 土器埋設遺構の土器内埋土のリン・カルシウム分析とSJ14から出土した白色遺物の自然科学分析は、株式会社パレオ・ラボ東海支店に委託して行い、第4章に掲載した。第4章第1節は春日井が執筆した。
 - 9 発掘調査及び報告書の作成に当たって、次の方々や諸機関から御指導・御協力をいただいた。記して感謝の意を表する次第である（敬称略・五十音順）。
- 長田友也、高橋健太郎、西部良治、恵那市教育委員会
- 10 本文中の方位は座標北であり、座標は国土交通省告示の平面直角座標系第VII系を使用する。
 - 11 土層の色調は、小山正忠・竹原秀雄2014『新版標準土色帖』（日本色研事業株式会社）による。
 - 12 調査記録及び出土遺物は、岐阜県文化財保護センターで保管している。

目 次

卷頭図版

序

例言

目次

第1章 調査の経緯

　第1節 調査に至る経緯.....1

　第2節 調査の方法と経過.....3

第2章 遺跡の環境

　第1節 地理的環境.....7

　第2節 歴史的環境.....8

第3章 調査の成果

　第1節 基本層序.....11

　第2節 遺構の概要.....12

　第3節 遺物の概要.....15

　第4節 遺構と遺物.....21

　遺構全体図分割図.....64

　遺構一覧表.....71

　遺物観察表.....73

第4章 自然科学分析

　第1節 分析の概要.....89

　第2節 土器埋設遺構の土器内埋土のリン・カルシウム分析.....90

　第3節 SJ14から出土した白色遺物の自然科学分析.....94

第5章 総括.....99

参考・引用文献.....109

写真図版

報告書抄録

挿図目次

| | | | |
|--|----|------------------------------------|-----|
| 図 1 遺跡位置図 | 1 | 図29 SK39・SK40・SK54・SK55遺構図、SK39 | |
| 図 2 試掘調査坑と発掘区の位置 | 2 | ・SK40・SK55出土遺物 | 49 |
| 図 3 発掘区地区割図 | 3 | 図30 SK59・SK62・SK63遺構図、SK62出土遺 | |
| 図 4 遺跡周辺の地形分類略図 | 7 | 物 | 50 |
| 図 5 周辺遺跡位置図 | 8 | 図31 SX01遺構図、出土遺物（1） | 51 |
| 図 6 基本層序模式図 | 11 | 図32 SX01出土遺物（2） | 52 |
| 図 7 遺構配置図 | 12 | 図33 包含層等出土縄文土器（1） | 53 |
| 図 8 遺構土層堆積状況及び断面形模式図 | 14 | 図34 包含層等出土縄文土器（2） | 54 |
| 図 9 I層及びII層の遺物出土分布図 | 16 | 図35 包含層等出土縄文土器（3） | 55 |
| 図10 石器分類模式図、石錘計測部位 | 19 | 図36 包含層等出土縄文土器（4） | 56 |
| 図11 SJ01～SJ04位置図 | 21 | 図37 包含層等出土石器（1） | 57 |
| 図12 SJ01～SJ04遺構図、出土遺物 | 23 | 図38 包含層等出土石器（2） | 58 |
| 図13 SJ05・SJ06遺構図、出土遺物 | 25 | 図39 包含層等出土石器（3） | 59 |
| 図14 SJ07～SJ09位置図、SJ07遺構図、出土 遺物 | 26 | 図40 包含層等出土石器（4） | 60 |
| 図15 SJ08・SJ09遺構図、出土遺物 | 28 | 図41 包含層等出土石器（5） | 61 |
| 図16 SJ10・SJ11位置図、遺構図、出土遺物 | 30 | 図42 包含層等出土石器（6） | 62 |
| 図17 SJ12・SJ13位置図、遺構図、出土遺物 | 32 | 図43 包含層等出土古代から近世の遺物 | 63 |
| 図18 SJ14遺構図、出土遺物 | 33 | 図44 遺構全体図分割図（1） | 64 |
| 図19 SJ15遺構図、出土遺物 | 34 | 図45 遺構全体図分割図（2） | 65 |
| 図20 SJ16～SJ20位置図、SJ16・SJ17遺構図、 出土遺物 | 35 | 図46 遺構全体図分割図（3） | 66 |
| 図21 SJ18～SJ20遺構図、出土遺物 | 37 | 図47 遺構全体図分割図（4） | 67 |
| 図22 SJ21～SJ23位置図、遺構図、出土遺物 | 39 | 図48 遺構全体図分割図（5） | 68 |
| 図23 SJ24遺構図、出土遺物 | 40 | 図49 遺構全体図分割図（6） | 69 |
| 図24 SD01・SK01遺構図、SD01出土遺物 | 42 | 図50 遺構全体図分割図（7） | 70 |
| 図25 SK03・SK09遺構図、出土遺物 | 43 | 図51 軽石質ガラスと代表的なテフラ（軽 石）の主な元素分布図 | 97 |
| 図26 SK10・SK13遺構図、出土遺物 | 44 | 図52 土器埋設遺構位置図 | 101 |
| 図27 SK14・SK15・SK28遺構図、出土遺物 | 46 | 図53 近隣の土器埋設遺構検出遺跡位置図 | 103 |
| 図28 SK30～SK33遺構図、SK30出土遺物 | 47 | 図54 他遺跡の土器埋設遺構 | 104 |
| | | 図55 埋設土器最大径と残存高の相関図 | 106 |

表目次

| | | | |
|------------------|----|------------------------|-----|
| 表 1 試掘・確認調査結果 | 2 | 表23 石匙一覧 | 83 |
| 表 2 周辺遺跡一覧 | 9 | 表24 スクレイバー一覧 | 84 |
| 表 3 検出遺構数量表 | 13 | 表25 楔形石器一覧 | 84 |
| 表 4 出土遺物数量表 | 15 | 表26 打製石斧一覧 | 85 |
| 表 5 石器器種別数量表 | 17 | 表27 石核一覧 | 85 |
| 表 6 器種別石材一覧 | 18 | 表28 調整剥離を施す剥片(RF)一覧 | 86 |
| 表 7 土器埋設遺構一覧 | 71 | 表29 微細な剥離痕を有する剥片(MF)一覧 | |
| 表 8 溝状遺構一覧 | 71 | (1) | 86 |
| 表 9 土坑、不明遺構一覧 | 72 | 表30 微細な剥離痕を有する剥片(MF)一覧 | |
| 表10 縄文土器観察表(1) | 73 | (2) | 87 |
| 表11 縄文土器観察表(2) | 74 | 表31 石錐一覧 | 88 |
| 表12 縄文土器観察表(3) | 75 | 表32 磨石類一覧 | 88 |
| 表13 縄文土器観察表(4) | 76 | 表33 石皿一覧 | 88 |
| 表14 縄文土器観察表(5) | 77 | 表34 銀貨一覧 | 88 |
| 表15 縄文土器観察表(6) | 78 | 表35 分析対象一覧 | 90 |
| 表16 縄文土器観察表(7) | 79 | 表36 半定量分析結果 | 91 |
| 表17 古墳時代以降の土器観察表 | 79 | 表37 分析対象遺物とその特徴 | 94 |
| 表18 石鐵一覧(1) | 80 | 表38 蛍光X線分析による半定量分析結果 | 95 |
| 表19 石鐵一覧(2) | 81 | 表39 軽石様物の構成ガラスの化学組成 | 95 |
| 表20 石鐵一覧(3) | 82 | 表40 昆沙門遺跡埋設土器 | 100 |
| 表21 石鐵一覧(4) | 83 | 表41 近隣の縄文時代前期土器埋設遺構検出 | |
| 表22 石錐一覧 | 83 | 遺跡一覧 | 103 |

挿入写真目次

| | | | |
|------------------|---|------------------------------|----|
| 写真1 A区・B区調査前近景 | 4 | 写真6 遺物取上作業風景 | 5 |
| 写真2 C区調査前近景 | 4 | 写真7 プレス試料及びリンとカルシウムの元素マッピング図 | 93 |
| 写真3 遺物包含層掘削作業風景 | 5 | 写真8 白色遺物とマイクロスコープ及び電子顕微鏡写真 | |
| 写真4 遺構掘削作業風景 | 5 | | 98 |
| 写真5 土器埋設遺構掘削作業風景 | 5 | | |

写真図版目次

| | |
|-----------------------|----------------|
| 卷頭図版 1 発掘区遠景 | 図版 9 出土遺物 (2) |
| 卷頭図版 2 SJ01～SJ04、埋設土器 | 図版10 出土遺物 (3) |
| 図版 1 発掘区近景、土器埋設遺構 (1) | 図版11 出土遺物 (4) |
| 図版 2 土器埋設遺構 (2) | 図版12 出土遺物 (5) |
| 図版 3 土器埋設遺構 (3) | 図版13 出土遺物 (6) |
| 図版 4 土器埋設遺構 (4) | 図版14 出土遺物 (7) |
| 図版 5 土器埋設遺構 (5) | 図版15 出土遺物 (8) |
| 図版 6 土器埋設遺構 (6) | 図版16 出土遺物 (9) |
| 図版 7 溝状遺構、土坑等 | 図版17 出土遺物 (10) |
| 図版 8 出土遺物 (1) | 図版18 出土遺物 (11) |

第1章 調査の経緯

第1節 調査に至る経緯

毘沙門遺跡は、土岐川とその支流月沢川により形成された河岸段丘上に立地する遺跡で、恵那市武並町竹折地内に所在する。遺跡が所在する恵那市武並町は、市域の北西部に位置し、西側は瑞浪市と接する。当遺跡の北側には古くは中山道、現在では中央自動車道、国道19号が位置し、さらに下街道（中山道の脇往還）やJR中央本線が遺跡を横断する。

今回の発掘調査は、瑞浪市土岐町から恵那市長島町の12.5kmに渡り整備される、国道19号瑞浪恵那道路事業に伴うものである。事業予定地が、毘沙門遺跡の南端部を通過することから、国土交通省中部地方整備局多治見砂防国道事務所（以下「国道事務所」という。）から岐阜県知事（以下「県知事」という。）宛てに、試掘・確認調査の依頼（令和2年5月11日付け国部整多計第27号）があった。岐阜県環境生活部県民文化局文化伝承課が、令和2年7月13日～7月16日に10か所の試掘調査坑を設定し、試掘・確認調査を実施した（図2）。その結果、一部の試掘調査坑において土坑や焼土を検出し、縄文土器を中心とする遺物包含層が確認された（表1）。

この試掘・確認調査の結果をもとに、令和2年8月4日に開催された「令和2年度第1回岐阜県埋蔵文化財発掘調査検討会」において、751.7m²について保護措置が必要であると結論付けられた。

本工事は、文化財保護法第94条第1項の規定に基づき、国道事務所長から県知事宛てに埋蔵文化財発掘通知（令和2年9月29日付け国部整多計第49号）が提出され、同条第4項の規定に基づき、県知



図1 遺跡位置図（国土地理院発行5千分1國土基本図「VII-ME 13」（昭和54年発行）、「VII-ME 14」（昭和47年発行）を1万分の1に縮小して使用）

2 第1章 調査の経緯

事から国道事務所長宛てに、本発掘調査実施勧告（令和2年10月30日付け文伝第104号の138）を通知した。国道事務所長は、岐阜県文化財保護センター（以下「当センター」という。）所長に発掘調査の実施を依頼（令和3年1月14日付け国部整多計第76号）し、当センターが発掘調査を実施した。当センターは調査着手後、文化財保護法第99条第1項の規定に基づく発掘調査の報告（令和3年5月12日付け文財セ第47号）を県知事に提出した。

表1 試掘・確認調査結果

| 試掘調査坑 | 検出遺構 | 出土遺物（点数） | | | | 備考 |
|-------|------|----------|-----|-----|------|---------|
| | | 縄文土器 | 土師器 | 山茶碗 | 陶磁器類 | |
| TP1 | なし | | | | | |
| TP2 | 焼土 | 4 | 2 | 2 | 2 | 遺物包含層あり |
| TP3 | 土坑2基 | | | | | 土坑は時期不明 |
| TP4 | 土坑3基 | 2 | | 3 | 1 | 土坑は時期不明 |
| TP5 | なし | | | | | |
| TP6 | なし | | | | 1 | |
| TP7 | なし | 42 | | | 3 | 遺物包含層あり |
| TP8 | 土坑1基 | 10 | | | | 遺物包含層あり |
| TP9 | なし | 1 | | | | |
| TP10 | 土坑1基 | | 4 | | 3 | 遺物包含層あり |

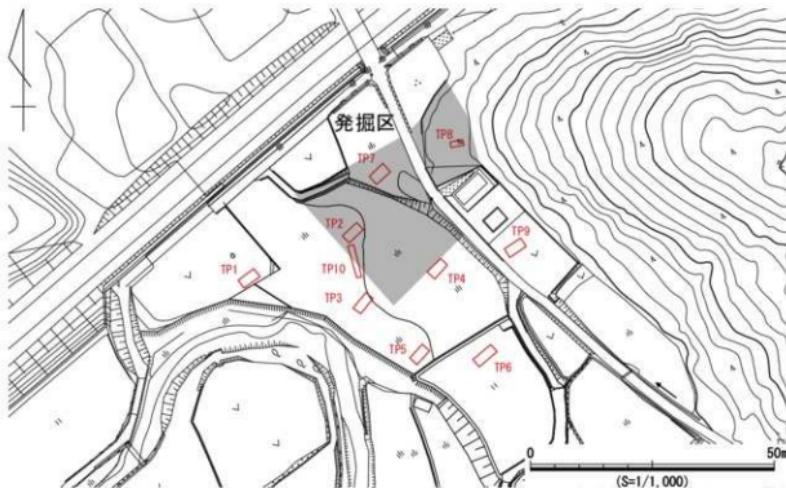


図2 試掘調査坑と発掘区の位置

第2節 調査の方法と経過

1 調査の方法

発掘作業は、令和3年度に751.7m²を実施した。工事用仮設道路施工との調整により、発掘区を便宜上三分し、西からA区、B区、C区とした。世界測地系座標のX=-63445、Y=15270を基点に5m単位の格子目状のグリッドを、発掘区（A区～C区）全体に設定した（図3）。グリッドは、北から南へAからK、西から東へ1から9とし、グリッドに囲まれた5m四方の区画を調査グリッドと呼び、その呼称は北西角の杭番号を用いた。そのため、発掘区の西端の調査グリッドはF 1、東端の調査グリッドはE 9、南端の調査グリッドはK 5となる。

発掘作業は、B区、A区、C区の順に発掘区ごとに実施した。表土及び整地層の掘削は、重機を用いて行い、遺物包含層掘削、遺構検出、遺構掘削は草削り鎌、移植ゴテ等を用いて人力で実施した。遺構埋土は半裁して、土層堆積状況などの必要な記録を作成した後に完掘した。検出した遺構は、原則として検出順に通番を付し、「S 001」のようにSと3桁の数字により表記した。この番号は、整理等作業時に遺構種別ごとの番号に付け替えた。



図3 発掘区地区割図

4 第1章 調査の経緯

遺構等の実測作業は、原則として平面図をデジタル測量、断面図を手測り測量にて実施した。図面の縮尺は、土器埋設遺構を10分の1、その他の遺構を20分の1を基本として、実測対象に応じて適切な縮尺を選択した。

写真撮影は、デジタル一眼レフカメラとコンパクトデジタルカメラを使用した。また、発掘区全体の景観写真撮影は、ラジオコントロールヘリコプターにより撮影した。

遺物包含層掘削及び遺構検出時に出土した遺物は、原則として調査グリッド単位、層位ごとに取り上げた。遺構出土遺物は、半截前後で取り上げ方法を変えた。半截前は、検出面から約5cmまでをa層、約5cm～約10cmをb層というように、遺構内を概ね5cm単位の人工層位で取り上げ、半截後は分層した層位ごとに取り上げた。遺構との関係性が検討できる出土状況のものについては、出土状況図を作成した。遺物には、取り上げ単位ごとに遺物ラベルを添付した。遺物ラベルには「西暦下二桁とBM（遺跡名略号）」「出土場所（遺構番号又は調査グリッド番号）」「出土層位」「遺物取上番号」「取上日」「備考」を記入し、この記録をもとに遺物台帳を作成した。

2 調査の経過

現地での調査経過は、以下のとおりである。

- 第1週（5/6～5/7） B区の重機によるI層掘削作業を開始。
- 第2週（5/10～5/14） B区重機掘削終了し、グリッド杭打設。
- 第3週（5/17～5/21） 人力掘削作業準備。
- 第4週（5/24～5/28） B区壁面成形作業を実施し、包含層掘削作業を開始。
- 第5週（5/31～6/4） B区遺構検出作業を開始。
- 第6週（6/7～6/11） B区遺構掘削、遺構実測作業を開始。SJ10・SJ11・SJ14を検出し掘削作業を開始。
- 第7週（6/14～6/18） SJ14完掘。B区包含層掘削作業を終了。
- 第8週（6/21～6/25） B区遺構検出作業を終了。SJ10・SJ11完掘。
- 第9週（6/28～7/2） B区遺構掘削作業終了、景観撮影、全体図校正を実施。
- 第10週（7/5～7/9） 天候不良のため作業休止。
- 第11週（7/12～7/16） A区の重機によるI層掘削作業を開始。B区事業者へ引渡し。



写真1 A区・B区調査前近景



写真2 C区調査前近景

- 第12週（7/19～7/23） A区重機掘削作業継続。
- 第13週（7/26～7/30） A区重機掘削作業を終了し、グリッド杭打設。A区壁面形成、包含層掘削作業を開始。
- 第14週（8/2～8/6） A区壁面成形作業を終了。遺構検出作業を開始。
- 第15週（8/9～8/13） 夏期作業休止。
- 第16週（8/16～8/20） 天候不良のため作業休止。
- 第17週（8/23～8/27） A区包含層掘削作業を終了。
- 第18週（8/30～9/3） A区遺構検出、掘削作業を開始。SJ01・SJ02・SJ03・SJ04・SJ06を検出し、掘削作業を開始。遺構実測作業を開始。SJ05・SJ07・SJ08・SJ09を検出し、掘削作業を開始。
- 第19週（9/6～9/10） SJ12・SJ13を検出し、掘削作業を開始。
- 第20週（9/13～9/17） 関連指導調査員の西部良治氏（恵那市教育委員会）による現地指導。SJ02・SJ03・SJ04・SJ05・SJ06・SJ08完掘。
- 第21週（9/20～9/24） SJ01・SJ07・SJ09・SJ12・SJ13・SJ01完掘。A区遺構掘削、遺構実測作業を終了。
- 第22週（9/27～10/1） A区景観撮影、全体図校正を実施。指導調査員の水ノ江和同氏（同志社大学教授）による現地指導。A区事業者へ引渡し。
- 第23週（10/4～10/8） C区伐採工事に伴い作業休止。



写真3 遺物包含層掘削作業風景



写真4 遺構掘削作業風景



写真5 土器埋設遺構掘削作業風景



写真6 遺物取上作業風景

6 第1章 調査の経緯

- 第25週（10/18～10/22） C区の重機による、伐根及びI層掘削作業を開始。
- 第26週（10/25～10/29） C区重機掘削作業を終了し、グリッド杭打設、壁面成形作業を実施。
- 第27週（11/1～11/5） C区包含層掘削作業を実施。遺構検出、遺構掘削、遺構実測作業を開始。
SJ16・SJ17・SJ18・SJ19・SJ20・SJ24を検出し、掘削作業を開始。
- 第28週（11/8～11/12） SJ21・SJ22・SJ23を検出し、掘削作業を開始。C区遺構検出作業を終了。
SJ17完掘。
- 第29週（11/15～11/19） SJ16・SJ18・SJ19・SJ20・SJ21・SJ22・SJ24完掘。SJ15を検出し、掘削作業を開始。
- 第30週（11/22～11/26） SJ15・SJ23完掘。C区遺構掘削、遺構実測作業を終了。
- 第31週（11/29～12/3） C区景観撮影、全体図校正を実施。C区埋戻し作業開始。
- 第32週（12/6～12/10） C区埋戻し作業終了。
- 第33週（12/13～12/17） C区事業者へ引渡し。

出土遺物の洗浄や注記等の一次整理作業は令和3年度に、遺物実測や挿図作成等の整理等作業は令和4年度に実施した。整理等作業時には、令和4年12月13日に水ノ江和同氏（同志社大学文学部教授）に調査成果に関する指導を受け、令和4年12月16日に長田友也氏（中部大学非常勤講師）より土器埋設遺構等に関する指導を受けた。なお、土器埋設遺構の埋設土器内埋土のリン・カルシウム分析、SJ14出土白色遺物同定、錢貨1点（302）の保存処理を令和4年度に実施した。

3 調査体制

発掘作業及び整理等作業の体制は、以下のとおりである。

| | |
|----------|----------------------------|
| センター所長 | 岡田知也（令和3・4年度） |
| 総務課長 | 布施三千代（令和3年度）、中通珠子（令和3・4年度） |
| 調査課長 | 三輪晃三（令和4年度） |
| 調査担当課長補佐 | 大本直人（令和3・4年度） |
| 調査担当職員 | 澤村雄一郎（令和3年度）、春日井恒（令和4年度） |

第2章 遺跡の環境

第1節 地理的環境¹⁾

当遺跡が所在する恵那市は岐阜県の南東部に位置し、平成16年に旧恵那市と恵那郡の5町村（岩村町、山岡町、明智町、上矢作町、串原村）が合併し、南北に長い市域となり、愛知県と長野県に隣接する。

市域の北部は美濃飛騨山地に、屏風山断層から南側は美濃三河高原に含まれ、その間は恵那盆地と呼ばれる低地が広がる。北部の笠置山、西部の権現山や屏風山、東部の保古山、南部の焼山や三森山などの山々に囲まれ、山間に木曽川や土岐川、矢作川が西流し、この3本の河川に南北から小河川が流入している。これらの河川によって山地が開析され、扇状地や河岸段丘が形成されている。

当遺跡は、恵那市武並町竹折鬼門、梅ノ木に所在し、土岐川と月沢川によって形成された河岸段丘上に位置する。遺跡範囲は東西約190m、南北約150mで、南から北へなだらかに傾斜する地形である。遺跡範囲の南部をJR中央本線が横断し、今回の発掘区は、その南側となる（図1）。発掘区の標高は約256mである。

注

1) 恵那市1983『恵那市史』通史編第1巻を参考にした。

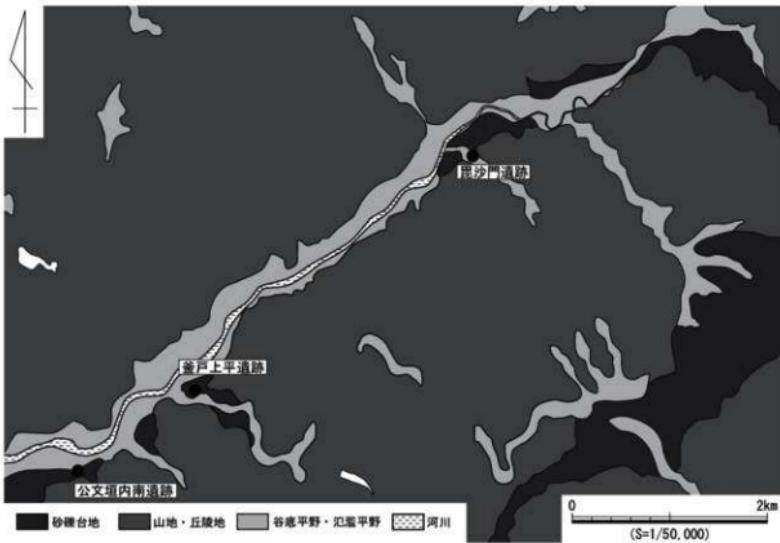


図4 遺跡周辺の地形分類略図（1:50,000、岐阜県1989『地形分類図恵那・中津川』を基に作成）

第2節 歴史的環境

当遺跡周辺では、土岐川及びその支流である藤川や洞川の両岸に、多くの遺跡が確認されている。土岐川に藤川や洞川が合流する近辺には竹折古墳群が所在するほか、縄文時代の遺物が散布する遺跡が多く確認されている。本節では、周辺の遺跡について、概要を時代順に記載する¹⁾。なお、本文中の遺跡名に続く括弧内の番号は、表2及び図5²⁾と一致する。

旧石器時代 当該期の遺跡は、向流A遺跡（9）だけである。工事中に採集された遺物の中に、尖頭器がある。

縄文時代 土岐川やその支流の藤川、洞川によって形成された河岸段丘上や丘陵上に遺跡が点在する。毘沙門遺跡（1）は、前期及び中期の遺跡として知られているが、採集された石鏃の量が非常に多いことが特徴とされる。荻之島遺跡（4）と上荻之島遺跡（5）は、瑞浪市教育委員会による中央自動車道の建設に伴う発掘調査において、打製石斧が出土している。大久後向鍛冶屋遺跡（6）は、石鏃や石匙などの出土が知られている。向流A遺跡は、中期から後期の土器や石鏃、有舌尖頭器などが採集されている。同じ段丘上にある向流B遺跡（10）も縄文時代の遺跡とされるが、詳細は不明である。その他、国集遺跡（16）や郷藏平

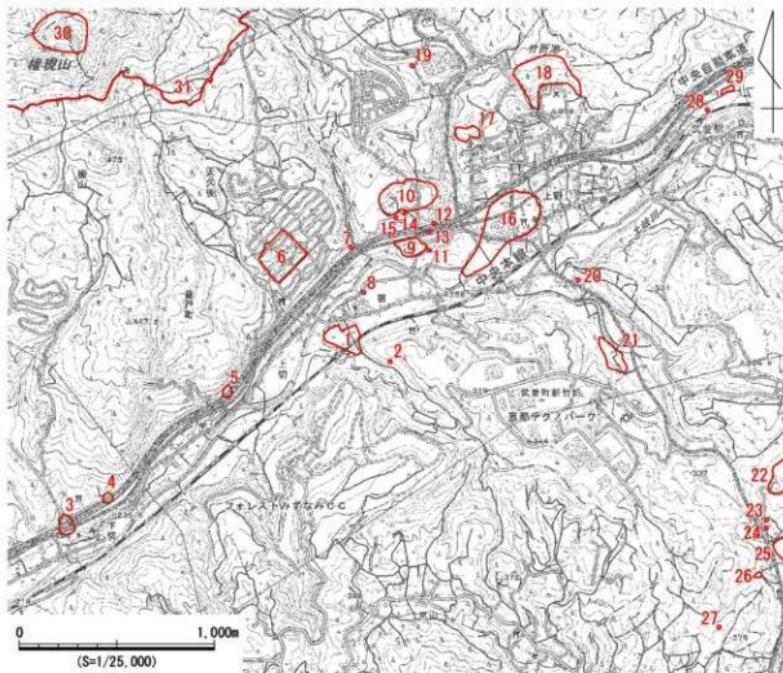


図5 周辺遺跡位置図（国土地理院2万5千分1地形図「武並」（平成28年発行）「瑞浪」（平成27年発行）を使用）

表2 周辺遺跡一覧

| 番号 | 遺跡名 | 種別 | 時代 | 備考 |
|----|-----------|--------|----------|------------------------|
| 1 | 毘沙門遺跡 | その他の遺跡 | 縄文・古墳・中世 | R3一部発掘調査、本報告 |
| 2 | 竹折6号墳 | 古墳 | 古墳 | 恵那市史跡、方形に近い |
| 3 | 萩之島古窯跡 | 生産遺跡 | 近世・近代 | S46発掘調査、滅失 |
| 4 | 萩之島遺跡 | 散布地 | 縄文・中世・近世 | S46発掘調査、滅失 |
| 5 | 上萩之島遺跡 | 散布地 | 縄文・近世 | S46発掘調査、滅失 |
| 6 | 大久後向鐵冶屋遺跡 | 散布地 | 縄文 | |
| 7 | 大久後古墳 | 古墳 | 古墳 | S44発掘調査、滅失 |
| 8 | 殿内外中世墓 | その他の墓 | 中世 | 五輪塔2基 |
| 9 | 向流A遺跡 | 散布地 | 旧石器・縄文 | |
| 10 | 向流B遺跡 | 散布地 | 縄文・古墳 | |
| 11 | 竹折1号墳 | 古墳 | 古墳 | 恵那市史跡、円墳、横穴式石室 |
| 12 | 竹折2号墳 | 古墳 | 古墳 | 滅失 |
| 13 | 竹折3号墳 | 古墳 | 古墳 | 円墳、S29発掘調査、滅失 |
| 14 | 竹折4号墳 | 古墳 | 古墳 | 恵那市史跡、円墳、横穴式石室 |
| 15 | 竹折5号墳 | 古墳 | 古墳 | 恵那市史跡、円墳、S28発掘調査 |
| 16 | 国集遺跡 | 散布地 | 縄文・古墳・中世 | |
| 17 | 大塩道本院跡 | その他の遺跡 | 近現代 | |
| 18 | 郷蔵平遺跡 | 散布地 | 縄文・近世 | 近世墓 |
| 19 | 竹折7号墳 | 古墳 | 古墳 | 恵那市史跡、円墳、横穴式石室 |
| 20 | 竹折8号墳 | 古墳 | 古墳 | S28発掘調査、恵那市史跡、円墳、横穴式石室 |
| 21 | 寺畠遺跡 | 散布地 | 中世 | |
| 22 | 一町田遺跡 | 散布地 | 縄文 | 滅失 |
| 23 | 下紺屋1号墳 | 古墳 | 古墳 | 恵那市史跡、円墳 |
| 24 | 下紺屋2号墳 | 古墳 | 古墳 | 円墳、半壟 |
| 25 | 下紺屋遺跡 | 散布地 | 古墳 | |
| 26 | あがたの神社 | 社寺跡 | 中世 | 旧深瀬神社伝承地、五輪塔 |
| 27 | 白砂古墳 | 古墳 | 古墳 | 墳丘が不明確 |
| 28 | 竹折のメンヒル | その他の遺跡 | 近世 | |
| 29 | 田中兵馬の屋敷跡 | 城館跡 | 中世・近世 | |
| 30 | 萩之島城跡 | 城館跡 | 中世 | 刈安城跡、曲輪・堀切 |
| 31 | 中山道 | その他の遺跡 | 中世・近世 | 岐阜県史跡（一部） |

遺跡（18）、一町田遺跡（22）も、縄文時代の遺跡とされるが、詳細は不明である。

弥生時代 毘沙門遺跡周辺では、今のところ弥生時代の遺跡は確認されていない。

古墳時代 藤川や洞川が土岐川に合流する地点周辺に、8基からなる竹折古墳群（2・11～15・19・20）が確認されている。このうち3号墳と5号墳、8号墳は発掘調査が行われ、横穴式石室を内部主体とする円墳であることが確認され、8号墳からは須恵器の他馬具が出土している。大久後古墳（7）は、土岐川支流の藤道川を挟んで対岸の丘陵に竹折古墳群が所在し、これらと関連する可能性が指摘されている。下紺屋1号墳（23）と下紺屋2号墳（24）は、土岐川支流の洞川の右岸に位置する円墳である。散布地としては、毘沙門遺跡や向流B遺跡、国集遺跡、下紺屋遺跡（25）などがあるが、いずれも遺物が採集されているだけで、詳細は不明である。

古代 犀沙門遺跡周辺では、今のところ奈良時代から平安時代の遺跡は確認されていない。

中世 犀沙門遺跡や荻之島遺跡、国集遺跡、寺畠遺跡（21）などで、遺物が確認されている。このうち発掘調査された荻之島遺跡では、焼土面が確認され、手捏土器や山茶碗が出土し、立石も確認されたことから、中世における祭祀場の可能性が指摘されている。この他、殿外内中世墓（8）、あがた神社（26）、田中兵馬の屋敷跡（29）、荻之島城跡（30）といった、城館跡や社寺跡、墓などが所在する。また、北部には17世紀初頭に整備された中山道（31）が残る。また、犀沙門遺跡の北側には、恵那市の横ヶ根追分で中山道から分かれ、土岐川沿いに名古屋城下町に至る下街道が整備されていた。

以上、当遺跡周辺は、縄文時代及び古墳時代の遺跡が多く確認されている。古墳群は土岐川と藤川の合流地点を中心に展開するが、それを造営した集落遺跡は明らかになっていない。

注

1) 各遺跡の記述は、以下の文献を参考とした。

恵那市1980『恵那市史』史料編考古・文化財

恵那市1983『恵那市史』通史編第1巻

恵那市教育委員会2019『恵那市詳細分布調査報告書』(恵那市文化財調査報告書第46集)

岐阜県教育委員会2004『岐阜県中世城館跡総合調査報告書』第3集

瑞浪市1974『瑞浪市史』歴史編

瑞浪市教育委員会1981『瑞浪市中央自動車道埋文化財発掘調査報告書』

瑞浪市教育委員会2014『瑞浪市遺跡地図』 瑞浪市文化財調査報告第6集

2) 図5及び表2は、恵那市教育委員会2019と瑞浪市教育委員会2014を基に、新たな成果を踏まえて作成したが、時代については発掘調査報告書等の記載も参考にした。

第3章 調査の成果

第1節 基本層序

発掘区の現況は、旧耕作地及び山林であった。標高は、山林となるC区の東端が約257.6m、旧耕作地のA区の西端が約256.0mと約1.6mの比高差があり、調査後の基盤層上面でも東から西に向かってなだらかな傾斜がある。基本層序は、令和2年度に実施した、試掘・確認調査で確認された層序を基に、I層からIII層を設定した。遺構はIII層上面で検出したが、遺構の確認が困難な部分では、やや掘り下げて遺構を検出した。

I層 表土

I a層 耕作土及び腐葉土である。土色は黒褐色で、しまりはない。粘性は場所によって異なり、小礫を少量含む。

I b層 耕作等の土地利用のため、整地した際の盛土である。土色は黒褐色やにぶい黄褐色、褐灰色で、土質や粘性は場所によって異なり、粗砂による盛土もある。拳大から人頭大の亜円礫を多く含む場所もあり、整地時に部分的に掘り下げられて、埋め戻された場所もある。

II層 遺物包含層

土色は黒色や黒褐色で、ややしまり、やや粘性がある。小礫や人頭大の礫を含み、縄文時代から中世の遺物が出土した。土地利用時と思われる土地改変の影響で、一部削平を受ける。

III層 基盤層

III a層 土色はにぶい黄褐色や暗褐色で、しまりがある。粘性は場所によって異なり、礫を含む。部分的に堆積が認められなかった。

III b層 土色はにぶい黄褐色や暗褐色で、礫を多く含む。

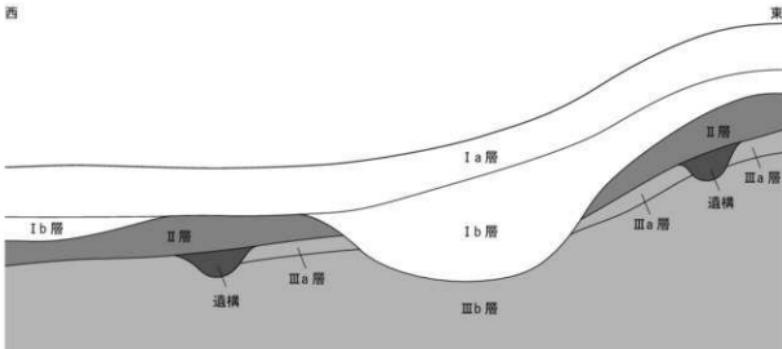


図6 基本層序模式図

第2節 遺構の概要

1 概要

調査で検出した遺構のうち、時期が判明したものは縄文時代のものだけである（表3）。これらの遺構は、Ⅲ層（基盤層）の上面若しくは遺構埋土上面で検出しており、遺構内部から出土した遺物や、遺構の重複関係により時期決定を行った。しかし、遺構内部から遺物が出土せず、他の遺構との重複関係でも時期決定ができなかったものは、時期不明とした。検出した遺構の内訳は、土器埋設遺構24基、溝1条、土坑63基、不明遺構1基である。また、三区分した発掘区ごとの数量も示した。

本書では、これらの遺構のうち、土器埋設遺構や不明遺構、溝は、遺跡の性格を反映するものとしてすべての遺構を報告した。土坑は、検出数が多いが時期不明のものも多いため、図を掲載した遺物が出土したものや、時期不明であっても特徴的な形態のものを抽出して報告した。

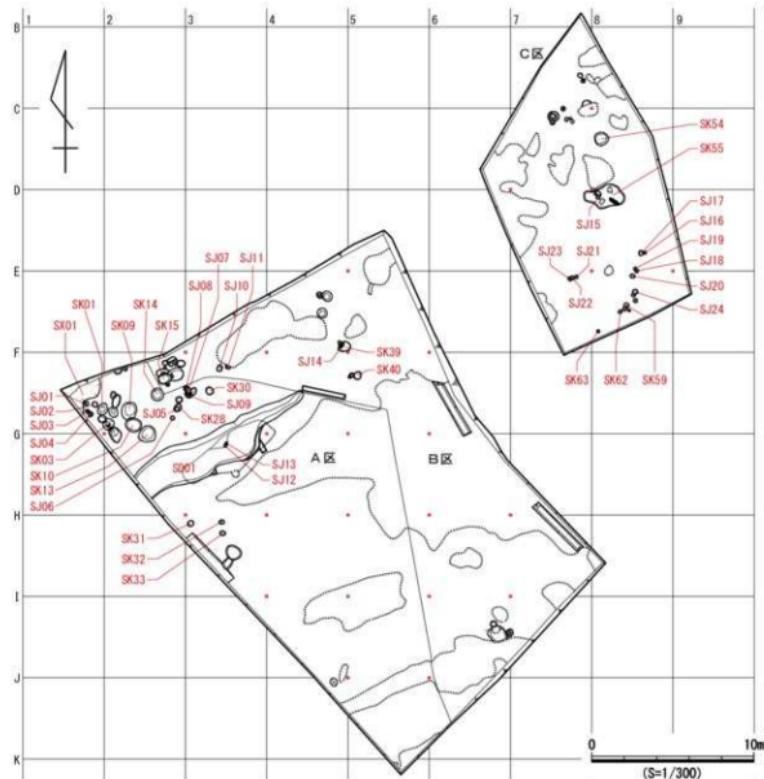


図7 遺構配置図

表3 検出遺構数量表

| | 縄文時代 | | 不明 | 合計 | A区 | B区 | C区 |
|--------|------|---|----|----|----|----|----|
| | 前期 | | | | | | |
| 土器埋設遺構 | 24 | 0 | 0 | 24 | 11 | 3 | 10 |
| 溝状遺構 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 土坑 | 36 | 2 | 25 | 63 | 24 | 22 | 17 |
| 不明遺構 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 |

2 遺構の分類

調査で検出した遺構は、形状や規模、構造などから、土器埋設遺構、溝状遺構、土坑、不明遺構に分類した。各遺構の分類基準は次のとおりである。

土器埋設遺構（略号SJ）

土器をその大きさに見合った規模の土坑に埋設した遺構や、土器片を円形や方形に配置して埋設した遺構を土器埋設遺構とした。埋設された土器の埋設形態や土器の残存状態は、個々の遺構により異なる。

溝状遺構（略号SD）

細長い平面形で、上端の短軸（幅）に対し、長軸（長さ）が5倍以上の長さとなる遺構を溝状遺構とした。

土坑（略号SK）

地面に掘りくぼめられた穴のうち、上記以外の穴を土坑とした。遺物の出土状況や形状から墓坑や廃棄土坑といった可能性が考えられるものも含む。

不明遺構（略号SX）

現地調査では擾乱として扱っていたが、遺物の出土状況等から遺構である可能性が高いものを不明遺構とした。

3 遺構一覧表

各遺構の基礎的情報は、それぞれ種別ごとに作成した遺構一覧表（表7～表9）に示した。遺構種別によって、一覧表の項目はやや異なるが、共有する基本項目については次のとおりである。また、遺構全体図分割図において、重複した古い遺構を掘削したことにより、新しい遺構の上端・下端がなくなった場合は、淡色で表示した。このため、淡色で示した方が、重複関係は新しい。

平面形 円形及び方形、不定形を基本とし、さらに円形と方形は、長軸長と短軸長の比が1.2以上となるものを楕円形と長方形に区分し、次のように数字で表示した。なお、他の遺構との重複や発掘区外に続くため形状が明確でないものは不明とした。

1—円形 2—楕円形 3—方形 4—長方形 5—不定形 6—不明

遺構埋土 分層した土層数と、堆積状況を次のように表示した（図8）。

A—単層 B—水平堆積 C—中央が凹む堆積 D—最上層が掘りこんだ状態となるもの

断面形 土器埋設遺構や土坑等の断面形を次のように表示した（図8）。

a - 底面が丸く、壁面が開く b - 底面が平坦で壁面が開く c - 底面が平坦か丸く、壁面が垂直に立ち上がる
 d - 底面が小さく尖る e - 底面が2段となる f - 底面が凸凹となる

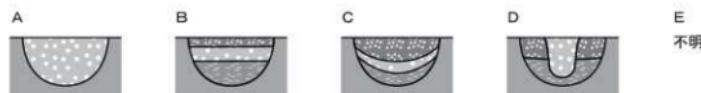
遺構の大きさ 単位は「m」であるが、()で示したものは、全形が確認できなかつたため、残存長を計測したものである。

遺構の重複関係 「新>古」の関係を示した。

出土遺物 次のように記号化して示した。

縄文土器：J 土師器：H 須恵器：P 山茶碗：Y 陶磁器類：T 石器類：S

土層堆積状況



断面形

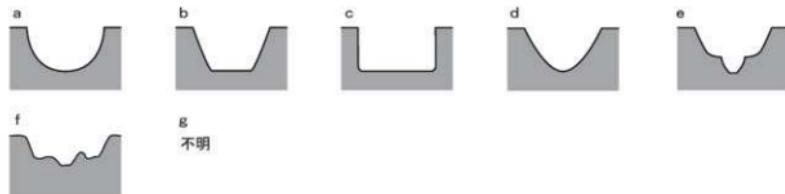


図8 遺構土層堆積状況及び断面形模式図

第3節 遺物の概要

1 概要

調査で出土した遺物には、縄文土器、土師器、須恵器、山茶碗、陶磁器類、石器、金属製品がある。その数量は、接合前の破片数で12,304点である（表4）。なお、この他に、SJ14から軽石状遺物が1点出土した。

表4 出土遺物数量表

| | 縄文土器 | 土師器 | 須恵器 | 山茶碗 | 陶磁器類 | 石器 | 金属製品 | 合計 |
|-------|-------|-----|-----|-----|------|-------|------|--------|
| I層 | 1,051 | 6 | 10 | 71 | 45 | 5,366 | 1 | 6,550 |
| 割合(%) | 16.0 | 0.1 | 0.2 | 1.1 | 0.7 | 81.9 | 0.0 | 100.0 |
| II層 | 2,205 | 2 | 7 | 11 | 5 | 782 | 0 | 3,012 |
| 割合(%) | 73.2 | 0.1 | 0.2 | 0.4 | 0.2 | 26.0 | 0.0 | 100.1 |
| 遺構 | 1,934 | 0 | 0 | 0 | 0 | 808 | 0 | 2,742 |
| 割合(%) | 70.5 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 29.5 | 0.0 | 100.0 |
| 合計 | 5,190 | 8 | 17 | 82 | 50 | 6,956 | 1 | 12,304 |
| 割合(%) | 42.2 | 0.1 | 0.1 | 0.7 | 0.4 | 56.5 | 0.0 | 100.0 |

*I層は、表土層や整地層の他、擾乱坑出土や排土採集遺物を含む。

*割合は、小数点以下第2位を四捨五入して表示。

出土した遺物は、縄文時代の土器や石器が多く、98%以上を占める。古墳時代以降の遺物として、土師器や須恵器、山茶碗、陶磁器類が出土したほか、金属製品が1点ある。出土層位の傾向として、縄文土器は遺物包含層（II層）や遺構内から出土したものが多いが、古墳時代以降の遺物は、I層とした表土層や整地層（擾乱坑、排土を含む）から出土したものが多い。これは、耕作地造成による影響が考えられる。また、石器類も8割近くがI層出土であるが、A区とB区の排土から微細な剥片も積極的に採集した結果によると思われる。

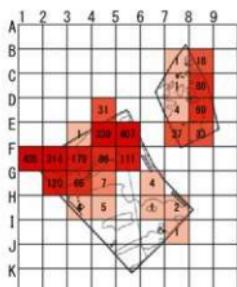
I層及びII層から出土した遺物の中で、出土した調査グリッドが明確なものにおける平面的な出土傾向（図9）は、縄文土器や石器以外は出土点数が少ないと認められない。縄文土器や石器は、土器埋設遺構を検出した調査グリッドでまとめて出土しているため、A区のF1・G2からC区のC8・D8・E8にかけて、縄文時代の遺物が帶状にまとめて出土する傾向が認められる。また、標高が高い東側から、低くなる西側に向けて、遺物量が増加する傾向も認められる。

2 土器類

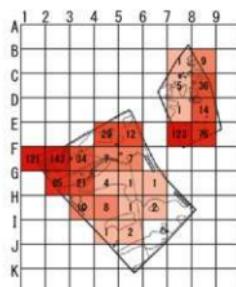
接合前の破片数で、5,347点出土した。縄文土器が最も多く、山茶碗、陶磁器類、須恵器、土師器の順となる。古墳時代以降の土器は、量的に少ないため分類は行っていないが、それぞれの年代親は既存の研究成果を利用した¹⁾。

縄文土器は、5,190点が出土したが、時期が判別できる個体はすべて前期後葉のものであった。無文土器で時期が不明確なものの中に、他の時期とすべきものがある可能性が考えられるが、ここでは前期後葉の土器として扱った。東海地方西部の清水ノ上Ⅲ式土器から大麦田Ⅲ式土器に含まれ、近畿地方の北白川下層Ⅱa式土器から北白川下層Ⅲ式土器に併行する時期のものと思われる。また、信州地方の諸磯a式土器から下島式土器が伴出する。既存の研究成果を参考にして、有文土器を中心に文様

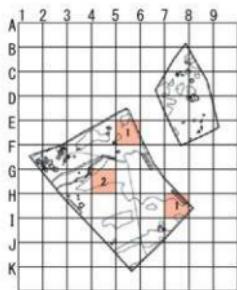
縄文土器



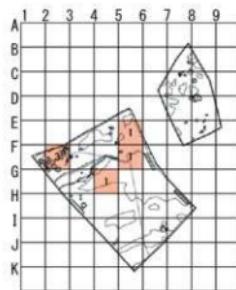
石器



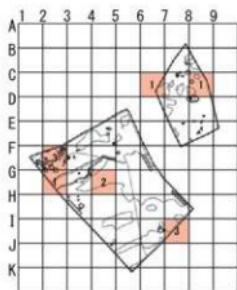
土師器



須恵器



山茶碗



陶磁器類

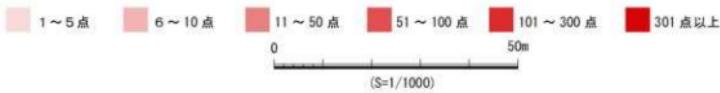
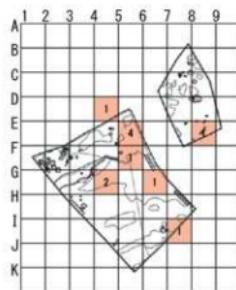


図9 I層及びII層の遺物出土分布図

や施文具などの特徴から、以下のように分類を行った²⁾。

- 1類 半截竹管状工具による、連続刺突により文様を施す。
- 2類 突帯により文様を施すもので、次のように突帯上の施文により細分する。
2a類は突帯上に刻みを施す。2b類は突帯上に半截竹管状工具による刺突を施す。2c類は突帯上に半截竹管状工具による押引きを施す。2d類は突帯上に縄文を施す。2e類は突帯上を半截竹管状工具により撫で引くか、指により撫で調整する。2f類は押圧した突帯を横位に貼り付ける。
- 3類 ヘラ状工具により沈線文を施す。
- 4類 半截竹管状工具による沈線文や押引き文を施す薄手の土器で、赤彩の有無により細分した。
4a類は赤彩が無いもの、4b類は赤彩を施すもの。
- 5類 信州地方など他地域の土器に類似したもので、次のように施文方法により細分する。
5a類は半截竹管状工具による平行沈線文や押引き文を施す。5b類は半截竹管状工具による集合沈線や浮線文を施す。5c類は半截竹管状工具による集合沈線と回線文を施す。5d類は結節沈線による文様を施す。5e類は深鉢口縁部の突起部と思われるもの。5f類は浅鉢（列孔浅鉢を含む）と思われるもの。
- 6類 文様を施さないもので、縄文の有無により細分した。
6a類は地文に縄文を施すもの。6b類は縄文を施さないもの。
- 7類 有文土器か無文土器か区別することが困難な胴部や底部片で、縄文の有無により細分した。
7a類は地文に縄文を施すもの。7b類は縄文を施さないもの。
土師器は、8点出土したが、古代の甕や近世以降のものと思われる。
須恵器は、17点出土したが、7世紀から9世紀頃の壺や甕の胴部片である。
山茶碗は、82点出土した。いわゆる北部系のものばかりで、南部系の山茶碗は出土していない。およそ13世紀から15世紀頃のものがある。
陶磁器類は、50点出土した。大半が近世以降のものと思われる。

3 石器類

石器は6,956点出土したが、そのうち6,538点が剥片類である。剥片類以外の器種別数量は、表5のとおりである。今回の調査では、石鎌が突出して多く、磨製石斧が出土していない。器種毎の概要是次のとおりである³⁾。なお、石材は下呂石が最も多く、次いでチャートであった（表6）。

石鎌（表18～21）

銳利な先端部と、柄に装着するための基部を作り出した小型の石器で、203点出土した。石材はチャートが96点と最も多く、次いで下呂石が75点であった。基部の形態が回基となるものを1類、平基を

表5 石器種別数量表

| | 石鎌 | 石錐 | 石匙 | カレイバー | 楔形石器 | 打製石斧 | 石核 | R F | M F | 石錘 | 磨石類 | 石皿 | 合計 |
|-------|------|-----|-----|-------|------|------|-----|-----|------|-----|-----|-----|-------|
| 点数 | 203 | 23 | 8 | 26 | 10 | 31 | 9 | 33 | 62 | 4 | 7 | 2 | 418 |
| 割合(%) | 48.6 | 5.5 | 1.9 | 6.2 | 2.4 | 7.4 | 2.2 | 7.9 | 14.8 | 1.0 | 1.7 | 0.5 | 100.1 |

*割合は、小数点以下第2位を四捨五入して表示。他に剥片類6,538点あり。

表6 器種別石材一覧

| | 石鏃 | 石錐 | 石匙 | スライバー | 楔形石器 | 打製石斧 | 石核 | 剥片類 | R F | M F | 石錘 | 磨石類 | 石皿 | 合計 |
|-------|----|----|----|-------|------|------|----|-------|-----|-----|----|-----|----|-------|
| チャート | 96 | 12 | 4 | 17 | 9 | 0 | 6 | 2,718 | 17 | 40 | 0 | 0 | 0 | 2,919 |
| 黒曜石 | 28 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 603 | 4 | 4 | 0 | 0 | 0 | 643 |
| 下呂石 | 75 | 7 | 2 | 7 | 1 | 0 | 1 | 3,060 | 9 | 17 | 0 | 0 | 0 | 3,179 |
| 玄武岩 | 3 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 74 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 82 |
| 石英 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 23 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 24 |
| 安山岩 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 5 |
| 泥岩 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | 12 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 19 |
| 砂岩 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 3 |
| 粘板岩 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 24 | 0 | 41 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 66 |
| 凝灰岩 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 6 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 12 |
| 閃緑岩 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 花崗岩 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| ホルマイト | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 流紋岩 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |

2類、やや外湾するもの（円基）を3類、凸基を4類とし、さらに1類を基部の抉りの形状と深さからa～eに細分した。なお、一覧表には、側縁部や脚部の形状、欠損部位についても図10に基づいて記号を記載した。また、片面若しくは両面とも素材面を大きく残すものについて、「素材面」の欄に片面か両面と記載した。側縁部から脚部の形状が、左右非対称と思われたものは、備考欄に記載した。

石錐（表22）

銳利で細い先端部を作り出した石器で、23点出土した。石材はチャートが最も多く12点、次いで下呂石が7点であった。錐部と基部の形状により、以下のように分類した。

1類 不定形な剥片を素材とし、その一端に簡単な調整を加えて、短い錐部を作り出したもので、11点出土した。この中には、調整剥離というよりも微細な剥離痕というべきものも含む。

2類 素材となる剥片の側辺に、調整を加えて錐部を作り出すことにより、平面形が概ね三角形若しくは菱形となり、錐部と基部との境が不明瞭なもので、6点出土した。

3類 素材となる剥片の側辺に、調整を加えて錐部を作り出し、基部との境が明瞭なもので、6点出土した。

石匙（表23）

素材剥片の一部に、2カ所から抉り状の剥離を施すことによって、摘み状の小突起を形成し、縁辺部に連続した剥離を施して、刃部を作り出した石器で、8点出土した。石材は、チャートが最も多く4点、次いで下呂石が2点であった。

スクリイバー（表24）

素材剥片の縁辺部に連続した剥離を施して、一辺の1/2以上の範囲に刃部を作り出した石器で、26点出土した。石材はチャートが最も多く17点、次いで下呂石が7点であった。横長の剥片の末端に剥離調整を行い、刃部を作り出すものが多い。

楔形石器（表25）

剥片の相対する二縁辺に、潰れ状あるいは階段状の剥離痕が発達する石器で、10点出土した。石材はチャートが最も多く9点ある。

打製石斧（表26）

略長方形の形態で、ほぼ全周を二次加工し、長軸の一端に刃部を持つ石器で、31点出土した。石材は粘板岩が最も多く24点ある。完形と思われるものは少なく、2点であった。

なお、平面形態及び刃部形態は以下のように記号化し、一覧表に記載した。刃部使用痕はあまり明瞭ではなく、摩耗や刃毀れが確認できる程度で、線状痕は確認できなかった。

| | | | |
|------|-------------------|--------------|-------------|
| 平面形態 | 1 短冊形 | 2 梳型 | 0 折損により形態不明 |
| 刃部形態 | 1 平らなもの（直刃） | 2 外湾するもの（圓刃） | 3 尖るもの（尖刃） |
| | 4 中心軸に対して傾くもの（偏刃） | | |

石核（表27）

素材剥片を剥離した残核を石核とし、9点出土した。石材はチャートが最も多く6点である。

調整剥離を施す剥片（RF、表28）

素材剥片の縁辺部に二次加工を施すもののうち、スクレイパーに含めなかつたもので、33点出土した。石材はチャートが最も多く17点で、次いで下呂石が9点である。

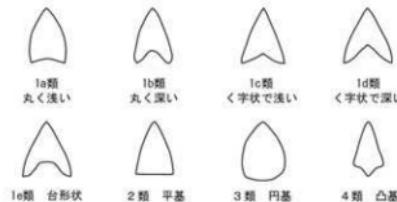
微細な剥離痕を有する剥片（MF、表29・30）

剥片の縁辺に微細な剥離痕が確認できる剥片で、62点出土した。石材はチャートが最も多く40点で、次いで下呂石が17点である。微細な剥離痕は便宜的に長さ2mm未満のものとした。素材となる剥片は、縦長が37点、横長が22点、不明が3点である。

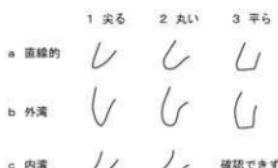
石錐（表31）

楕円形や細長い小型の自然礫の両端を、打ち欠くか擦って紐状のものを掛けるための抉りを作り出

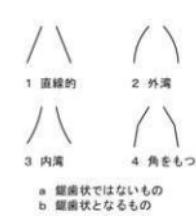
基部による分類模式図



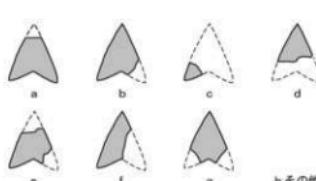
脚部形態模式図



側縁部形態模式図



折損部位の分類



石錐計測部位

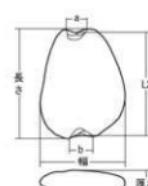


図10 石錐分類模式図、石錐計測部位

したもの。前者の打欠石錘は3点、後者の切目石錘は1点出土した。切目石錘は一旦打ち欠いてから擦って切目を入れている。表31に記載した計測部位は、図10の位置で計測した⁴⁾。

磨石類（表32）

握り拳大から手のひら大の大きさで、扁平な楕円形の川原石（円礫）を用い、表面に磨痕や敲き痕、凹みなどが観察できる石器で、7点出土した。石材は、安山岩が最も多く3点で、次いで砂岩が2点である。

石皿（表33）

扁平な疊の平坦面に、磨痕が認められるもので、2点出土した。石材は、花崗岩と安山岩が1点ずつである。

4 金属製品（表34）

金属製品は、I層から19世紀の銭貨が1点出土した。

5 遺物一覧表

図示した遺物は、遺構や包含層から出土した時期判別がある程度可能なものや、特徴的なものを抽出し、一覧表（表10～表34）に掲載した。土器や石器の一覧表には、個々の遺物の基礎的情報を記載したが、石器は図示したもの以外の、器種が判明したものも掲載した。遺物の種別によって、一覧表の項目は異なるが、共有する基本項目については次のとおりである。

掲載No・整理No 「掲載No」は本文中の通し番号、「整理No」は発掘調査時の取上番号である。

地区・遺構 遺物が出土した調査グリッド若しくは遺構番号、試掘調査坑番号で、複数の地区や遺構から出土した遺物が接合した場合には、複数の調査グリッドや遺構番号を記入している。調査グリッドが不明な遺物は、発掘区を記載した。

層位 表土や遺物包含層などから出土したものは、基本層序番号（I、II）を、遺構から出土したものは、土層番号（1、2やa、bなど）を記入した。

大きさ 口径、底径、器高、長さ、幅、厚さなどの単位はcm、重さの単位はグラムである。

注

1) 土師器は、側岐阜県文化財保護センター1998『牧野小山遺跡 C地點』(岐阜県文化財保護センター調査報告書第39集)、山茶碗は、藤澤良祐1994「山茶碗研究の現状と課題」『研究紀要』第3号、三重県埋蔵文化財センター編を参考にした。

2) 財團法人岐阜県教育文化財団文化財保護センター2003『尾元遺跡』(岐阜県教育文化財団文化財保護センター調査報告書第82集)の縄文土器分類を参考にしたが、一部内容は異なる。

3) 注2の文献を参考にした。

4) 計測した部位は、渡辺誠氏の提唱（中津川市教育委員会1985『阿曾田遺跡発掘調査報告書』）を参考とした。

第4節 遺構と遺物

今回の調査では、土器埋設遺構や土坑、溝状遺構を検出したが、時期を確認できた遺構は縄文時代のものだけであった。調査で出土した遺物の多くが縄文時代のものであることから、遺物を伴わず、時期不明とした遺構の中にも、縄文時代のものが含まれる可能性がある。

1 土器埋設遺構

縄文時代前期後葉の土器埋設遺構を24基検出した。これらは、A区とB区の北部、C区の南半部にまとまるが、単独若しくは2基～6基が近接して設置されていた。

SJ01（図11・図12）

検出状況 A区北西部において、II層除去後に埋設土器を確認したが、掘方はIII層をやや掘り下げて検出したため、土器が検出面よりも浮き上がった状態となった。周囲にはSJ02～SJ04、SK01などがある。掘方はほぼ円形で、埋設土器の推定復元した最大径よりも0.13m大きい。

埋土 2層に分層したが、1層と2層とでは明瞭に異なり、1層はII層に、2層はIII層に類似する。このため、掘方を掘削した土を利用して、土器を埋設したと思われる。なお、1層は土器の形状のような堆積を示しているが、下部に土器はない。2層中には握り拳大の礫が含まれていた。

遺物出土状況 埋設土器（1）の他、1層から土器12点と石器（剥片）7点、2層から土器2点と石器（剥片）1点、検出作業時に出土した、層位不明の土器が31点、石器（石匙、剥片）2点がある。土器の中には、埋設土器とは別個体片が18点ある。埋設土器は深鉢の胴部で、中位付近の破片が立った状態で出土した。土器片を円周上に部分的に配置したと思われるが、破片を組み合わせて埋設した可能性もある。しかし、南から西部分に土器ではなく、また、北部分は別個体の土器が含まれており、何らかの要因で埋設土器が壊されたか、埋設土器ではない可能性も考えられる。1層から出土した土器には、1と同一個体片と思われるものがある。

出土遺物 1は、埋設土器に使用された7a類の深鉢で、LR縄文とRL縄文により羽状縄文を施す。離れた場所から出土した4点が接合した。2は、出土位置不明であるが、7a類の深鉢で1と同一個体と思われる。

時期 埋設土器から、縄文時代前期後葉と思われる。

SJ02（図11・図12）

検出状況 A区北西部において、II層除去後に埋設土器を確認したが、掘方はIII層をやや掘り下げて検出した。周囲にはSJ01、SJ03、SJ04、SK01などがある。掘方はほぼ円形で、埋設土器の最大径よりも0.11m大きい。

埋土 2層に分層したが、1層と2層とでは2層がやや明るい色調となり、1層はII層に、2層はIII層に近い。このため、掘方を掘削した土を利用して、土器を埋設したと思われる。2層中には握り拳大の礫が含まれていた。

遺物出土状況 埋設土器（3）の他、1層から土器14点、2層か

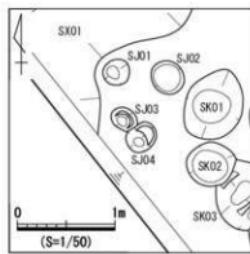


図11 SJ01～SJ04位置図

ら土器53点と石器（剥片）5点が出土した。土器の中には、埋設土器とは別個体のものが44点ある。埋設土器は、底部を欠く深鉢で、正位の状態で出土した。底面に0.08mほど2層を入れた後に、掘方内の南西部に寄せて土器を埋設していた。土器は遺存状態が悪く、口縁部は一部が残存しているだけで、胴部は器面の剥落や摩滅がある。1層及び2層から出土した土器は、すべて埋設土器とは別個体の破片であった。

出土遺物 3は、埋設土器として使用された2e類の深鉢で、4単位の波状口縁となる。地文として、口縁部にはLR繩文、頸部以下はLR繩文とRL繩文を交互に施し羽状とした後、口縁部、頸部、上胴部に突帯を4条貼り付ける。突帯貼り付けの際に、軽く撫で調整し、断面が丸くなる。4と5は、2層出土の深鉢である。4は5b類で、口縁部外面に幅2cmほど帯状に粘土を貼り付け、半截竹管状工具により半隆起線状のヘラ切浮線文を施す。5は5c類で、半截竹管状工具による集合沈線と凹線文を施す。

時期 埋設土器から、縄文時代前期後葉と思われる。

SJ03（図11・図12）

検出状況 A区北西部において、II層除去後に埋設土器を確認したが、掘方はIII層をやや掘り下げて検出した。周囲にはSJ01、SJ02、SJ04、SX01などがある。埋設土器には影響がないが、SJ04と掘方が一部重複し、調査時の所見では検出状況からそれよりも古い。掘方は楕円形で、長軸方向が北西から南東となる。残存する長軸長は、埋設土器の復元した最大径よりも0.13m大きい。SI03とSJ04の掘方の長軸方向は、約90°異なる。

埋土 2層に分層したが、1層と2層とでは明瞭に異なり、1層はII層に、2層はIII層に類似する。このため、掘方を掘削した土を利用して、土器を埋設したと思われる。

遺物出土状況 埋設土器（6・7）の他、1層から土器7点と石器（剥片）1点、2層から土器1点が出土した。1層の土器の中には、埋設土器とは別個体のものが4点ある。埋設土器は、掘方を0.10mほど埋めた後、分割した胴部片を立て、0.19m×0.13mの長方形に組み合わせた状態で埋設していた。土器片の口縁部側を上にし、掘方の南西部に寄せて設置しており、その西辺部は土器片が重ねられていた。また、掘方内の北東部に握り拳大の礫を、埋設土器を支えるように入れていた。

出土遺物 6～8は同一個体で、7に施された文様から2d類の深鉢である。6は、長方形に組まれていた胴部片が接合した。RL繩文を施し、内面はヘラ状の工具で横撫で調整し、破断面を丸くする。7は、埋設土器西辺に重ねられていた口縁部近くの破片で、横位と弧状の突帯を組み合わせて貼り付け、地文及び突带上にRL繩文を施す。8は、1層から出土した胴部片で、埋設土器には接合しなかった。

時期 埋設土器から、縄文時代前期後葉と思われる。

SJ04（図11・図12）

検出状況 A区北西部において、II層除去後に埋設土器及び掘方を検出した。周囲にはSJ01～SJ03、SX01などがある。SJ03の掘方と一部重複し、調査時の所見ではそれよりも新しい。掘方は楕円形で、長軸方向が北東から南西となる。短軸長は、埋設土器の最大径よりも0.10m大きい。SI03とSJ04の掘方の長軸方向は、約90°異なる。

埋土 2層に分層したが、1層と2層とでは2層がやや明るい色調となり、1層はII層に、2層はIII層に近い。このため、掘方を掘削した土を利用して、土器を埋設したと思われる。

遺物出土状況 埋設土器（9）の他、1層から土器15点と石器（剥片）1点、2層から土器3点と石

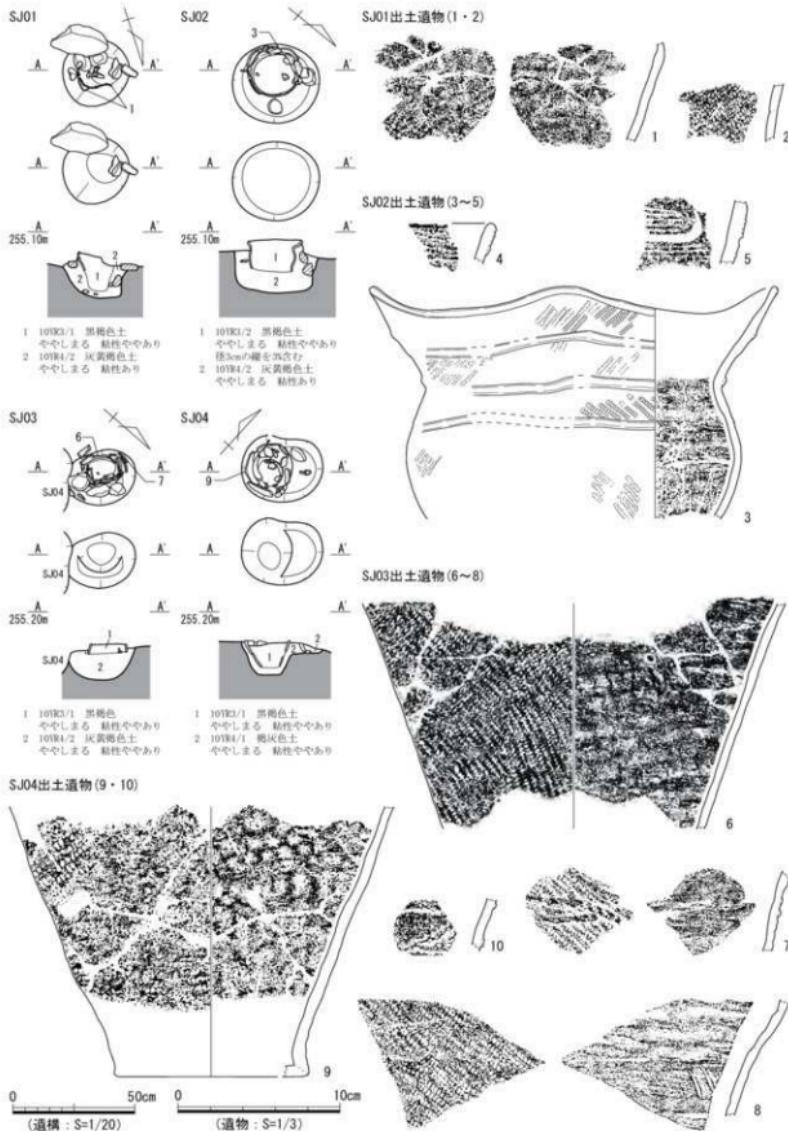


図12 SJ01～SJ04遺構図、出土遺物

器（剥片）2点が出土した。このうち、1層の土器3点、2層の土器2点は、埋設土器とは別個体のものである。埋設土器は、口縁部から胴上部を欠き、底面を抜いた深鉢で、掘方の南西部に寄せて、正位の状態で出土した。しかし、胴部には欠損部があり全周しないことから、底面に0.06mほど2層を入れた後、壊した土器片を復元的に配置したと思われる。

出土遺物 9は、埋設土器として使用された7a類の深鉢で、外面にLR縄文を斜め方向に施し、底部近くは撫で調整する。10は、1層から出土した2d類の深鉢口縁部片で、横位と弧状の突帯を組み合わせて貼り付け、その上に縄文を施す。突帯は両側面を撫で調整し、断面三角形となる。

時期 埋設土器から、縄文時代前期後葉と思われる。

SJ05（図13）

検出状況 A区北西部において、SK28調査時に埋設土器を確認し、SK28底面で掘方を検出した。周囲にはSJ06～SJ09、SK14などがあり、SJ06の北東側に位置する。SK28との重複関係は、調査状況からそれよりも古い。掘方はほぼ円形で、埋設土器の復元した最大径よりも0.08m大きい。

埋土 2層に分層したが、1層と2層とでは色調が類似し、1層は重複するSK28埋土とよく似ている。

遺物出土状況 埋設土器（11・12）の他、1層から土器4点、2層から土器4点が出土したが、すべて埋設土器と同一個体の土器であった。SK28により1/2以上が攪乱されていたが、埋設土器は掘方を0.06mほど埋めた後、分割した胴部片を立て、方形に組み合わせて埋設したと思われる。南辺部の土器片は横向きの状態で、西辺部の土器片は口縁部側を上にしていた。なお、西辺部の土器には、SK28出土土器が接合した。

出土遺物 11と12は、埋設土器として使用された7a類の深鉢胴部で、11が西辺部に、12が南辺部に置かれていた。外面は、LR縄文を斜位に施し、内面は削り調整する。11と12は、同一個体の深鉢と思われる。

時期 埋設土器から、縄文時代前期後葉と思われる。

SJ06（図13）

検出状況 A区北西部において、II層除去後に掘方を検出した。周囲にはSJ05、SJ07～SJ09、SK14などがあり、SJ05の南西側に位置する。掘方はほぼ円形で、埋設土器の最大径よりも0.14m大きい。

埋土 検出時には土器の底部内面が見えており、土器内埋土はほとんどない状態であった。このため、掘方埋土のみ確認したが、III層に近いことから、掘方を掘削した土を利用して、土器を埋設したと思われる。

遺物出土状況 埋設土器（13）の他、1層から別個体の土器1点、出土位置不明の土器1点（埋設土器に接合）が出土した。埋設土器は、底部が残存するだけであり、正位の状態で出土した。しかし、北から西部分の底部の立ち上がりは残存していなかった。攪乱や他の構造との重複がないことから、この状態で埋設された可能性もあるが、出土位置不明の胴部片が接合したこと、底面に欠損部があることから、壊した土器の底部片を復元的に配置した可能性が高い。掘方の東部に寄せて、底面に0.03mほど土を入れた後に土器を埋設していた。

出土遺物 13は、埋設土器として使用された7b類の深鉢で、底部外面が突出し、やや上げ底気味である。

時期 埋設土器から、縄文時代前期後葉と思われる。

SJ07（図14）

検出状況 A区北西部において、SJ08とSJ09とともに、II層除去後にIII層をやや掘り下げて検出したが、当初は埋設土器を確認していなかった。SJ08、SJ09、SK28と重複し、検出状況からSK29とSJ08が新しく、SJ09が古いと判断していたが、SJ08を調査中にSJ07の埋設土器を確認し、埋設土器の残存状況から重複関係が逆であることが判明した。周囲には、この他SK15、SK16といった土坑や、SJ05などがある。掘方はほぼ円形で、埋設土器の最大径よりも0.08m大きい。

埋土 2層に分層したが、1層と2層はよく似た土性で、III層に類似する。このため、掘方を掘削した土を利用して、土器を埋設したと思われる。

遺物出土状況 埋設土器（14）の他、1層から土器71点と石器（剥片）3点、2層から土器15点が出土した。このうち、1層の土器10点と2層の土器14点は、埋設土器とは別個体である。埋設土器は深

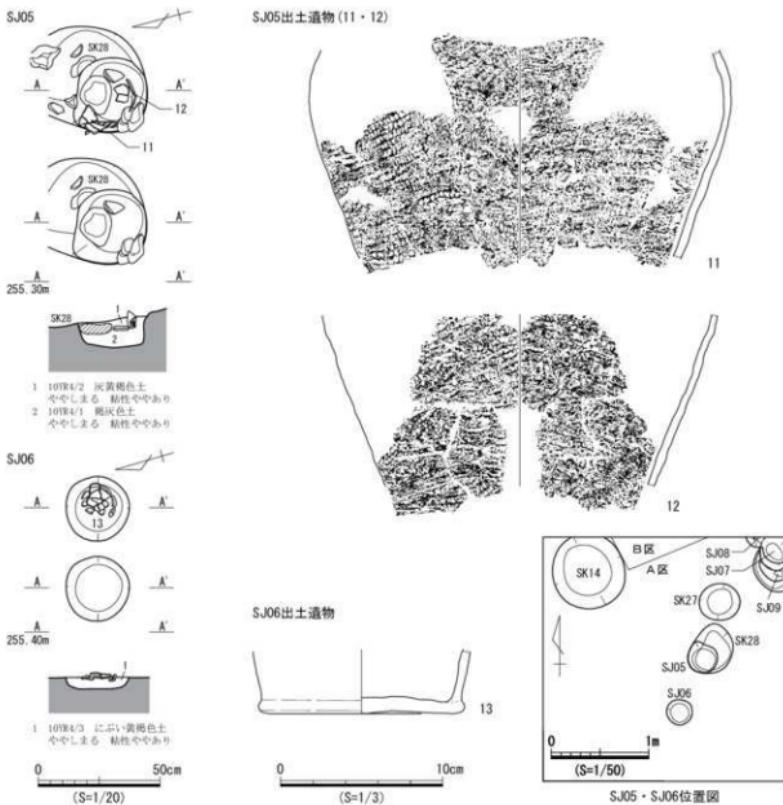


図13 SJ05・SJ06遺構図、出土遺物

鉢で、口縁部が正位の状態で出土したが、胴部から底部は埋設土器内に破片となって散在した状態で出土した。埋設土器として使用された口縁部も含めて、一部の土器片は被熱によると思われる変色や煤の付着が認められ、色調が全く異なる破片が接合した。また、口縁端部は一部残存するだけであるが、山形に整形して破断面を丸くしたものがある。胴部から底部片も同様で、被熱による変色や、破断面が丸くなるものが認められ、底面は打ち欠かれて存在しない。また、掘方から出土した土器が、

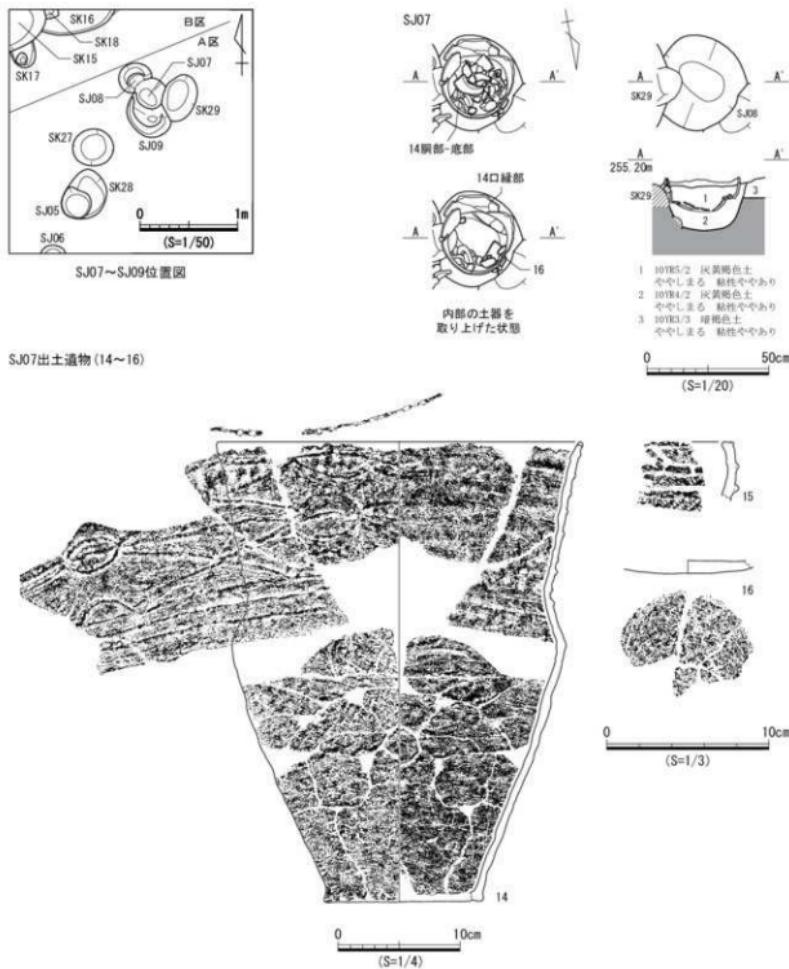


図14 SJ07~SJ09位置図、SJ07遺構図、出土遺物

1点だけであるが埋設土器に接合した。このようなことから、埋設土器に使用する深鉢を一旦壊した後、破断面の整形や火にかける等の何らかの行為を行い、口縁部片を復元的に配置し、その内部に胴部から底部の破片の一部を入れたと思われる。これは、埋設された口縁部片が一部重なり、口縁端部が残存する破片と欠損する破片の上端の高さを揃えていることからもわかる。なお、掘方のほぼ中央に埋設土器を設置しているが、掘方の底面に0.08mほど2層を入れており、埋設土器を安定させるために、土器片(16)を置いた可能性がある。

出土遺物 14は、埋設土器として使用された2e類の深鉢で、口縁端部を棒状工具により刻み、口縁部は両側面を指で粗く撫でた断面三角形の突帯で文様を描く。幅広い口縁部の上下と中央に横位の突帯を貼り付け、4箇所に半円形の突帯を3条の横位突帯に付加して、X状の突帯で半円形の文様を結ぶ。口縁部内面はやや肥厚するが、無文である。胴部外面は、RL繩文を施した後撫で調整し、底部外面には刻みを施す。15は、1層から出土した2e類の深鉢で、突帯脇を棒状工具でなぞる。16は、14とは別個体の7b類の深鉢底部片で、埋設土器を安定させるために置いたと思われる。

時期 埋設土器から、縄文時代前期後葉と思われる。

SJ08（図14・図15）

検出状況 A区北西部において、II層除去後にIII層をやや掘り下げて、埋設土器と掘方を検出した。SJ07と重複していたが、検出段階ではSJ07の埋設土器を確認していなかった。検出状況からSJ08が新しいと判断したが、SJ08調査中にSJ07の埋設土器を確認し、重複関係も逆であることが判明した。周囲には、SJ05やSJ09、SK15、SK16などがある。掘方はほぼ円形で、埋設土器の最大径よりも0.13m大きい。

埋土 2層に分層したが、1層と2層は非常によく似た土性で、III層に類似する。このため、掘方を掘削した土を利用して、土器を埋設したと思われる。

遺物出土状況 埋設土器(17・18)の他、1層から土器5点と石器(剥片)6点、2層から土器1点と石器(剥片)2点が出土した。このうち、1層の1点を除き、埋設土器とは別個体である。埋設土器は深鉢の胴下部で、正位の状態で出土した。SJ07との重複部分では土器もなくなっており、SJ07掘方掘削時に破壊されたものと思われる。掘方の南東部に寄せて、底面に0.08mほど2層を入れた後に、土器を埋設していた。なお、埋設土器の南西側には、同一個体の口縁部片を重ね、掘方の北西部には拳大の礫を入れていた。

出土遺物 17は、埋設土器として使用された6a類の深鉢で、外面にRL繩文を施す。上部の破断面を丸くする。18は、埋設土器の南西側に重ねて置かれた同一個体の深鉢口縁部片である。

時期 埋設土器から、縄文時代前期後葉と思われる。

SJ09（図14・図15）

検出状況 A区北西部において、II層除去後にIII層をやや掘り下げて、埋設土器と掘方を検出した。SJ07やSK29と重複していたが、検出状況からそれよりも古い。周囲には、SJ05やSJ07、SJ08、SK15、SK16などがある。掘方は他の遺構に削平されているが、楕円形と思われ、長軸長は埋設土器の最大径よりも0.18m大きい。

埋土 2層に分層したが、1層と2層はよく似た土性で、III層に類似する。このため、掘方を掘削した土を利用して、土器を埋設したと思われる。

遺物出土状況 埋設土器（19・20）の他、1層から土器32点と石器（剝片）5点、2層から土器22点と石器（剝片）1点が出土した。いずれの土器も埋設土器とは別個体である。埋設土器は深鉢の胸部

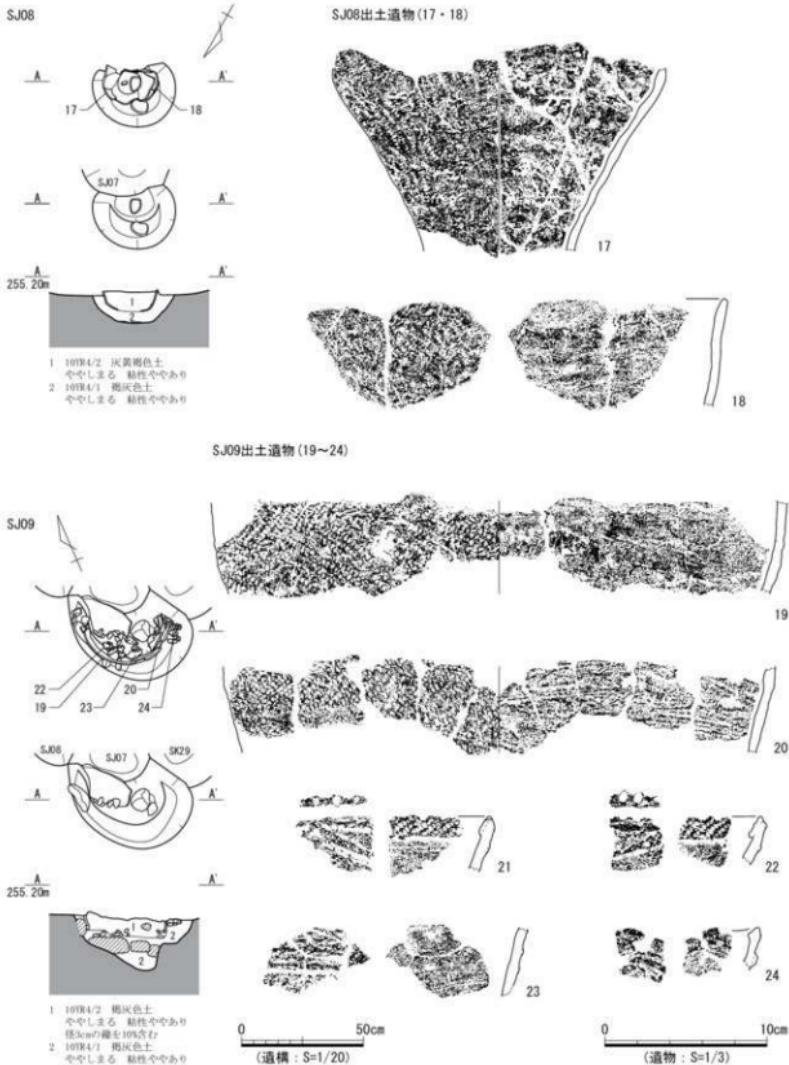


図15 SJ08・SJ09遺構図、出土遺物

中位の破片で、北部分の1/2以上はSJ07によって破壊されていた。破片が弧を描くように正位の状態で出土したが、胴部中位の破片のみであることや、19と20は出土位置が隣接しているにも関わらず接合しないことから、壊した深鉢の胴部片を弧状に並べて設置したと思われる。楕円形の掘方の南東部に寄せて、底面に最大で0.13mほど2層を入れた後に、土器を埋設していた。なお、埋設土器内及び埋設土器の東側に、土器小片がまとまって出土した。これらは埋設土器とは別個体の土器であるが、土器片が細かく割られており、土器埋設時に何らかの意図を持って一緒に埋めたものと思われる。埋設土器内のものは、同一個体片と思われるが接合できず、埋設土器東側の掘方内出土のものは、2~3個体の土器片と思われ、一部接合した。

出土遺物 19と20は、埋設土器として使用された7a類の深鉢で、LR繩文とRL繩文による羽状繩文を施す。破断面を丸く加工した可能性がある。21~23は、1層から出土した2d類の深鉢で、破碎されたと思われる同一個体の土器である。口縁部外面に弧状や横位の突帯を貼り付け、その上にLR繩文を施す。口縁部内部の肥厚部にもLR繩文を施し、口縁端部は棒状工具による刻みを施す。突帯は潰れたように扁平な断面形である。24は、2層から出土した2d類の深鉢で、破碎された口縁部片である。口縁部外面の突带上と、口縁部内部の肥厚部にRL繩文を施す。突帯の断面形は三角形である。

時期 埋設土器から、繩文時代前期後葉と思われる。

SJ10（図16）

検出状況 B区北西部において、II層除去後に埋設土器を確認したが、III層を掘り下げて掘方を検出した。東側にはSJ11がある。掘方は楕円形で、長軸方向が北北東から南南西となる。短軸長は、埋設土器の最大径よりも0.23m大きい。SJ10とSJ11の掘方の長軸方向は、約90°異なる。

埋土 3層に分層したが、それぞれ土性が異なり、2層はII層に、3層はIII層に類似していることから、掘方を掘削した土を利用して、土器を埋設したと思われる。

遺物出土状況 埋設土器（25）の他、2層から土器21点が出土したが、いずれも埋設土器とは別個体である。埋設土器内から、遺物は出土しなかった。埋設土器は、深鉢の胴下部で、正位の状態で出土した。埋設土器を掘方の北部に寄せて、底面に3層を入れた後に土器を設置し、2層で埋めていた。

出土遺物 25は、埋設土器として使用された7b類の深鉢で、胴下半部が残存し、胴上半部や底部は欠損する。26は、2層から出土した6a類の深鉢口縁部片で、頸部が強く屈曲し、口縁部がやや内湾する器形である。口縁部外面にLR繩文を施し、口縁部内部に断面三角形状の突帯を貼り付け、口縁端部に同様の繩文を施す。

時期 埋設土器から、繩文時代前期後葉と思われる。

SJ11（図16）

検出状況 B区北西部において、II層除去後に埋設土器を確認したが、III層を掘り下げて掘方を検出した。一部擾乱坑により削平され、西側にはSJ10がある。掘方は楕円形と思われ、長軸方向が西北西から東南東となる。長軸長は、埋設土器の最大径よりも0.13m大きい。SJ10とSJ11の掘方の長軸方向は、約90°異なる。

埋土 土器内の埋土を観察しないまま掘削したため、掘方埋土のみ確認した。III層に類似しており、掘方を掘削した土を利用して、土器を埋設したと思われる。

遺物出土状況 埋設土器（27・28）の他、1層から土器62点と石器（剥片）1点が出土したが、土器

は1点のみ埋設土器とは別個体であった。埋設土器は、深鉢の胴下部から底部があるが、底面は抜かれていた。正位の状態で出土したが、掘方の西部に寄せて、底面に土器を設置していた。埋設土器の東側には、同一個体の土器片を三重に重ねており、分割した土器を置いたものと思われる。このうち一部の土器片は横向きにした状態で置かれ、底部片は埋設土器内部に重ねて入れられていた。このた

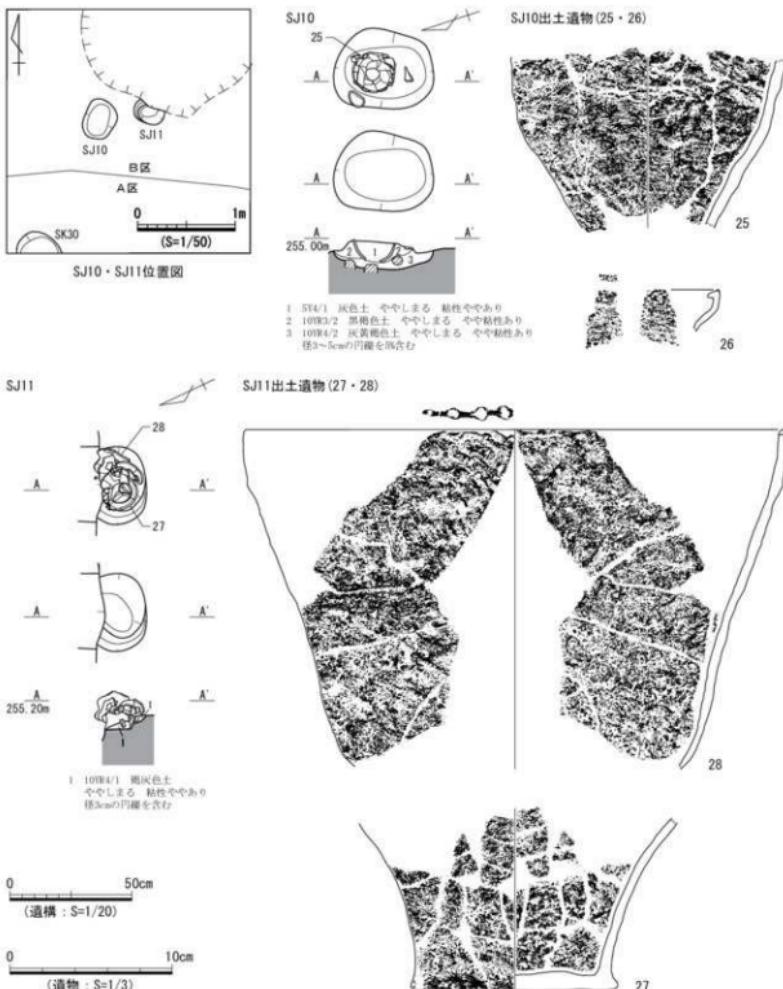


図16 SJ10・SJ11位置図、造構図、出土遺物

め、一旦壊した土器の胴下部を埋設土器として設置し、口縁部から胴部片の一部を重ねるように掘方内に置き、一部の細かい土器片を底部片とともに、土器内部に入れたものと思われる。

出土遺物 27は、埋設土器として使用された6b類の深鉢で、底部外面がやや突出する。28は、27と同一個体の口縁部から胴部片で、埋設土器の東側に重ねられていた。口縁部が緩やかに立ち上がる器形で、口縁端部に棒状工具による刻みを施す。

時期 埋設土器から、縄文時代前期後葉と思われる。

SJ12（図17）

検出状況 A区北部において、攪乱坑及びSD01埋土掘削中に埋設土器を確認し、その周囲をやや掘り下げて掘方を検出した。SJ13やSD01と重複するが、検出状況からこれらよりも新しい。掘方は、攪乱によって全形不明であるが、円形若しくは楕円形と思われ、埋設土器よりもやや大きな径となる穴である。

埋土 3層に分層したが、それぞれ土性が異なり、1層と3層はⅡ層に、2層はⅢ層に類似している。

遺物出土状況 埋設土器（29）の他、2層から土器6点、石器（剥片）1点が出土した。2層から出土した土器のうち、別個体の土器は4点で、残りの2点は埋設土器に接合した。埋設土器は、深鉢の胴下部から底部があるが、胴部片は底部片から少し離れて出土した。これが攪乱の影響によるのか、当初から壊された土器片を置いたのか、明確にはできない。埋設土器は、掘方を0.12mほど埋めた後、掘方の北部に寄せて、底部から胴下部を正面で埋設したと思われる。しかし、接合した胴部に破片が抜けた部分があり、掘方出土土器が接合したことなど、一部の土器片は復元的に配置した可能性を考えられる。

出土遺物 29は、埋設土器として使用された7a類の深鉢で、底部外面がやや突出する。胴部はRL縄文を施すが、底部近くは撫で調整である。30は、埋設土器に接して出土した同一個体片であるが、接合しない。上部の破断面が丸くなっていること、加工した可能性がある。

時期 埋設土器から、縄文時代前期後葉と思われる。

SJ13（図17）

検出状況 A区北部において、攪乱坑及びSD01埋土掘削中に埋設土器を確認し、その周囲をやや掘り下げて掘方を検出した。SJ12やSD01と重複するが、検出状況からSJ12より古く、SD01より新しい。掘方は一部攪乱によって削平されているが、ほぼ円形と思われ、埋設土器の最大径とほぼ同じである。

埋土 2層に分層したが、いずれもⅡ層に類似し、掘方を掘削した土を利用して、土器を埋設したと思われる。

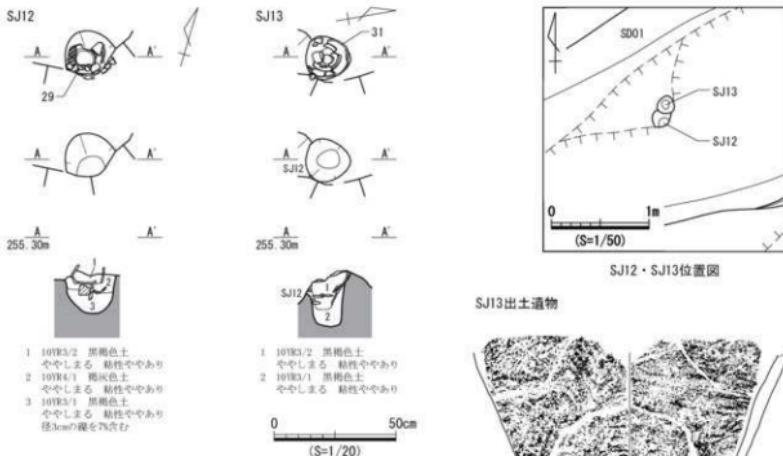
遺物出土状況 埋設土器（31）の他、1層から土器18点が出土したが、口縁部片の1点（33）を除き埋設土器と同一個体片と思われる。ただし、この口縁部片も胎土が類似しており、同一個体の可能性がある。2層から土器3点が出土したが、埋設土器と同一個体で、うち2点は接合した。埋設土器は、掘方を0.07mほど埋めた後、底面が抜かれた深鉢の胴下部から底部を埋設していた。また、胴部片1点が埋設土器の南東側に重ねて置かれていた。埋設土器の南部は、土器片が欠落しているが、胴部だけでなく底部もないこと、他の土器も出土状況図（図17）のようには接合しなかったことから、壊した土器の胴下部の破片を復元するように配置したものと思われる。また、抜かれた底面の破片や胴部片の一部は、埋設土器内部に入れられていた。

出土遺物 31は、埋設土器として使用された7a類の深鉢で、RL縄文とLR縄文を施すが、明瞭な羽状縄文とはならない。破断面を丸くした可能性がある。32は、埋設土器と同一個体の胴部片で、埋設土器の下に置かれていた。RL縄文とLR縄文により羽状縄文となる。33は、2d類の深鉢口縁部片と思われるが、口縁端部を欠く。

時期 埋設土器から、縄文時代前期後葉と思われる。

SJ14 (図18)

検出状況 B区北部において、II層除去後に埋設土器を確認した。当初は土器埋設遺構との認識がなく、土器片を検出するように掘り下げたところ、正位で埋設された土器である可能性が考えられたため、やや掘り下げて精査したが、掘方を確認することができなかつた。そのため、土坑状の範囲を半



SJ12出土遺物

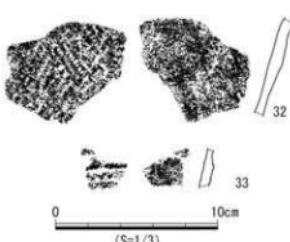
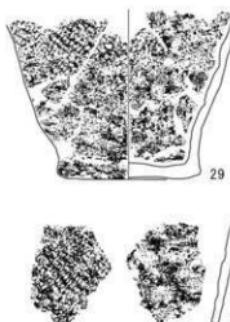


図17 SJ12・SJ13位置図、遺構図、出土遺物

截し、土器埋設遺構としての掘方を確認した。掘方はSK39埋土内にあり、土層堆積状況からSJ14が新しいと判断した。掘方は楕円形と思われ、長軸長は埋設土器の最大径よりも0.04m大きい。

埋土 単層である。土器内の埋土を観察前に多く掘削していたが、確認できた範囲では、掘方埋土と同様の土であり、II層に類似していた。

遺物出土状況 埋設土器(34)の他、別個体の土器71点と石器397点(石鏃2点、R F 1点、他は剥片)が出土したが、土器内埋土と掘方埋土を区別して取り上げていない。埋設土器は、底部を欠くが口縁部から胴下部まで残存し、部分的にほぼ全周するものの、北西部を中心に各所に欠損部がある。このため一度壊した土器を復元するように、正位で掘方内に配置したと思われる。なお、他の土器埋設遺構と比較して遺物量が多いが、埋土の一部を水洗し遺物を抽出した結果である。そのため石鏃やRFの

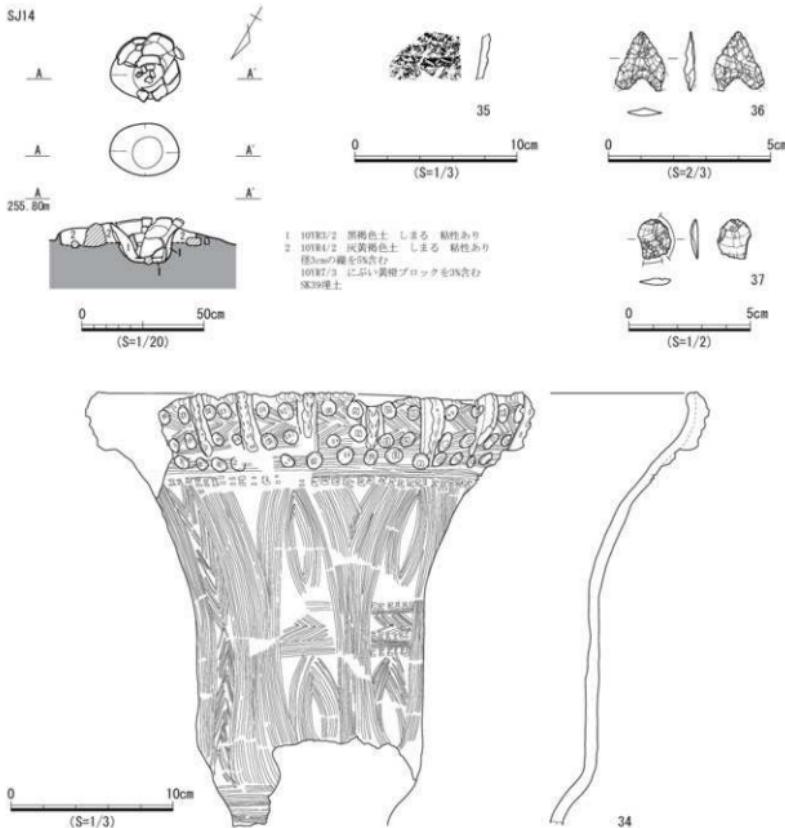


図18 SJ14遺構図、出土遺物

他、微細な剥片が多く出土した。また、骨片状の白色遺物が1点出土したが、分析（第4章第3節）により軽石であることが判明した。

出土遺物 34は、埋設土器として使用された5b類の深鉢で、胸部の底部近くがわずかに張り出し、口縁部がやや内湾して受け口状となる。口縁部外面は、文様帶の上下に1条ずつC字状刺突列を巡らせ、その間は矢羽状や横位の集合沈線を地文とし、刺突を持つ棒状貼付文やボタン状貼り付け文を施す。胸部は継ぎに区画し、集合沈線によるレンズ状文や矢羽状文などを施す。35は、埋土中から出土した2a類の深鉢で、突带上にハ字状の刺突を施す。36は石鏃で、基部の抉りがやや深い。37はRFで、側辺に調整剥離を施す。

時期 埋設土器から、縄文時代前期後葉と思われる。

SJ15（図19）

検出状況 C区中央部において、検出作業によってSK55内に埋設土器を確認し、その周囲を精査して掘方を検出した。SK55やSK56と重複するが、検出状況からこれらよりも新しい。掘方はほぼ円形で、埋設土器の最大径よりも0.03m大きな径となる穴である。

埋土 2層に分層したが、それぞれ土性が異なり、1層はII層に、2層はIII層に類似し、掘方を掘削した土を利用して土器を埋設したと思われる。

遺物出土状況 埋設土器（38）の他、1層から土器9点と石器（剥片）11点、2層から土器2点と石器（剥片）1点が出土した。1層の一部は、篩選別により遺物を取り上げた。これらの土器のうち、埋設土器とは別個体のものが3点あり、1層から出土したものであった。埋設土器は、深鉢の胴下部で底部を欠損し、掘方内に0.3mほど2層を入れて正位の状態で置き、さらに2層で埋めている。

出土遺物 38は、埋設土器として使用された2f類の深鉢で、LR縄文を地文とし、押圧を施した隆帯を2条巡らせる。39は、埋設土器内から出土した2c類の深鉢口縁部で、口縁端部を欠く。突带上には、逆C字状の押引きがある。

時期 埋設土器から、縄文時代前期後葉と思われる。

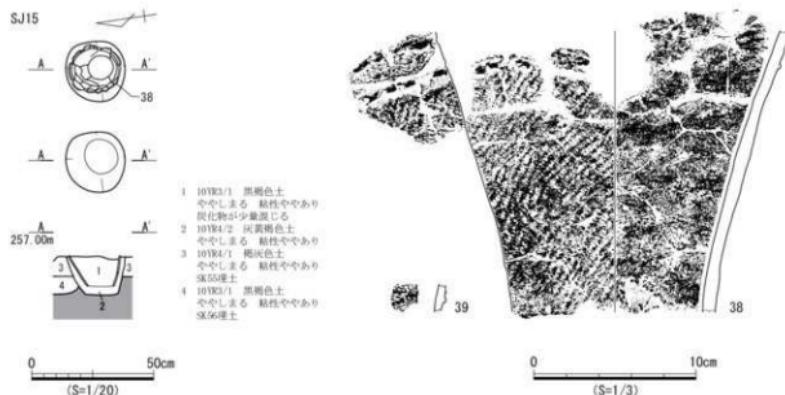


図19 SJ15遺構図、出土遺物

SJ16(図20)

検出状況 C区南部において、検出作業によってSJ17とともに埋設土器を確認し、その周囲を精査して掘方を検出した。SJ17の東側に近接しているが、重複はしていない。南西側にはSJ18～SJ20がある。掘方はやや楕円形で、長軸方向は北から南となる。短軸長は、推定される埋設土器の最大径よりも0.02m大きい。

埋土 2層に分層したが、いずれもⅢ層に類似し、掘方を掘削した土を利用して、土器を埋設したと思われる。

遺物出土状況 埋設土器(40～42)の他、1層から土器4点と石器(剥片)16点が、2層から土器3点が出土した。1層から出土した遺物の多くは、水洗選別によるものである。埋設土器は、深鉢の胴部片が数点立てられた状態で出土したが、掘方内に点在した状態であった。そのため、壊した深鉢の土器片を弧状に間隔を空けて配置したか、埋設土器ではない可能性が考えられる。埋設土器(深鉢胴部片)は、掘方の底面に立てられた状態で置かれ、2層を裏込めのように入れたものと思われる。

出土遺物 40～42は、埋設土器として使用された7a類の深鉢の胴部片で、LR縄文を不定方向に施文する。

時期 埋設土器から、縄文時代前期後葉と思われる。

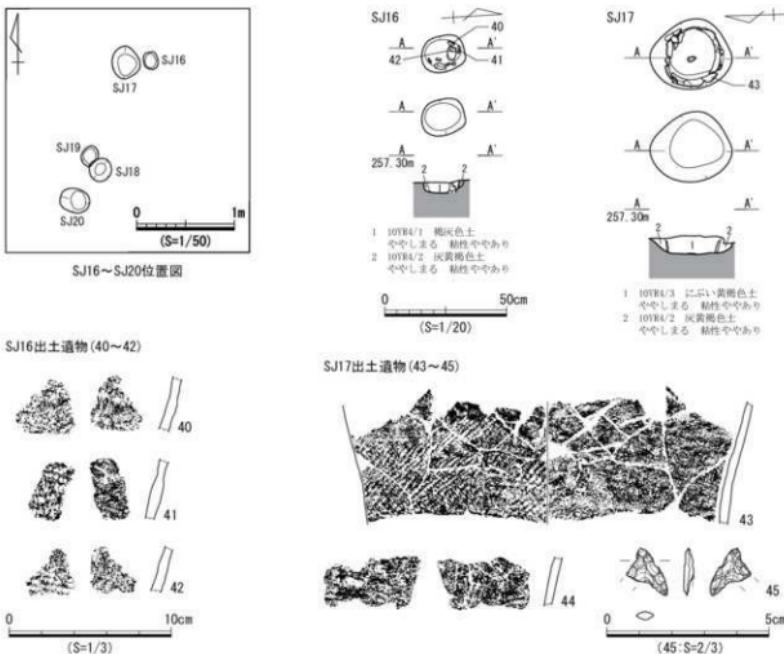


図20 SJ16～SJ20位置図、SJ16・SJ17断構図、出土遺物

SJ17（図20）

検出状況 C区南部において、検出作業によってSJ16とともに埋設土器を確認し、その周囲を精査して掘方を検出した。SJ16の西側に近接しているが、重複はしていない。南西側にはSJ18～SJ20がある。掘方はほぼ円形で、復元される埋設土器の最大径よりも0.08m大きい。

埋土 2層に分層したが、いずれもⅢ層に類似し、掘方を掘削した土を利用して、土器を埋設したと思われる。

遺物出土状況 埋設土器（43）の他、1層から土器22点と石器51点（石鏃1点、剥片50点）が、2層から土器2点が出土したが、土器は1層出土の1点が埋設土器と接合し、他は別個体であった。埋設土器は、深鉢の胴部片を円形に配置していたが、北東部の破片は並びが乱れ、別個体の土器片を含んで部分的に重なった状態であった。埋設土器は、掘方の底面に立てられた状態で置かれ、2層を裏込めのように入れたものと思われる。

出土遺物 43は、埋設土器として使用された7a類の深鉢で、LR縄文を地文として施す。上部の破断面の一部を丸く加工している可能性がある。44は、埋設土器内から出土した7b類の深鉢胴部片である。45は石鏃で、基部の抉りがやや深い。

時期 埋設土器から、縄文時代前期後葉と思われる。

SJ18（図20・図21）

検出状況 C区南部において、検出作業によってSJ19とともに埋設土器を確認し、その周囲を精査して掘方を検出した。南西側にはSJ20がある。SJ19と重複するが、調査時の所見ではSJ18が新しいと判断している。しかし、SJ19との重複部分は、両者の埋設土器が接するようになり、SJ18の埋設土器の方が細かく割れて崩れた状態にある。また、SJ18掘方埋土器がSJ19埋設土器に接している。こうしたことから、SJ19埋設土器が先行する可能性が高いが、ほぼ同時若しくは非常に近い時期に続けてSJ18埋設土器が設置された可能性も考えられる。掘方はほぼ円形で、埋設土器の最大径よりも0.03m大きな径となる。

埋土 2層に分層したが、それぞれ土性が異なり、1層はⅡ層に、2層はⅢ層に類似し、掘方を掘削した土を利用して土器を埋設したと思われる。

遺物出土状況 埋設土器（46）の他、1層から土器15点と石器（剥片）13点、2層から土器3点が出土した。1層の一部は、篩選別により遺物を取り上げた。これらの土器のうち、埋設土器とは別個体のものが1層から13点、2層から2点あった。埋設土器は、深鉢の胴下部で底部は残存し、掘方底面に正位の状態で置き、2層で埋めている。埋設土器内には、同一個体片で接合しないものが出土しており、また、埋設されたように出土した土器片の一部が接合できないなど、胴部片の一部は壊された後に復元的に配置されたものが含まれる可能性がある。

出土遺物 46は、埋設土器として使用された7a類の深鉢で、底部外面がやや突出し、突出部に刻みを施す。器面には、LR縄文を斜め方向に施す。

時期 埋設土器から、縄文時代前期後葉と思われる。

SJ19（図20・図21）

検出状況 C区南部において、検出作業によってSJ18とともに埋設土器を確認し、その周囲を精査して掘方を検出した。南西側にはSJ20がある。SJ18と重複するが、調査時の所見ではSJ18が新しいと判

断されているが、前述のようにほぼ同時、若しくは非常に近い時期に統けて設置された可能性も考えられる。南西側にはSJ20がある。掘方はやや楕円形で、長軸方向は北北東から南南西となる。短軸長は、推定される埋設土器の最大径よりも0.09m大きい。SJ19とSJ20の掘方の長軸方向は、約90°異なる。

埋土 2層に分層したが、それぞれ土性が異なり、1層はII層に、2層はIII層に類似し、掘方を掘削した土を利用して土器を埋設したと思われる。

遺物出土状況 埋設土器(47)の他、1層から土器4点と石器(剥片)1点が、2層から土器6点が出土した。2層から出土した1点だけが、埋設土器とは別個体であった。埋設土器は、北東部に土器片がないことや、出土状況のようには接合しなかったことから、深鉢の底部片の一部を半円形に、正位の状態で配置したものと思われる。埋設土器と同一個体片が掘方埋土からも出土しているが、埋設する際に入れた可能性がある。

出土遺物 47は、埋設土器として使用された7b類の深鉢底部片で、底部外面がやや突出し、底面は抜かれている。突出部には刻みを施す。

時期 埋設土器から、縄文時代前期後葉と思われる。

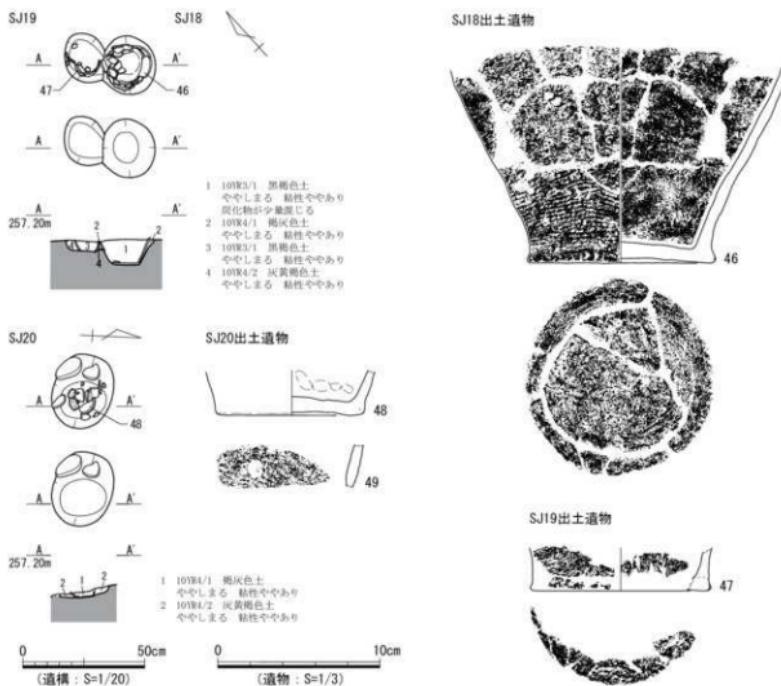


図21 SJ18～SJ20遺構図、出土遺物

SJ20（図20・図21）

検出状況 C区南部において、検出作業によって埋設土器を確認し、その周囲を精査して掘方を検出した。北東側にはSJ18やSJ19、南にはSJ24がある。掘方は楕円形で、長軸方向は西北西から東南東となる。短軸長は、復元された埋設土器の最大径よりも0.20m大きい。SJ19とSJ20の掘方の長軸方向は、約90°異なる。

埋土 2層に分層したが、いずれもⅢ層に類似しており、掘方を掘削した土を利用して、土器を埋設したと思われる。

遺物出土状況 埋設土器（48）の他、1層から土器3点と石器5点（剥片）が、2層から土器13点が出土したが、このうち1層の3点と2層の3点は別個体であった。埋設土器は、深鉢の底部片を復元するように並べていたが、一部の破片は並びが乱れていた。掘方埋土から同一個体と思われる胴部片が出土した。埋設土器は、掘方の底面に正位の状態で円形になるように配置し、2層を裏込めのように入れたものと思われる。

出土遺物 48は、埋設土器として使用された7a類の深鉢底部片である。この土器に縄文施文は確認できないが、49と同一個体と思われる。49は、掘方埋土から出土した、7a類の深鉢胴部片である。RL縄文を施す。

時期 埋設土器から、縄文時代前期後葉と思われる。

SJ21（図22）

検出状況 C区南部において、検出作業によってSJ22やSJ23とともに埋設土器を確認し、その周囲を精査して掘方を検出した。SJ21からSJ23の3基が東西方向に並ぶ。掘方はほぼ円形で、埋設土器の最大径よりも0.02m大きな径となる。

埋土 2層に分層したが、それぞれ土性が異なり、1層はⅡ層に、2層はⅢ層に類似し、掘方を掘削した土を利用して土器を埋設したと思われる。

遺物出土状況 埋設土器（50）の他、1層から土器10点と石器（剥片）4点、炭化物が出土した。これらの土器のうち、埋設土器とは別個体が6点であった。1層の一部は、篩選別により遺物を取り上げた。炭化物がまとまって出土した土器埋設構造は、SJ21だけである。埋設土器は、深鉢の胴下部で、底部は残存していない。掘方底面に正位の状態で置き、2層を裏込めのようにして埋めていた。埋設土器の東側には、同一個体片を重ねるように置いていた。埋設土器の一部は、出土した状態では接合できない破片があり、また、重ねるよう外側から出土した土器片が接合するなど、深鉢を一旦破壊した後に、胴下部の破片を復元的に配置したと思われる。

出土遺物 50は、埋設土器として使用された7a類の深鉢で、器面にLR縄文を施す。51は、1層から出土した2d類の深鉢口縁部片で、口縁部外面に断面半円形の突帯を貼り付け、その上にLR縄文を施す。

時期 埋設土器から、縄文時代前期後葉と思われる。

SJ22（図22）

検出状況 C区南部において、検出作業によってSJ21やSJ23とともに埋設土器を確認し、その周囲を精査して掘方を検出した。SJ23と重複しており、検出状況からSJ22が新しい。SJ21からSJ23の3基が東西方向に並ぶ。掘方は不整円形で、残存する埋設土器の最大径よりも0.08m大きい。

埋土 2層に分層したが、それぞれ土性が異なり、1層はⅡ層に、2層はⅢ層に類似し、掘方を掘削

した土を利用して土器を埋設したと思われる。

遺物出土状況 埋設土器（52）の他、1層から土器16点と石器（剥片）19点が出土し、1層の一部を篩選別により取り上げた。このうち埋設土器に接合したのは1点だけ、15点は別個体片であった。埋設土器は、深鉢の胴部中位から底部で、底面は抜かれて残存しない。掘方の底面に正位で設置し、2層で埋めたと思われるが、土器片の一部がずり落ち、埋設土器の南側に胴部片が重ねられていた。また、胴部中位の破片には出土状況のようには接合できないものがあることから、胴下半部を埋設し、

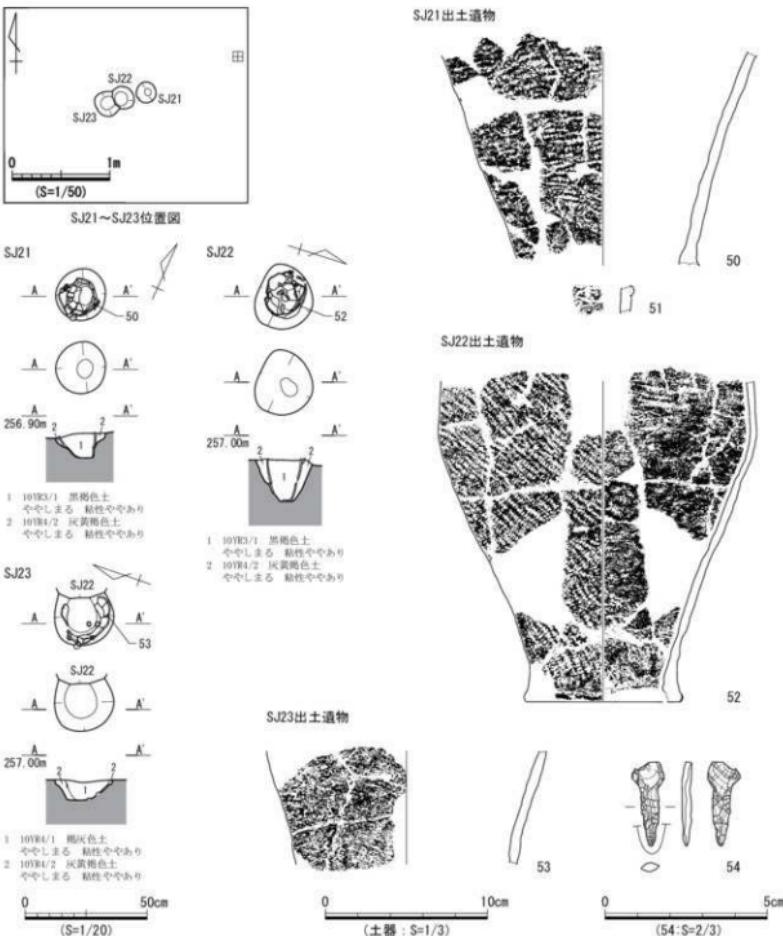


図22 SJ21～SJ23位置図、遺構図、出土遺物

一部の破片を復元的に配置した可能性がある。

出土遺物 52は、埋設土器として使用された7a類の深鉢で、底部外面がやや突出する。胴部外面にはRL繩文を不定方向に、やや突出した底部外面には刻みを施す。

時期 埋設土器から、縄文時代前期後葉と思われる。

SJ23 (図22)

検出状況 C区南部において、検出作業によってSJ21やSJ22とともに埋設土器を確認し、その周囲を精査して掘方を検出した。SJ22と重複しており、検出状況からSJ22が新しい。SJ21からSJ23の3基が東西方向に並ぶ。掘方はほぼ円形で、推定する埋設土器の最大径よりも0.09m大きい。

埋土 2層に分層したが、いずれもⅢ層に類似しており、掘方を掘削した土を利用して、土器を埋設したと思われる。

遺物出土状況 埋設土器(53)の他、1層から土器19点と石器25点(石錐1点、剥片24点)が、2層から石器1点(剥片)が出土したが、土器はすべて別個体片であった。1層から出土した遺物は、篩選別によるものである。埋設土器は、深鉢の胴部片を復元するように並べているが、部分的に土器が置かれてない。SJ22との重複部分は土器片がなく、重複により取り除かれた可能性が高いと思われるが、元々存在しなかった可能性もある。埋設土器は、掘方の南東壁から西壁面に並べるように配置し、北側は土器片を立てた状態で設置していた。これらの土器片は同一個体と思われるものの、接合した破片は一部だけであった。こうしたことから、壊した深鉢胴部片を復元的に配置したと思われる。

出土遺物 53は、埋設土器として使用された7a類の深鉢で、器面にRL繩文を施す。54は、1層から出土した石錐3種で、錐部の先端はやや摩耗している。

時期 埋設土器から、縄文時代前期後葉と思われる。

SJ24 (図23)

検出状況 C区南部において、検出作業によって埋設土器を確認し、その周囲を精査して掘方を検出

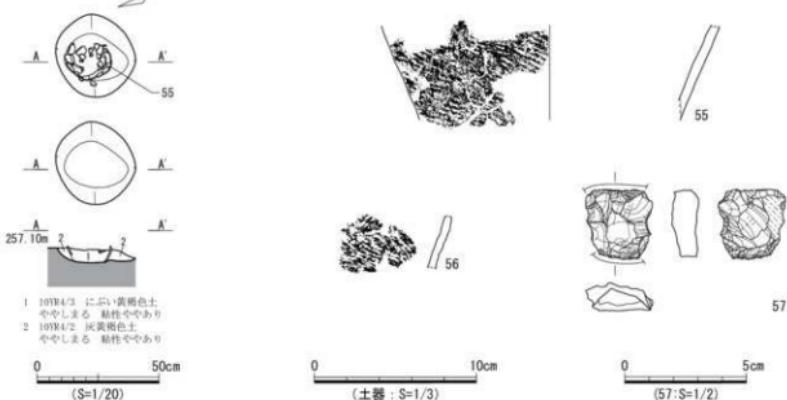


図23 SJ24遺構図、出土遺物

した。SK57と重複しており、検出状況からSJ24が新しい。北側にSJ18からSJ20がある。掘方はほぼ円形で、推定される埋設土器の最大径よりも0.11m大きい。

埋土 2層に分層したが、いずれもⅢ層に類似し、掘方を掘削した土を利用して、土器を埋設したと思われる。

遺物出土状況 埋設土器(55)の他、1層から土器6点と石器9点(楔形石器1点、剥片8点)が、2層から土器8点が出土したが、1層の1点と2層の8点は同一個体片であった。1層から出土した遺物は、簡選別によるものが多い。埋設土器は、深鉢の胴部片を復元するように円形に配置されているが、部分的な接合に留まる。また、東部は土器がない。そのため、一旦壊した深鉢の胴部片を復元的に配置したと思われる。

出土遺物 55は、埋設土器として使用された7a類の深鉢で、器面にRL縄文を施す。56は、1層から出土した5d類の深鉢胴部片で、半截竹管状工具による結節沈線文を施す。57は、1層から出土した楔形石器である。

時期 埋設土器から、縄文時代前期後葉と思われる。

2 溝状遺構

SD01(図24)

検出状況 A区北部において、Ⅱ層除去後にⅢ層上面で検出した、東西方向の溝状遺構である。埋土上面において、SJ12とSJ13を検出しておらず、これらよりも古い。SJ12とSJ13も含めて、SD01から北側にA区とB区の土器埋設遺構が位置している。この溝状遺構がさらに東側に延びていたと仮定すると、C区の土器埋設遺構もその北側に位置する。SD01東側のA区からB区にかけて広がる擾乱範囲は、やや窪地状となったSD01延長部を埋めた整地層であれば、SD01の北側と南側で、土地利用が異なる可能性を考えられる。

埋土 単層であるが、部分的に上部にI b層(整地層)を確認した。

遺物出土状況 縄文土器46点、石器9点(MF1点、剥片8点)が、埋土中から散在した状態で出土した。

出土遺物 58は、5a類の深鉢胴部片で、連続する爪形文と刻みを施す。59は、5a類の深鉢胴部片と思われるが、上部の破断面が研磨したよう平滑となっている。外面には連続爪形文を施す。60は、5e類とした突起部である。61は、7a類の深鉢胴部片で、LR縄文とRL縄文を施し、羽状縄文となる。

時期 出土した遺物から、縄文時代前期後葉と思われる。

3 土坑

縄文時代と思われる土坑を38基検出した。このうち、出土した遺物や遺構の重複関係から、前期と思われるものは36基である。ただし、細別時期不明とした2基や時期不明とした25基の土坑も、他の時代の遺物が少ないとから、縄文時代前期のものである可能性が考えられる。

SK01(図24)

検出状況 A区北西部において、Ⅱ層除去後にⅢ層上面で検出した。西側にSJ02、東側にSK08などがある。上端の平面形は梢円形であるが、底面では円形に近い。壁面はやや開く形状であるが、埋土の

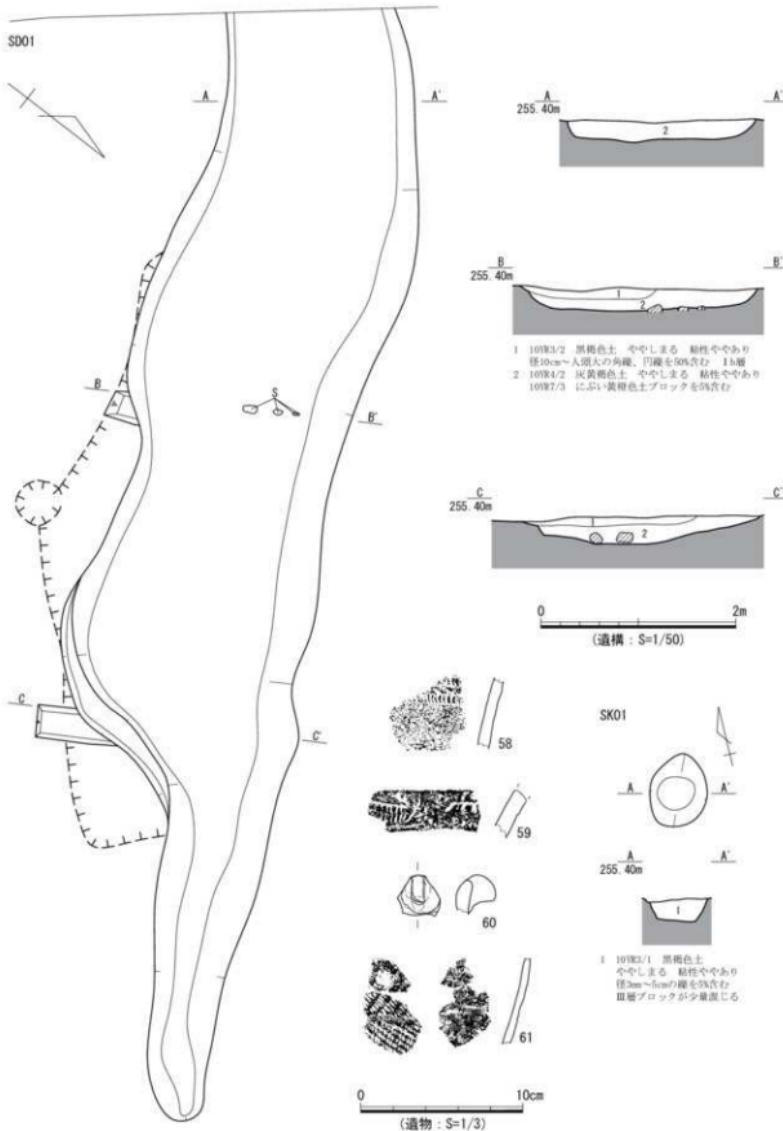


図24 SD01・SK01遺構図、SD01出土遺物

堆積状況から、規模が小さいが墓坑の可能性が考えられる。

埋土 単層であるが、基盤層のブロック土を含むことから、人為的埋土の可能性がある。

遺物出土状況 繩文土器9点、石器（剥片）5点が、埋土中から散在した状態で出土した。

出土遺物 繩文土器はすべて小破片であり、図示しなかった。

時期 出土した遺物から、縄文時代前期後葉と思われる。

SK03（図25）

検出状況 A区北西部において、II層除去後にIII層上面で検出した。周囲にはSK01やSK08など類似した土坑がある。SK02と一部重複するが、検出状況からそれよりも古い。壁面はやや傾斜し、底面もやや凹凸があるが、周囲の土坑や埋土の堆積状況から、規模が小さいが墓坑の可能性が考えられる。

埋土 単層であるが、基盤層のブロック土を含むことから、人為的埋土の可能性がある。

遺物出土状況 繩文土器27点、石器15点（MF1点、剥片14点）が、埋土中から散在した状態で出土した。

出土遺物 62は、2e類の深鉢口縁部片である。縦位の突帯を、間隔を空けて口縁端部から貼り付け、口縁部外面には2条の突帯を口縁部に平行させて貼り付ける。突带上には縄文を施文している可能性があるが、明確でないため2e類とした。63はMFで、縦長の剥片の側辺に、微細な剥離痕が確認できる。

時期 出土した遺物から、縄文時代前期後葉と思われる。

SK09（図25）

検出状況 A区北西部において、II層除去後にIII層上面で検出した。周囲にはSK10やSK13など類似した土坑がある。SK10と一部重複するが、検出状況からそれよりも古い。壁面は立ち上がり、底面は比較的平坦である。周囲の土坑や埋土の堆積状況から、墓坑の可能性が考えられる。

埋土 単層であるが、基盤層のブロック土を含むことから、人為的埋土の可能性がある。

遺物出土状況 繩文土器30点が、埋土中から散在した状態で出土した。

出土遺物 64は、6a類の深鉢口縁部片で、口縁端部に棒状工具による刻みを施す。口縁部上部の1.5cmほどは縄文を施文しない。65は、7a類の深鉢胴部片で、RL縄文とLR縄文により羽状縄文となる。

時期 出土した遺物から、縄文時代前期後葉と思われる。

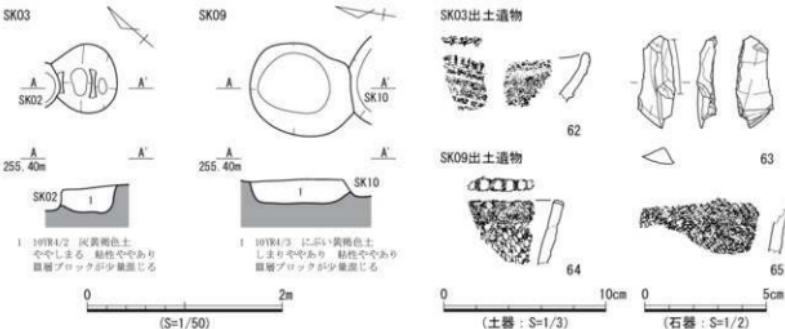


図25 SK03・SK09遺構図、出土遺物

SK10（図26）

検出状況 A区北西部において、II層除去後にIII層上面で検出した。周囲にはSK09やSK13など類似した土坑がある。SK09と一部重複するが、検出状況からそれよりも新しい。壁面は立ち上がり、底面は比較的平坦である。周囲の土坑や埋土の堆積状況から、墓坑の可能性が考えられる。

埋土 単層であるが、基盤層のブロック土を含むことから、人為的埋土の可能性がある。

遺物出土状況 繩文土器41点、石器5点（スクレイバー1点、剥片4点）が、埋土中から散在した状態で出土した。

出土遺物 66は、2b類の深鉢で口縁端部を欠く口縁部片と思われる。横位の突帯を貼り付け、突带上に半截竹管状工具による刺突を施す。67は、7a類の深鉢胴部片で、LR綱文を斜め方向に施文する。68はスクレイバーで、縦長剥片の側辺の両面に調整剥離を施し、刃部を作り出す。

時期 出土した遺物から、繩文時代前期後葉と思われる。

SK13（図26）

検出状況 A区北西部において、II層除去後にIII層上面で検出した。北西側にはSK09やSK10など類似した土坑がある。比較的深く、底面は平坦で、壁面は立ち上がる。周囲の土坑や埋土の堆積状況から、



図26 SK10・SK13構造図、出土遺物

墓坑の可能性が考えられる。

埋土 単層であるが、基盤層のブロック土を含むことから、人為的埋土の可能性がある。

遺物出土状況 繩文土器137点、石器12点（石錐1点、剥片11点）が、埋土中から散在した状態で出土した。

出土遺物 69は、2d類の深鉢口縁部片で、口縁部内面を肥厚させ、LR繩文を施す。幅広い口縁部に横位や斜位の突帯を貼り付け、突帯上にLR繩文を施す。70は、5f類の浅鉢口縁部片である。71は切目石錐で、楕円形の縫の両端を打ち欠いた後、切目を入れている。

時期 出土した遺物から、繩文時代前期後葉と思われる。

SK14（図27）

検出状況 A区北西部において、II層除去後にIII層上面で検出した。周囲にはSK09やSK15など類似した土坑がある。比較的深く、底面は平坦で、壁面は立ち上がる。周囲の土坑や埋土の堆積状況から、墓坑の可能性が考えられる。

埋土 単層であるが、基盤層のブロック土を含むことから、人為的埋土の可能性がある。

遺物出土状況 繩文土器60点、石器9点（MF2点、剥片7点）が、埋土中から散在した状態で出土した。

出土遺物 72は、7a類の深鉢胴部片で、Lr繩文を施す。73はMFで、縦長剥片の外湾する末端辺の両面に、微細な剥離痕が確認できる。74もMFで、横長剥片の直線的な末端辺の両面に、微細な剥離痕が確認できる。

時期 出土した遺物から、繩文時代前期後葉と思われる。

SK15（図27）

検出状況 B区北西部において、II層除去後にIII層上面で検出した。南西側にはSK14のような類似した土坑がある。比較的深く、底面は平坦で、壁面は立ち上がる。周囲の土坑や埋土の堆積状況から、墓坑の可能性が考えられる。

埋土 単層であるが、基盤層のブロック土を含むことから、人為的埋土の可能性がある。

遺物出土状況 繩文土器86点、石器4点（石錐1点、石皿1点、剥片2点）が、埋土中から散在した状態で出土した。

出土遺物 75は、5c類の深鉢口縁部片で、口縁端部が肥厚し、外面には半截竹管状工具による集合沈線や凹線文を施す。76は、6a類の深鉢口縁部片で、口縁端部を棒状工具により刻み、外面にはLR繩文とRL繩文を施し、羽状繩文となる。77は、1/2程度欠損する打欠石錐である。78は石皿片で、平坦面に磨痕が確認できる。

時期 出土した遺物から、繩文時代前期後葉と思われる。

SK28（図27）

検出状況 A区北西部において、II層除去後にIII層上面で検出した。周囲にはSJ06やSK14などがある。SJ05と重複するが、検出状況からそれよりも新しい。規模は小さく浅い穴であるが、埋土中にSJ05の埋設土器上部が確認でき、重複部分でSJ05埋設土器を壊していると思われる。

埋土 単層で、土色等がSJ05の1層とよく似ている。

遺物出土状況 繩文土器12点、石器7点（石錐1点、剥片6点）が、埋土中から散在した状態で出土

した。SJ05と重複しており、SJ05から混入した可能性がある。

出土遺物 79は、SJ05出土の11や12と同一個体で、7a類の深鉢洞部片である。外面はLR縄文を施し、内面は削り調整する。80は、石錐の2類である。

時期 出土した遺物から、縄文時代前期後葉と思われる。

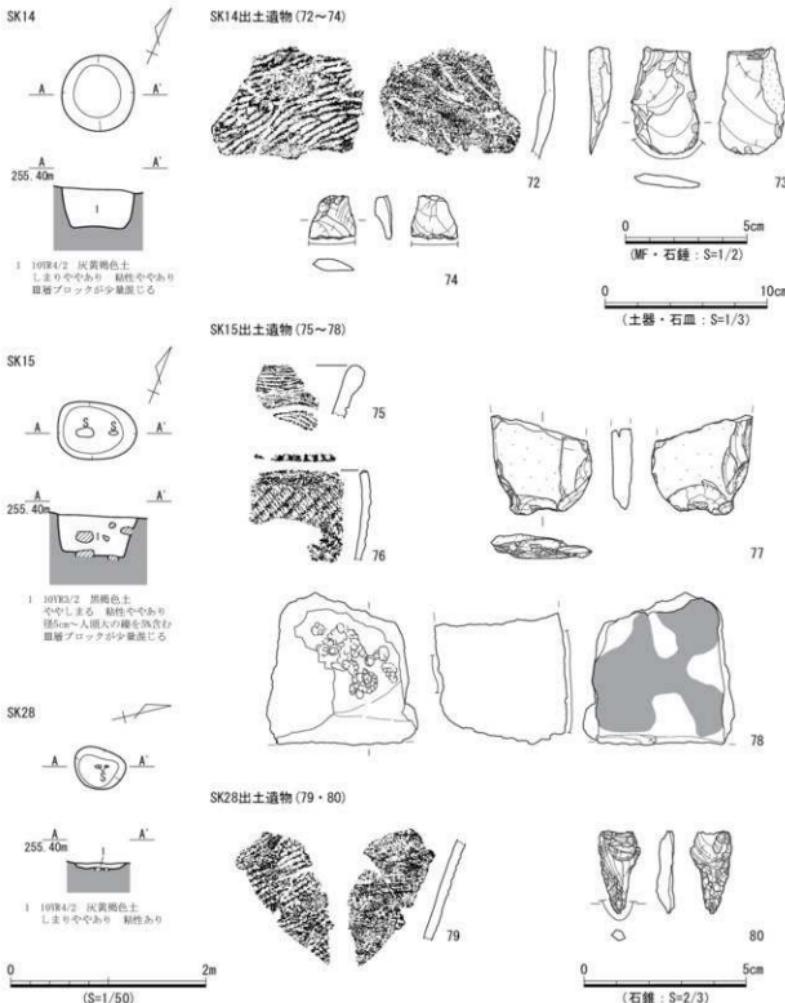


図27 SK14・SK15・SK28構造図、出土遺物

SK30（図28）

検出状況 A区北西部において、II層除去後にIII層上面で検出した。西側にはSJ07やSJ08などがある。円形の浅い穴であるが、底面は平坦で、壁面は立ち上がる。

埋土 単層である。

遺物出土状況 繩文土器3点、石器6点（石鏃1点、MF1点、剥片4点）が、埋土中から散在した状態で出土した。

出土遺物 81は、基部が2類の石鏃で、左右非対称の形状である。82はMFで、縦長剥片の内湾する側辺の腹面側に、微細な剥離痕が確認できる。

時期 出土した遺物から、縄文時代前期後葉と思われる。

SK31（図28）

検出状況 A区北西部において、II層除去後にIII層上面で検出した。SD01の南側にあり、東側のSK32やSK33とはL字形に並ぶような位置関係となる。ほぼ円形で、深さが0.22mあり、底面は平坦で、壁面は立ち上がる。

埋土 単層であるが、基盤層のブロック土を含むことから、人為的埋土の可能性が考えられる。

遺物出土状況 遺物は出土しなかった。

時期 遺物が出土しなかったため、時期不明である。

SK32（図28）

検出状況 A区北西部において、II層除去後にIII層上面で検出した。SD01の南側にあり、西側のSK31や南側のSK33とはL字形に並ぶような位置関係となる。ほぼ円形で、深さが0.20mあり、底面は平坦で、壁面は立ち上がる。

埋土 単層であるが、基盤層のブロック土を含むことから、人為的埋土の可能性が考えられる。

遺物出土状況 遺物は出土しなかった。

時期 遺物が出土しなかったため、時期不明である。

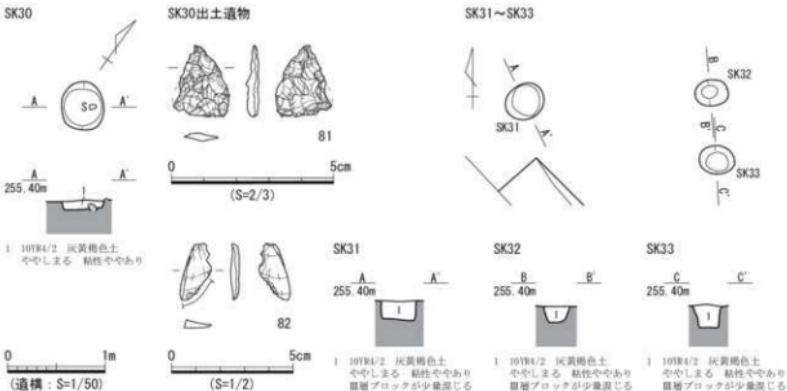


図28 SK30~SK33遺構図、SK30出土遺物

SK33（図28）

検出状況 A区中央西寄りの場所において、II層除去後にIII層上面で検出した。SD01の南側にあり、西側のSK31、北側のSK32とはL字形に並ぶような位置関係となる。ほぼ円形で、深さ0.24mあり、底面は平坦で、壁面は立ち上がる。

埋土 単層であるが、基盤層のブロック土を含むことから、人為的埋土の可能性が考えられる。

遺物出土状況 SK32から縄文土器2点が、埋土中から散在した状態で出土した。小破片のため図示しなかった。

時期 出土した遺物から、縄文時代前期後葉と思われる。

SK39（図29）

検出状況 B区北部において、II層除去後にIII層上面で検出した。北側にはSK38、南側にはSK40などがある。SJ14と重複するが、検出状況からそれよりも古い。不定形の浅い穴であるが、底面は凹凸があり、壁面はやや開く。

埋土 単層で、にぶい黄橙色土ブロックを含むことから、人為的埋土の可能性がある。

遺物出土状況 縄文土器9点、石器（剥片）4点が、埋土中から散在した状態で出土した。

出土遺物 83と84は、7a類の深鉢胴部片で、LR縄文とRL縄文を交互に施し、羽状縄文となる。85は基部を欠損するやや大型の石鏃で、側辺に角がある。

時期 出土した遺物から、縄文時代前期後葉と思われる。

SK40（図29）

検出状況 B区北部において、II層除去後にIII層上面で検出した。北側にはSJ14がある。SK41と重複するが、検出状況からそれよりも新しい。円形の浅い穴であるが、底面は平坦で、壁面は立ち上がる。

埋土 単層である。

遺物出土状況 縄文土器3点、石器6点（石鏃1点、MF1点、剥片4点）が、埋土中から散在した状態で出土した。

出土遺物 86は、7a類の深鉢胴部片で、外面にRL縄文を施す。87は、基部が1b類の石鏃である。88はMFで、縦長剥片の直線的な側辺の腹面側に、微細な剥離痕が確認できる。

時期 出土した遺物から、縄文時代前期後葉と思われる。

SK54（図29）

検出状況 C区の北部において、II層除去後にIII層上面で検出した。ほぼ円形で浅い穴である。

埋土 単層で、基盤層のブロック土を含むことから、人為的埋土の可能性がある。また、埋土中に被熱した礫を少量含むが、炭化物や焼土は確認できなかつた。

遺物出土状況 縄文土器3点が、埋土中から散在した状態で出土したが、いずれも小片であったため図示しなかつた。

時期 出土した遺物から、縄文時代前期後葉と思われる。

SK55（図29）

検出状況 C区のほぼ中央において、II層除去後にIII層上面で検出した。SJ15と重複するが、検出状況からそれよりも古い。不定形の浅い穴であるが、南東部に焼土面を確認した。

埋土 単層で、焼土ブロックを少量含む。

遺物出土状況 繩文土器38点、石器（剥片）3点が、埋土中から散在した状態で出土した。

出土遺物 89は、2e類の深鉢口縁部片で、口縁部端部内面がやや肥厚し、RL縄文を施す。口縁部外面には突帯を貼り付け、その下にRL縄文を施す。90は、5c類の深鉢で口縁部近くと思われる。外面に半截竹管状工具による半隆起線状の集合沈線や凹線文を施す。91は、7a類の深鉢胴部片で、RL縄文とLR縄文を施し、羽状縄文となる。

時期 出土した遺物から、縄文時代前期後葉と思われる。

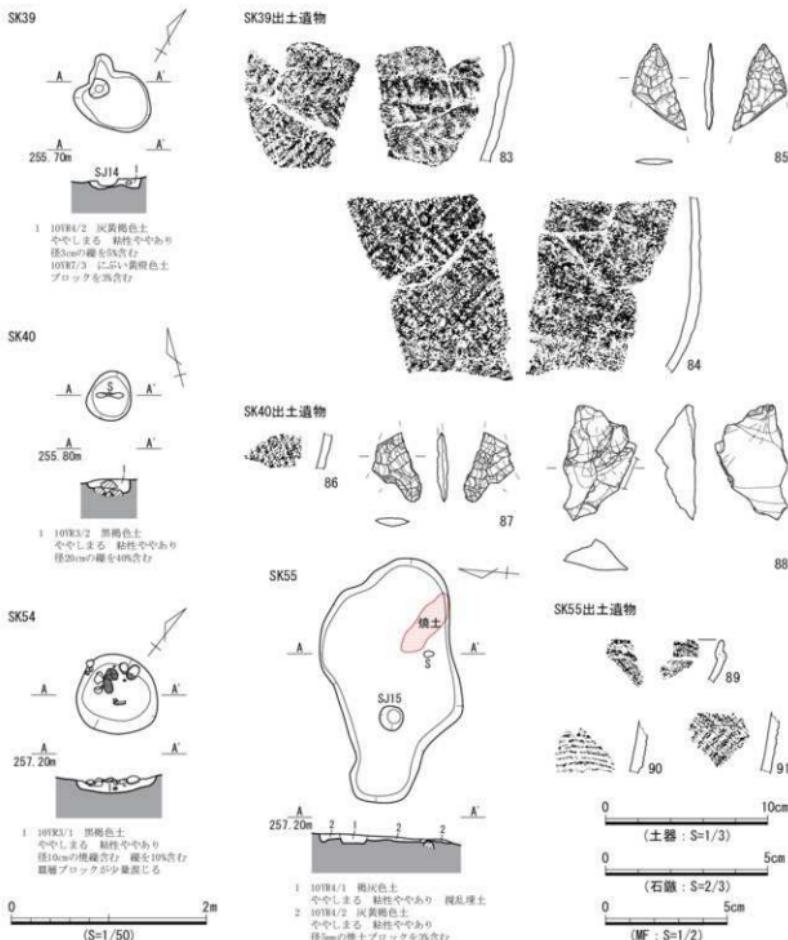


図29 SK39・SK40・SK54・SK55遺構図、SK39・SK40・SK55出土遺物

SK59（図30）

検出状況 C区南部において、II層除去後にIII層上面で検出した。SJ24の南西にあり、西側のSK62やSK63とは、ほぼ直線上に並ぶような位置関係となる。ほぼ円形で、深さが0.22mあり、底面は平坦で、壁面は立ち上がる。

埋土 単層であるが、基盤層のブロック土を含むことから、人為的埋土の可能性が考えられる。

遺物出土状況 遺物は出土しなかった。

時期 遺物が出土しなかったため、時期不明である。

SK62（図30）

検出状況 C区南部において、II層除去後にIII層上面で検出した。東側のSK59や西側のSK63とは、ほぼ直線上に並ぶような位置関係となる。ほぼ円形で、深さが0.20mあり、底面は平坦で、壁面は立ち上がる。

埋土 単層であるが、基盤層のブロック土を含むことから、人為的埋土の可能性が考えられる。

遺物出土状況 繩文土器が3点、埋土中から散在した状態で出土した。

出土遺物 921は、7a類の深鉢胴部片で、外面にLR繩文を施す。

時期 出土した遺物から、縄文時代前期後葉と思われる。

SK63（図30）

検出状況 C区南部において、II層除去後にIII層上面で検出した。東側のSK59やSK62とは、ほぼ直線上に並ぶような位置関係となる。ほぼ円形で、深さが0.10mあり、底面は平坦で、壁面は立ち上がる。

埋土 単層であるが、基盤層のブロック土を含むことから、人為的埋土の可能性が考えられる。

遺物出土状況 繩文土器が1点、埋土中から出土したが、小片のため図示しなかった。

時期 出土した遺物から、縄文時代前期後葉と思われる。

4 不明遺構

SX01（図31・図32）

検出状況 A区北西部において、当初は擾乱坑と判断したものである。南側にはSJ01～SJ04、SK01などの土坑がある。擾乱坑として掘削したところ、縄文土器が据え置かれたような状態で出土したが、土器埋設構造のような掘方を確認できなかったことから、擾乱坑として現地調査を終えた。しかし、縄文土器の出土状況からは、遺構の可能性が高いものと考え、不明遺構とした。上部は擾乱坑であつ



図30 SK59・SK62・SK63遺構図、SK62出土遺物

たが、その底面には土坑若しくは土器埋設遺構が残存していた可能性がある。

埋土 不明であるが、上部には扁平な円礫が多く含まれていたようである。

遺物出土状況 繩文土器95点、石器65点（石鏃9点、石錐1点、スクレイパー2点、RF2点、MF1点、剥片50点）が、埋土中から散在した状態で出土した。他の遺構と比較して、石器の出土点数が非常に

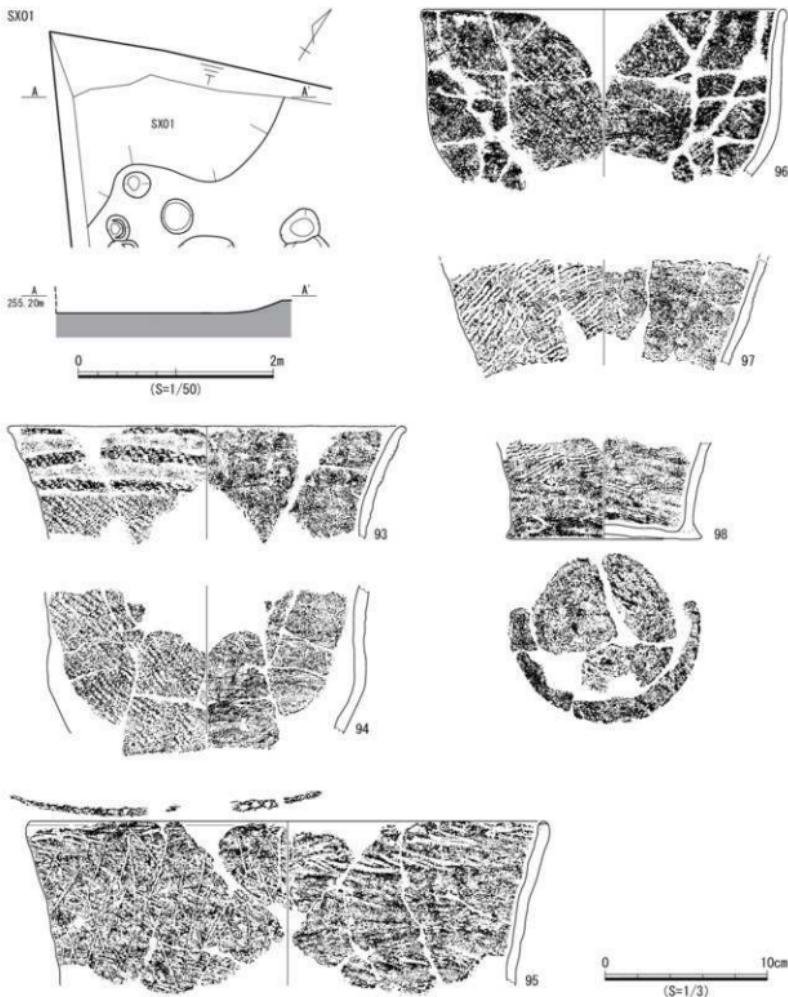


図31 SX01遺構図、出土遺物（1）

多い。作業中の写真では、立った状態の土器が2~3個体あるが、図示した土器がどれになるのか確定することは困難であった。

出土遺物 93と94は、2d類の深鉢口縁部片と胴部片で、同一個体と思われる。口縁部に3条の扁平な突帯を貼り付け、その上にRL縄文を施す。また、突帯より下部にもRL縄文を施す。95は、3類の深鉢口縁部片で、口縁端部に棒状工具による刻みを施す。口縁部外面は、箆状工具による縦位の沈線で区画し、その間を同じ工具による乱雑な斜格子状の沈線文で埋める。96は、6a類の深鉢口縁部片で、口縁端部がやや肥厚し、外面にはRL縄文を施す。97は、7a類の深鉢胴部片で、外面にLL縄文を施す。なお、上部の破断面は丸く加工していると思われる。98は、7a類の深鉢底部片で、底部外面がやや突出する。外面にはLR縄文を施す。底面は外された状態で出土しており、底面の一部はSX01の外部から出土した。99~107は石鏸である。99と100は、基部の抉りの深さが異なるが、長さと幅の値が近い。101と102は、基部の抉りが深く、縦長の形状である。103と104は、基部の抉りがく字状で浅い。105と106は基部が平基で、106の片面には剥片の素材面が大きく残る。107は基部が円基で、側辺が内湾する。108は石錐で、錐部と基部の境が明瞭な3類である。109は、末端辺と側辺に剥離調整が施されたRFである。110は、縦長剥片の直線的な側辺に、微細な剥離痕が確認できる。

時期 出土した遺物から、縄文時代前期後葉と思われる。

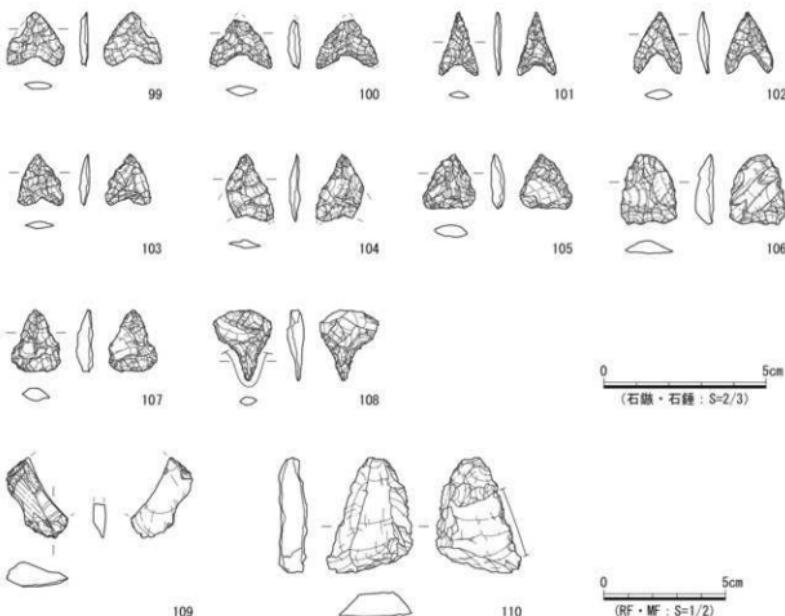


図32 SX01出土遺物（2）

5 包含層等出土遺物

包含層（II層）及び表土（Ia層）や盛土層（Ib層）から、縄文時代前期及び古代～近世の遺物が出土した。なお、層位不明の堆土や発掘区壁面成形時の出土遺物も含めて報告する。

（1）縄文時代の土器

縄文時代の土器は、土器埋設遺構を検出した調査グリッドを中心に出土したが、すべて前期後葉の土器であった。

111は、1類の深鉢口縁部片で、口縁端部に刻みを、口縁部外面に横位の平行沈線とC字爪形文を施す。

112～120は、刻みを持つ突帯により文様を施す2a類の深鉢である。突帯は比較的扁平で低く、突帯に施される刻みは、斜め方向若しくはハ字状である。113は波状口縁となるが、突帯の剥落が激しく不明瞭である。114と115の口縁端部には刻みを施し、115～117には口縁端部から縦位の突帯が貼り付けられ、118では横位の突帯に弧状の突帯が付加されている。121は、突带上を半截竹管状工具により刺突する2b類の深鉢口縁部片で、口縁端部を欠く。突帶により、横位や斜位あるいは弧状の文様を施す。122～128は、突带上に半截竹管状工具による押引きを施す2c類の深鉢である。突帶により、横位や斜位、弧状の文様を施す。124は波状口縁となる深鉢で、口縁部内面が肥厚する。129と130は、突带上に

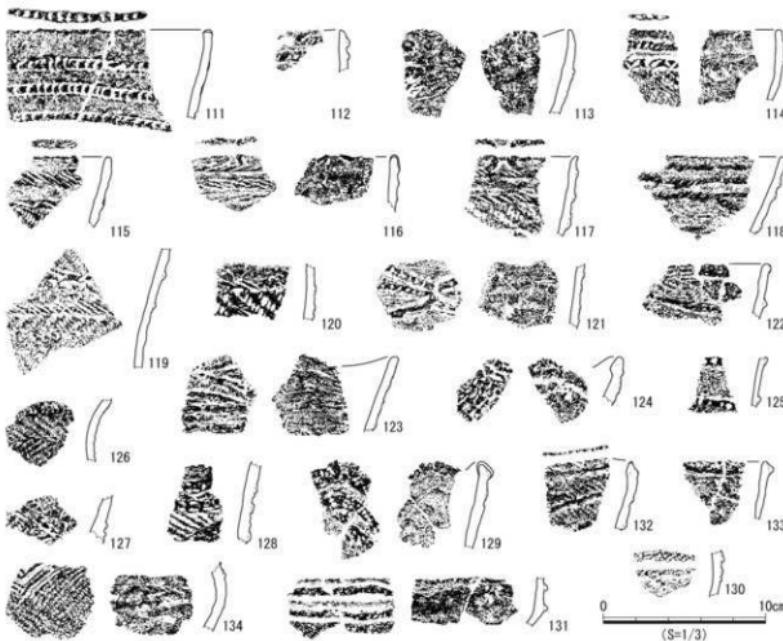


図33 包含層等出土縄文土器（1）

縄文を施す2d類の深鉢である。129は波状口縁で、口縁部に平行する突帯を3条以上と、波頂部に口縁端部から縦位の突帯を貼り付ける。131～134は、素文となる突帯により文様を施す2e類の深鉢である。131は、口縁端部を僅かににくぐり、屈曲して立ち上がる口縁部に、2条の突帯を横位に貼り付ける。突帯上には、部分的に縄文が認められるが、突帯よりも下部に縄文を施した際にいたものと思われる。132は波状口縁となり、口縁部内面が肥厚し、口縁端部に刻みを施す。133は、口縁部上端に1条の突帯を巡らせる。

135～137は、4a類の深鉢又は鉢で、半截竹管状工具による沈線を施す。135の口縁部は直線的に開く。136の口縁部はやや内傾し、口縁端部に刻みを施す。137は屈曲する胴部片で、屈曲部とその上部に貼り付けた突帯上に刻みを施す。138～144は、4b類の深鉢又は鉢で、半截竹管状工具による沈線や連続刺突による文様と赤彩を施す。144は、横位の突帯上にハ字状の刻みを施す。

145～149は、5a類の深鉢胴部片で、半截竹管状工具により平行沈線や押引きを施す。145～147の曲線的な区画内には、LR縄文を施す。148は、横位の沈線の下側はRL縄文を施す。149は、連続爪形文の間に刻みを持つ突帯を施す。150と151は5b類の深鉢で、半截竹管状工具による集合沈線で文様を描く。150の口縁部には突起を付け、その横の口縁端部に細い突帯を4条貼り付ける。151は、集合沈線により渦状の文様を施す。152は、5c類の深鉢口縁部片で、波状口縁となる。口縁部外面に半截竹管状工具による集合沈線と凹線による文様を施す。153～163は、5f類とした浅鉢である。153は、口縁部から胴部が著しく屈曲し、括れ部の上下に平行沈線と刻みにより三角形文や入り組み文を施す。口縁端部を欠損するが、小孔が確認できる。なお、最大径の位置にある孔は、焼成後の穿孔である。底部は、やや凹底となる。154は、口縁部が強く内湾し、口縁端部に刻みを施す。155～157は、無文の列孔浅鉢口縁部で、口縁部の形状が、直線的なもの（155）、やや外反するもの（156）、強く外反するもの（157）がある。158は、列孔の上下に突帯を貼り付け、その下側に沈線による文様を施す。159は、列孔部分

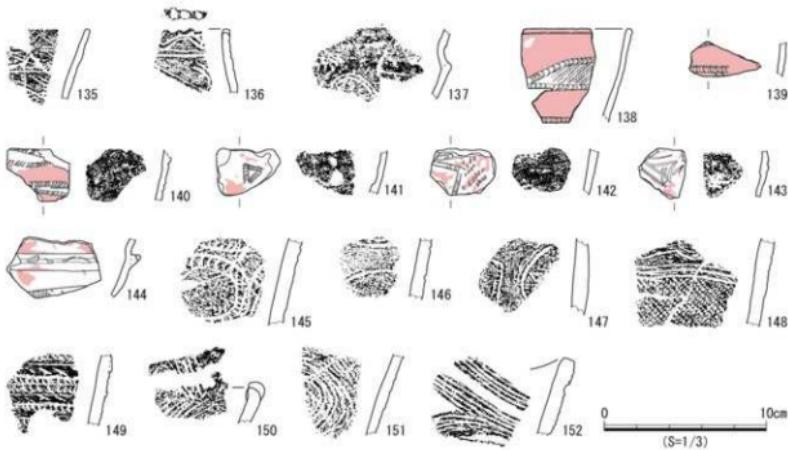


図34 包含層等出土縄文土器（2）

が回み、上下が突帯状となり、その下側に沈線による文様を施す。160は、無文の浅鉢の胴部片で、強く湾曲する。161は、赤彩を施す浅鉢の強く屈曲して立ち上がる口縁部片で、口縁端部を欠く。162と163は、浅鉢の底部片である。

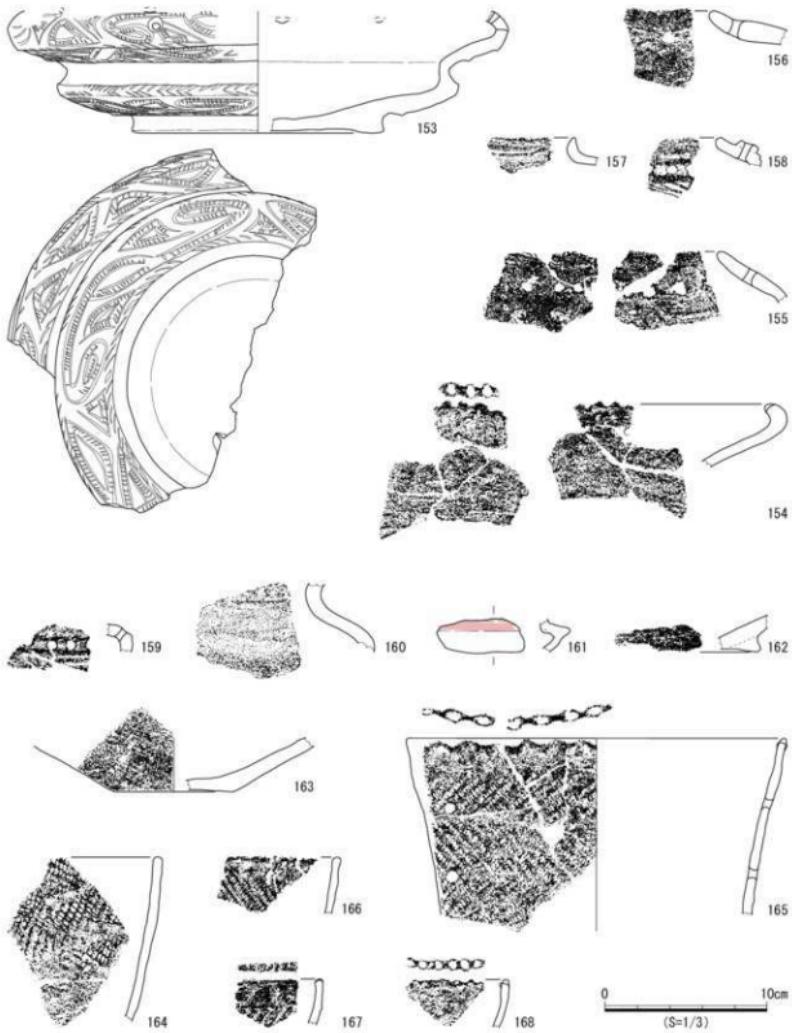


図35 包含層等出土絹文土器（3）

164～167は、6a類とした深鉢口縁部片である。164は、口縁部上端まで縄文を施すが、他は口縁部上端から1.5cmほど無文部を設けている。また、165と167の口縁端部には刻みを施す。168は、6b類とした深鉢口縁部片で、口縁端部に刻みを施す。

169～177は、7a類とした深鉢脛部片で、173～177は、LR縄文とRL縄文を施し、羽状縄文となる。178と179は、7a類の深鉢底部片で、178の底部外面はやや突出し、刻みを施す。179の底部は、やや凸底状となる。180と181は、7b類とした深鉢底部片で、いずれも底部外面がやや突出し、刻みを施す。

(2) 縄文時代の石器

石鏃 (182～243)

182～196は、基部の抉りが丸くて浅い1a類である。182～186は、長さと幅の値が近い正三角形状のものである。出土した石鏃の中で、長さが最も小さいのが182、最も大きいのが186である。187～196は、長さよりも幅が小さい縱長の石鏃である。191や192、194は左右非対称の形状で、192～196は、片

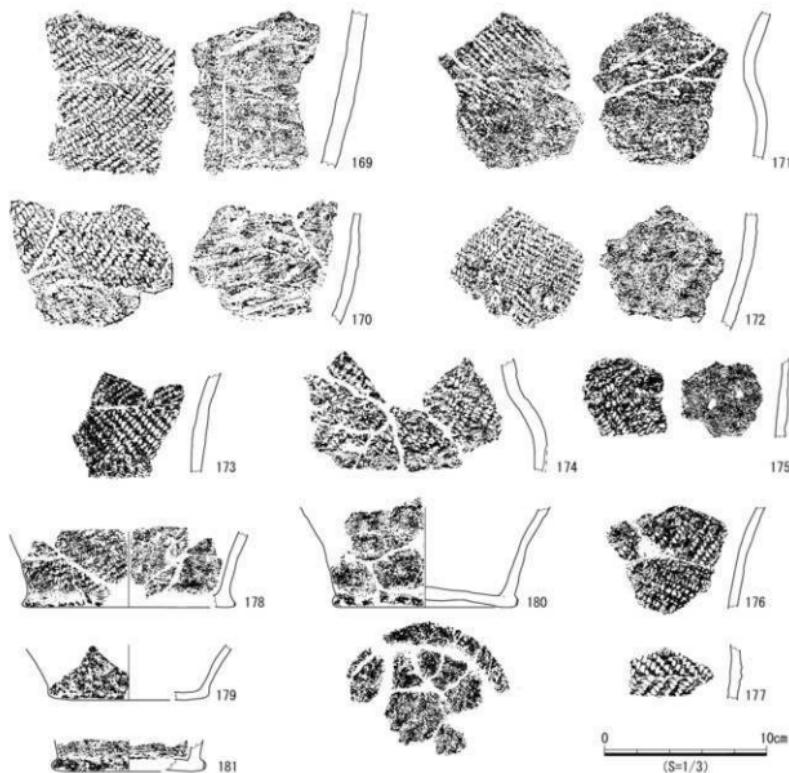


図36 包含層等出土縄文土器 (4)

面若しくは両面に素材面が大きく残る。特に192と193は、剥片の縁辺を簡単に調整しただけである。197~217は、基部の抉りが丸くて深い1b類である。197~201は、正三角形状のもので、やや小さなものが多い。202~205は、長さよりも幅が大きい横長の石鏃で、206~217は、縱長の石鏃である。200と202は左右非対称の形状で、215は片面に素材面が大きく残る。218と219は、基部の抉りがく字状で浅い1c類である。218は正三角形状、219は縱長の石鏃である。220~224は、基部の抉りがく字状で深い1d類である。220~222は横長、223は正三角形状、224は縱長の石鏃である。225と226は、基部の抉り

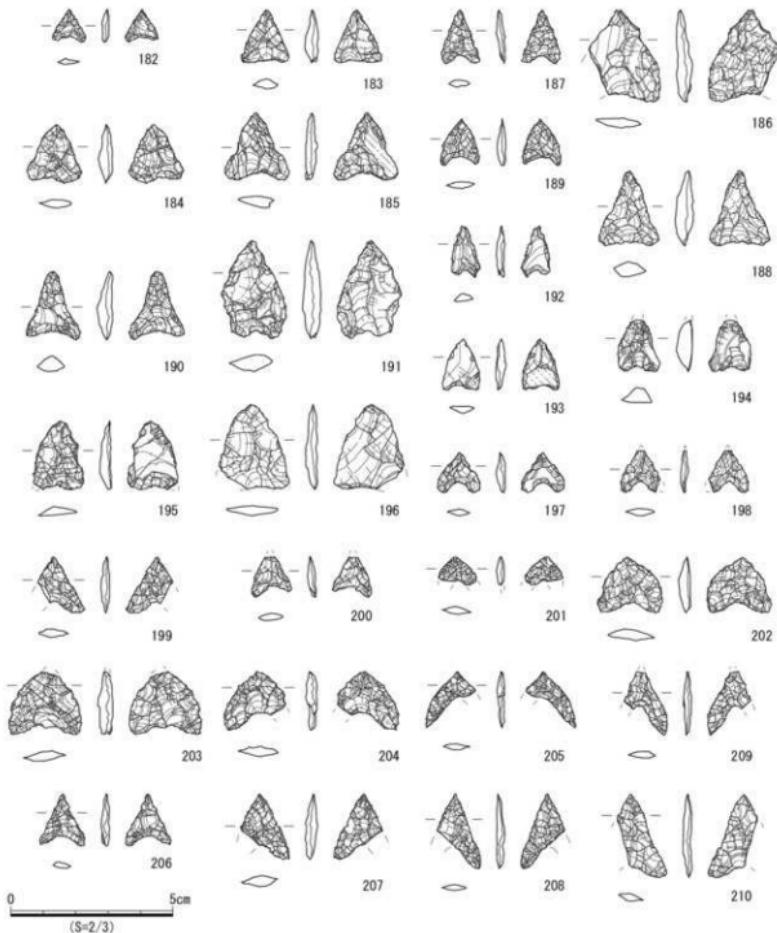


図37 包含層等出土石器（1）

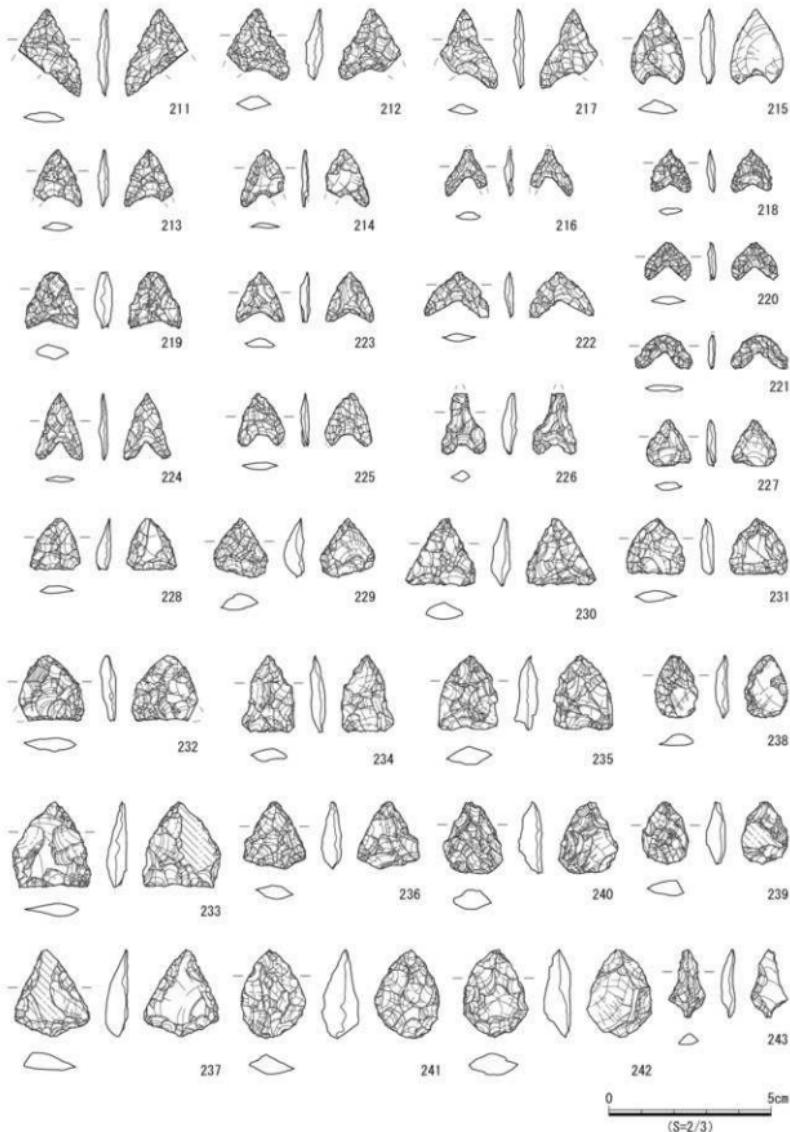


図38 包含層等出土石器（2）

がU字状となる1e類である。いずれも縦長の石鏃であるが、226は左右非対称の形状である。227～235は、基部に抉りがなく直線的な2類である。227～233は正三角形状、234と235は縦長の石鏃である。227～230、233～235など左右非対称となる形状のものが多く、227と233は片面に素材面が大きく残る。233は調整剥離も粗いことから、未完成の可能性がある。236～242は、基部が外湾する3類で、他の類と比較して厚いことから、未完成の可能性がある。236は正三角形状であるが、他は縦長の石鏃である。241は左右非対称の形状で、237と238、242は片面若しくは両面に素材面が大きく残る。243は、基部が突出する4類で、片面に素材面が大きく残る。

石錐（244～250）

244～246は、剥片の一端に簡単な調整を加えた1類である。247～249は、縦長剥片の側辺を調整して錐部を作り出した2類で、249は大型のものである。250は、基部と錐部の境が明瞭な3類であるが、鉤手状の突起が作り出されており、異形石器とするべきかもしれない。

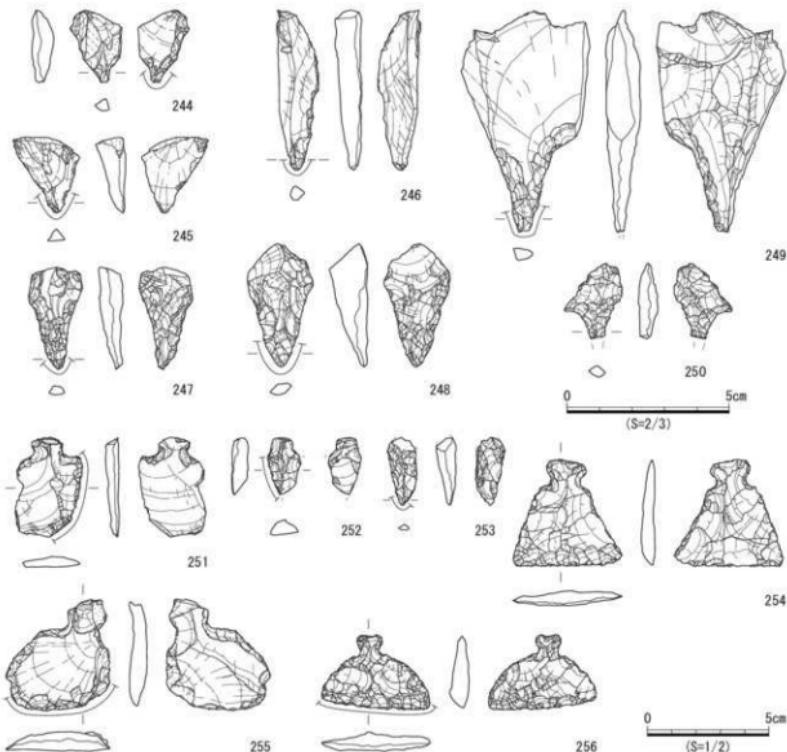


図39 包含層等出土石器（3）

石匙 (251~256)

251~253は縦形で、251と252は一方の側辺の背面側に、253は両側辺の両面に調整を加えて刃部を作り出す。253は摘み部を欠き、先端がやや摩耗している。254は略三角形で、下端の両面に調整を加えて、直線的な刃部を作り出す。255と256は横形で、255の摘みは偏った位置にあり、下端の背面側に調

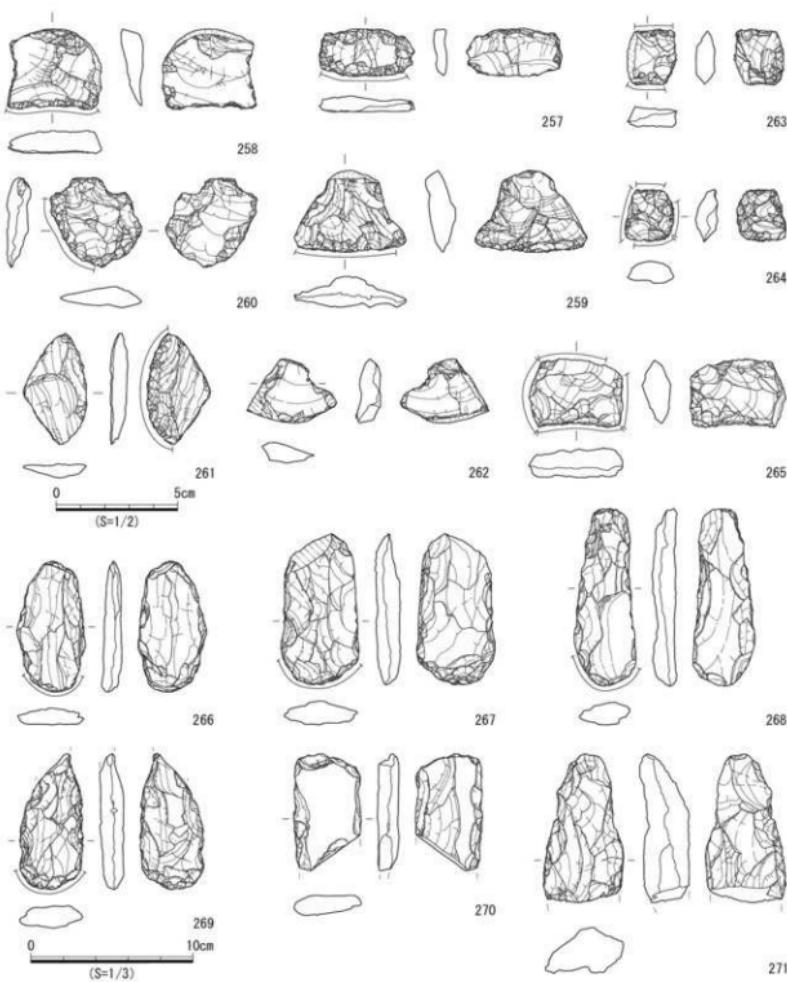


図40 包含層等出土石器 (4)

整を加えて、外湾した刃部を作り出す。256の摘みは中央に位置し、全面の両面に調整を加えて、下端に直線的な刃部を作り出す。

スクレイバー (257~262)

257~259は、横長剥片の末端辺に刃部を作り出すが、257と258は背面に、259は両面に調整を加えている。260は、剥片の側辺の両面に、261は縦長剥片の側辺の背面側に調整を加えて刃部を作り出す。262は、剥片の側辺に抉り状の刃部を作り出す。

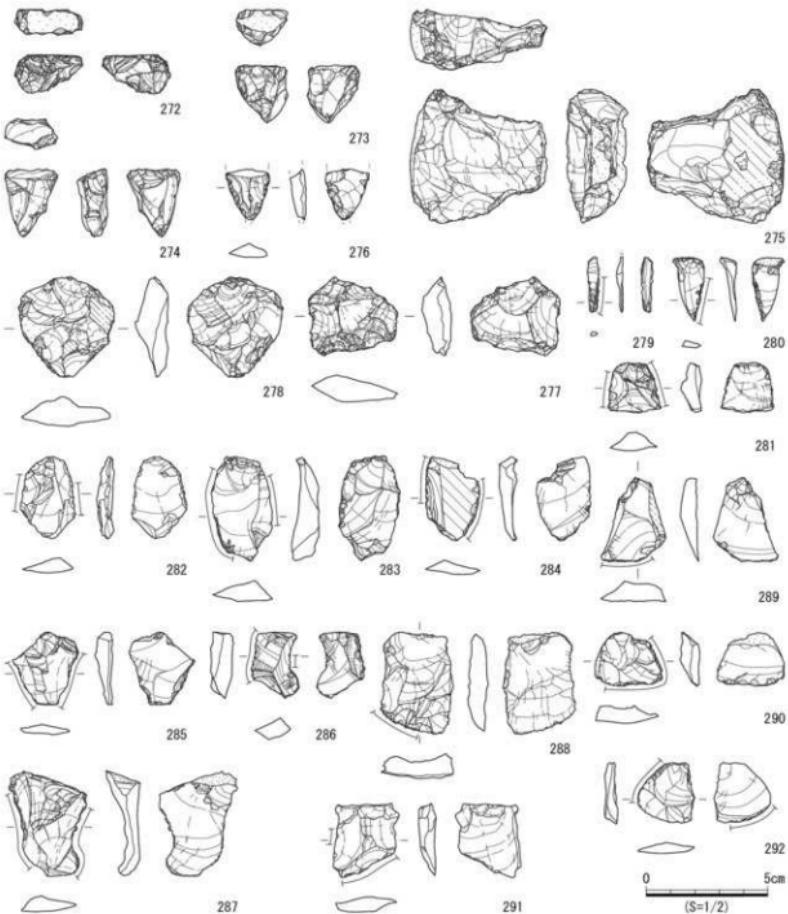


図41 包含層等出土石器 (5)

楔形石器 (263~265)

263は相対する2辺に、264と265は4辺に、潰れ状や階段状の剥離が認められる。263と264は、一边2cmほどの正方形で、265は長辺が3cmを超える長方形である。

打製石斧 (266~271)

266~270は短冊形で、270の片面には装着痕と思われる摩耗痕が認められる。271は刃部を欠くが、撥型と思われる。

石核 (272~275)

272と273は、自然面を打面とし、作業面を2面持つ。274は、剥離面を打面とし、作業面を3面持つ。275は、自然面と剥離面を打面とし、作業面を2面持つ。

調整剥離を施す剥片 (RF、276~278)

276は、両側辺の背面側に調整剥離を施すが、欠損が1/2以上あると判断しRFに含めた。277と278は、全面に粗い調整剥離を施す。

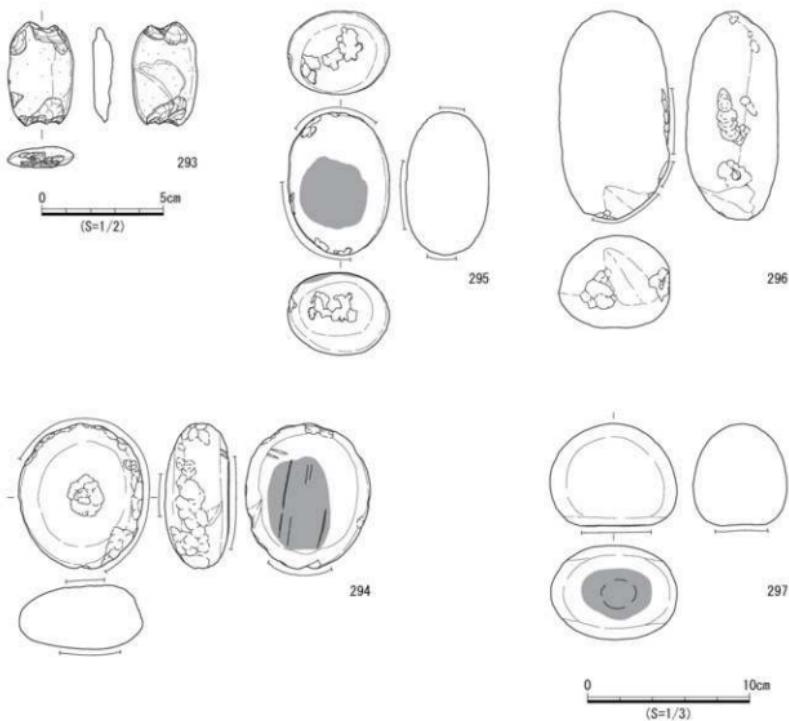


図42 包含層等出土石器 (6)

微細な剥離痕を有する剥片 (MF、279~292)

279と280は一方の側辺に、281~287は両側辺に、288と289は末端辺に、290~292は側辺と末端辺に微細な剥離痕が確認できる。

石錘 (293)

293は、敲打により紐掛け部を作り出す打欠石錘である。遺構から出土した71や77と比較して、やや小型である。

磨石類 (294~297)

294は、平坦な面に凹みや磨痕があり、側面には敲打痕が確認できる。295は、平坦な面に磨痕が、長軸の両端に敲打痕が確認できる。296は、側面に磨痕、長軸の端部に敲打痕のような凹みが確認できる。297は、やや凹んだ面が磨面のように平滑である。

(3) 古代から近世の遺物

古代以降の遺物は、縄文時代の遺物と比較して非常に少ないとみか、発掘区内において特定の出土傾向はなく、散在して出土した。土師器や須恵器、山茶碗、錢貨が出土した。

298は、8世紀頃の土師器甕で、口縁部が強く外反する。299は、同一個体の可能性がある胴部片である。300は、8世紀頃の須恵器坏の底部片である。301は、北部系山茶碗の底部片で、15世紀頃のものと思われる。302は、幕末（19世紀）に流通した「文久永寶」（草文）である。

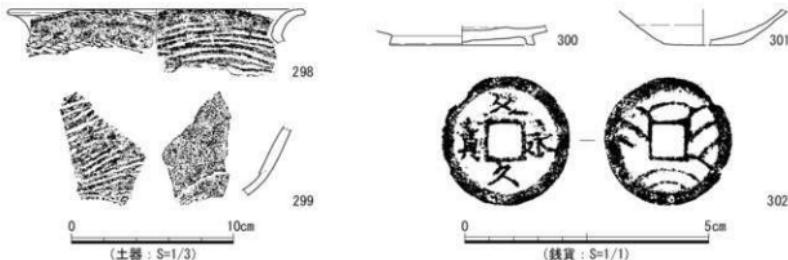


図43 包含層等出土古代から近世の遺物

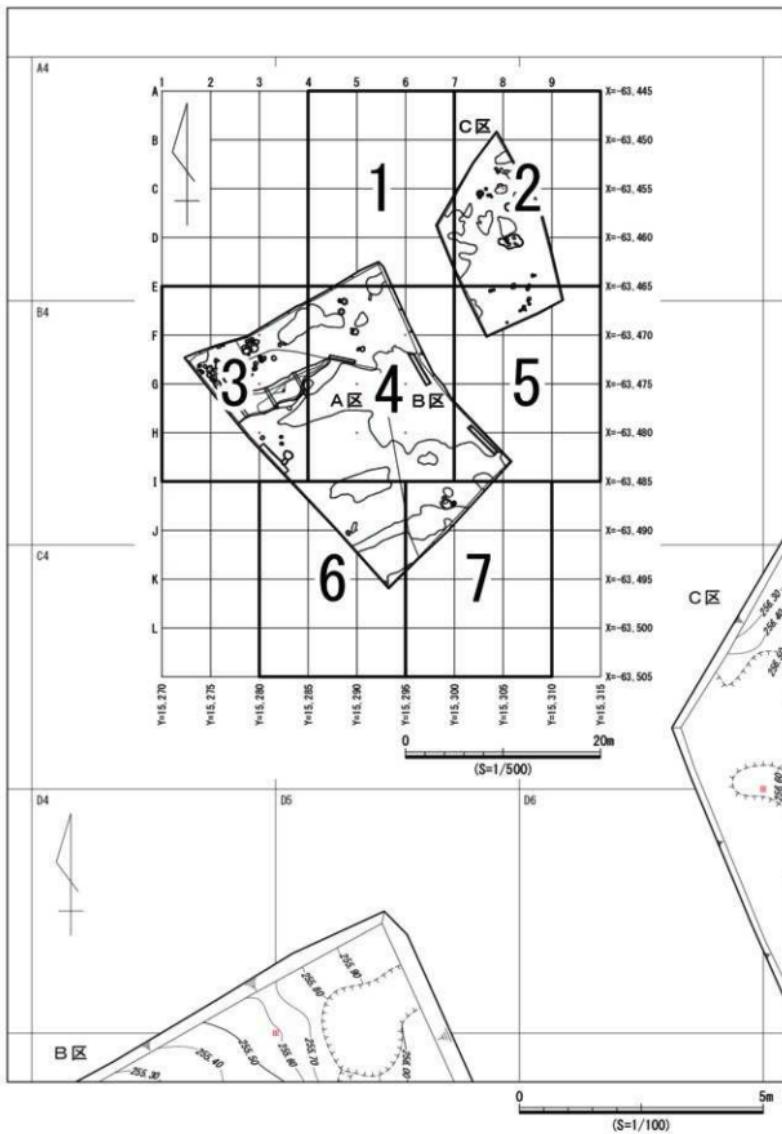


図44 遺構全体図分割図（1）

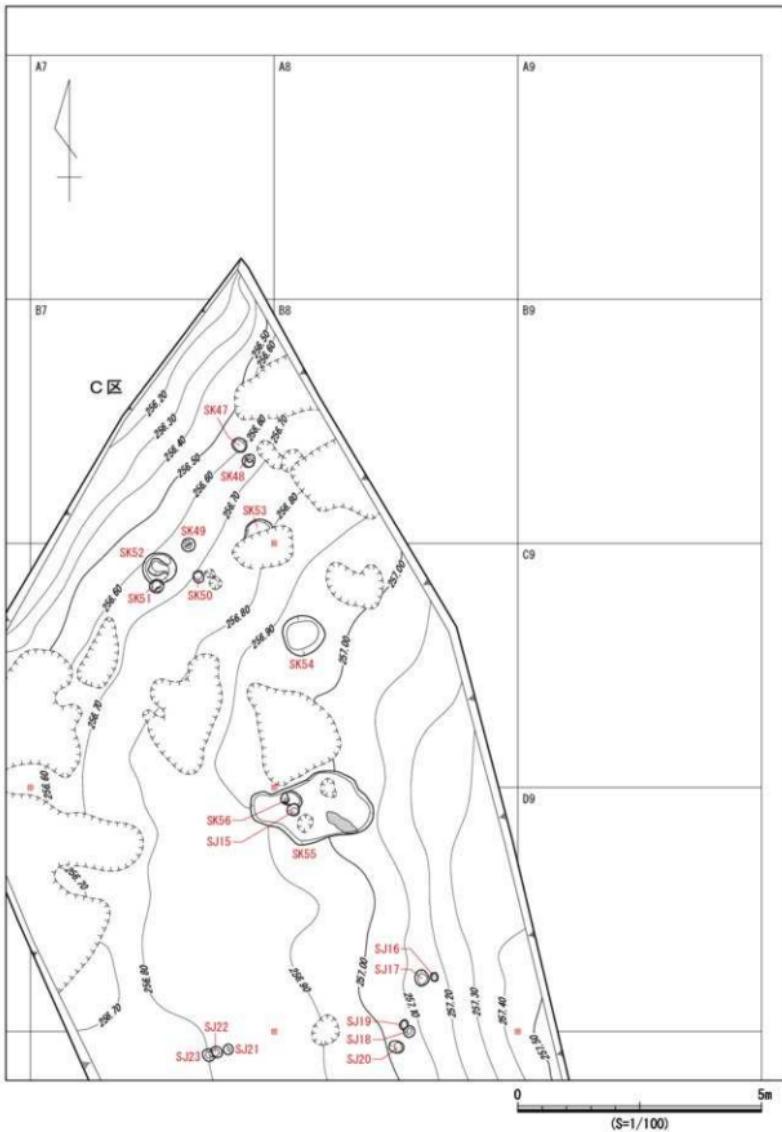


図45 遺構全体図分割図（2）

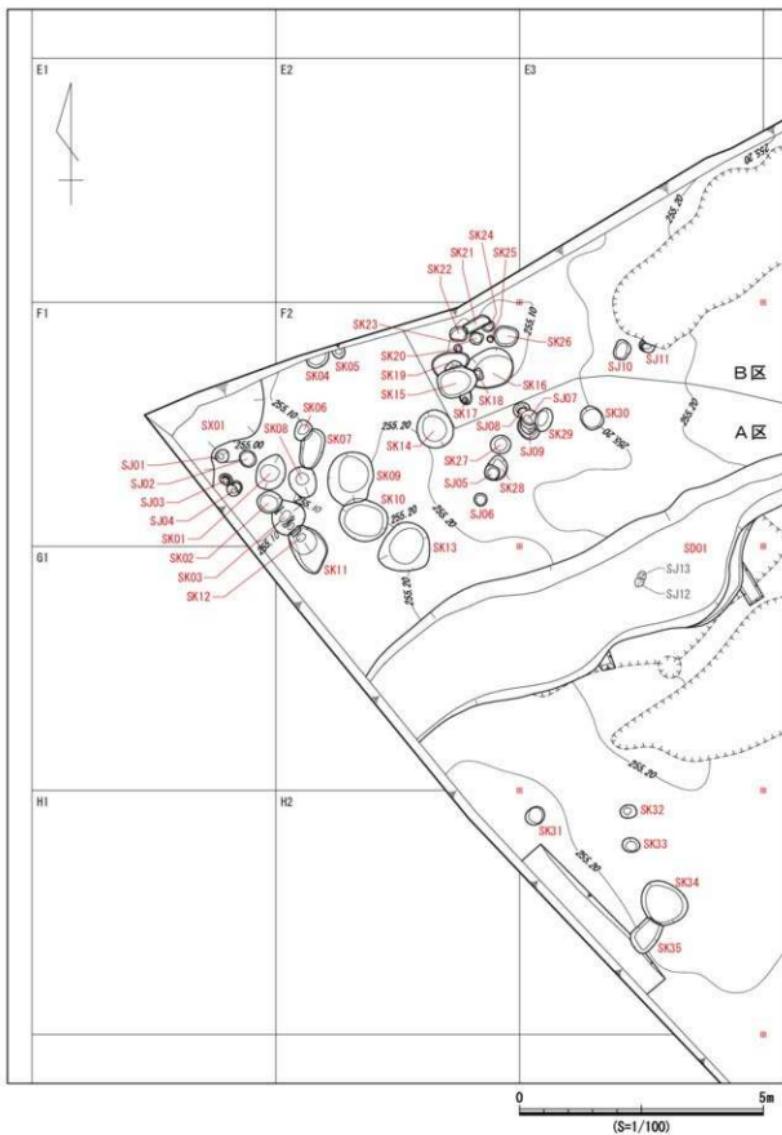


図46 遺構全体図分割図（3）

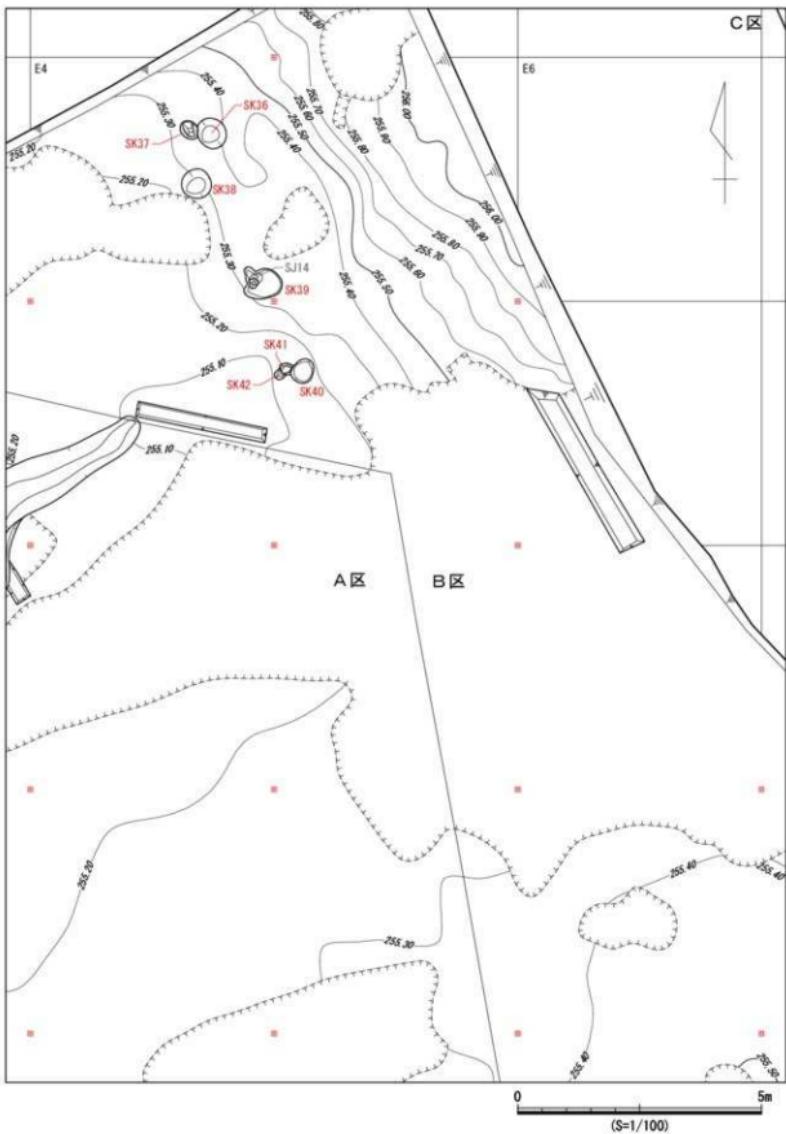


図47 遺構全体図分割図（4）

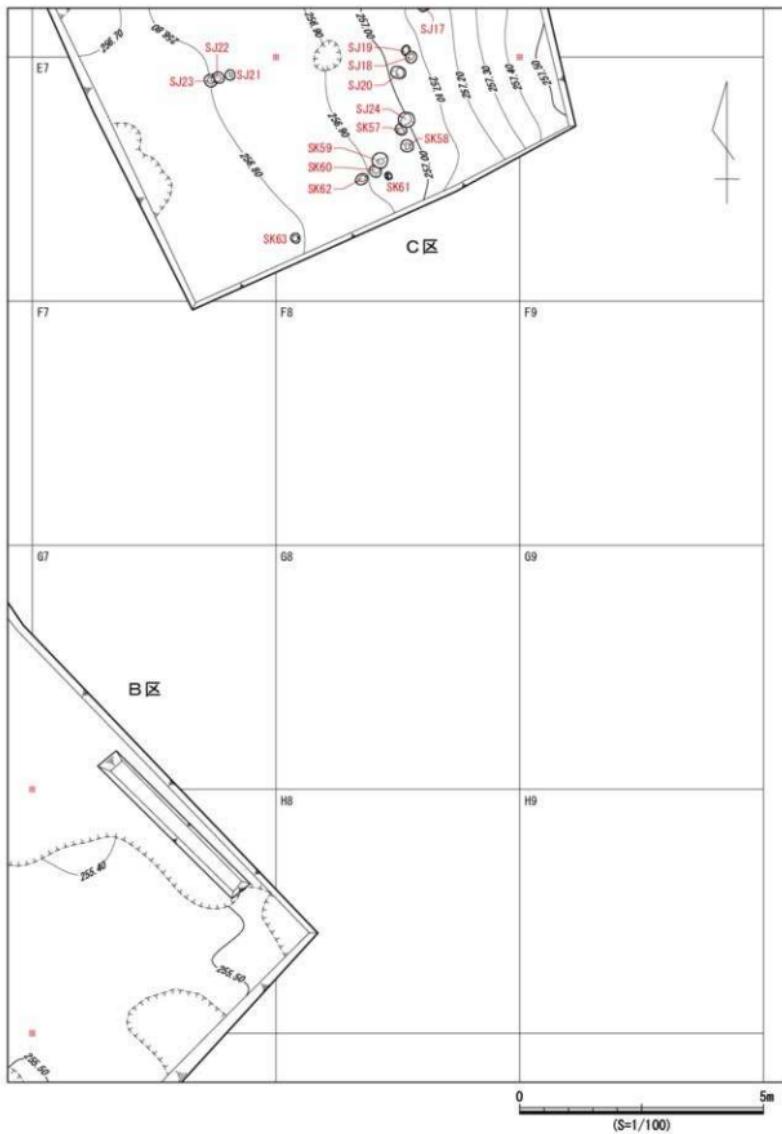


図48 遺構全体図分割図（5）

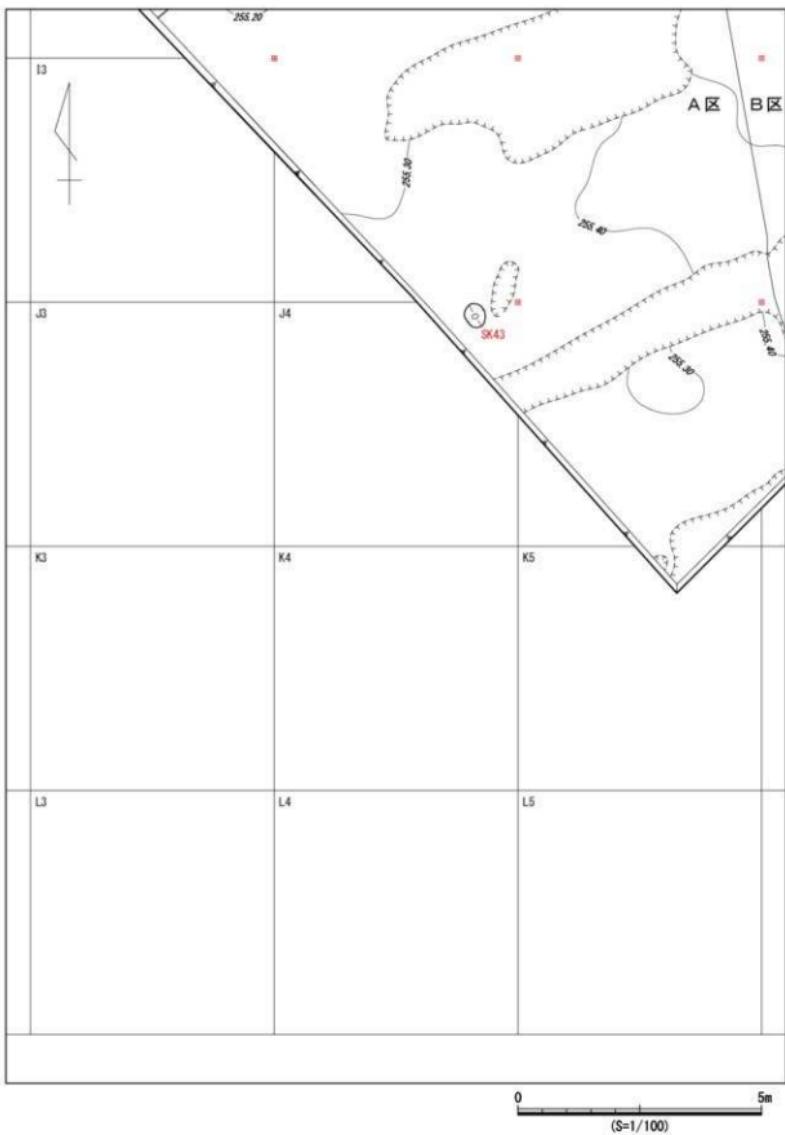


図49 遺構全体図分割図（6）

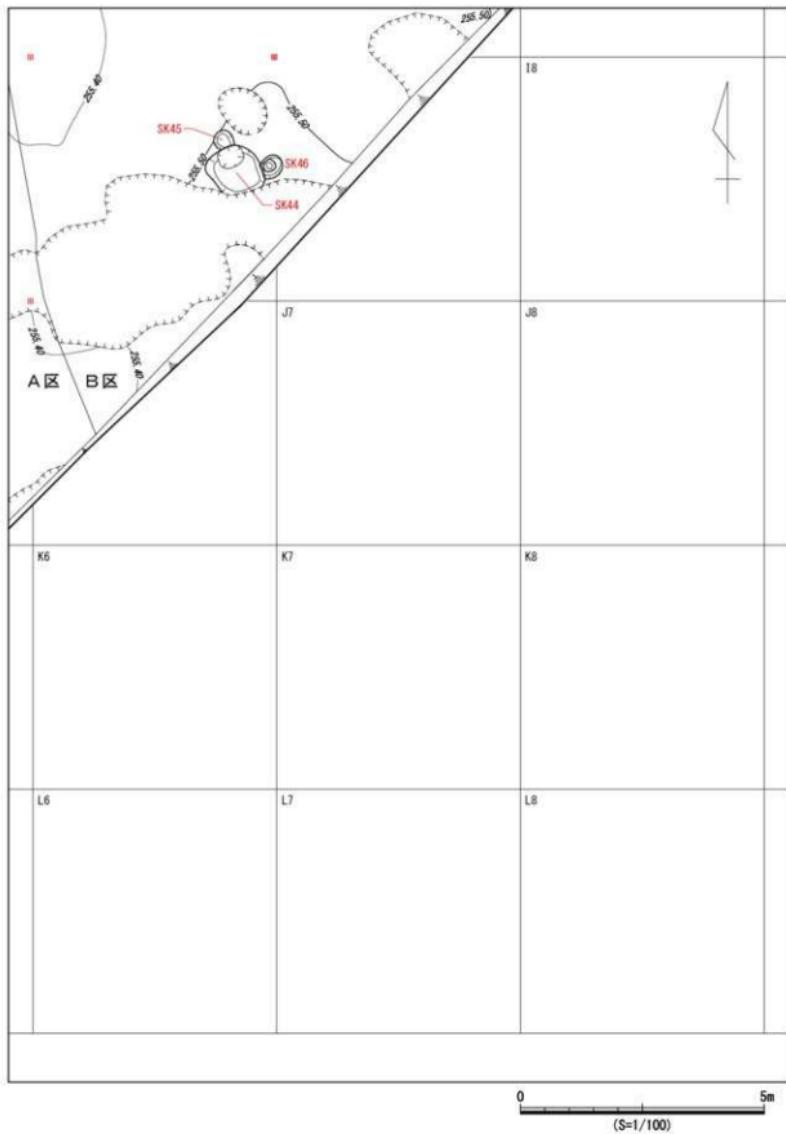


図50 造構全体図分割図（7）

表7 土器埋設造構一覧

| 遺構番号 | 埋設遺構番号 | 調査 「F」 形状 | 平面 形状 | 上端 長軸長 | 上端 短軸長 | 下端 長軸長 | 下端 短軸長 | 深さ | 断面 形状 | 埋土 | 埋設形態 | 重複関係 新○●古 | 出土 遺物 | 時代 | 伴同 | 図版 | |
|------|--------|-----------------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------|----------|----|------|--------------|-------------------|-------|------|-------|-----|
| SJ01 | S071 | F1 | I | 0.28 | 0.27 | 0.14 | 0.12 | 0.17 | b | 2層 | D | Bc3 | | J,S | 縄文前期 | 11・12 | 1 |
| SJ02 | S070 | F1 | I | 0.36 | 0.32 | 0.28 | 0.27 | 0.16 | c | 2層 | D | A2 | | J,S,R | 縄文前期 | 11・12 | 1 |
| SJ03 | S069 | F1 | 2 | (0.29) | 0.22 | (0.12) | 0.09 | 0.11 | e | 2層 | D | Bb3 | SJ04▷ | J,S | 縄文前期 | 11・12 | 1・2 |
| SJ04 | S068 | F1 | 2 | 0.33 | 0.26 | 0.11 | 0.09 | 0.10 | e | 2層 | D | Ba3 | >SJ03 | J,S | 縄文前期 | 11・12 | 1・2 |
| SJ05 | S079 | F2 | I | 0.34 | 0.30 | 0.24 | 0.23 | 0.14 | c | 2層 | D | Bb3 | SK20▷ | J | 縄文前期 | 13 | 2 |
| SJ06 | S057 | F2 | I | 0.27 | 0.26 | 0.20 | 0.19 | 0.07 | c | 1層 | A | Ba4 | | J | 縄文前期 | 13 | 2 |
| SJ07 | S081 | F2 | I | 0.38 | (0.36) | 0.20 | 0.13 | 0.20 | c | 2層 | D | Ba1 | SK20▷; SJ08, SJ09 | J,S | 縄文前期 | 14 | 2・3 |
| SJ08 | S080 | F2-3 | I | 0.34 | (0.28) | 0.16 | 0.08 | 0.11 | e | 2層 | D | A3 | SJ07▷ | J,S,R | 縄文前期 | 14・15 | 3 |
| SJ09 | S082 | F2-3 | 2 | (0.53) | (0.37) | 0.09 | 0.06 | 0.21 | e | 2層 | D | Ba3 | SK29, SJ07▷ | J,S | 縄文前期 | 14・15 | 3 |
| SJ10 | S018 | F3 | 2 | 0.40 | 0.31 | 0.33 | 0.21 | 0.09 | b | 3層 | D | A3 | | J | 縄文前期 | 16 | 3・4 |
| SJ11 | S017 | F3 | 2 | (0.32) | 0.17 | (0.14) | 0.11 | 0.09 | b | 1層 | A | A3 | | J,S | 縄文前期 | 16 | 3・4 |
| SJ12 | S083 | G3 | 6 | (0.26) | 0.18 | (0.12) | 0.08 | 0.15 | c | 3層 | D | A4 | >SD01, SJ13 | J,S | 縄文前期 | 17 | 4 |
| SJ13 | S084 | G3 | 1 | (0.18) | 0.17 | (0.09) | 0.08 | 0.21 | e | 2層 | D | Ba3 | SJ12▷; SD01 | J | 縄文前期 | 17 | 4 |
| SJ14 | S019 | E4 | 2 | 0.29 | 0.21 | 0.13 | 0.12 | 0.10 | e | 1層 | A | Ba2 | >SK39 | J,S,R | 縄文前期 | 18 | 4 |
| SJ15 | S125 | D8 | I | 0.25 | 0.24 | 0.16 | 0.13 | 0.09 | c | 2層 | D | A3 | >SK55, SK56 | J,S,R | 縄文前期 | 19 | 4 |
| SJ16 | S086 | D8 | 2 | 0.18 | 0.14 | 0.14 | 0.1 | 0.05 | c | 2層 | D | Bc3 | | J,S | 縄文前期 | 20 | 4・5 |
| SJ17 | S087 | D8 | 1 | 0.33 | 0.28 | 0.19 | 0.18 | 0.06 | b | 2層 | D | Ba2 | | J,S | 縄文前期 | 20 | 5 |
| SJ18 | S088 | D-E8 | 1 | 0.24 | 0.23 | 0.12 | 0.12 | 0.13 | e | 2層 | D | A4 | >SJ19 | J,S | 縄文前期 | 20・21 | 5 |
| SJ19 | S089 | D8 | 2 | 0.22 | 0.18 | 0.16 | 0.13 | 0.06 | c | 2層 | D | Ba3 | SJ18▷ | J,S | 縄文前期 | 20・21 | 5 |
| SJ20 | S090 | E8 | 2 | 0.30 | 0.24 | 0.18 | 0.12 | 0.04 | e | 2層 | D | Ba4 | | J,S | 縄文前期 | 20・21 | 6 |
| SJ21 | S099 | E7 | I | 0.22 | 0.20 | 0.06 | 0.06 | 0.10 | b | 2層 | D | Ba3 | | J,S,C | 縄文前期 | 22 | 6 |
| SJ22 | S100 | E7 | I | 0.27 | 0.24 | 0.13 | 0.12 | 0.14 | b | 2層 | D | A3 | >SJ23 | J,S | 縄文前期 | 22 | 6 |
| SJ23 | S101 | E7 | I | 0.26 | 0.24 | 0.15 | 0.14 | 0.14 | b | 2層 | D | Ba3 | SJ22▷ | J,S | 縄文前期 | 22 | 6 |
| SJ24 | S091 | E8 | I | 0.32 | 0.32 | 0.22 | 0.18 | 0.07 | b | 2層 | D | Ba3 | >SK57 | J,S | 縄文前期 | 23 | 6 |

※土器埋設造構の埋設形態について

以下のように埋設形態を記号化し、表中に記載した。

A : 简状の形態を保った状態で、土器を埋設したもの

B : 土器を壊した後、土器片を復元的に埋設配置したもので、土器片の配置状況を次のように細分した。

a : 土器片を円や弧状に復元的に配置する。

b : 方形など復元的ではない配置。

c : 部分的に土器片を配置する。

また、埋設した土器の部位を以下のように表示した。

1 : 口縁部 2 : 口縁部から胴部 3 : 胴部（底抜きを含む） 4 : 底部（胴部中位以上の欠損）

表8 溝状造構一覧

| 遺構番号 | 埋設遺構番号 | 調査 「F」 形状 | 平面 形状 | 上端 長軸長 | 上端 短軸長 | 下端 長軸長 | 下端 短軸長 | 深さ | 断面 形状 | 埋土 | 埋設形態 | 重複関係 新○●古 | 出土 遺物 | 時代 | 伴同 | 図版 | |
|------|--------|-----------------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------|----------|----|------|--------------|----------|-----|------|----|---|
| S001 | S943 | F2-G4 | 5 | 11.45 | 2.49 | 11.4 | 1.95 | 0.30 | f | 2層 | C | SJ12, SJ13▷ | | J,S | 縄文前期 | 24 | 7 |

表9 土坑、不明造構一覧

| 遺構 番号 | 現用遺 構番号 | 調査 年 | 平面 形状 | 上端 長軸長 | 下端 長軸長 | 下端 短軸長 | 深さ | 断面 形状 | 埋土 | 重複關係 | 新・古 | 出土 遺物 | 時代 | 種類 | 回数 |
|----------|------------|---------|----------|-----------|-----------|-----------|--------|----------|----|------|-----|-----------|------------------------|-------|----|
| SK01 | 5063 | F1-2 | 2 | 0.75 | 0.59 | 0.36 | 0.34 | 0.27 | b | 1層 | A | J, S | 縄文前期 | 24 | - |
| SK02 | 5064 | F1-2 | 1 | 0.51 | 0.44 | 0.36 | 0.31 | 0.24 | c | 1層 | A | J | 縄文前期 | - | - |
| SK03 | 5065 | F1-2 | 1 | 0.71 | (0.69) | 0.28 | 0.17 | 0.30 | f | 1層 | A | J, S | 縄文前期 | 25 | - |
| SK04 | 5059 | F2 | 6 | (0.48) | (0.22) | (0.36) | (0.15) | 0.23 | c | 1層 | A | J, S | 縄文前期 | - | - |
| SK05 | 5058 | F2 | 6 | (0.26) | 0.17 | (0.10) | 0.08 | 0.17 | d | 1層 | A | - | 不明 | - | - |
| SK06 | 5060 | F2 | 5 | 0.42 | 0.34 | 0.23 | 0.18 | 0.24 | d | 1層 | A | J | 縄文前期 | - | - |
| SK07 | 5061 | F2 | 2 | 0.82 | 0.47 | 0.77 | 0.35 | 0.07 | b | 1層 | A | J, S | SK06, SK08 | - | - |
| SK08 | 5062 | F2 | 2 | 0.68 | 0.55 | 0.26 | 0.24 | 0.14 | a | 1層 | A | J, S | SK07 | - | - |
| SK09 | 5054 | F2 | 1 | 1.13 | 0.95 | 0.73 | 0.61 | 0.27 | b | 1層 | A | J | SK10 | 25 | - |
| SK10 | 5055 | F2 | 1 | 0.99 | 0.85 | 0.79 | 0.62 | 0.20 | c | 1層 | A | J, S | SK09 | 26 | - |
| SK11 | 5066 | F-G2 | 5 | (0.98) | (0.68) | 0.54 | 0.09 | c | 1層 | A | J | SK03>SK12 | 5 | 縄文前期 | |
| SK12 | 5084 | F-G2 | 6 | (0.57) | 0.50 | (0.20) | 0.14 | 0.20 | d | 1層 | A | J | SK03, SK11 | - | - |
| SK13 | 5056 | F-G2 | 1 | 1.11 | 1.00 | 0.74 | 0.61 | 0.5 | c | 1層 | A | J, S | SK14 | 26 | 7 |
| SK14 | 5053 | F2 | 1 | 0.78 | 0.74 | 0.54 | 0.48 | 0.45 | c | 1層 | A | J, S | SK15 | 27 | - |
| SK15 | 5023 | F2 | 2 | 0.81 | 0.59 | 0.61 | 0.48 | 0.48 | c | 1層 | A | J, S | SK16, SK17, SK19, SK18 | - | - |
| SK16 | 5022 | F2 | 2 | (0.96) | (0.78) | (0.77) | 0.62 | 0.05 | b | 1層 | A | J, S | SK15>SK19, SK18 | - | - |
| SK17 | 5024 | F2 | 6 | (0.24) | 0.22 | (0.20) | 0.19 | 0.06 | a | 1層 | A | S | SK15 | - | - |
| SK18 | 5036 | F2 | 6 | (0.24) | 0.14 | (0.16) | 0.01 | 0.05 | b | 1層 | A | J, S | SK16, SK15 | - | - |
| SK19 | 5028 | F2 | 2 | 0.78 | (0.36) | 0.71 | (0.32) | 0.64 | e | 2層 | B | J, S | SK16, SK15 | - | - |
| SK20 | 5029 | F2 | 1 | 0.17 | 0.15 | 0.10 | 0.09 | 0.11 | b | 1層 | A | - | 不明 | - | - |
| SK21 | 5031 | F2 | 4 | 0.57 | 0.23 | 0.53 | 0.16 | 0.05 | b | 1層 | A | J, S | SK24, SK22 | - | - |
| SK22 | 5035 | F2 | 2 | 0.35 | 0.29 | (0.29) | 0.21 | 0.06 | c | 1層 | A | J, S | SK21 | - | - |
| SK23 | 5030 | F2 | 1 | 0.29 | 0.27 | 0.20 | 0.19 | 0.04 | b | 1層 | A | - | 不明 | - | - |
| SK24 | 5032 | F2 | 6 | (0.24) | 0.17 | (0.16) | 0.14 | 0.02 | c | 1層 | A | J, S | SK21 | - | - |
| SK25 | 5033 | F2 | 1 | 0.14 | 0.12 | 0.10 | 0.10 | 0.02 | a | 1層 | A | - | 不明 | - | - |
| SK26 | 5034 | F2 | 2 | 0.50 | 0.41 | 0.42 | 0.31 | 0.04 | a | 1層 | A | - | 不明 | - | - |
| SK27 | 5051 | F2 | 1 | 0.42 | 0.38 | 0.28 | 0.25 | 0.17 | c | 1層 | A | J, S | SK28 | - | - |
| SK28 | 5082 | F2 | 5 | 0.57 | 0.40 | 0.41 | 0.30 | 0.07 | a | 1層 | A | J, S | SJ05 | 27 | - |
| SK29 | 5040 | F3 | 2 | 0.50 | 0.34 | 0.33 | 0.20 | 0.13 | b | 1層 | A | J, S | SJ07, SJ09 | - | - |
| SK30 | 5037 | F3 | 1 | 0.50 | 0.44 | 0.39 | 0.38 | 0.10 | c | 1層 | A | J, S | SK31 | 28 | - |
| SK31 | 5045 | H3 | 1 | 0.41 | 0.35 | 0.32 | 0.30 | 0.22 | c | 1層 | A | - | 不明 | 28 | - |
| SK32 | 5075 | H3 | 2 | 0.34 | 0.27 | 0.17 | 0.13 | 0.20 | c | 1層 | A | - | 不明 | 28 | - |
| SK33 | 5076 | H3 | 2 | 0.37 | 0.29 | 0.23 | 0.17 | 0.24 | c | 1層 | A | J | SK34 | 28 | - |
| SK34 | 5077 | H3 | 1 | 0.98 | 0.82 | 0.82 | 0.72 | 0.17 | b | 1層 | A | J | SK35 | - | - |
| SK35 | 5078 | H3 | 4 | (0.67) | 0.49 | (0.57) | 0.34 | 0.14 | b | 1層 | A | J, S | SK34 | - | - |
| SK36 | 5012 | H4 | 1 | 0.65 | 0.58 | 0.37 | 0.34 | 0.15 | b | 1層 | A | J, S | SK37 | - | - |
| SK37 | 5013 | H4 | 2 | 0.44 | 0.34 | 0.33 | 0.24 | 0.07 | b | 1層 | A | J, S | SK36 | - | - |
| SK38 | 5011 | H4 | 1 | 0.60 | 0.60 | 0.41 | 0.31 | 0.14 | b | 1層 | A | J, S | SK39 | - | - |
| SK39 | 5020 | H5-5 | 5 | 0.82 | 0.76 | 0.72 | 0.63 | 0.10 | f | 1層 | A | J, S | SJ14 | 29 | - |
| SK40 | 5025 | F5 | 1 | 0.51 | 0.43 | 0.40 | 0.37 | 0.15 | c | 1層 | A | J, S | SK41 | - | - |
| SK41 | 5026 | F5 | 6 | (0.25) | 0.24 | (0.22) | 0.18 | 0.12 | c | 1層 | A | J, S | SK40>SK42 | - | - |
| SK42 | 5027 | F5 | 6 | (0.19) | 0.17 | (0.11) | 0.11 | 0.08 | b | 1層 | A | S | SK41 | - | - |
| SK43 | 5046 | J4 | 2 | 0.50 | 0.41 | 0.13 | 0.10 | 0.12 | d | 3層 | D | - | 不明 | - | - |
| SK44 | 5003 | I6 | 3 | (1.07) | 1.04 | (0.81) | 0.78 | 0.13 | b | 1層 | A | J, S | SK45 | - | - |
| SK45 | 5004 | I6 | 1 | (0.40) | 0.35 | (0.29) | 0.24 | 0.06 | b | 1層 | A | - | 不明 | - | - |
| SK46 | 5005 | I6-7 | 1 | (0.48) | 0.43 | (0.44) | 0.32 | 0.21 | e | 1層 | A | J, S | SK44 | - | - |
| SK47 | 5109 | B7 | 1 | 0.31 | 0.28 | 0.25 | 0.19 | 0.10 | c | 1層 | A | - | 不明 | - | - |
| SK48 | S109 | B7 | 1 | 0.30 | 0.27 | 0.16 | 0.14 | 0.14 | e | 1層 | A | - | 不明 | - | - |
| SK49 | S115 | B-C7 | 1 | 0.31 | 0.28 | 0.19 | 0.15 | 0.09 | e | 1層 | A | - | 不明 | - | - |
| SK50 | S120 | C7 | 1 | 0.25 | 0.21 | 0.17 | 0.17 | 0.09 | c | 1層 | A | - | 不明 | - | - |
| SK51 | S116 | C7 | 1 | 0.29 | 0.28 | 0.08 | 0.07 | 0.32 | c | 1層 | A | J | SK52 | - | - |
| SK52 | S117 | C7 | 1 | 0.66 | (0.66) | 0.54 | 0.36 | 0.20 | e | 1層 | A | J | SK53 | - | - |
| SK53 | S114 | B7 | 6 | 0.63 | (0.34) | 0.49 | (0.23) | 0.08 | c | 1層 | A | J | SK54 | - | - |
| SK54 | S104 | C8 | 1 | 0.85 | 0.82 | 0.67 | 0.66 | 0.17 | a | 1層 | A | J, C | SK55 | 29 | - |
| SK55 | S109 | C7-D8 | 5 | 2.53 | 1.48 | 2.39 | 1.45 | 0.07 | b | 2層 | B | J, S | SJ15>SK56 | 29 | - |
| SK56 | S129 | D8 | 2 | 0.45 | (0.30) | (0.08) | 0.07 | 0.08 | e | 1層 | A | J | SK55, SJ15 | - | - |
| SK57 | S092 | E8 | 1 | 0.24 | (0.20) | 0.14 | (0.14) | 0.05 | a | 1層 | A | J | SK58 | - | - |
| SK58 | S093 | E8 | 1 | 0.29 | 0.26 | 0.13 | 0.10 | 0.10 | a | 1層 | A | - | 不明 | - | - |
| SK59 | S095 | E8 | 1 | 0.33 | 0.32 | 0.13 | 0.12 | 0.22 | b | 1層 | A | J | SK60 | 30 | - |
| SK60 | S094 | E8 | 1 | 0.25 | 0.25 | 0.15 | 0.13 | 0.09 | b | 1層 | A | J | SK59 | - | - |
| SK61 | S096 | E8 | 1 | 0.16 | 0.14 | 0.08 | 0.04 | 0.13 | e | 1層 | A | - | 不明 | - | - |
| SK62 | S097 | E8 | 1 | 0.26 | 0.22 | 0.15 | 0.12 | 0.11 | c | 1層 | A | J | SK63 | 30 | - |
| SK63 | S098 | E8 | 1 | 0.22 | 0.19 | 0.12 | 0.10 | 0.10 | c | 1層 | A | J | SK64 | 30 | - |
| SK64 | S074 | F1 | 6 | (1.06) | - | - | - | 0.13 | g | 6明 | E | S, J | SK65 | 31-32 | 7 |

表10 繩文土器觀察表 (1)

| 掲載 No. | 整理 No. | 時期 器種 | 地区 遺構 | 層位 | 口径 底径 器高 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 成形・調整 (内面) (外側) (底面) | 文様 | 備考 | 挿 図 No. | |
|-----------|---------------|----------|----------|------------------------|----------------|--|----|-----------------------------------|-------------------------------|------------------------|----------------------------|---------------|----|
| | | | | | | | | (内面) (外側) (底面) | | | | | |
| 1 | 428-1 他 | 前期 深鉢 | SJ01 | - 1 | - | 密(径3mm以下)の長石、石 英、チャート、雲母を含む (x2) | 良好 | 10Y85/3 10Y86/4 10Y85/1 | ヨコナデ/繩文 LR, RL | なし | 外面保付着、羽状 繩文、2と同一個体 | 12 | 10 |
| 2 | 428-10 他 | 前期 深鉢 | SJ01 | b | - | 密(径3mm以下)の長石、石 英、チャートを多く含む | 良好 | 10Y84/3 10Y84/2 10Y85/2 | ヨコナデ/繩文 LR, RL | なし | 羽状繩文、1と同 一個体 | 12 | 10 |
| 3 | 427-2 他 | 前期 深鉢 | SJ02 | - a | 24.4 | 密(径3mm以下)の長石、石 英、チャートを多く含む | 普通 | 10Y87/1 10Y87/4 10Y87/3 | ヨコナデ/ヨコ ナデ、繩文LR, RL | 帯 | 外面保付着、羽状 繩文 | 12 | 8 |
| 4 | 427-29 他 | 前期 深鉢 | SJ02 | b | - | 密(径3mm以下)の長石、石 英、チャートを多く含む | 良好 | 7, SY86/4 10Y83/2 7, SY85/4 | ヨコナデ/ナデ 繩文 | ヘラ切り浮 繩文 | 12 | 10 | |
| 5 | 427-36 他 | 前期 深鉢 | SJ02 | 2 | - | 密(径3mm以下)の長石、石 英、チャートをやや多く含む | 良好 | 10Y83/3 10Y82/1 10Y83/2 | ヨコナデ/ナデ 繩文 | 集合沈刷、間 隔 | 12 | 10 | |
| 6 | 455-2 他 | 前期 深鉢 | SJ03 | - | - | 密(径5mm以下)の長石、石 英、チャートを多く含む | 良好 | 10Y85/2 10Y87/3 10Y85/1 | ヘラ状工具に よるヨコナデ/ 繩文 | なし | 胎土に白色、赤色 粒状が帶状に入る | 12 | 8 |
| 7 | 455-14 他 | 前期 深鉢 | SJ03 | - | - | 密(径5mm以下)の長石、石 英、チャートをわずかに含む | 良好 | 7, SY86/3 10Y86/6 10Y81/4 | ヘラ状工具に よるヨコナデ/ 繩文 | 6, 8と同一個体 | 12 | 10 | |
| 8 | 455-37 他 | 前期 深鉢 | SJ03 | 1 | - | 密(径5mm以下)の長石、石 英、チャートを多く含む | 良好 | 7, SY86/6 10Y84/2 2, SY4/1 | ヘラ状工具に よるヨコナデ/ 繩文 | なし | 6, 7と同一個体 | 12 | 10 |
| 9 | 429-2 他 | 前期 深鉢 | SJ04 | - | 12.0 | 密(径5mm以下)の長石、石 英、チャートを多く含む | 良好 | 10Y85/3 10Y87/3 10Y86/1 | 滑オサエ後ヨ コナデ/ヨコナ デ、繩文 | なし | 下部が被熱により 明色化 | 12 | 8 |
| 10 | 429-35 他 | 前期 深鉢 | SJ04 | 1 | - | 密(径3mm以下)の長石、石 英、チャート、雲母を多く含む | 良好 | 10Y88/3 10Y88/2 10Y87/2 | ヨコナデ/ヨコ ナデ | 帯(繩文) | 12 | 10 | |
| 11 | 584-4 他 | 前期 深鉢 | SJ05 | - | - | やや粗(径4mm以下)の長 石、石英、チャートを多く含む | 良好 | 10Y88/2 10Y88/2 10Y85/1 | ケズリ/繩文LR | なし | 12, 79と同一個体 | 13 | 10 |
| 12 | 584-1 他 | 前期 深鉢 | SJ05 | - | - | 密(径5mm以下)の長石、石 英、チャート、雲母を多く 含む | 良好 | 10Y85/3 10Y84/4 10Y85/2 | ケズリ/繩文LR | なし | 11, 79と同一個体 | 13 | 10 |
| 13 | 462-1 他 | 前期 深鉢 | SJ06 | - | 12.4 | やや粗(径4mm以下)の長 石、石英、チャートを多く 含む | 普通 | SY85/8 10Y85/6 10Y84/3 | ナデ/ナデ | なし | 13 | 9 | |
| 14 | 593-10-3 他 | 前期 深鉢 | SJ07 | - 1 13.1 37.7 | 29.7 | 密(径2mm以下)の長石、石 英、チャートを多く含む | 良好 | 7, SY87/6 10Y87/6 10Y86/2 | ヨコナデ/指压 痕/ヨコナデ、 指压痕 | 繩文LR, 帯 み | 外面保付着、一部 赤色化 | 14 | 8 |
| 15 | 599-1 他 | 前期 深鉢 | SJ07 | 1 | - | 密(径3mm以下)の長石、石 英、チャートを含む | 良好 | SY85/6 SY85/6 10Y83/1 | ヨコナデ/ナデ 繩文LR, 帯 | 14 | 10 | | |
| 16 | 592-2 他 | 前期 深鉢 | SJ07 | a 2 | - | 密(径5mm以下)の長石、石 英、チャートを多く含む | 良好 | SY85/6 SY86/6 SY86/6 | ナデ/ナデ | なし | 底部部 | 14 | 10 |
| 17 | 583-4 他 | 前期 深鉢 | SJ08 | - | - | 密(径5mm以下)の長石、石 英、チャートを多く含む | 不良 | 10Y85/1 10Y88/3 10Y88/3 | ヨコナデ/繩文 RL | なし | 内面爪痕あり、18 と同一個体 | 15 | 8 |
| 18 | 583-2 他 | 前期 深鉢 | SJ08 | - | - | 粗(径3mm以下)の長石、石 英、チャート、雲母を多く 含む | 良好 | 10Y88/4 10Y88/6 10Y88/6 | ヨコナデ/繩文 RL | なし | 17と同一個体 | 15 | 10 |
| 19 | 628-1 他 | 前期 深鉢 | SJ09 | - | - | 密(径2mm以下)の長石、石 英、チャートを多く含む | 良好 | 10Y85/2 10Y84/3 10Y85/4 | ヘラ状工具に よるヨコナデ/ 繩文LR, RL | なし | 羽状繩文、外面保 付着。20と同一個 体 | 15 | 10 |
| 20 | 628-4 他 | 前期 深鉢 | SJ09 | - | - | 密(径2mm以下)の長石、石 英、チャートを多く含む | 良好 | 10Y86/3 10Y86/3 10Y87/3 | ヘラ状工具に よるヨコナデ/ 繩文LR, RL | なし | 羽状繩文、19と同 一個体 | 15 | 10 |
| 21 | 636-1 他 | 前期 深鉢 | SJ09 | 1 | - | 密(径3mm以下)の長石、石 英、チャートを多く含む | 良好 | 10Y86/3 10Y87/2 10Y87/2 | ヨコナデ/ナデ 繩文LR, 実 筋 | 口縁部内面肥厚、 22-23と同一個体 | 15 | 10 | |
| 22 | 636-10 他 | 前期 深鉢 | SJ09 | 1 | - | 密(径3mm以下)の長石、石 英、チャートを多く含む | 良好 | ヨコナデ/ナデ 繩文LR, 鋼 文 | ヨコナデ/ナデ 繩文LR, 鋼 文 | 口縁部内面肥厚、 21-22と同一個体 | 15 | 10 | |

表11 縄文土器観察表(2)

| 掲載 No. | 整理 No. | 時期 器種 | 地区 遺構 | 層位 | 口径 底径 器高 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 成形・調整 (内面) (外面) (断面) | 文様 | 備考 | 掲 國 No. | 因 版 No. |
|-----------|-------------|----------|----------|----|----------------|--------------------------------------|----|----------------------------------|---------------------------------------|------------------------|---------------------------|---------------|---------------|
| | | | | | | | | (内部) (外部) (断面) | | | | | |
| 23 | 636-6 | 前期 深鉢 | SJ09 | 1 | - | 密(径2mm以下の長石、石 英、チャートを多く含む) | 良好 | 10786/6 10785/3 10787/4 | ヨコナデ/ナ グ、繩文LR | 突帯(縄文 LR) | 21・23と同一個体 | 15 | 10 |
| 24 | 637-2 | 前期 他 | SJ09 | 2 | - | やや粗(径1mm以下の長 石、チャートを多く含む) | 良好 | 10786/3 10784/1 10785/2 | ヨコナデ/ナ グ | 突帯(縄文 RL)、縄文RL | 口縁部内面肥厚 | 15 | 10 |
| 25 | 121-1 | 前期 他 | SJ10 | a | - | 密(径3mm以下の長石、 チャートを多く含む) | 良好 | 10784/2 7.5V84/4 10784/1 | ヨコナデ/ナ グ、指オサエ | なし | | 16 | 8 |
| 26 | 121-38 | 前期 深鉢 | SJ10 | 2 | - | 密(径2mm以下の長石、石 英、チャートをわずかに 含む) | 普通 | 10787/2 10786/1 10785/1 | ヨコナデ/ヨコ ナデ | 縄文LR、削 み、突帯(内 面) | | 16 | 11 |
| 27 | 120-1 | 前期 深鉢 | SJ11 | a | 12.4 | 密(径4mm以下の長 石、石英、チャートを多く 含む) | 普通 | 7.5V87/6 10788/6 10788/3 | ヨコナデ、指オ サエ/不明 | なし | 28と同一個体 | 16 | 9 |
| 28 | 120- 25他 | 前期 深鉢 | SJ11 | - | 33.0 | 密(径3mm以下の長石、石 英、チャートを多く含む) | 良好 | 7.5V87/4 10788/4 10788/3 | ナデ/指オサ エ、ナデ | 刻み | 外面傷付、27と 同一個体 | 16 | 11 |
| 29 | 618-5 | 前期 他 | SJ12 | - | 8.8 | 密(径5mm以下の長石、石 英、チャート、雲母を多く 含む) | 良好 | 2.5V85/6 2.5V85/4 2.5V85/3 | 指オサエ、ナ デ/縄文RL、ヨコ ナデ、指オサ エ、ナデ | なし | 内面焦げ付着 | 17 | 9 |
| 30 | 618-1 | 前期 深鉢 | SJ12 | - | - | 密(径5mm以下の長石、石 英、チャート、雲母を多く 含む) | 良好 | 7.5V85/4 10785/4 7.5V85/6 | ナデ、指オサエ /縄文RL | なし | 内面焦げ付着 | 17 | 11 |
| 31 | 629-1 | 前期 他 | SJ13 | - | 9.7 | 密(径6mm以下の長石、石 英、チャートを多く含む) | 良好 | 10785/2 10786/4 10786/3 | ヨコナデ/ナ デ、指オサエ/ ナデ、縄文RL、 LR | なし | 羽状縄文、内面焦 げ付着 | 17 | 8 |
| 32 | 631-11 | 前期 深鉢 | SJ13 | 2 | - | 密(径5mm以下の長石、 チャート、雲母を多く含 む) | 良好 | 10784/2 10787/6 10785/2 | 指オサエ、ナ デ/縄文RL、LR | なし | 羽状縄文、内面焦 げ付着、外縁煤付 着 | 17 | 11 |
| 33 | 631-5 | 前期 深鉢 | SJ13 | 1 | - | 密(径2mm以下の長石、石 英を多く含む) | 良好 | 10785/3 10785/2 10786/3 | ヨコナデ/縄文 LR | 突帯 | 外縁煤付着 | 17 | 11 |
| 34 | 109-3 | 前期 他 | SJ14 | 1 | 26.8 | 密(径3mm以下の長石、石 英、チャートを多く含む) | 普通 | SY85/4 7.5V82/2 2.5V82/4 | ヨコナデ/ナ デ | 突帯、貼付 文、押引文、 弦線 | 内面焦げ付着、外 面煤付着 | 18 | 9 |
| 35 | 109- 22 | 前期 深鉢 | SJ14 | 1 | - | 密(径1mm以下の長石、石 英、チャートをわずかに 含む) | 普通 | 2.5V82/2 2.5V82/4 2.5V82/6 | ナデ/縄文RL、 LR | 突帯、刻み | 羽状縄文 | 18 | 11 |
| 38 | 771-1 | 前期 他 | SJ15 | - | - | 密(径3mm以下の長石、石 英、チャートを多く含む) | 良好 | 10785/2 2.5V85/2 10787/1 | ヨコナデ/縄文 LR | 突帯、押圧 | 外縁煤付着 | 19 | 8 |
| 39 | 786 | 前期 深鉢 | SJ15 | 1 | - | 密(径1mm以下の長石をわ ずかに含む) | 良好 | 10785/3 10784/2 10786/4 | ナデ/ナデ | 突帯、逆C字 押引 | | 19 | 11 |
| 40 | 709-7 | 前期 深鉢 | SJ16 | - | - | 密(径2mm以下の長石、石 英、チャートを多く含む) | 良好 | 10785/2 | ヨコナデ/縄文 LR | なし | 41、42と同一個体 | 20 | 11 |
| 41 | 709-5 | 前期 深鉢 | SJ16 | - | - | 密(径2mm以下の長石、石 英、チャートを多く含む) | 良好 | 10785/3 10786/2 10787/3 | ヨコナデ/縄文 LR | なし | 40、41と同一個体 | 20 | 11 |
| 42 | 709-6 | 前期 深鉢 | SJ16 | - | - | 密(径2mm以下の長石、石 英、チャートを多く含む) | 良好 | 10784/2 10785/3 10785/3 | ヨコナデ/縄文 LR | なし | 40、41と同一個体 | 20 | 11 |
| 43 | 710-1 | 前期 他 | SJ17 | 1 | - | 密(径3mm以下の長石、石 英、チャートをわずかに 含む) | 良好 | 10788/2 10788/3 10788/3 | 指オサエ後ヨ コナデ/縄文LR | なし | | 20 | 9 |
| 44 | 733-1 | 前期 深鉢 | SJ17 | 1 | - | 密(径2mm以下の長石、石 英をわずかに含む) | 良好 | 7.5V86/4 7.5V87/6 7.5V86/3 | ヨコナデ/ヨコ ナデ | なし | | 20 | 11 |
| 46 | 711-7 | 前期 他 | SJ18 | - | 11.6 | 密(径3mm以下の長石、石 英、チャートを多く含む) | 良好 | 10784/3 2.5V87/4 10783/2 | 指オサエ後ヨ コナデ/ナデ/ 縄文RL | 刻み | | 21 | 8 |
| 47 | 712-5 | 前期 深鉢 | SJ19 | - | - | やや粗(径2mm以下の長 石、石英、チャートを多く 含む) | 良好 | 10788/3 10788/3 10788/3 | ナデ/ナデ | 刻み | | 21 | 9 |
| 48 | 713-2 | 前期 他 | SJ20 | - | 9.0 | やや粗(径2mm以下の長 石、石英、チャートを多く 含む) | 普通 | 2.5V85/6 SY84/6 7.5V82/1 | ヨコナデ、指オ サエ/ヨコナデ | なし | 49と同一個体 | 21 | 9 |

表12 縄文土器観察表(3)

| 掲載 No. | 整理 No. | 時期 器種 | 地区 遺構 | 層位 | 口径 底径 器高 | 粘土 | 焼成 | 色調 (内面) (外面) (侧面) | 成形・調整 内面/外面 (侧面) | 文様 | 備考 | 図版 No. | |
|-----------|----------------|----------|----------------|----|----------------|--------------------------------------|----|--|-------------------------------|--------------------|-------------------|-----------|----|
| | | | | | | | | | | | | | |
| 49 | 713-7 | 前期 深鉢 | SJ20 | - | - | 黒(径3mm以下の長石、石 英、チャートを多く含む) | 良好 | 2, BYRS/4 BYRS/6 BYRS/4 | ヨコナデ/縄文 RL | なし | 外面撥付着、48と 同一個体 | 21 | 11 |
| 50 | 724-1 他 | 前期 深鉢 | SJ21 1, a | - | - | 黒(径4mm以下の長石、石 英、チャートを多く含む) | 良好 | 2, BYRS/6 10YRS/4 10YRS/2 | ヨコナデ/ナ デ、縄文LR | なし | | 22 | 9 |
| 51 | 759-2 | 前期 深鉢 | SJ21 1 | - | - | 黒(径3mm以下の長石、石 英をわずかに含む) | 良好 | 10YRS/2 10YRS/1 10YRS/3 | ヨコナデ/ナデ 、縄文LR | 突帯(縄文 LR) | | 22 | 11 |
| 52 | 725-2 他 | 前期 深鉢 | SJ22 | - | 9.5 | 黒(径5mm以下の長石、石 英、チャートを多く含む) | 良好 | BYRS/6 BYRS/6 BYRS/6 | ナデ、ヨコナデ 、縄文RL | 刻み | 内部撥付着 | 22 | 9 |
| 53 | 726-1 他 | 前期 深鉢 | SJ23 | - | - | 黒(径3mm以下の長石、石 英、チャートを多く含む) | 良好 | 10YRS/4 10YRS/6 10YRS/2 | ナデ/指オサエ 後綱文 | なし | 内部無げ付着 | 22 | 11 |
| 55 | 714- 10他 | 前期 深鉢 | SJ24 | - | - | やや粗(径2mm以下の長 石、チャートを多く含む) | 良好 | 2, BYRS/4 2, BYRS/6 2, BYRS/6 | ヨコナデ/縄文 RL | なし | 外面撥付着 | 23 | 11 |
| 56 | 761-5 | 前期 深鉢 | SJ24 | - | - | やや粗(径1mm以下の長 石、石英、チャートを多く 含む) | 普通 | BYRS/6 BYRS/6 BYRS/8 | 不明/ナデ | 押引文 | | 23 | 11 |
| 58 | 561-1 | 前期 深鉢 | SD01 1 | - | - | やや粗(径2mm以下の長 石、石英、チャートを多く 含む) | 良好 | BYRS/4 BYRS/2 BYRS/3 | ナデ/ヨコナデ | 爪形文、刻み | | 24 | 11 |
| 59 | 481 | 前期 深鉢 | SD01 b | - | - | 粗(径1mm以下の長石、石 英を多く含む) | 良好 | 2, BYRS/6 2, BYRS/3 2, BYRS/4 | ナデ/ナデ | 爪形文 | 破断面を研磨か る | 24 | 11 |
| 60 | 458 | 前期 深鉢 | SD01 a | - | - | 黒(径1mm以下の長石、 チャートをわずかに含む) | 良好 | BYRS/6 BYRS/8 10YRS/2 | ナデ/ナデ、指 オサエ | なし | 突起部 | 24 | 11 |
| 61 | 617 | 前期 深鉢 | SD01 1 | - | - | やや粗(径1mm以下の長 石、石英、チャートを多く 含む) | 普通 | 2, BYRS/6 2, BYRS/1 2, BYRS/3 | 指オサエ後ヨ コナデ/縄文 LR, RL | なし | 羽状縞文、内面に 爪痕有 | 24 | 11 |
| 62 | 544-1 | 前期 深鉢 | SK03 a | - | - | やや粗(径2mm以下の長 石、石英、チャートを多く 含む) | 普通 | 10YRS/7 10YRS/4 10YRS/1 | ヨコナデ/ヨコ ナデ、ナデ | 突帯(縄文 か) | | 25 | 11 |
| 64 | 524-1 | 前期 深鉢 | SK09 c | - | - | 黒(径3mm以下の長石、石 英、チャート、雲母を多 く含む) | 良好 | 10YRS/3 2, BYRS/3 2, BYRS/1 | ヨコナデ/ヨコ ナデ、縄文LR | 刻み | | 25 | 11 |
| 65 | 522-1 | 前期 深鉢 | SK09 b | - | - | 黒(径4mm以下の長石、石 英、チャートを多く含む) | 良好 | 10YRS/4 2, BYRS/4 10YRS/1 | ヨコナデ/ヨコ ナデ、RL, ヨコナ デ | なし | 羽状縞文、外面撥 付着 | 25 | 11 |
| 66 | 465-3 | 前期 深鉢 | SK10 1 | - | - | 黒(径3mm以下の長石、石 英をわずかに含む) | 普通 | 1, BYRS/6 2, BYRS/6 2, BYRS/8 | ヨコナデ/ナデ | 突帯(刺突) | | 26 | 11 |
| 67 | 465-1 | 前期 深鉢 | SK10 1 | - | - | 黒(径4mm以下の長石、石 英、チャートを多く含む) | 良好 | 2, BYRS/2 2, BYRS/4 2, BYRS/4 | ヨコナデ/縄文 LR | なし | | 26 | 11 |
| 69 | 558-1 | 前期 深鉢 | SK13 1 | - | - | 黒(径2mm以下の長石、赤 色焦化土粒、雲母を多く 含む) | 良好 | 10YRS/2 10YRS/3 10YRS/3 | ヨコナデ/ナデ | 縄文LRか、突 帯(縄文LR) | 口縁部内面肥厚 | 26 | 11 |
| 70 | 567-1 | 前期 浅鉢 | SK13 1 | - | - | 粗(径1mm以下の長石、 チャートを多く含む) | 良好 | 2, BYRS/6 2, BYRS/6 2, BYRS/6 | ヨコナデ/ヨコ ナデ | なし | 列孔文波紋 | 26 | 11 |
| 72 | 463-1 | 前期 深鉢 | SK14 1 | - | - | 黒(径3mm以下の長石、石 英、チャートを多く含む) | 良好 | 10YRS/3 10YRS/2 10YRS/1 | ヨコナデ/指オ サエ | なし | | 27 | 12 |
| 75 | 191-1 | 前期 深鉢 | SK15 1 | - | - | 黒(径3mm以下の石英、 チャートを含む) | 良好 | 2, BYRS/6 BYRS/4 2, BYRS/6 | ヨコナデ/ナデ | 集合沈殿、凹 窪 | | 27 | 12 |
| 76 | 191-2 | 前期 深鉢 | SK15 1 | - | - | 黒(径2mm以下の長石、石 英、チャートをわずかに 含む) | 普通 | 10YRS/3 2, BYRS/5 10YRS/3 | ヨコナデ/縄文 RL, LR | 刻み | 羽状縞文 | 27 | 12 |
| 79 | 438-1 438-2 | 前期 深鉢 | SK28 a b | - | - | 黒(径5mm以下の長石、石 英、チャート、雲母を多く 含む) | 良好 | 2, BYRS/2 10YRS/2 10YRS/2 | ケズリ/縄文LR | なし | 11, 12と同一個体 | 27 | 12 |
| 83 | 159-1 他 | 前期 深鉢 | SK39 2 | - | - | 黒(径3mm以下の長石、石 英、チャートを多く含む) | 良好 | 2, BYRS/6 10YRS/3 10YRS/4 2, BYRS/1 | ヨコナデ/ナ デ、指オサエ/縄 文RL, LR | なし | 羽状縞文 | 29 | 12 |
| 84 | 198-1 他 | 前期 深鉢 | SK39 1 | - | - | 黒(径3mm以下の長石、石 英、チャートを多く含む) | 普通 | 2, BYRS/8 2, BYRS/4 2, BYRS/4 | ナデ/縄文RL, LR | なし | 羽状縞文、外面撥 付着 | 29 | 12 |

表13 縄文土器観察表(4)

| 掲載 No. | 整理 No. | 時期 器種 | 地区 遺構 | 層位 | 口径 底径 器高 | 粘土 | 焼成 | 色調 | 成形・調整 (内面/外面) (焼成) | 文様 | 備考 | 掲 図 版 No. |
|-----------|------------------|----------|------------|-----|----------------|--------------------------------|----|-------------------------------------|-------------------------------|------------------|--------------------|--------------------|
| | | | | | | | | (内面/外面) (焼成) | | | | |
| 86 | 187 | 前期 深鉢 | SK40 | e | - | 黒(径1mm以下の長石をわずかに含む) | 良好 | 2, SYR5/2 10Y84/2 7, SYR6/6 | ヨコナデ/縄文 RL | なし | | 29 12 |
| 89 | 763-1 | 前期 深鉢 | SK55 | a | - | 黒(径1mm以下の長石、チャートを多く含む) | 良好 | 10Y87/3 10Y88/3 10Y82/1 | ナデ/ナデ | 縄文RL、突蒂 (素文) | 口縁部内面肥厚 | 29 12 |
| 90 | 845-2 | 前期 深鉢 | SK55 | I | - | 黒(径1mm以下の長石、チャートをわずかに含む) | 良好 | 7, SYR5/3 7, SYR5/2 7, SYR4/1 | ヨコナデ/不明 | 手縫起繩、凹縫 | | 29 12 |
| 91 | 769-1 | 前期 深鉢 | SK55 | a | - | 黒(径5mm以下の長石、石英、チャートをわずかに含む) | 良好 | 10Y85/3 10Y88/4 10Y82/1 | ヨコナデ/縄文 RL、LR | なし | 羽状縄文 | 29 12 |
| 92 | 751-1 | 前期 深鉢 | SK62 | I | - | 黒(径2mm以下の長石、石英、雲母をわずかに含む) | 良好 | 7, SYR7/2 7, SYR7/4 10Y87/2 | ヨコナデ/縄文 LR | なし | | 30 12 |
| 93 | 430-14他 | 前期 深鉢 | SX01 | - | 24.0 | 黒(径3mm以下の長石、石英、チャート、雲母を多く含む) | 普通 | 10Y87/4 10Y84/2 10Y87/4 | ヨコナデ/ヨコ ナデ、縄文RL | 突蒂(縄文 RL) | 外面側付着、94と 同一個体か | 31 12 |
| 94 | 430-15他 | 前期 深鉢 | SX01 | - | - | 黒(径3mm以下の長石、石英をわずかに含む) | 良好 | 10Y85/3 10Y85/3 10Y82/1 | ヨコナデ/縄文 RL | なし | 外延側付着、93と 同一個体か | 31 12 |
| 95 | 430-11他 | 前期 深鉢 | SX01 | - | 31.4 | 黒(径2mm以下の長石、石英、チャートを多く含む) | 良好 | 10Y87/2 10Y88/3 10Y85/3 | 雨オサエ、ヨコ ナデ/朱絞、ナ デ | 刻み、沈線 | 外延側付着、口縁 内部肥厚 | 31 12 |
| 96 | 430-2 | 前期 他 | SX01 | - | 22.0 | 黒(径5mm以下の長石、チャートを多く含む) | 良好 | 10Y87/4 10Y87/4 10Y87/4 | ヨコナデ/縄文 RL | なし | 外延側付着、口縁 端部肥厚 | 31 9 |
| 97 | 469-1 | 前期 深鉢 | SX01 | - | 19.2 | 黒(径5mm以下の長石、石英、チャートをわずかに含む) | 良好 | 10Y86/3 7, SYR5/2 7, SYR2/3 | ヨコナデ/縄文 LL | なし | 外延側付着、内面 焦げ付着 | 31 12 |
| 98 | 430-12他 360-2 | 前期 深鉢 | SX01 A区 | 排水土 | - | 黒(径5mm以下の長石、チャート、雲母をわずかに含む) | 良好 | 7, SYR8/1 10Y86/3 7, SYR8/4 | ナデ、指ナデ/ ヨコナデ、指オ サエ、縄文RL | なし | | 31 9 |
| 111 | 94-5 | 前期 深鉢 | E5 | II | - | 黒(径1mm以下の長石、石英、チャートを多く含む) | 良好 | SYR6/6 SYR7/6 SYR7/6 | ナデ、指オサエ /ナデ | 爪形文、沈 線、刻み | | 33 12 |
| 112 | 322-2 | 前期 深鉢 | G4 | II | - | 黒(径1mm以下の長石、チャートをわずかに含む) | 良好 | 10Y85/6 10Y87/2 7, SYR5/6 | ヨコナデ/ヨコ ナデ | 突蒂(刻み) | | 33 12 |
| 113 | 94-13 | 前期 深鉢 | E5 | II | - | 黒(径1mm以下の長石をわずかに含む) | 普通 | 10Y88/3 10Y85/2 10Y88/1 | 指オサエ、ヨコ ナデ/ナデ/縄 文RL | 突蒂、沈線 | | 33 12 |
| 114 | 94-36 | 前期 深鉢 | E5 | II | - | 黒(径1mm以下の長石、チャート、雲母を多く含む) | 良好 | 10Y89/4 7, SYR6/4 2, 0Y87/4 | ナデ/ナデ/縄 文RL、突蒂 (刻み) | 羽状縄文 | | 33 12 |
| 115 | 54-8 | 前期 深鉢 | E5 | II | - | 黒(径1mm以下のチャート、雲母をわずかに含む) | 良好 | 7, SYR4/2 7, SYR4/2 7, SYR4/2 | ヨコナデ/ヨコ ナデ/ナデ、縄 文RL | 突蒂(刻み) | 119と同一個体か | 33 13 |
| 116 | 54-5 | 前期 深鉢 | E5 | II | - | 黒(径1mm以下の長石をわずかに含む) | 良好 | 10Y87/6 7, SYR6/6 2, 0Y87/6 | ヨコナデ/ヨコ ナデ | 突蒂(刻み) | | 33 13 |
| 117 | 82-4 | 前期 深鉢 | E4 | II | - | 黒(径1mm以下の長石、石英、チャートを多く含む) | 良好 | 10Y87/4 10Y87/4 10Y88/2 | ナデ/ナデ、縄 文RL | 突蒂(刻み) | | 33 13 |
| 118 | 54-3 | 前期 深鉢 | E5 | II | - | 黒(径1mm以下の長石、雲母をわずかに含む) | 普通 | SYR6/6 SYR6/6 2, 0Y87/6 | 摩滅不明/ナ デ、ヨコナデ | 突蒂(刻み) | | 33 13 |
| 119 | 78-1 | 前期 深鉢 | B区 | 排水土 | - | 黒(径2mm以下の長石、石英、チャートを多く含む) | 良好 | 10Y88/4 10Y85/4 10Y82/1 | ヨコナデ/ヨコ ナデ、縄文RL、 LR | 突蒂(刻み) | 羽状縄文、115と 同一個体か | 33 13 |
| 120 | 842-5 | 前期 深鉢 | E5 | I b | - | 黒(径2mm以下の長石、石英、雲母を多く含む) | 良好 | 10Y88/4 10Y85/3 10Y82/1 | ナデ/ナデ | 縄文RL、突蒂 (刻み) | | 33 13 |
| 121 | 59-27 | 前期 深鉢 | E4 | II | - | 黒(径2mm以下の長石、石英、チャート、雲母をわずかに含む) | 良好 | 7, SYR8/3 7, SYR8/2 7, SYR7/3 | ヨコナデ/ヨコ ナデ | 突蒂(逆C字 脚突・素文) | | 33 13 |
| 122 | 278-3 | 前期 他 | F2 | II | - | 黒(径2mm以下の長石、石英、雲母をわずかに含む) | 普通 | 7, SYR8/3 7, SYR8/2 7, SYR8/3 | ヨコナデ/縄文 RL | 突蒂(逆C字 押引) | | 33 13 |
| 123 | 82-5 | 前期 深鉢 | E4 | I b | - | 黒(径2mm以下の長石、石英をわずかに含む) | 良好 | 10Y87/4 10Y87/4 10Y86/1 | ヨコナデ/ナデ | 突蒂(ナデ) | | 33 13 |

表14 繩文土器観察表 (5)

| 掲載 No. | 整理 No. | 時期 器種 | 地区 遺構 | 層位 | 口径 底径 器高 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 成形・調整 (内面) (外面) | 文様 | 備考 | 掲 版 No. |
|-----------|-----------|---------------|----------|------|----------------|---------------------------------------|----|----------------------------------|-----------------------|-------------------|---------|---------------|
| | | | | | | | | (内面) (外面) | | | | |
| 124 | 399-2 | 前期 深鉢 | F1 | H | - | 密(径3mm以下の長石、チャートを多く含む) | 良好 | T.5YRS/8 T.5YRS/6 10YR3/1 | ヨコナデ/ナ デ、ヨコナデ | 突蒂(C字押 引) | 口縁部内面肥厚 | 33 13 |
| 125 | 76-8 | 前期 深鉢 | F5 | H | - | 密(径2mm以下の長石を多 く含む) | 良好 | T.5YRS/6 10YR4/4 5YRS/4 | ナデ/ナデ | 突蒂(C字押 引) | | 33 13 |
| 126 | 105-2 | 前期 深鉢 | E4 | H | - | 密(径2mm以下の長石、 チャートをわずかに含む) | 良好 | 10YR3/2 10YR3/2 10YR3/2 | ナデ/縄文RL LR | 突蒂(进C字 押引) | 羽状縄文 | 33 13 |
| 127 | 686-2 | 前期 深鉢 | C区 | I・II | - | 密(径3mm以下の長石、 チャート、雲母を多く含む (?) | 良好 | 10YR4/2 10YR4/2 T.5YRS/4 | ナデ/縄文RL LR | 突蒂(进C字 押引) | | 33 13 |
| 128 | 272-1 | 前期 浅鉢 | A区 | 排水土 | - | 密(径3mm以下の長石。石 英、チャートを含む) | 良好 | 10YR3/3 10YR3/4 T.5YRS/4 | ナデ/縄文RL LR | 突蒂(进C字 押引) | | 33 13 |
| 129 | 282-1 | 前期 深鉢 | F1 | H | - | 密(径2mm以下の長石、 チャートをわずかに含む) | 普通 | 10YR7/4 10YR5/3 10YR4/1 | 指オサエ、ナデ /ナデ | 突蒂(縄文 RL) | | 33 13 |
| 130 | 399-10 | 前期 深鉢 | F1 | H | - | 密(径4mm以下の長石、 チャートをわずかに含む (?) | 良好 | 10YR4/3 10YR4/3 T.5YRS/4 | ヨコナデ/ヨコ ナデ、ナデ | 突蒂(縄文 RL) | | 33 13 |
| 131 | 380-1 | 前期 深鉢 | G2 | H | - | 密(径1mm以下の長石。石 英をわずかに含む) | 良好 | T.5YRS/6 7.5YRS/6 2.5YR/4 | ナデ/ヨコナ デ、縄文RL | 突蒂(縄文 RL) | 外縁部付着 | 33 13 |
| 132 | 817-2 | 前期 深鉢 | D8 | H | - | 密(径2mm以下の長石。石 英を多く含む) | 良好 | 10YR6/4 10YR6/4 10YR2/1 | ナデ/縄文RL LR | 刻み、突蒂 (縄文) | 口縁部内面肥厚 | 33 13 |
| 133 | 76-15 | 前期 深鉢 | F5 | H | - | やや粗(径4mm以下の長 石、石英、チャートをわ ずかに含む) | 良好 | 10YR8/4 10YR8/2 10YR6/3 | ナデ/縄文RL RL | 突蒂 | | 33 13 |
| 134 | 312-1 | 前期 深鉢 | F2 | H | - | やや粗(径4mm以下の長 石、石英、チャートを多く 含む) | 良好 | 10YR7/4 10YR7/2 10YR6/3 | ナデ/縄文RL RL | 突蒂、沈線 | 羽状縊文 | 33 13 |
| 135 | 76-35 | 前期 深鉢 | F5 | H | - | 密(径3mm以下の長石、 チャートを多く含む) | 良好 | T.5YRS/6 T.5YRS/6 T.5YRS/6 | ナデ/ナデ | 沈線 | | 34 13 |
| 136 | 94-25 | 前期 深鉢 | E5 | H | - | 密(径3mm以下の長石、石 英、チャートをわずかに 含む) | 良好 | 10YR4/2 10YR4/2 10YR4/2 | ヨコナデ/ナデ | 刻み、沈線 | | 34 13 |
| 137 | 318-1 | 前期 深鉢 | G3 | H | - | 密(径3mm以下の長石、石 英、チャート、雲母を多く 含む) | 良好 | T.5YRS/9 T.5YRS/9 10YR2/4 | ナデ/ナデ | 刻み、突蒂 (刻み)、沈線 | | 34 13 |
| 138 | 107-4 | 前期 鉢か 他 | D4 | H | - | やや粗(径3mm以下の長 石、石英、チャートを多く 含む) | 普通 | 2.5YR/4 2.5YR/4 10YR1/4 | ヨコナデ/ヨコ ナデ | 縄文RL、爪形 文、沈線 | 外面に赤彩 | 34 13 |
| 139 | 107-5 | 前期 鉢か 他 | D4 | H | - | 密(径3mm以下の長石、 チャートを多く含む) | 普通 | T.5YRS/1 10YR8/3 T.5YRS/1 | ナデ/ヨコナデ | 爪形文、沈 線、刻み | 外面に赤彩 | 34 13 |
| 140 | 321-1 | 前期 鉢か 他 | G2 | H | - | 密(径3mm以下の長石、石 英をわずかに含む) | 良好 | 10YR7/4 10YR7/4 10YR8/1 | ヨコナデ/ヨコ ナデ | 爪形文 | 外面に赤彩 | 34 13 |
| 141 | 291-2 | 前期 鉢か 他 | F4 | H | - | 密(径3mm以下の長石をわ ずかに含む) | 良好 | 10YR7/3 10YR8/2 10YR8/2 | ナデ/ナデ | 爪形文 | 外面に赤彩 | 34 13 |
| 142 | 303-1 | 前期 鉢か 他 | G3 | H | - | 密(径3mm以下の長石をわ ずかに含む) | 良好 | 10YR7/6 10YR8/4 10YR8/1 | ヨコナデ/縄文 LR | 沈線、爪形文 | 外面に赤彩 | 34 13 |
| 143 | 303-2 | 前期 鉢か 他 | G3 | H | - | 密(径2mm以下の長石をわ ずかに含む) | 良好 | 10YR7/3 10YR8/3 10YR5/1 | ナデ/ナデ | 沈線 | 外面に赤彩 | 34 13 |
| 144 | 239-1 | 前期 鉢か 他 | A区 | I b | - | 密(径4mm以下の長石、石 英、チャートを多く含む) | 良好 | T.5YRS/6 T.5YRS/6 10YR7/4 | ナデ/ヨコナデ | 突蒂(刻み)、 爪形文、沈線 | 外面に赤彩 | 34 13 |
| 145 | 249-1 | 前期 深鉢 | A区 | 排水土 | - | 密(径2mm以下の長石、石 英をわずかに含む) | 良好 | SYRA/6 SYRA/6 SYRA/6 | ヨコナデ/縄文 LR | 爪形文、沈線 | | 34 13 |
| 146 | 316-2 | 前期 深鉢 | F4 | H | - | 密(径3mm以下の長石、雲 母を多く含む) | 良好 | T.5YR/6 T.5YR/2 T.5YR/6 | ヨコナデ/ナデ | 縄文RL、沈 線、刻み | 外面保付着 | 34 13 |
| 147 | 316-1 | 前期 深鉢 | F4 | H | - | 密(径1mm以下の長石、 チャート、雲母を多く含 (?) | 良好 | T.5YR/6 T.5YR/2 T.5YR/6 | ナデ/ナデ | 縄文RL、沈 線、刻み | 外面保付着 | 34 13 |

表15 繩文土器観察表(6)

| 掲載 No. | 整理 No. | 時期 器種 | 地区 遺構 | 層位 | 口径 底径 器高 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 成形・調整 (内面) (外面) (断面) | 文様 | 備考 | 掲 開 版 No. | |
|-----------|-----------|----------|----------|------|----------------|-------------------------------|----|-------------------------------------|-------------------------------|-----------------------|----------------------|--------------------|----|
| | | | | | | | | (内面) (外面) (断面) | | | | | |
| 148 | 380-2 | 前期 深鉢 | G2 | II | - | やや粗(径1mm以下)の長石、チャートを多く含む) | 良好 | SYB4/6 SYB4/4 SYB4/2 | ナデ/ヨコナ デ、縄文RL | 沈線 | | 34 | 13 |
| 149 | 54-4 | 前期 深鉢 | E5 | II | - | 密(径3mm以下)の長石、チャートをわざかに含む) | 良好 | SYB5/6 SYB5/3 SYB5/2 | ヨコナデ/ナデ | 刻み、帯 文(刻み)、爪形 文 | | 34 | 13 |
| 150 | 392-1 | 前期 深鉢 | F1 | II | - | 密(径2mm以下)の長石、雲母を多く含む) | 良好 | 7. SYB6/6 10YB6/2 10YB6/2 | ナデ/ナデ | 刻み、集合沈 線、突起 | 外面保付着 | 34 | 13 |
| 151 | 276-1 | 前期 他 | A区 | - | - | 密(径3mm以下)の長石、石英、チャートを多く含む) | 良好 | 7. SYB6/3 10YB2/2 | ヨコナデ/ナデ | 集合沈 線 | 外面保付着 | 34 | 13 |
| 152 | 399-1 | 前期 深鉢 | F1 | II | - | 密(径3mm以下)の長石、石英、チャートを多く含む) | 良好 | 10YB6/6 10YB2/3 10YB2/2 | ナデ/ナデ | 沈線、回線 | | 34 | 13 |
| 153 | 20-1 | 前期 浅鉢 | E5 | II | 15.4 | 密(径5mm以下)の長石、石英、チャート、雲母を多く含む) | 良好 | SYB4/6 SYB4/6 10YB4/2 | ナデ/ナデ | 刻み、沈線 | 列孔文浅鉢、焼成 後穿孔あり | 35 | 9 |
| 154 | 59-2 | 前期 他 | E4 | II | - | やや粗(径2mm以下)の長石、石英、チャートを多く含む) | 普通 | 7. SYB5/6 7. SYB5/6 2. SYB4/2 | ヨコナデ/ヨコ ナデ | 刻み | | 35 | 14 |
| 155 | 42-1 | 前期 浅鉢 | F5 | I b | - | 密(径3mm以下)の長石、雲母を多く含む) | 良好 | SYB4/6 10YB4/3 10YB4/2 | ヨコナデ/ナデ | なし | 列孔文浅鉢 | 35 | 14 |
| 156 | 779 | 前期 浅鉢 | D8 | II | - | 密(径3mm以下)の長石、チャート、雲母を多く含む) | 良好 | 7. SYB5/6 10YB5/6 10YB4/2 | ナデ/ナデ | なし | 列孔文浅鉢 | 35 | 14 |
| 157 | 192-1 | 前期 浅鉢 | B区 | 拂土 | - | 密(径3mm以下)の長石、チャート、雲母を多く含む) | 良好 | 2. SYB5/6 2. SYB4/6 SYB4/2 | ヨコナデ/ヨコ ナデ | なし | 列孔文浅鉢 | 35 | 14 |
| 158 | 686-1 | 前期 浅鉢 | C区 | I・II | - | 密(径3mm以下)の長石、石英、雲母をわざかに含む) | 良好 | 7. SYB4/6 10YB2/1 2. SYB4/6 | ナデ/ヨコナデ | 密帶、沈線 | 列孔文浅鉢 | 35 | 14 |
| 159 | 59-12 | 前期 浅鉢 | E4 | II | - | 密(径3mm以下)の長石、雲母を多く含む) | 良好 | SYB5/6 7. SYB5/4 10YB5/2 | ナデ/ナデ | 沈線 | 列孔文浅鉢 | 35 | 14 |
| 160 | 225 | 前期 浅鉢 | B区 | - | - | 密(径3mm以下)の長石、石英、チャート、雲母を多く含む) | 良好 | SYB4/4 SYB4/4 10YB2/2 | ヨコナデ/ヨコ ナデ | なし | | 35 | 14 |
| 161 | 278-1 | 前期 浅鉢 | F2 | II | - | 密(径1mm以下)の長石、雲母を多く含む) | 良好 | SYB4/6 7. SYB4/6 7. SYB4/6 | ヨコナデ/ミガ キ | なし | 外面に赤彩 | 35 | 14 |
| 162 | 276-16 | 前期 浅鉢 | A区 | - | - | やや粗(径1mm以下)の長石、石英、チャートを多く含む) | 良好 | 10YB3/1 SYB4/6 10YB4/1 | ミガキ/ミガ キ、ナデ | なし | | 35 | 14 |
| 163 | 254-1 | 前期 浅鉢 | A区 | I・II | 7.4 | 密(径3mm以下)の長石、石英、チャートを多く含む) | 良好 | 7. SYB4/6 SYB4/6 7. SYB4/6 | ナデ/ナデ、縄 文RL | なし | | 35 | 14 |
| 164 | 94-3 | 前期 深鉢 | E5 | II | - | 密(径5mm以下)の長石、チャートを多く含む) | 良好 | 10YB6/6 10YB5/6 2. SYB3/2 | ナデ/縄文RL、 LR | なし | 羽状縄文 | 35 | 14 |
| 165 | 59-1 | 前期 他 | E4 | II | 23.2 | 密(径3mm以下)の長石、石英を含む) | 良好 | 10YB8/4 10YB7/3 10YB3/1 | ナデ/縄文RL、 LR, 指オサニ、 ナデ | 刻み | 羽状縄文、施成後 穿孔、外面保付着 | 35 | 14 |
| 166 | 647-1 | 前期 深鉢 | A区 | 拂土 | - | 密(径3mm以下)の長石、チャートを多く含む) | 普通 | 7. SYB6/3 7. SYB5/4 7. SYB6/4 | ヨコナデ/ヨコ ナデ、縄文RL | なし | | 35 | 14 |
| 167 | 220-1 | 前期 深鉢 | B区 | - | - | 密(径3mm以下)の長石、石英を多く含む) | 良好 | 7. SYB6/3 7. SYB7/3 7. SYB7/6 | ヨコナデ/ナ デ、縄文RL | 刻み | 外面保付着 | 35 | 14 |
| 168 | 54-21 | 前期 深鉢 | E5 | II | - | 密(径3mm以下)の長石、石英、チャートをわざかに含む) | 良好 | 10YB4/4 10YB3/3 10YB4/1 | ヨコナデ/ヨコ ナデ | 刻み | 外面保付着 | 35 | 14 |
| 169 | 107-1 | 前期 深鉢 | D4 | II | - | 密(径3mm以下)の長石、チャートを多く含む) | 良好 | 7. SYB5/4 10YB3/4 10YB4/2 | ヨコナデ/縄文 LR | なし | | 36 | 14 |
| 170 | 276-2 | 前期 他 | A区 | - | - | 密(径3mm以下)の長石、石英、チャートを多く含む) | 良好 | 10YB5/3 10YB4/2 10YB4/1 | ヘラ状工具に よるヨコナデ/ ナデ、縄文RL | なし | 外面保付着 | 36 | 14 |
| 171 | 282-3 | 前期 他 | F1 | II | - | 密(径6mm以下)の長石、石英、チャートを多く含む) | 普通 | 10YB5/6 10YB8/6 10YB5/2 | ヨコナデ/縄文 RL | なし | | 36 | 14 |

表16 純土器観察表 (7)

| 掲載 No. | 整理 No. | 時期 器種 | 地区 遺構 | 層位 | 口径 底径 器高 | 胎土 | 焼成 | 色調 | 成形・調整 内面/外面 (背面) | 文様 | 備考 | 掲 図 版 No. |
|-----------|---------------------------|----------|-------------|-----|----------------|-----------------------------|----|----------------------------------|------------------------|----|------|--------------------|
| | | | | | | | | (内面) (外側) (背面) | | | | |
| 172 | 321-2 | 前期 深鉢 | G2 | II | - | 密(径5mm以下の長石、石英、チャートを多く含む) | 良好 | 5YR5/6 5YR5/6 10YR4/4 | 指サエ後ヨコナデ/縦文既. | なし | | 36 14 |
| 173 | 842- 25 | 前期 深鉢 | TP7 (E5) | II | - | 密(径3mm以下の長石、石英、雲母を多く含む) | 良好 | 10YR5/4 10YR5/4 10YR2/4 | ヨコナデ/縦文 RL, RL | なし | 羽状縞文 | 36 - |
| 174 | 94-1 他 | 前期 深鉢 | E5 | II | - | 密(径3mm以下の長石、石英、チャートを多く含む) | 良好 | 10YR7/4 10YR5/4 10YR8/4 | ヨコナデ/縦文 RL, LR | なし | 羽状縞文 | 36 - |
| 175 | 291- 10 | 前期 深鉢 | F4 | II | - | 密(径3mm以下の長石、石英、チャートを多く含む) | 普通 | 10YR5/2 7.5YR6/2 10YR6/2 | ヨコナデ、指オチエ/縦文 LR, LR | なし | 羽状縞文 | 36 - |
| 176 | 94-7 | 前期 深鉢 | E5 | II | - | 密(径3mm以下の長石、石英、チャートをわずかに含む) | 良好 | 2.5YR7/1 2.5YR8/1 2.5YR4/1 | ヨコナデ/縦文 RL, LR | なし | 羽状縞文 | 36 - |
| 177 | 106-1 | 前期 深鉢 | F5 | II | - | 密(径2mm以下の長石、石英、チャートを多く含む) | 良好 | 10YR8/3 10YR3/4 10YR4/1 | ナデ/縦文既. LR | なし | 羽状縞文 | 36 - |
| 178 | 282-5 他 | 前期 深鉢 | F1 | II | 13.1 | 密(径2mm以下の長石、石英、チャートを多く含む) | 良好 | 10YR6/1 10YR6/4 10YR6/2 | ヨコナデ/ナデ、縦文既. LR | 刻み | | 36 14 |
| 179 | 150-1 | 前期 深鉢 | B区 堆土 | 9.8 | - | 密(径2mm以下の長石、石英、チャートを多く含む) | 良好 | 10YR4/1 10YR5/1 10YR4/1 | ナデ/ナデ、縦文既. RL | なし | | 36 - |
| 180 | 824- 11他 825-1 他 | 前期 深鉢 | E7 | II | - | 密(径3mm以下の長石、石英、チャートを多く含む) | 良好 | 10YR6/3 10YR6/4 10YR5/1 | ヨコナデ/ヨコナデ/ ナデ、ナデ | 刻み | | 36 - |
| 181 | 282-4 | 前期 深鉢 | F1 | II | 9.5 | 密(径3mm以下の長石、石英、チャートを多く含む) | 普通 | 10YR5/3 10YR6/1 10YR5/2 | ヨコナデ/ナデ | 刻み | | 36 14 |

表17 古墳時代以降の土器観察表

| 掲載 No. | 整理 No. | 種別 | 器種 | 地区 遺構 | 層位 | 口径 底径 器高 | 胎土 | 色調 | 成形・調整 内面/外面 (背面) | 備考 | 掲 図 版 No. | |
|-----------|-----------|-----|----|-------------|-----|----------------|--------------------------|----------------------|---------------------------------|--------------------------------|--------------------|-------|
| | | | | | | | | (内面) (外側) (背面) | | | | |
| 298 | 837-4 | 土師器 | 甕 | G4 (TP2) | II | 17.8 - | 密(径3mm以下の長石、石英を 多く含む) | 良好 | 7.5YR6/3 7.5YR6/4 2.5Y3/1 | ハケ/ハケ、ヨコナデ | 299と同一 個体 | 43 18 |
| 299 | 837-5 | 土師器 | 甕 | G4 (TP2) | II | - | 密(径1mm以下の長石、石英を 多く含む) | 良好 | 10YR6/2 10YR5/1 10YR8/3 | ヨコナデ/ハケ | 299と同一 個体 | 43 18 |
| 300 | 110 | 須恵器 | 坪 | E5 | I b | 8.7 - | 密(径1mm以下の長石をわざ かに含む) | 良好 | 2.5Y7/2 2.5Y7/2 5Y7/1 | クロナデ/ロクロナ デ、貼付高台、へラ切未 調整 | | 43 18 |
| 301 | 830-1 | 山茶瓶 | 瓶 | C区 | I b | 4.8 - | 密(径1mm以下の長石をわざ かに含む) | 良好 | 10YR8/1 10YR8/1 10YR7/1 | ロクロナデ/ロクロナ デ、系切未調整 | | 43 18 |

表18 石礫一覧(1)

| 掲載 No. | 整理 No. | 地区 遺構 | 層位 | 石材 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重さ | 抉剥 | 尖端 角 | 折損 部位 | 形態 | | | 表面 | 排 図 | 回 版 | 備考 | |
|-----------|-----------|--------------|------|-------|-------|-------|-------|-----|-----|---------|----------|----|----|----|----|--------|--------|-------|--|
| | | | | | | | | | | | | 基部 | 側縁 | 頂部 | | | | | |
| 36 | 109-40 | SJ14 | I | チャート | 1.9 | (1.4) | 0.2 | 0.3 | 0.4 | 70° | b | 1d | 1a | 2a | - | 18 | 15 | | |
| 45 | 798 | SJ17 | I | 下呂石 | 1.5 | (1.3) | 0.2 | 0.3 | 0.4 | 60° | b | 1b | 3a | 1b | - | 20 | 15 | | |
| 81 | 440-1 | SK30 | a | 玄武岩 | 2.1 | (2.7) | 0.3 | 0.8 | - | 55° | b | 2 | 2a | - | - | 28 | 15 | 左右非対称 | |
| 85 | 153 | SK39 | I | 下呂石 | (2.8) | (1.3) | 0.2 | 0.7 | - | 45° | d | - | 4a | - | - | 29 | 15 | | |
| 87 | 208-1 | SK40 | I | チャート | (2.1) | (1.4) | 0.3 | 0.6 | 0.7 | - | e | 1b | 1a | 2b | - | 29 | 15 | | |
| 99 | 665 | SX01 | - | 下呂石 | 1.6 | 1.7 | 0.2 | 0.5 | 0.2 | 75° | h | 1a | 2a | 2b | - | 32 | 15 | | |
| 100 | 668 | SX01 | - | チャート | (1.4) | (1.9) | 0.3 | 0.7 | 0.4 | - | e | 1b | 2a | 1a | - | 32 | 15 | | |
| 101 | 670 | SX01 | - | 黒曜石 | 1.9 | 1.2 | 0.2 | 0.3 | 0.3 | 45° | - | 1b | 1a | 1a | - | 32 | 15 | | |
| 102 | 667 | SX01 | - | チャート | 1.9 | 1.4 | 0.3 | 0.6 | 0.6 | 55° | - | 1b | 1a | 1b | - | 32 | 15 | | |
| 103 | 669 | SX01 | - | 下呂石 | 1.5 | 1.4 | 0.3 | 0.4 | 0.2 | 65° | - | 1e | 2a | 2a | - | 32 | 15 | | |
| 104 | 497-1 | SX01 | - | 下呂石 | 2.1 | (1.7) | 0.3 | 0.7 | 0.2 | 60° | f | 1c | 1a | 2b | - | 32 | 15 | | |
| 105 | 497-2 | SX01 | - | チャート | 1.6 | 1.6 | 0.4 | 1.1 | - | 75° | - | 2 | 2a | - | - | 32 | 15 | 左右非対称 | |
| 106 | 664 | SX01 | - | 下呂石 | 2.1 | 1.7 | 0.5 | 1.8 | - | 65° | - | 2 | 2b | - | 片面 | 32 | 15 | | |
| 107 | 666 | SX01 | - | チャート | 1.8 | 1.5 | 0.5 | 1.0 | - | 65° | - | 3 | 3a | - | - | 32 | 15 | | |
| 108 | 269 | A(区) 佛土 | - | 下呂石 | 1.0 | 1.0 | 0.2 | 0.1 | 0.2 | 70° | - | 1a | 1a | 2a | 片面 | 37 | 15 | | |
| 103 | 605 | A(区) 佛土 | - | 下呂石 | 1.5 | 1.4 | 0.3 | 0.6 | 0.1 | 60° | - | 1a | 1a | 2a | - | 37 | 15 | | |
| 184 | 362 | A(区) 佛土 | チャート | 1.7 | 1.7 | 0.4 | 0.9 | 0.1 | 70° | - | 1a | 1a | 2a | - | 37 | 15 | 左右非対称 | | |
| 185 | 231-1 | B(区) 佛土 | チャート | 2.1 | 2.0 | 0.4 | 0.8 | 0.2 | 55° | - | 1a | 4a | 2a | - | 37 | 15 | 左右非対称 | | |
| 186 | 651-2 | A(区) 佛土 | チャート | 2.9 | (2.4) | 0.4 | 2.3 | 0.2 | 65° | f | 1a | 2a | 2a | - | 37 | 15 | | | |
| 187 | 264 | G2 | II | 黒曜石 | 1.7 | 1.2 | 0.3 | 0.3 | 0.2 | 45° | - | 1a | 1a | 2a | - | 37 | 15 | | |
| 188 | 125 | E4 | II | 下呂石 | 2.3 | 1.9 | 0.6 | 1.5 | 0.1 | 55° | - | 1a | 1a | 2a | - | 37 | 15 | 左右非対称 | |
| 189 | 325 | G2 | II | チャート | 1.4 | 1.2 | 0.2 | 0.2 | 0.2 | 50° | - | 1a | 2a | 1b | - | 37 | 15 | | |
| 190 | 265 | A(区) I・II | チャート | 2.0 | 1.7 | 0.5 | 1.0 | 0.2 | 45° | - | 1a | 3a | 1a | - | 37 | 15 | | | |
| 191 | 472 | A(区) 佛土 | - | 下呂石 | 3.0 | 2.0 | 0.5 | 2.4 | 0.3 | 65° | - | 1a | 2a | 2b | - | 37 | 15 | 左右非対称 | |
| 192 | 345 | A(区) 佛土 | - | 下呂石 | 1.5 | (0.9) | 0.2 | 0.3 | 0.2 | 55° | - | 1a | 1a | 2a | 片面 | 37 | 15 | 左右非対称 | |
| 193 | 248-9 | A(区) I・II | 下呂石 | 1.6 | 1.2 | 0.3 | 0.5 | 0.2 | 50° | - | 1a | 2a | 2a | 片面 | 37 | 15 | | | |
| 194 | 423-1 | F2 | II | 黒曜石 | (1.5) | 1.2 | 0.5 | 0.8 | 0.2 | - | a | 1a | 1a | 2a | 片面 | 37 | 15 | 左右非対称 | |
| 195 | 809 | E7 | II | チャート | 2.1 | (1.5) | 0.3 | 1.1 | 0.1 | 65° | b | 1a | 2a | 2a | 片面 | 37 | 15 | | |
| 196 | 248-5 | A(区) I・II | 下呂石 | 2.6 | (2.2) | 0.4 | 1.7 | 0.1 | 85° | b | 1a | 1a | 2a | 片面 | 37 | 15 | | | |
| 197 | 364 | A(区) 佛土 | 下呂石 | 1.2 | 1.3 | 0.3 | 0.3 | 0.3 | 65° | - | 1b | 1a | 2b | - | 37 | 15 | | | |
| 198 | 324 | G2 | II | 下呂石 | (1.3) | 1.2 | 0.2 | 0.4 | 0.3 | 55° | a | 1b | 1a | 2b | - | 37 | 15 | | |
| 199 | 374-6 | A(区) 佛土 | チャート | 1.7 | (1.2) | 0.2 | 0.4 | 0.3 | 60° | f | 1b | 1a | 1a | - | 37 | 15 | | | |
| 200 | 266 | A(区) I・II | 下呂石 | (1.2) | 1.2 | 0.2 | 0.2 | 0.3 | - | a | 1b | 1a | 1b | - | 37 | 15 | 左右非対称 | | |
| 201 | 539-1 | A(区) 佛土 | チャート | (0.8) | (1.1) | 0.2 | 0.2 | - | 80° | g | - | 2a | - | - | 37 | - | | | |
| 202 | 676 | A(区) 佛土 | チャート | 1.6 | 1.9 | 0.3 | 1.0 | 0.3 | 80° | - | 1b | 2a | 2b | - | 37 | 15 | 左右非対称 | | |
| 203 | 504 | A(区) 佛土 | チャート | (1.9) | 2.2 | 0.4 | 1.7 | 0.3 | - | a | 1b | 2a | 2b | - | 37 | 15 | | | |
| 204 | 385 | G2 | II | チャート | 1.8 | (2.0) | 0.3 | 0.8 | 0.5 | 75° | b | 1b | 2a | 1a | - | 37 | 15 | | |
| 205 | 411 | F1 | II | 黒曜石 | 1.6 | (1.8) | 0.2 | 0.2 | 0.8 | 45° | f | 1b | 2a | 1b | - | 37 | 15 | | |
| 206 | 509 | A(区) 佛土 | チャート | 1.7 | 1.5 | 0.2 | 0.3 | 0.3 | 50° | - | 1b | 1a | 1a | - | 37 | 15 | | | |
| 207 | 248-8 | A(区) I・II | 黒曜石 | 1.9 | (1.6) | 0.4 | 0.6 | 0.4 | 55° | b | 1b | 1a | 1a | - | 37 | 15 | | | |
| 208 | 378 | F2 | II | 黒曜石 | 2.4 | (1.4) | 0.2 | 0.5 | 0.6 | 45° | f | 1b | 1a | 1a | - | 37 | - | | |
| 209 | 404 | F1 | II | 下呂石 | (1.9) | (1.1) | 0.2 | 0.3 | 0.9 | - | e | 1b | 1a | 1b | - | 37 | - | | |
| 210 | 304-1 | G3 | II | チャート | 2.7 | (2.2) | 0.2 | 0.6 | 0.3 | 50° | f | 1b | 1a | 1b | - | 37 | 15 | | |
| 211 | 353 | F1 | II | 佛土 | チャート | 2.5 | (1.7) | 0.3 | 1.0 | 0.6 | 60° | b | 1b | 1a | 1b | - | 38 | 15 | |
| 212 | 684 | B7 | I・II | チャート | 2.0 | (2.0) | 0.5 | 1.4 | 0.3 | 60° | b | 1b | 2a | - | - | 38 | 15 | | |
| 213 | 395 | A(区) 佛土 | - | 下呂石 | 1.7 | (1.4) | 0.3 | 0.5 | 0.3 | 70° | b | 1b | 2a | 1a | - | 38 | 15 | | |
| 214 | 415 | F1 | II | 下呂石 | 1.7 | (1.4) | 0.2 | 0.4 | 0.4 | 70° | b | 1b | 2a | 2a | - | 38 | 15 | | |
| 215 | 248-2 | A(区) I・II | チャート | 2.3 | 1.6 | 0.5 | 1.5 | 0.3 | 55° | - | 1b | 2a | 1b | 片面 | 38 | 15 | | | |
| 216 | 667 | E4 | II | 下呂石 | (1.4) | (1.3) | 0.2 | 0.3 | 0.6 | - | e | 1b | 3a | 1b | - | 38 | 16 | | |
| 217 | 608 | A(区) 佛土 | - | 下呂石 | 2.4 | (2.0) | 0.3 | 0.8 | 0.4 | 55° | b | 1b | 3a | 1b | - | 38 | - | | |
| 218 | 405 | F2 | II | 黒曜石 | 1.3 | 1.2 | 0.2 | 0.3 | 0.2 | 70° | - | 1c | 2b | 2a | - | 38 | 15 | | |
| 219 | 505 | A(区) 佛土 | チャート | 1.7 | 1.6 | 0.5 | 1.4 | 0.2 | 75° | - | 1c | 2a | 1a | - | 38 | - | | | |
| 220 | 487 | A(区) 佛土 | チャート | 1.1 | 1.4 | 0.2 | 0.3 | 0.4 | 80° | - | 1d | 2a | 1b | - | 38 | 16 | | | |
| 221 | 406 | F2 | II | 黒曜石 | (1.0) | 1.7 | 0.2 | 0.3 | 0.5 | - | a | 1d | 2a | 2a | - | 38 | 16 | | |
| 222 | 341 | A(区) 佛土 | チャート | 1.3 | 1.9 | 0.2 | 0.5 | 0.5 | 90° | - | 1d | 2a | 1a | - | 38 | 16 | | | |
| 223 | 569 | A(区) 佛土 | 玄武岩 | 1.5 | 1.5 | 0.3 | 0.4 | 0.3 | 75° | - | 1d | 2a | 1a | - | 38 | 16 | | | |
| 224 | 346 | A(区) 佛土 | - | 下呂石 | 2.0 | 1.4 | 0.2 | 0.4 | 0.5 | 55° | - | 1d | 1a | 2a | - | 38 | 16 | | |
| 225 | 329 | A(区) 佛土 | - | 下呂石 | 1.6 | 1.4 | 0.3 | 0.3 | 0.4 | 65° | - | 1e | 2a | 2a | - | 38 | 16 | | |
| 226 | 340 | A(区) 佛土 | - | 下呂石 | (1.8) | 1.3 | 0.5 | 0.7 | 0.3 | - | a | 1e | 3a | 2a | - | 38 | 16 | | |
| 227 | 609-3 | A(区) 佛土 | - | 下呂石 | 1.4 | 1.3 | 0.3 | 0.5 | - | 60° | - | 2 | 1a | - | 片面 | 38 | 16 | 左右非対称 | |
| 228 | 347 | A(区) 佛土 | - | 下呂石 | 1.6 | 1.5 | 0.5 | 0.9 | - | 65° | - | 2 | 2a | - | - | 38 | 16 | 左右非対称 | |
| 229 | 649 | A(区) 佛土 | チャート | 1.7 | 1.6 | 0.6 | 1.4 | - | 75° | - | 2 | 1a | - | 片面 | 38 | 16 | 左右非対称 | | |
| 230 | 401 | F1 | II | チャート | 2.1 | 2.1 | 0.5 | 1.9 | - | 70° | - | 2 | 1a | - | - | 38 | 16 | 左右非対称 | |
| 231 | 349-1 | A(区) 佛土 | チャート | 1.7 | 1.8 | 0.4 | 1.1 | - | 80° | - | 2 | 2a | - | - | 38 | 16 | | | |
| 232 | 703 | E8 | II | 黒曜石 | 2.0 | (2.0) | 0.4 | 1.5 | - | 85° | b | 2 | 2a | - | - | 38 | 16 | | |
| 233 | 397-2 | A(区) 佛土 | チャート | 2.6 | 2.3 | 0.6 | 3.3 | - | 70° | - | 2 | 2a | - | 片面 | 38 | 16 | 左右非対称 | | |

表19 石器一覧 (2)

| 掲載 No. | 整理 No. | 地区 遺構 | 層位 | 石材 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重さ | 抉剥 | 先端 角 | 剖剥 部位 | 形態 | | | 表面 | 捕 獲 | 回 数 | 備考 |
|-----------|-----------|----------|--------|------|-------|-------|-----|-----|-----|---------|----------|----|----|----|----|--------|--------|-------|
| | | | | | | | | | | | | 基部 | 側縁 | 脚部 | | | | |
| 234 | 365 | A区 | 拂土 | 下呂石 | 2.3 | 1.6 | 0.4 | 1.4 | - | 60° | - | 2 | 4a | - | - | 38 | 16 | 左右非対称 |
| 235 | 413 | F1 | II | チャート | 2.3 | 1.8 | 0.6 | 2.7 | - | 70° | - | 2 | 2a | - | - | 38 | 16 | 左右非対称 |
| 236 | 661 | A区 | 拂土 | チャート | 2.1 | 2.0 | 0.6 | 1.8 | - | 70° | - | 3 | 1a | - | - | 38 | 16 | |
| 237 | 248-4 | A区 | I + II | チャート | 2.7 | 2.3 | 0.6 | 3.5 | - | 65° | - | 3 | 1a | - | 前面 | 38 | 16 | |
| 238 | 414 | F1 | II | 下呂石 | 1.9 | 1.4 | 0.4 | 0.9 | - | 55° | - | 3 | 2a | - | 前面 | 38 | 16 | |
| 239 | 422 | F2 | II | 黒曜石 | 1.9 | 1.4 | 0.6 | 1.4 | - | 70° | - | 3 | 2a | - | - | 38 | 16 | |
| 240 | 398 | F1 | II | 黒曜石 | 2.2 | 1.8 | 0.9 | 2.1 | - | 65° | - | 3 | 2a | - | 片面 | 38 | 16 | |
| 241 | 478-5 | A区 | 拂土 | 下呂石 | 2.8 | 2.0 | 1.1 | 4.2 | - | 70° | - | 3 | 2a | - | - | 38 | 16 | 左右非対称 |
| 242 | 349-4 | A区 | 拂土 | 下呂石 | 2.7 | 2.0 | 0.8 | 3.4 | - | 80° | - | 3 | 2a | - | 片面 | 38 | 16 | |
| 243 | 343 | A区 | 拂土 | 下呂石 | 2.1 | 1.1 | 0.4 | 0.6 | - | 45° | - | 4 | 3a | - | 片面 | 38 | 16 | |
| - | 033 | B区 | I + II | 下呂石 | (1.4) | (1.2) | 0.2 | 0.4 | 0.6 | - | e | 1b | 1a | 2a | - | - | - | - |
| - | 061 | E4 | II | 下呂石 | (1.9) | (1.2) | 0.2 | 0.5 | - | 60° | g | - | 1a | - | - | - | - | - |
| - | 081 | B区 | 拂土 | チャート | 2.5 | (2.3) | 0.7 | 2.2 | - | 70° | b | 2 | 1a | - | - | - | - | - |
| - | 109-86 | SJ14 | I | 下呂石 | (0.7) | (0.5) | 0.1 | 0.1 | - | c | - | 1a | - | - | - | - | - | - |
| - | 190-6 | B区 | 拂土 | 黒曜石 | (1.4) | (1.1) | 0.1 | 0.1 | - | 55° | d | - | - | 片面 | - | - | - | - |
| - | 213-1 | B区 | 拂土 | チャート | 1.9 | (1.3) | 0.4 | 1.3 | - | 60° | b | 2 | 2a | - | - | - | - | - |
| - | 221-1 | B区 | I + II | 下呂石 | (1.2) | (1.6) | 0.2 | 0.6 | 0.1 | - | e | 1a | 2a | 2a | - | - | - | - |
| - | 228-1 | B区 | 拂土 | チャート | (1.1) | (1.2) | 0.2 | 0.2 | 0.2 | - | c | 1a | - | 1a | - | - | - | - |
| - | 248-10 | A区 | I + II | 下呂石 | 1.6 | (1.4) | 0.4 | 0.5 | 0.2 | 50° | b | 1a | 1a | 1a | - | - | - | 左右非対称 |
| - | 248-3 | A区 | I + II | チャート | 1.7 | (1.7) | 0.4 | 0.7 | 0.1 | 65° | b | 1a | 2a | 1a | - | - | - | 左右非対称 |
| - | 248-6 | A区 | I + II | チャート | (1.9) | (1.2) | 0.3 | 0.9 | - | 60° | d | - | 1a | - | - | - | - | - |
| - | 248-7 | A区 | I + II | チャート | 2.3 | (2.3) | 0.6 | 2.4 | 0.1 | 75° | b | 1a | 2a | 1a | - | - | - | - |
| - | 253-1 | A区 | 拂土 | チャート | 2.3 | 1.8 | 0.4 | 1.6 | - | 75° | - | 3 | 1a | - | 前面 | - | - | 左右非対称 |
| - | 255-2 | A区 | I + II | チャート | (2.2) | (1.5) | 0.4 | 1.4 | - | c | 2 | 2a | - | - | - | - | - | - |
| - | 255-9 | A区 | I + II | チャート | (0.9) | (1.1) | 0.2 | 0.2 | - | c | - | - | 2a | - | - | - | - | - |
| - | 261-1 | A区 | 拂土 | チャート | 2.1 | (2.3) | 0.6 | 3.2 | 0.3 | 70° | b | 1a | 3a | 3a | - | - | - | 左右非対称 |
| - | 261-2 | A区 | 拂土 | チャート | (1.5) | (1.1) | 0.2 | 0.4 | - | 60° | g | - | 1a | - | - | - | - | - |
| - | 268 | A区 | 拂土 | 下呂石 | 1.9 | (1.6) | 0.2 | 0.4 | 0.3 | 55° | b | 1b | 2a | - | - | - | - | - |
| - | 270-1 | A区 | 拂土 | チャート | 2.2 | 1.7 | 0.5 | 1.8 | - | 60° | - | 3 | 2b | - | - | - | - | - |
| - | 274 | A区 | 拂土 | 黒曜石 | (1.3) | (1.4) | 0.3 | 0.6 | - | c | - | 1a | - | - | - | - | - | - |
| - | 275-1 | A区 | 拂土 | チャート | 2.2 | (1.3) | 0.5 | 1.1 | - | 60° | f | 3 | 2a | - | - | - | - | - |
| - | 275-2 | A区 | 拂土 | 下呂石 | (1.8) | (1.1) | 0.2 | 0.6 | - | c | 1b | 1a | 1a | - | - | - | - | - |
| - | 277-1 | A区 | I + II | チャート | (1.4) | (1.4) | 0.3 | 0.8 | - | 70° | d | - | 1b | - | - | - | - | - |
| - | 280 | F2 | II | 下呂石 | 2.4 | (1.3) | 0.3 | 1.0 | 0.2 | 65° | b | 1a | 2a | 1a | - | - | - | 左右非対称 |
| - | 285-2 | F2 | II | チャート | (2.1) | 2.5 | 0.9 | 4.9 | - | a | 2 | 2a | - | - | - | - | - | - |
| - | 285-3 | F2 | II | チャート | (1.4) | 1.7 | 0.3 | 0.9 | - | a | 2 | 1a | - | - | - | - | - | 左右非対称 |
| - | 285-9 | F2 | II | チャート | (2.4) | (1.0) | 0.2 | 0.4 | - | h | - | - | - | - | - | - | - | - |
| - | 289 | F2 | II | 黒曜石 | (1.2) | (1.5) | 0.2 | 0.3 | 0.3 | c | 1b | - | la | - | - | - | - | - |
| - | 290 | F2 | II | 下呂石 | 1.7 | (1.4) | 0.3 | 0.5 | 0.4 | 50° | b | 1b | 1a | 2a | - | - | - | - |
| - | 292-1 | F4 | II | 黒曜石 | (0.9) | (0.9) | 0.1 | 0.2 | - | c | - | - | 2b | - | - | - | - | - |
| - | 302-1 | F3 | II | 黒曜石 | (1.2) | (1.5) | 0.5 | 0.6 | 0.1 | e | 1a | 1a | 2c | - | - | - | - | - |
| - | 302-6 | F3 | II | 下呂石 | (2.0) | (1.5) | 0.3 | 0.7 | - | h | - | - | - | - | - | - | - | - |
| - | 305 | G3 | II | チャート | 2.0 | (1.8) | 0.6 | 2.1 | 0.1 | 65° | b | 1a | 2a | 1a | - | - | - | 左右非対称 |
| - | 326-3 | A区 | 拂土 | チャート | (1.6) | (1.9) | 0.3 | 0.6 | 0.3 | e | 1b | 1a | 1a | - | - | - | - | - |
| - | 326-6 | A区 | 拂土 | チャート | (2.6) | (1.7) | 0.4 | 1.5 | 0.3 | e | 1b | 1a | 2b | - | - | - | - | - |
| - | 328 | A区 | 拂土 | チャート | 1.9 | (1.6) | 0.3 | 1.0 | 0.1 | 65° | b | 1a | 2b | 1a | 前面 | - | - | - |
| - | 342 | A区 | 拂土 | チャート | (1.0) | (1.3) | 0.3 | 0.3 | 0.3 | e | 1d | 1a | 1a | - | - | - | - | - |
| - | 344 | A区 | 拂土 | 下呂石 | 1.4 | 1.1 | 0.3 | 0.3 | 0.4 | 60° | - | 1b | 2a | 1b | - | - | - | 左右非対称 |
| - | 349-11 | A区 | 拂土 | チャート | (1.6) | (1.0) | 0.2 | 0.3 | 0.4 | c | 1d | 1a | 1b | - | - | - | - | - |
| - | 349-12 | A区 | 拂土 | 下呂石 | (1.2) | (1.1) | 0.2 | 0.3 | 0.3 | 60° | d | - | - | - | - | - | - | - |
| - | 349-13 | A区 | 拂土 | 下呂石 | (1.4) | (1.0) | 0.3 | 0.4 | - | c | - | 1a | - | - | - | - | - | - |
| - | 349-14 | A区 | 拂土 | 下呂石 | (0.9) | (0.9) | 0.1 | 0.1 | 0.6 | c | 1b | - | 1a | - | - | - | - | - |
| - | 349-15 | A区 | 拂土 | チャート | (0.8) | (0.7) | 0.1 | 0.1 | 0.3 | c | 1b | - | 2a | - | - | - | - | - |
| - | 349-3 | A区 | 拂土 | チャート | 2.0 | 2.0 | 0.6 | 2.6 | 0.1 | 80° | - | 1a | 2a | 2a | - | - | - | 左右非対称 |
| - | 349-5 | A区 | 拂土 | チャート | (2.2) | 2.1 | 0.6 | 3.0 | - | 70° | a | 2 | 2a | - | - | - | - | - |
| - | 349-6 | A区 | 拂土 | チャート | (2.3) | (1.5) | 0.3 | 0.8 | - | 55° | d | - | 1b | - | - | - | - | - |
| - | 349-7 | A区 | 拂土 | 下呂石 | (1.7) | (1.4) | 0.3 | 0.7 | 0.1 | c | 1a | 2a | 1a | - | - | - | - | - |
| - | 349-8 | A区 | 拂土 | 下呂石 | 1.7 | (1.7) | 0.3 | 0.6 | - | 55° | b | 2 | 1a | - | - | - | - | - |
| - | 349-9 | A区 | 拂土 | 黒曜石 | (2.4) | (2.1) | 0.3 | 0.6 | 0.5 | e | 1d | 1a | 1a | - | - | - | - | - |
| - | 361 | A区 | 拂土 | 下呂石 | 2.0 | 1.8 | 0.5 | 1.4 | - | 55° | - | 2 | 2a | - | - | - | - | 左右非対称 |
| - | 366-1 | A区 | 拂土 | チャート | 1.6 | (1.3) | 0.4 | 0.8 | 0.1 | 65° | b | 1a | 1a | 2a | - | - | - | - |
| - | 366-10 | A区 | 拂土 | チャート | (1.1) | (0.9) | 0.2 | 0.2 | 0.4 | c | 1b | - | 1b | - | - | - | - | - |
| - | 366-11 | A区 | 拂土 | 下呂石 | (1.0) | (1.0) | 0.2 | 0.2 | - | 70° | g | - | 1a | - | - | - | - | - |
| - | 366-12 | A区 | 拂土 | チャート | (0.9) | (0.7) | 0.2 | 0.1 | - | h | - | - | - | - | - | - | - | - |
| - | 366-13 | A区 | 拂土 | チャート | (0.8) | (0.7) | 0.2 | 0.1 | - | c | - | 1a | - | - | - | - | - | - |
| - | 366-15 | A区 | 拂土 | チャート | (0.9) | (0.9) | 0.3 | 0.3 | 0.2 | c | 1a | - | 3a | - | - | - | - | - |

表20 石礫一覧(3)

| 掲載 No. | 整理 No. | 地区 構造 | 層 位 | 石材 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重さ | 抉剥 度 | 前端 角 | 折損 部位 | 形態 | | 素材 面 | 種 別 | 固 定 | 備考 |
|-----------|-----------|----------|--------|------|-------|-------|-----|-----|---------|---------|----------|----|----|---------|--------|--------|-------|
| | | | | | | | | | | | | 基部 | 側縁 | | | | |
| - | 366-3 | A[5] | 排土 | チャート | (1.9) | 1.6 | 0.5 | 1.2 | - | 80° | f | 3 | 2b | - | - | - | - |
| - | 366-4 | A[5] | 排土 | チャート | 1.9 | (1.4) | 0.4 | 1.0 | 0.1 | 60° | b | 1a | 1a | 2a | - | - | 左右非対称 |
| - | 366-5 | A[5] | 排土 | 黒曜石 | (1.6) | (1.6) | 0.5 | 1.2 | 0.1 | - | e | 1e | - | 3b | - | - | - |
| - | 366-7 | A[5] | 排土 | チャート | (1.0) | (1.4) | 0.2 | 0.4 | - | - | h | - | - | - | - | - | - |
| - | 366-8 | A[5] | 排土 | チャート | (1.8) | (1.1) | 0.3 | 0.5 | 0.5 | - | c | 1b | 1a | 1b | - | - | - |
| - | 366-9 | A[5] | 排土 | チャート | (1.3) | (1.0) | 0.3 | 0.4 | - | - | c | 1b | 2a | 1a | - | - | - |
| - | 372 | G4 | II | 黒曜石 | (1.0) | 1.5 | 0.2 | 0.3 | 0.3 | - | a | 1b | 1a | 2b | - | - | - |
| - | 373 | A[5] | 排土 | 下呂石 | (1.2) | 1.7 | 0.2 | 0.3 | 0.4 | - | a | 1e | 1a | 1a | - | - | - |
| - | 374-5 | A[5] | 排土 | チャート | 1.7 | (1.8) | 0.2 | 0.7 | 0.2 | 75° | f | 1a | 1a | 1c | - | - | - |
| - | 374-7 | A[5] | 排土 | 下呂石 | (1.3) | (1.0) | 0.2 | 0.2 | - | 60° | g | - | 1a | - | - | - | - |
| - | 374-8 | A[5] | 排土 | チャート | (1.2) | (0.7) | 0.2 | 0.2 | - | - | c | - | - | 2a | - | - | - |
| - | 393-2 | F1 | II | 下呂石 | (1.5) | (1.3) | 0.2 | 0.4 | - | 60° | d | - | - | - | - | - | - |
| - | 394 | A[5] | 排土 | 下呂石 | (1.3) | (1.7) | 0.3 | 0.4 | 0.7 | - | e | 1b | 1a | 2a | - | - | - |
| - | 396 | A[5] | 排土 | 下呂石 | (1.6) | (0.9) | 0.3 | 0.3 | 1.1 | - | c | - | - | 1b | - | - | - |
| - | 397-3 | A[5] | 排土 | チャート | (1.3) | (1.1) | 0.2 | 0.3 | - | 60° | g | - | 1a | - | - | - | - |
| - | 410-2 | G2 | II | チャート | (1.7) | (1.7) | 0.4 | 0.8 | - | 70° | g | - | 2a | - | - | - | - |
| - | 416 | F1 | II | 黒曜石 | 1.8 | (1.7) | 0.3 | 0.5 | 0.3 | 45° | f | 1b | 1a | 1a | - | - | - |
| - | 417-10 | A[5] | 排土 | チャート | 2.5 | (1.1) | 0.4 | 1.0 | - | 60° | f | 2 | 1a | - | - | - | - |
| - | 420-4 | F1 | II | 下呂石 | 1.4 | 1.3 | 0.4 | 0.6 | - | 55° | - | 2 | 4a | - | - | - | 左右非対称 |
| - | 420-5 | F1 | II | 下呂石 | (1.7) | (1.3) | 0.2 | 0.4 | - | 60° | g | - | 1a | - | - | - | - |
| - | 426 | A[5] | 排土 | 黒曜石 | (1.5) | (1.4) | 0.2 | 0.4 | (0.5) | - | h | 1d | 2a | - | - | - | - |
| - | 473-1 | A[5] | 排土 | 玄武岩 | (2.1) | (1.9) | 0.2 | 0.6 | 0.4 | - | e | 1b | 1a | 2a | - | - | - |
| - | 486 | A[5] | 排土 | 黒曜石 | (1.6) | (1.6) | 0.6 | 1.5 | - | - | e | 2 | 2a | - | - | - | - |
| - | 488 | A[5] | 排土 | 下呂石 | (1.6) | 1.8 | 0.3 | 0.8 | 0.3 | - | a | 1b | 3a | 2b | - | - | - |
| - | 489-1 | A[5] | 排土 | チャート | 2.2 | (1.5) | 0.2 | 0.5 | 0.6 | 60° | f | 1d | 1a | 1b | - | - | - |
| - | 489-2 | A[5] | 排土 | チャート | (1.4) | (0.9) | 0.3 | 0.2 | 0.7 | - | c | 1b | - | 1a | - | - | - |
| - | 489-3 | A[5] | 排土 | チャート | (0.8) | (1.0) | 0.2 | 0.2 | - | - | h | - | - | - | - | - | - |
| - | 489-4 | A[5] | 排土 | チャート | (1.2) | (0.8) | 0.2 | 0.2 | - | - | c | - | - | 1a | - | - | - |
| - | 489-5 | A[5] | 排土 | チャート | (0.9) | (0.5) | 0.2 | 0.1 | - | - | c | - | - | 1a | - | - | - |
| - | 489-6 | A[5] | 排土 | チャート | (0.9) | (0.5) | 0.2 | 0.1 | - | - | c | - | - | 1a | - | - | - |
| - | 489-7 | A[5] | 排土 | 下呂石 | (1.0) | (0.8) | 0.2 | 0.1 | - | - | e | - | - | 1b | - | - | - |
| - | 489-8 | A[5] | 排土 | 下呂石 | (0.6) | (0.5) | 0.2 | 0.1 | - | - | c | - | - | 1a | - | - | - |
| - | 503 | A[5] | 排土 | 黒曜石 | 1.5 | (1.5) | 0.3 | 0.4 | 0.3 | 60° | b | 1d | 1a | 2a | - | - | - |
| - | 506 | A[5] | 排土 | 黒曜石 | (1.5) | (1.4) | 0.4 | 0.7 | - | 60° | d | - | 1a | - | - | - | - |
| - | 507 | A[5] | 排土 | チャート | (1.8) | (1.2) | 0.4 | 0.8 | - | 65° | g | - | 1a | - | - | - | - |
| - | 511-1 | A[5] | 排土 | チャート | (1.8) | 2.1 | 0.5 | 2.2 | - | - | a | 2 | 1a | - | - | - | - |
| - | 511-2 | A[5] | 排土 | 下呂石 | (1.7) | (1.7) | 0.3 | 1.2 | 0.1 | - | a | 1a | 1a | 3a | - | - | 左右非対称 |
| - | 511-5 | A[5] | 排土 | チャート | (1.3) | (1.0) | 0.3 | 0.4 | - | - | c | 2 | 1a | - | - | - | - |
| - | 515-3 | A[5] | 排土 | 下呂石 | (1.1) | (0.7) | 0.2 | 0.2 | - | - | c | - | - | 1a | - | - | - |
| - | 515-4 | A[5] | 排土 | 黒曜石 | (0.7) | (0.5) | 0.2 | 0.1 | - | - | c | - | - | 1b | - | - | - |
| - | 570-1 | A[5] | 排土 | チャート | (1.7) | (2.2) | 0.2 | 0.3 | - | - | e | 2 | 1a | - | - | - | - |
| - | 570-3 | A[5] | 排土 | 下呂石 | (1.3) | (1.1) | 0.2 | 0.3 | 0.6 | - | c | 1b | - | 1a | - | - | - |
| - | 570-5 | A[5] | 排土 | 下呂石 | (1.0) | (0.9) | 0.2 | 0.1 | - | - | c | - | - | 1b | - | - | - |
| - | 590 | A[5] | 排土 | チャート | (1.5) | (1.0) | 0.2 | 0.1 | - | 50° | g | - | 1a | - | - | - | - |
| - | 601 | F2 | II | チャート | 1.7 | (1.4) | 0.2 | 0.3 | 0.4 | 50° | b | 1b | 1a | 2a | - | - | - |
| - | 607 | A[5] | 排土 | チャート | 2.0 | (1.8) | 0.4 | 0.9 | 0.5 | 70° | b | 1b | 1a | 2a | - | - | - |
| - | 609-5 | A[5] | 排土 | チャート | (0.8) | (0.7) | 0.2 | 0.2 | - | - | c | - | - | 1a | - | - | - |
| - | 609-6 | A[5] | 排土 | チャート | (1.3) | (0.8) | 0.3 | 0.3 | - | - | h | - | - | 1a | - | - | - |
| - | 642 | A[5] | 排土 | 下呂石 | 1.9 | (1.5) | 0.2 | 0.3 | 0.6 | 50° | b | 1d | 1a | 1a | - | - | - |
| - | 643 | A[5] | 排土 | 黒曜石 | (1.3) | 1.5 | 0.3 | 0.5 | 0.2 | - | a | 1a | 1a | 2a | - | - | 左右非対称 |
| - | 644 | A[5] | 排土 | 黒曜石 | 1.4 | 1.9 | 0.2 | 0.4 | 0.6 | - | a | 1d | 1a | 1a | - | - | - |
| - | 646-1 | A[5] | 排土 | 下呂石 | (1.6) | (1.2) | 0.2 | 0.3 | - | 45° | d | - | 1a | - | - | - | - |
| - | 646-3 | A[5] | 排土 | 下呂石 | (1.1) | (1.6) | 0.3 | 0.5 | 0.1 | - | e | 1a | 1a | 2a | - | - | - |
| - | 646-4 | A[5] | 排土 | 下呂石 | (1.0) | (0.7) | 0.1 | 0.1 | - | - | c | - | - | 1b | - | - | - |
| - | 646-5 | A[5] | 排土 | 下呂石 | (1.0) | (1.4) | 0.2 | 0.2 | - | - | c | - | - | 1a | - | - | - |
| - | 646-6 | A[5] | 排土 | 下呂石 | (0.7) | (0.7) | 0.1 | 0.1 | - | - | h | - | - | - | - | - | - |
| - | 648 | A[5] | 排土 | 下呂石 | 1.4 | 1.3 | 0.2 | 0.4 | 0.2 | 60° | - | 1a | 2a | 2a | - | - | 左右非対称 |
| - | 651-3 | A[5] | 排土 | 下呂石 | 1.5 | (1.7) | 0.2 | 0.3 | - | 85° | b | 2 | 1a | - | - | - | 左右非対称 |
| - | 658 | A[5] | 排土 | チャート | (1.9) | (1.3) | 0.2 | 0.6 | - | 60° | g | - | 2a | - | - | - | - |
| - | 659 | A[5] | 排土 | 下呂石 | (1.1) | (1.1) | 0.2 | 0.2 | 0.2 | - | e | 1a | 1a | 1a | - | - | - |
| - | 660 | A[5] | 排土 | チャート | (1.3) | (1.5) | 0.3 | 0.3 | 0.4 | 90° | g | 1b | 1a | - | - | - | - |
| - | 662-1 | A[5] | 排土 | チャート | 1.5 | (1.1) | 0.2 | 0.3 | 0.3 | 60° | b | 1b | 1a | 1b | - | - | - |
| - | 662-2 | A[5] | 排土 | 石英 | (1.0) | (1.0) | 0.2 | 0.2 | - | - | c | - | - | 2a | - | - | - |
| - | 662-4 | A[5] | 排土 | チャート | (1.3) | (0.9) | 0.3 | 0.4 | - | - | c | - | - | 1a | - | - | - |
| - | 662-9 | A[5] | 排土 | 黒曜石 | (0.8) | (1.4) | 0.2 | 0.3 | - | - | c | 2 | - | - | - | - | - |
| - | 677 | A[5] | 排土 | チャート | (2.7) | (2.0) | 0.3 | 1.2 | 0.4 | 55° | e | 1e | 1a | 1a | - | - | - |

表21 石鏡一覧（4）

| 掲載 No. | 整理 No. | 地区 遺構 | 層位 | 石材 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重さ | 抉深 | 先端 角 | 折損 部位 | 形態 | | | 素材 面 | 折損 部 | 圓 版 | 備考 |
|-----------|-----------|----------|-----|------|-------|-------|-----|-----|-----|---------|----------|----|----|----|---------|---------|--------|-------|
| | | | | | | | | | | | | 基部 | 側縁 | 脚部 | | | | |
| - | 679-1 | A区 | 排水土 | 下呂石 | (1.2) | (1.2) | 0.3 | 0.7 | - | - | h | - | - | - | - | - | - | - |
| - | 679-2 | A区 | 排水土 | チャート | 2.1 | 2.0 | 0.7 | 3.1 | - | 65° | - | 2 | 4a | - | - | - | - | 左右非対称 |
| - | 679-3 | A区 | 排水土 | チャート | (1.1) | (0.9) | 0.2 | 0.3 | - | - | h | - | - | - | - | - | - | - |
| - | 707 | C8 | B | 下呂石 | 2.1 | (1.6) | 0.3 | 0.9 | 0.4 | 75° | b | 1b | 2a | 1b | - | - | - | - |
| - | 821 | C1区 | B | チャート | 1.8 | (1.1) | 0.3 | 0.5 | 0.3 | 55° | b | 1b | 3a | 1b | - | - | - | - |

表22 石錐一覧

| 掲載 No. | 整理 No. | 地区 遺構 | 層位 | 石材 | 分類 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重さ | 錐部 | | | | 素材 形状 | 折損 部 | 薄 版 | | |
|-----------|-----------|----------|------|------|----|-------|-------|-------|------|-------|-----|-----|-----|----------|---------|--------|---|-------|
| | | | | | | | | | | 長さ | 幅 | 厚さ | 先端角 | 断面形 | 摩耗 | | | |
| 54 | 804 | SJ23 | I | 下呂石 | 3 | 2.4 | 0.9 | 0.3 | 0.5 | 2.9 | 0.5 | 0.3 | 26° | 菱形 | 摩滅 | 綫長 | 無 | 22 16 |
| 80 | 438-3 | SK28 | I | 黒曜石 | 2 | 2.5 | 1.2 | 0.4 | 1.1 | 1.3 | 0.8 | 0.4 | 29° | 菱形 | 潰れ | 綫長 | 無 | 27 16 |
| 108 | 671 | SX01 | - | チャート | 3 | 2.1 | 1.7 | 0.43 | 1.3 | 0.9 | 0.5 | 0.3 | 34° | 菱形 | 無 | 綫長 | 無 | 32 16 |
| 244 | 193-3 | B区 | 排水土 | 下呂石 | 1 | 2.3 | 1.4 | 0.7 | 1.7 | 0.4 | 0.4 | 0.3 | 26° | 菱形 | 摩滅 | 綫長 | 無 | 39 16 |
| 245 | 515-2 | A区 | 排水土 | チャート | 1 | 2.3 | 2 | 0.7 | 2.7 | 0.6 | 0.6 | 0.4 | 57° | 三角形 | 無 | 綫長 | 無 | 39 16 |
| 246 | 420-2 | F1 | II | 下呂石 | 1 | 4.8 | 1.2 | 0.8 | 3.5 | 0.4 | 0.3 | 0.3 | 36° | 三角形 | 摩滅 | 綫長 | 無 | 39 16 |
| 247 | 030 | B区 | I・II | チャート | 2 | 3.1 | 1.6 | 0.4 | 2.9 | 1.2 | 0.9 | 0.4 | 43° | 三角形 | 無 | 綫長 | 無 | 39 16 |
| 248 | 397-1 | A区 | 排水土 | 下呂石 | 2 | 3.7 | 2 | 1 | 5.8 | 0.6 | 0.7 | 0.4 | 55° | 三角形 | 摩滅 | 綫長 | 無 | 39 16 |
| 249 | 695-1 | C区 | I・II | 凝灰岩 | 2 | 6.8 | 3.9 | 1 | 24.6 | 2.9 | 1.8 | 0.7 | 35° | 三角形 | 無 | 綫長 | 有 | 39 16 |
| 250 | 514 | A区 | 排水土 | チャート | 3 | (2.2) | 1.5 | 0.63 | 1.6 | (0.5) | 0.5 | 0.3 | - | 菱形 | 無 | 綫長 | 有 | 39 16 |
| - | 129 | B区 | 排水土 | 黒曜石 | 1 | (1.4) | 1.2 | 0.4 | 0.6 | (1.4) | 1.2 | 0.4 | 79° | 菱形 | 無 | 綫長 | 有 | - |
| - | 248-12 | A区 | I・II | チャート | 1 | 2.5 | 1.6 | 0.5 | 2.6 | 0.8 | 1 | 0.4 | 53° | 菱形 | 無 | 綫長 | 無 | - |
| - | 250-1 | A区 | 排水土 | 下呂石 | 2 | 2.6 | 1.1 | 0.5 | 1.4 | 1.5 | 0.7 | 0.4 | 33° | 菱形 | 無 | 綫長 | 無 | - |
| - | 250-4 | A区 | 排水土 | チャート | 1 | 2.9 | 2.7 | 0.52 | 3 | 0.8 | 0.6 | 0.3 | 62° | 三角形 | 無 | 綫長 | 無 | - |
| - | 253-2 | A区 | 排水土 | チャート | 1 | 3 | 2.8 | 0.7 | 7 | 0.3 | 0.5 | 0.3 | 50° | 三角形 | 無 | 横長 | 無 | - |
| - | 348 | A区 | 排水土 | チャート | 2 | (3.7) | 1.8 | 0.7 | 5 | - | 0.5 | 0.3 | - | - | 無 | 綫長 | 有 | - |
| - | 363 | A区 | 排水土 | チャート | 3 | (2.0) | (0.8) | (0.4) | 6 | 2 | 0.8 | 0.4 | 34° | 菱形 | 潰れ | 不明 | 有 | - |
| - | 374-1 | A区 | 排水土 | チャート | 1 | 2 | 1.8 | 0.4 | 1.6 | 0.4 | 0.4 | 0.3 | 52° | 菱形 | 無 | 綫長 | 無 | - |
| - | 407-1 | F2 | II | 下呂石 | 1 | 3.8 | 0.8 | 0.7 | 2 | 0.4 | 0.3 | 0.2 | 34° | 三角形 | 摩滅 | 綫長 | 無 | - |
| - | 473-2 | A区 | 排水土 | 下呂石 | 3 | (1.4) | 1.3 | 0.6 | 0.9 | (0.3) | 0.6 | 0.4 | - | 菱形 | 無 | 不明 | 有 | - |
| - | 513 | A区 | 排水土 | チャート | 2 | 2.3 | 1.5 | 0.5 | 1.6 | 0.6 | 0.5 | 0.2 | 47° | 菱形 | 潰れ | 綫長 | 無 | - |
| - | 609-9 | A区 | 排水土 | チャート | 1 | (1.9) | 1.9 | 0.63 | 2.7 | (0.2) | 0.5 | 0.4 | - | 菱形 | 無 | 綫長 | 有 | - |
| - | 646-23 | A区 | 排水土 | 黒曜石 | 1 | (2.8) | 1.6 | 0.93 | 2.8 | (0.3) | 0.5 | 0.4 | 59° | 三角形 | 潰れ | 綫長 | 無 | - |

表23 石匙一覧

| 掲載 No. | 整理 No. | 地区 遺構 | 層位 | 石材 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重さ | 位置 | | | | 素材 形状 | 折損 部 | 圓 版 | 備考 | |
|-----------|-----------|----------|------|------|--------|--------|--------|------|----|-----|----|-----|----------|---------|--------|----|-----------|
| | | | | | | | | | 位置 | 形態 | 調整 | 長さ | 刃角 | | | | |
| 251 | 248-1 | A区 | I・II | チャート | 3.9 | 2.7 | 0.5 | 5.3 | 側刃 | 外溝 | 背面 | 3.8 | 32° | 綫長 | 39 | 16 | |
| 252 | 478-7 | A区 | 排水土 | チャート | 2.3 | 1.3 | 0.6 | 2.0 | 側刃 | 直線的 | 背面 | 1.5 | 56° | 綫長 | 39 | 16 | |
| 253 | 478-6 | A区 | 排水土 | チャート | (2.7) | 1.1 | 0.7 | 2.3 | 右刃 | 外溝 | 両面 | 2.3 | 67° | 不明 | 39 | 16 | 左刃 直線的 |
| 254 | 102 | E5 | II | 下呂石 | 4.4 | 4.3 | 0.5 | 9.3 | 下端 | 直線的 | 両面 | 4.3 | 35° | 綫長 | 39 | 16 | |
| 255 | 308-1 | A区 | 排水土 | 玄武岩 | 4.3 | 4.7 | 0.6 | 13.4 | 下端 | 外溝 | 背面 | 3.9 | 43° | 横長 | 39 | 16 | |
| 256 | 810 | E7 | II | チャート | 3.6 | 4.3 | 0.8 | 7.3 | 下端 | 直線的 | 両面 | 4.3 | 57° | 横長 | 39 | 16 | |
| - | 252-1 | A区 | I・II | 下呂石 | (0.85) | (0.9) | (0.4) | 0.2 | - | - | - | - | - | 不明 | - | - | つまみ部のみ |
| - | 128-14 | SJ01 | a | 閃緑岩 | (3.80) | (2.41) | (0.71) | 5.8 | - | - | - | - | - | 不明 | - | - | 刀部大根 |

表24 スクレーパー一覧

| 掲載 No. | 整理 No. | 地区 遺構 | 層位 | 石材 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重さ | 刃部 | | | | | | 素材 形状 | 種 別 | 回 版 |
|-----------|-----------|----------|------|------|-------|-------|------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----------|--------|--------|
| | | | | | | | | | 数 | 位置 | 形態 | 調整 | 長さ | 刃角 | | | |
| 68 | 436 | SK10 | a | 凝灰岩 | 11.0 | 7.5 | 1.3 | 127.5 | 1 | 側刃 | 外溝 | 両面 | 8.3 | 48° | 紙長 | 26 | 17 |
| 257 | 320-2 | G2 | II | チャート | 3.8 | 1.9 | 0.53 | 6.0 | 1 | 末端刃 | 外溝 | 背面 | 2.6 | 33° | 紙長 | 40 | 17 |
| 258 | 349-2 | AIK | 拂土 | チャート | 3.2 | 3.9 | 0.83 | 12.8 | 1 | 末端刃 | 直線的 | 背面 | 3.0 | 38° | 紙長 | 40 | 17 |
| 259 | 326-1 | AIK | 拂土 | チャート | 3.3 | 4.5 | 1.1 | 14.1 | 1 | 末端刃 | 直線的 | 両面 | 2.6 | 40° | 紙長 | 40 | 17 |
| 260 | 279-3 | F2 | II | チャート | 3.8 | 3.8 | 0.8 | 10.8 | 1 | 側刃 | 外溝 | 両面 | 3.5 | 35° | 不明 | 40 | 17 |
| 261 | 204-1 | B15 | 拂土 | 下呂石 | 4.5 | 2.6 | 0.6 | 6.0 | 1 | 側刃 | 外溝 | 腹面 | 4.4 | 42° | 紙長 | 40 | 17 |
| 262 | 308-8 | AIK | 拂土 | チャート | 2.6 | 3.6 | 0.7 | 7.6 | 1 | 側刃 | 抉り状 | 背面 | 0.4 | 51° | 紙長 | 40 | 17 |
| - | 170 | F5 | II | 下呂石 | 2.3 | 3.3 | 0.7 | 6.1 | 1 | 側刃 | 外溝 | 両面 | 2.5 | 56° | 紙長 | - | - |
| - | 248-19 | AIK | I・II | チャート | 2.5 | 2.8 | 0.6 | 4.8 | 1 | 末端刃 | 外溝 | 背面 | 2.2 | 38° | 紙長 | - | - |
| - | 248-20 | AIK | I・II | 下呂石 | 2.3 | 2.8 | 1.0 | 4.9 | 3 | 側刃 | 外溝 | 両面 | 1.7 | 50° | 紙長 | - | - |
| - | 248-70 | AIK | I・II | チャート | 4.2 | 2.9 | 0.8 | 10.8 | 1 | 側刃 | 直線的 | 背面 | 1.3 | 33° | 紙長 | - | - |
| - | 250-13 | AIK | 拂土 | チャート | (2.5) | (4.0) | 0.7 | 9.0 | 1 | 側刃 | 直線的 | 両面 | 1.6 | 30° | 紙長 | - | - |
| - | 255-3 | AIK | I・II | チャート | 2.2 | 0.8 | 0.3 | 0.7 | 1 | 側刃 | 抉り状 | 背面 | 0.6 | 42° | 紙長 | - | - |
| - | 287-1 | F3 | II | チャート | 2.8 | 3.3 | 0.7 | 7.3 | 1 | 側刃 | 外溝 | 両面 | 2.8 | 47° | 紙長 | - | - |
| - | 287-2 | F3 | II | チャート | 1.8 | 2.7 | 0.6 | 3.6 | 1 | 末端刃 | 直線的 | 両面 | 1.7 | 53° | 紙長 | - | - |
| - | 349-36 | AIK | 拂土 | 下呂石 | (1.6) | 0.7 | 3.3 | 1 | 末端刃 | 直線的 | 背面 | 2.3 | 42° | 不明 | - | - | |
| - | 366-17 | AIK | 拂土 | チャート | 2.1 | 3.0 | 0.5 | 4.1 | 2 | 側刃 | 外溝 | 背面 | 1.6 | 47° | 紙長 | - | - |
| - | 371-1 | G4 | II | チャート | 3.2 | 1.9 | 0.7 | 5.5 | 2 | 側刃 | 外溝 | 腹面 | 1.5 | 65° | 紙長 | - | - |
| - | 374-31 | AIK | 拂土 | 下呂石 | 2.4 | 2.4 | 0.5 | 2.9 | 1 | 末端刃 | 直線的 | 腹面 | 1.4 | 56° | 不明 | - | - |
| - | 393-1 | F1 | II | チャート | 4.1 | 3.3 | 1.1 | 16 | 1 | 末端刃 | 外溝 | 背面 | 1.7 | 45° | 紙長 | - | - |
| - | 400-3 | F1 | II | 下呂石 | (1.4) | 2.5 | 0.3 | 1.4 | 1 | 末端刃 | 直線的 | 腹面 | 2.0 | 38° | 不明 | - | - |
| - | 609-1 | AIK | 拂土 | チャート | 3.2 | 4.5 | 0.9 | 14.8 | 1 | 末端刃 | 外溝 | 背面 | 3.7 | 46° | 紙長 | - | - |
| - | 646-9 | AIK | 拂土 | チャート | 5.0 | 3.4 | 1.1 | 24.6 | 1 | 末端刃 | 外溝 | 背面 | 2.7 | 45° | 紙長 | - | - |
| - | 672 | SX01 | - | 下呂石 | 5.1 | 3.7 | 1.2 | 16.0 | 1 | 側刃 | 外溝 | 背面 | 2.1 | 32° | 紙長 | - | - |
| - | 673-1 | SX01 | - | チャート | 3.6 | 4.9 | 1.2 | 16.6 | 2 | 末端刃 | 外溝 | 腹面 | 3.5 | 40° | 紙長 | - | - |
| - | 747 | C8 | II | 凝灰岩 | 3.4 | 3.3 | 1.0 | 10.4 | 1 | 側刃 | 外溝 | 背面 | 1.3 | 33° | 不明 | - | - |

表25 模形石器一覧

| 掲載 No. | 整理 No. | 地区 遺構 | 層位 | 石材 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重さ | 階段状剥離 | | | | 種 別 | 回 版 | 備考 | |
|-----------|-----------|----------|------|------|-----|-----|-----|------|-------|-----|-----|-----|--------|--------|----|--|
| | | | | | | | | | 数 | 上 | 下 | 左 | 右 | | | |
| 57 | 758-1 | SJ24 | I | チャート | 2.8 | 2.8 | 1.1 | 10.4 | 2 | 1.6 | 1.0 | - | - | 23 | 17 | |
| 263 | 320-11 | G2 | II | チャート | 2.2 | 1.7 | 0.8 | 4.7 | 2 | 1.6 | 1.7 | - | - | 40 | 17 | |
| 264 | 632 | B15 | I・II | チャート | 2.0 | 1.9 | 0.7 | 4.4 | 4 | 1.3 | 1.8 | 2.1 | 1.9 | 40 | 17 | |
| 265 | 242-1 | AIK | 拂土 | チャート | 3.7 | 2.6 | 1.1 | 15.7 | 4 | 2.6 | 2.2 | 3.4 | 3.5 | 40 | 17 | |
| - | 181 | F2 | II | チャート | 2.7 | 1.6 | 0.6 | 3.6 | 2 | 1.4 | 0.9 | - | - | - | - | |
| - | 248-37 | AIK | I・II | チャート | 2.3 | 1.9 | 0.5 | 3.7 | 2 | 1.4 | 2.1 | - | - | - | - | |
| - | 349-35 | AIK | 拂土 | チャート | 2.2 | 1.8 | 0.6 | 2.8 | 2 | 1.6 | 1.3 | - | - | - | - | |
| - | 366-16 | AIK | 拂土 | チャート | 2.7 | 3.0 | 1.3 | 11.4 | 2 | 1.3 | 1.9 | - | - | - | - | |
| - | 662-6 | AIK | 拂土 | 下呂石 | 2.1 | 2.3 | 0.5 | 2.4 | 2 | 1.6 | 1.5 | - | - | - | - | |
| - | 679-6 | AIK | 拂土 | チャート | 2.8 | 2.4 | 1.6 | 11.4 | 1 | 1.6 | - | - | - | - | - | |

表26 打製石斧一覧

| 掲載 No. | 整理 No. | 形 態 | 地区 遺構 | 層 位 | 石 材 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重さ | 欠 損 | 刀頭 | | | | | 種 類 | 回 数 | |
|-----------|-----------|--------|----------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|--------|----|-----|-----|----|----|--------|--------|----|
| | | | | | | | | | | | 形態 | 幅 | 刃角 | 摩耗 | 刃毀 | 擦痕 | | |
| 266 | 808 | I | EB | II | 粘板岩 | 7.9 | 4.2 | 1.1 | 49.6 | 基部 | 2 | 3.4 | 66° | 有 | 無 | 無 | 40 | 17 |
| 267 | 146 | I | BK | 拂土 | 泥岩 | 9.3 | 4.8 | 1.4 | 83.7 | 無 | 2 | 4.5 | 40° | 無 | 無 | 無 | 40 | 17 |
| 268 | 275-24 | I | AIK | 拂土 | 玄武岩 | 10.9 | 3.7 | 1.3 | 72.9 | 無 | 4 | 2.8 | 83° | 無 | 無 | 無 | 40 | 17 |
| 269 | 700 | I | DR | II | 玄武岩 | (8.5) | 3.9 | 1.3 | 58.1 | 基部 | 2 | 3.7 | 43° | 有 | 無 | 無 | 40 | 17 |
| 270 | 433-2 | I | AIK | 拂土 | 粘板岩 | (7.2) | 4.2 | 1.2 | 55.0 | 刀部 | - | - | - | - | - | - | 40 | 17 |
| 271 | 275-26 | 2 | AIK | 拂土 | 玄武岩 | (8.9) | 5.2 | 2.9 | 139.1 | 刀部 | - | - | - | - | - | - | 40 | 17 |
| - | 008 | 1 | BIK | I・II | 粘板岩 | (6.1) | 4.7 | (1.1) | 41 | 一部残 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| - | 249-87 | 1 | AIK | I・II | 粘板岩 | (7.9) | 4.5 | 1.4 | 74.8 | 基部 | 3 | 3.8 | 33° | 無 | 無 | 無 | - | - |
| - | 248-88 | 1 | AIK | I・II | 粘板岩 | (6.8) | 4.3 | (0.5) | 22.4 | 刃部・基部 | 0 | - | - | - | - | - | - | - |
| - | 248-89 | 0 | AIK | I・II | 粘板岩 | (3.3) | 2.9 | 0.7 | 9.9 | 一部残 | 0 | - | - | - | - | - | - | - |
| - | 258-1 | 0 | AIK | I・II | 粘板岩 | (12.1) | (2.7) | (0.6) | 32.3 | 一部残 | 0 | - | - | - | - | - | - | - |
| - | 261-21 | 1 | AIK | 拂土 | 泥岩 | (8.1) | 3.5 | 1.6 | 68.8 | 基部 | 2 | 2.6 | 54° | 有 | 無 | 無 | - | - |
| - | 275-25 | 0 | AIK | 拂土 | 粘板岩 | (5.7) | 4.6 | 1.1 | 39.3 | 一部残 | 4 | 4.5 | 39° | 有 | 無 | 無 | - | - |
| - | 279-7 | 2 | F2 | II | 粘板岩 | (5.9) | 3.7 | 1.3 | 35.1 | 刀部 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| - | 311-1 | 1 | F2 | II | 粘板岩 | (5.0) | 4.4 | 0.7 | 24.1 | 一部残 | 2 | 4.1 | 55° | 有 | 有 | 無 | - | - |
| - | 349-32 | 1 | AIK | 拂土 | 粘板岩 | (13.1) | (6.0) | (1.0) | 67.4 | 刀部・基部 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| - | 349-37 | 1 | AIK | 拂土 | 泥岩 | (5.4) | 3.6 | 0.8 | 24.3 | 一部残 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| - | 366-2 | 1 | AIK | 拂土 | 粘板岩 | (9.2) | 5.3 | 1.0 | 77.0 | 刀部 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| - | 366-34 | 0 | AIK | 拂土 | 粘板岩 | (2.0) | (6.0) | 1.1 | 13.4 | 一部残 | 2 | 5.5 | 77° | 有 | 無 | 無 | - | - |
| - | 374-2 | 1 | AIK | 拂土 | 粘板岩 | (7.9) | 3.5 | 1.2 | 48.0 | 刀部 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| - | 374-3 | 1 | AIK | 拂土 | 粘板岩 | (5.2) | 3.4 | 1.0 | 22.6 | 刀部 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| - | 374-4 | 2 | AIK | 拂土 | 粘板岩 | (6.9) | 4.4 | 0.9 | 34.8 | 刀部 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| - | 478-1 | 1 | AIK | 拂土 | 粘板岩 | (5.8) | 3.9 | 1.1 | 34.6 | 基部 | 4 | 3 | 81° | 有 | 無 | 無 | - | - |
| - | 478-2 | 1 | AIK | 拂土 | 粘板岩 | (5.9) | 3.9 | 1.2 | 29.8 | 基部 | 4 | 3.6 | 34° | 有 | 有 | 有 | - | - |
| - | 478-3 | 1 | AIK | 拂土 | 粘板岩 | 6.9 | 3.9 | 1.6 | 54.5 | 基部 | 2 | 3.3 | 30° | 無 | 有 | 無 | - | - |
| - | 478-4 | 1 | AIK | 拂土 | 粘板岩 | (3.7) | 3.5 | 0.7 | 15.2 | 刃部・基部 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| - | 570-2 | 1 | AIK | 拂土 | 粘板岩 | (7.1) | 3.1 | 0.7 | 22.2 | 基部 | 2 | 3.2 | 41° | 無 | 無 | 無 | - | - |
| - | 646-10 | 0 | AIK | 拂土 | 粘板岩 | (3.8) | 4.1 | 0.6 | 13.6 | 一部残 | 1 | 3.8 | 41° | 有 | 有 | 無 | - | - |
| - | 812 | 2 | CIK | I・II | 粘板岩 | (8.1) | 4.1 | 1.2 | 54.4 | 基部 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| - | 814-1 | 0 | CIK | II | 粘板岩 | (5.9) | (3.9) | (0.5) | 12.6 | 刀部・基部 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| - | 831 | 1 | CIK | II | 泥岩 | (8.1) | 4.3 | 1.0 | 39.0 | 基部 | 2 | 3.5 | 36° | 無 | 有 | 無 | - | - |

表27 石核一覧

| 掲載 No. | 整理 No. | 地区 | 層 位 | 石材 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重さ | 自然 面 | 磨り 面 | 打面 数 | 打面の状態 | 作業 面数 | 素 材 | 持 因 | 回 数 |
|-----------|-----------|-----|--------|------|-----|-----|-----|-------|---------|---------|---------|--------------------------------|----------|--------|--------|--------|
| 272 | 263-1 | AIK | I・II | 黑曜石 | 1.5 | 2.6 | 0.9 | 4.2 | 有 | 無 | 2 | 自然面を打面とし、180°移動させて作業面を2面持つ。 | 2 | 剥片 | 41 | - |
| 273 | 679-7 | AIK | 拂土 | チャート | 2.2 | 1.9 | 1.4 | 7.1 | 有 | 無 | 1 | 自然面を打面とし、90°移動させて作業面を2面持つ。 | 2 | 剥片 | 41 | 17 |
| 274 | 365-5 | F2 | II | チャート | 2.9 | 2.1 | 1.1 | 6.3 | 無 | 無 | 1 | 剥離面を打面とし、90°ずつ移動して作業面を3面持つ。 | 3 | 剥片 | 41 | - |
| 275 | 651-24 | AIK | 拂土 | チャート | 5.1 | 5.5 | 2.3 | 70.0 | 有 | 無 | 2 | 剥離面と自然面を打面とし、90°移動させて作業面を2面持つ。 | 2 | 剥片 | 41 | 17 |
| - | 064 | EB | II | チャート | 2.5 | 2.1 | 0.9 | 5.4 | 有 | 無 | 1 | 自然面を打面とし、180°移動させて作業面を2面持つ。 | 2 | 剥片 | - | - |
| - | 349-16 | AIK | 拂土 | 安山岩 | 6.9 | 7.1 | 2.6 | 127.6 | 有 | 無 | 1 | 平粗面の両面を打面とし、作業面を2面持つ。 | 2 | 礫 | - | - |
| - | 433-5 | AIK | 拂土 | チャート | 4.3 | 3.3 | 1.8 | 31.0 | 有 | 無 | 1 | 自然面を打面とし、180°移動させて作業面を2面持つ。 | 2 | 剥片 | - | - |
| - | 662-10 | AIK | 拂土 | チャート | 4.7 | 3.3 | 1.5 | 25.4 | 有 | 無 | 1 | 剥離面を打面とし、作業面を2面持つ。 | 2 | 剥片 | - | - |
| - | 662-14 | AIK | 拂土 | 下呂石 | 3.4 | 2.2 | 1.6 | 9.0 | 有 | 無 | 1 | 剥離面を打面とし、90°ずつ移動して作業面を2面持つ。 | 1 | 剥片 | - | - |

表28 調整剥離を施す剥片(RF)一覧

| 掲載 No. | 整理 No. | 地区 構構 | 層位 | 石材 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重さ | 刃部 | | | | 素材 形状 | 排 版 | | | |
|-----------|-----------|----------|------|------|-------|-------|-----|------|----|-----|----------|-----|----------|--------|----|----|----|
| | | | | | | | | | 数 | 位置 | 調整 形態 | 長さ | 刃角 | | | | |
| 37 | 109-42 | SK14 | I | 玄武岩 | 1.4 | 1.2 | 0.3 | 0.7 | 1 | 側刃 | 背面 | 外溝 | 1.3 | 30° | 不明 | 18 | - |
| 109 | 673-3 | SN01 | - | 下呂石 | (3.0) | (2.8) | 1.0 | 4.4 | 2 | 末端刃 | 背面 | 外溝 | 1.2 | 43° | 不明 | 32 | - |
| 276 | 650 | A区 | 排土 | 凝灰岩 | (1.9) | (1.8) | 0.6 | 1.5 | 2 | 側刃 | 背面 | 外溝 | 1.9 | 30° | 不明 | 41 | 17 |
| 277 | 145 | B区 | 排土 | チャート | 3.2 | 3.6 | 1.0 | 11.8 | 3 | 側刃 | 背面 | 外溝 | 2.8 | 46° | 横長 | 41 | 17 |
| 278 | 410-1 | G2 | B | チャート | 4.0 | 3.8 | 1.3 | 16.2 | 2 | 基辺 | 背面 | 外溝 | 3.7 | 52° | 横長 | 41 | 17 |
| - | 203-1 | B区 | 排土 | チャート | 1.5 | 4.7 | 0.8 | 7.2 | 1 | 末端刃 | 背面 | 外溝 | 3.5 | 43° | 横長 | - | - |
| - | 216-2 | SK42 | I | 下呂石 | (0.7) | (1.6) | 0.2 | 0.1 | 1 | 側刃 | 直線的 | 1.2 | 28° | 不明 | - | - | |
| - | 234-8 | A区 | 排土 | チャート | 3.1 | 3.1 | 0.8 | 5.4 | 1 | 側刃 | 背面 | 直線的 | 0.8 | 55° | 縦長 | - | - |
| - | 255-7 | A区 | I・II | 下呂石 | (0.9) | (2.3) | 0.3 | 0.8 | 1 | 基辺 | 背面 | 外溝 | 0.9 | 40° | 不明 | - | - |
| - | 255-8 | A区 | I・II | 下呂石 | (1.6) | 1.5 | 0.4 | 1.3 | 1 | 側刃 | 背面 | 直線的 | 1.4 | 50° | 不明 | - | - |
| - | 270-2 | A区 | 排土 | チャート | (1.8) | (1.7) | 0.7 | 1.8 | 1 | 側刃 | 背面 | 块状 | 0.8 | 53° | 不明 | - | - |
| - | 287-8 | F3 | B | チャート | 2.1 | 2.0 | 0.8 | 2.2 | 1 | 側刃 | 背面 | 内溝 | 1.1 | 40° | 縦長 | - | - |
| - | 320-4 | G2 | B | チャート | 2.7 | 2.4 | 0.8 | 4.3 | 1 | 側刃 | 背面 | 直線的 | 1.4 | 36° | 縦長 | - | - |
| - | 349-10 | A区 | 排土 | チャート | (1.5) | (1.9) | 0.8 | 1.5 | 1 | 末端刃 | 背面 | 直線的 | 1.8 | 50° | 不明 | - | - |
| - | 356-14 | A区 | 排土 | 玄武岩 | (2.5) | (2.4) | 0.7 | 3.0 | 1 | 側刃 | 背面 | 直線的 | 1.2 | 47° | 不明 | - | - |
| - | 366-6 | A区 | 排土 | 下呂石 | (1.6) | (1.8) | 0.4 | 1.0 | 1 | 末端刃 | 背面 | 外溝 | 1.9 | 31° | 不明 | - | - |
| - | 374-9 | A区 | 排土 | チャート | (1.5) | (3.3) | 0.9 | 5.1 | 1 | 側刃 | 背面 | 外溝 | 2.1 | 54° | 不明 | - | - |
| - | 374-28 | A区 | 排土 | チャート | 2.4 | 2.0 | 0.6 | 2.0 | 1 | 末端刃 | 背面 | 直線的 | 0.9 | 62° | 縦長 | - | - |
| - | 374-29 | A区 | 排土 | チャート | (0.8) | (2.0) | 3.0 | 0.6 | 1 | 側刃 | 背面 | 块状 | 0.9 | 51° | 不明 | - | - |
| - | 423-2 | F2 | B | 黒曜石 | (2.3) | (1.2) | 0.6 | 1.8 | 1 | 側刃 | 背面 | 直線的 | 0.5 | 45° | 不明 | - | - |
| - | 425-1 | A区 | 排土 | チャート | 2.2 | 2.2 | 0.8 | 4.4 | 1 | 側刃 | 背面 | 直線的 | 1.5 | 47° | 縦長 | - | - |
| - | 478-8 | A区 | 排土 | チャート | (1.6) | (2.8) | 0.6 | 3.0 | 1 | 側刃 | 背面 | 外溝 | 0.6 | 37° | 不明 | - | - |
| - | 526-1 | A区 | 排土 | 下呂石 | (1.2) | (2.3) | 0.5 | 1.7 | 1 | 末端刃 | 背面 | 内溝 | 2.3 | 38° | 不明 | - | - |
| - | 535-1 | 複合坂 | - | 黒曜石 | (0.9) | (1.4) | 0.2 | 0.3 | 2 | 側刃 | 背面 | 直線的 | 0.8 | 30° | 不明 | - | - |
| - | 570-15 | A区 | 排土 | 黒曜石 | (0.9) | (2.0) | 0.5 | 0.6 | 1 | 末端刃 | 背面 | 内溝 | 1.3 | 52° | 不明 | - | - |
| - | 609-4 | A区 | 排土 | チャート | (1.0) | (2.4) | 0.3 | 0.7 | 2 | 側刃 | 背面 | 外溝 | 1.4 | 27° | 不明 | - | - |
| - | 609-10 | A区 | 排土 | 下呂石 | (1.2) | (2.1) | 0.5 | 1.3 | 2 | 側刃 | 腹面 | 直線的 | 1.0 | 39° | 不明 | - | - |
| - | 651-4 | A区 | 排土 | チャート | (1.9) | (0.9) | 0.6 | 1.1 | 1 | 側刃 | 背面 | 外溝 | 1.9 | 55° | 不明 | - | - |
| - | 651-6 | A区 | 排土 | チャート | (1.8) | (2.4) | 0.6 | 3.1 | 1 | 側刃 | 背面 | 外溝 | 1.6 | 36° | 不明 | - | - |
| - | 651-8 | A区 | 排土 | 下呂石 | (2.0) | (1.2) | 0.6 | 1.4 | 1 | 末端刃 | 背面 | 外溝 | 1.2 | 62° | 不明 | - | - |
| - | 673-2 | SN01 | - | 黒曜石 | (0.9) | (2.8) | 0.9 | 1.7 | 1 | 末端刃 | 背面 | 直線的 | 2.6 | 58° | 不明 | - | - |
| - | 681-1 | A区 | 排土 | 下呂石 | (1.3) | (1.6) | 0.3 | 0.6 | 1 | 側刃 | 背面 | 外溝 | 1.6 | 43° | 不明 | - | - |
| - | 814-3 | C区 | B | チャート | 2.4 | 2.8 | 0.9 | 5.1 | 1 | 側刃 | 腹面 | 直線的 | 0.9 | 74° | 横長 | - | - |

表29 微細な剥離痕を有する剥片(RF)一覧(1)

| 掲載 No. | 整理 No. | 地区 構構 | 層位 | 石材 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重さ | 刃部 | | | | 素材 形状 | 排 版 | | | |
|-----------|-----------|----------|------|------|-----|-----|-----|------|----|-----|----|-----|----------|--------|----|----|----|
| | | | | | | | | | 数 | 位置 | 方向 | 形態 | | | | | |
| 63 | 543-1 | SK03 | a | チャート | 3.7 | 1.4 | 0.6 | 3.3 | 1 | 末端刃 | 腹面 | 直線的 | 1.7 | 50° | 紙長 | 25 | - |
| 73 | 463-21 | SK14 | I | 凝灰岩 | 4.4 | 2.7 | 0.8 | 9.5 | 1 | 末端刃 | 背面 | 外溝 | 2.2 | 25° | 紙長 | 27 | 17 |
| 74 | 464-1 | SK14 | I | 下呂石 | 1.7 | 1.9 | 0.6 | 1.5 | 1 | 末端刃 | 腹面 | 直線的 | 1.8 | 24° | 横長 | 27 | 17 |
| 82 | 440-2 | SK30 | a | 下呂石 | 2.2 | 1.0 | 0.3 | 0.8 | 1 | 側刃 | 腹面 | 内溝 | 1.3 | 25° | 紙長 | 28 | - |
| 88 | 197-1 | SK40 | I | チャート | 4.5 | 2.8 | 1.6 | 14.3 | 1 | 側刃 | 腹面 | 直線的 | 1.3 | 47° | 紙長 | 29 | 17 |
| 110 | 497-3 | SN01 | - | チャート | 4.6 | 3.5 | 1.0 | 19.2 | 1 | 側刃 | 腹面 | 直線的 | 2.4 | 38° | 紙長 | 32 | 17 |
| 279 | 287-3 | F3 | B | 黒曜石 | 2.2 | 0.4 | 0.2 | 0.3 | 1 | 側刃 | 腹面 | 直線的 | 1.1 | 38° | 紙長 | 41 | - |
| 280 | 400-1 | F1 | B | チャート | 2.6 | 1.3 | 0.5 | 1.3 | 1 | 側刃 | 腹面 | 直線的 | 1.5 | 23° | 紙長 | 41 | - |
| 281 | 248-13 | A区 | I・II | チャート | 2.0 | 2.1 | 0.8 | 3.6 | 2 | 側刃 | 背面 | 直線的 | 1.3 | 30° | 横長 | 41 | 17 |
| 282 | 657 | A区 | 排土 | チャート | 3.3 | 2.2 | 0.6 | 5.4 | 2 | 側刃 | 腹面 | 直線的 | 1.4 | 31° | 紙長 | 41 | - |
| 283 | 136 | F2 | B | チャート | 4.3 | 2.4 | 0.9 | 10.1 | 2 | 側刃 | 背面 | 直線的 | 2.1 | 42° | 紙長 | 41 | - |
| 284 | 379-1 | F2 | B | 下呂石 | 3.4 | 2.1 | 0.5 | 3.8 | 2 | 側刃 | 腹面 | 直線的 | 1.6 | 43° | 紙長 | 41 | - |
| 285 | 349-34 | A区 | 排土 | チャート | 2.9 | 2.6 | 0.7 | 4.4 | 2 | 側刃 | 腹面 | 内溝 | 0.8 | 45° | 紙長 | 41 | - |
| 286 | 295-1 | F1 | B | 黒曜石 | 2.5 | 1.8 | 0.8 | 4.2 | 2 | 側刃 | 腹面 | 直線的 | 2.2 | 27° | 紙長 | 41 | - |
| | | | | | | | | | | | | | 1.5 | 61° | 紙長 | 41 | 17 |
| | | | | | | | | | | | | | 0.6 | 68° | 紙長 | 41 | 17 |

表30 微細な剥離痕を有する剥片(MF)一覧(2)

| 掲載 No. | 整理 No. | 地区 遺構 | 層位 | 石材 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重さ | 刃部 | | | | | 素材 形状 | 拂 団 | 図 版 | |
|-----------|-----------|----------|------|------|-------|-------|-------|------|----|-----|----|-----|-----|----------|--------|--------|---|
| | | | | | | | | | 数 | 位置 | 方向 | 形態 | 長S | 刃角 | | | |
| 287 | 100 | B5 | II | チャート | 4.3 | 3.0 | 1.4 | 12.0 | 2 | 側刃 | 背面 | 直線的 | 2.3 | 52° | 研長 | 41 | - |
| 288 | 319-1 | G3 | II | チャート | 4.0 | 3.0 | 0.8 | 12.6 | 1 | 末端刃 | 背面 | 外湾 | 1.7 | 34° | 研長 | 41 | - |
| 289 | 410-7 | G2 | II | チャート | 3.5 | 2.2 | 0.7 | 5.2 | 1 | 末端刃 | 背面 | 外湾 | 1.3 | 23° | 研長 | 41 | - |
| 290 | 651-9 | A区 | 拂土 | チャート | 2.2 | 2.7 | 0.7 | 4.7 | 2 | 末端刃 | 背面 | 直線的 | 2.3 | 28° | 横長 | 41 | - |
| 291 | 489-10 | A区 | 拂土 | チャート | 2.9 | 2.5 | 0.7 | 5.8 | 2 | 側刃 | 背面 | 直線的 | 1.4 | 36° | 横長 | 41 | - |
| 292 | 646-32 | A区 | 拂土 | 下呂石 | 2.4 | 2.4 | 0.5 | 2.7 | 2 | 側刃 | 背面 | 外湾 | 2.5 | 22° | 研長 | 41 | - |
| - | 043 | F5 | I b | 下呂石 | (1.5) | (2.1) | (0.4) | 0.9 | 1 | 末端刃 | 腹面 | 外湾 | 2.0 | 52° | - | - | - |
| - | 088 | E4 | II | チャート | 2.4 | 2.6 | 0.8 | 4.5 | 1 | 側刃 | 腹面 | 直線的 | 0.9 | 28° | 不明 | - | - |
| - | 112 | F5 | II | チャート | 2.1 | (1.5) | (0.7) | 2.6 | 2 | 側刃 | 両面 | 内湾 | 1.2 | 35° | 横長 | - | - |
| - | 147-1 | BI区 | 拂土 | 下呂石 | 2.5 | 3.2 | 1.0 | 7.5 | 1 | 側刃 | 背面 | 直線的 | 1.0 | 40° | 眼長 | - | - |
| - | 260-1 | SK16 | a | チャート | (2.0) | (0.8) | (0.4) | 0.7 | 1 | 側刃 | 背面 | 外湾 | 1.6 | 33° | 横長 | - | - |
| - | 216-1 | SK42 | I | 下呂石 | (1.8) | 0.8 | 0.2 | 0.4 | 2 | 側刃 | 背面 | 外湾 | 0.8 | 45° | 研長 | - | - |
| - | 223-1 | BI区 | I・II | チャート | 2.3 | 2.6 | 0.6 | 3.9 | 1 | 末端刃 | 背面 | 外湾 | 1 | 30° | 研長 | - | - |
| - | 248-17 | A区 | I・II | 下呂石 | (1.0) | (2.5) | (0.3) | 3 | 1 | 末端刃 | 腹面 | 外湾 | 2.0 | 28° | 横長 | - | - |
| - | 250-23 | A区 | 拂土 | チャート | 3.3 | 2.6 | 1.0 | 8.6 | 2 | 側刃 | 背面 | 内湾 | 0.7 | 41° | 研長 | - | - |
| - | 270-3 | A区 | 拂土 | チャート | (1.1) | (2.3) | (0.6) | 1.3 | 1 | 末端刃 | 腹面 | 直線的 | 0.7 | 36° | 不明 | - | - |
| - | 279-4 | F2 | II | 下呂石 | 1.6 | 1.5 | 0.2 | 0.4 | 1 | 側刃 | 腹面 | 直線的 | 1.1 | 22° | 研長 | - | - |
| - | 285-20 | F2 | II | チャート | 3.2 | 4.5 | 0.5 | 7.8 | 1 | 側刃 | 背面 | 外湾 | 1.3 | 30° | 横長 | - | - |
| - | 287-6 | F3 | II | 下呂石 | 2.8 | 1.8 | 0.8 | 3.5 | 2 | 側刃 | 背面 | 内湾 | 0.5 | 48° | 研長 | - | - |
| - | 295-4 | F1 | II | チャート | 1.7 | 1.8 | 0.7 | 1.7 | 1 | 側刃 | 背面 | 直線的 | 1.0 | 33° | 横長 | - | - |
| - | 308-3 | A区 | 拂土 | チャート | 2.2 | 1.5 | 0.2 | 1.5 | 1 | 側刃 | 腹面 | 直線的 | 0.8 | 27° | 研長 | - | - |
| - | 308-4 | A区 | 拂土 | チャート | 2.9 | 1.6 | 0.6 | 2.2 | 1 | 側刃 | 腹面 | 内湾 | 1.3 | 22° | 研長 | - | - |
| - | 320-9 | G2 | II | 黒曜石 | (1.9) | (1.2) | (0.6) | 0.9 | 2 | 側刃 | 腹面 | 内湾 | 1.0 | 40° | 眼長 | - | - |
| - | 320-12 | G2 | II | 黒曜石 | 3.1 | 1.2 | 1.1 | 3.0 | 1 | 側刃 | 背面 | 外湾 | 2.8 | 57° | 研長 | - | - |
| - | 320-18 | G2 | II | チャート | 1.3 | 1.2 | 0.2 | 0.4 | 2 | 側刃 | 腹面 | 内湾 | 0.7 | 40° | 横長 | - | - |
| - | 326-5 | A区 | 拂土 | チャート | 2.4 | 1.5 | 0.5 | 1.6 | 1 | 側刃 | 背面 | 直線的 | 0.7 | 68° | 研長 | - | - |
| - | 332-1 | H3 | II | チャート | 2.2 | 4.6 | 0.7 | 7.8 | 1 | 側刃 | 腹面 | 外湾 | 0.3 | 22° | 横長 | - | - |
| - | 332-2 | H3 | II | チャート | 2.6 | 4.7 | 0.9 | 10.8 | 1 | 末端刃 | 背面 | 直線的 | 0.7 | 43° | 横長 | - | - |
| - | 356-17 | A区 | 拂土 | 下呂石 | 2.1 | 2.0 | 0.4 | 1.3 | 2 | 側刃 | 腹面 | 外湾 | 0.8 | 30° | 研長 | - | - |
| - | 366-33 | A区 | 拂土 | チャート | 3.2 | 2.9 | 0.9 | 8.4 | 1 | 末端刃 | 腹面 | 直線的 | 0.7 | 35° | 研長 | - | - |
| - | 374-10 | A区 | 拂土 | チャート | 2.9 | 2.3 | 1.0 | 7.1 | 1 | 側刃 | 背面 | 内湾 | 1.2 | 53° | 横長 | - | - |
| - | 374-30 | A区 | 拂土 | 下呂石 | 2.2 | 3.8 | 0.7 | 5.3 | 1 | 未端刃 | 腹面 | 外湾 | 1.2 | 26° | 横長 | - | - |
| - | 374-32 | A区 | 拂土 | 下呂石 | (1.4) | (1.7) | (0.3) | 0.7 | 1 | 側刃 | 背面 | 外湾 | 0.9 | 40° | 研長 | - | - |
| - | 393-3 | F1 | II | チャート | (0.7) | (1.4) | (0.2) | 0.2 | 1 | 側刃 | 腹面 | 内湾 | 0.8 | 32° | 横長 | - | - |
| - | 400-6 | F1 | II | チャート | 3.8 | 3.4 | 1.2 | 13.6 | 1 | 側刃 | 腹面 | 内湾 | 2.0 | 40° | 眼長 | - | - |
| - | 400-19 | F1 | II | チャート | (1.2) | (3.0) | (0.4) | 1.9 | 1 | 未端刃 | 背面 | 外湾 | 1.4 | 58° | 横長 | - | - |
| - | 403-1 | G3 | II | チャート | 2.2 | 2.6 | 1.0 | 6.4 | 1 | 未端刃 | 腹面 | 外湾 | 2.5 | 50° | 横長 | - | - |
| - | 410-5 | G2 | II | 下呂石 | 2.4 | 1.4 | 0.5 | 1.8 | 1 | 側刃 | 腹面 | 外湾 | 1.2 | 53° | 研長 | - | - |
| - | 489-17 | A区 | 拂土 | チャート | 2.4 | 3.5 | 1.0 | 8.2 | 1 | 未端刃 | 腹面 | 外湾 | 1.4 | 38° | 横長 | - | - |
| - | 515-15 | A区 | 拂土 | 下呂石 | (1.5) | (1.9) | (0.4) | 0.8 | 1 | 未端刃 | 腹面 | 外湾 | 1.6 | 30° | 研長 | - | - |
| - | 526-2 | A区 | 拂土 | 下呂石 | 3.1 | 3.7 | 0.9 | 10.6 | 1 | 側刃 | 背面 | 内湾 | 0.7 | 68° | 横長 | - | - |
| - | 557 | SD01 | I | チャート | (1.0) | (3.0) | (0.2) | 1.3 | 1 | 未端刃 | 腹面 | 外湾 | 0.7 | 22° | 横長 | - | - |
| - | 596-4 | A区 | 拂土 | 下呂石 | (1.0) | (1.9) | (0.3) | 1.0 | 1 | 側刃 | 背面 | 内湾 | 1.2 | 25° | 横長 | - | - |
| - | 609-8 | A区 | 拂土 | チャート | (1.9) | (2.6) | (0.6) | 2.8 | 1 | 側刃 | 背面 | 直線的 | 1.7 | 26° | 横長 | - | - |
| - | 646-30 | A区 | 拂土 | チャート | 2.7 | 1.9 | 0.8 | 3.9 | 1 | 側刃 | 両面 | 直線的 | 1.3 | 37° | 眼長 | - | - |
| - | 646-31 | A区 | 拂土 | チャート | 2.8 | 2 | 0.6 | 3.4 | 1 | 側刃 | 背面 | 直線的 | 0.9 | 22° | 研長 | - | - |
| - | 683-1 | D8 | I・II | チャート | (2.0) | (1.9) | (0.3) | 1.2 | 1 | 側刃 | 背面 | 直線的 | 1.7 | 28° | 不明 | - | - |
| - | 814-2 | C区 | II | チャート | 2.8 | 2.8 | 0.7 | 6.6 | 1 | 側刃 | 腹面 | 外湾 | 1.8 | 35° | 横長 | - | - |

表31 石錐一覧

| 掲載 No. | 整理 No. | 地区 遺構 | 層位 | 石材 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重さ | 織掛鉄計測 | | | 加工 | | 帯状鉄 | 折損 | 揮 國 | 國 版 |
|-----------|-----------|----------|----|-----|------|-----|-----|------|-------|-----|-----|-------|-------|-----|----|--------|--------|
| | | | | | | | | | a | b | 1.2 | 上端 | 下端 | | | | |
| 71 | 559 | SK13 | I | 泥岩 | 6.9 | 3.2 | 0.6 | 18.4 | 0.7 | 0.1 | 6.7 | 打欠後切目 | 打欠後切目 | 無 | 無 | 26 | 17 |
| 77 | 177-3 | SK15 | d | 粘板岩 | 3.9 | 3.9 | 0.8 | 16.9 | 1.3 | - | - | 両面打欠 | - | 無 | 有 | 27 | 17 |
| 293 | 963 | E4 | II | 泥岩 | 4.2 | 2.7 | 0.8 | 10.9 | 0.9 | 1.1 | 3.8 | 両面打欠 | 両面打欠 | 無 | 無 | 42 | 17 |
| - | 400-20 | F1 | II | 泥岩 | 3.80 | 3.1 | 0.8 | 10.1 | 1.0 | 0.5 | 3.3 | 両面打欠 | 両面打欠 | 無 | 有 | - | - |

表32 磨石類一覧

| 掲載 No. | 整理 No. | 地区 遺構 | 層位 | 石材 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重さ | 形状 | 使用痕 | | | 折損 | 揮 國 | 國 版 |
|-----------|-----------|----------|------|-----|------|-----|-----|-------|-----|--------|-----|----|----|--------|--------|
| | | | | | | | | | | 平坦面 | 側面 | 側面 | | | |
| 294 | 139 | B15 | 堆土 | 砂岩 | 8.9 | 7.6 | 4.0 | 369.0 | 円形 | 敲打痕・磨痕 | 敲打痕 | 無 | 42 | 18 | |
| 295 | 041 | H5 | Ib | 安山岩 | 8.7 | 6.2 | 5.1 | 397.0 | 楕円形 | 磨痕 | 敲打痕 | 無 | 42 | 18 | |
| 296 | 037 | G6 | Ib | 安山岩 | 12.6 | 6.7 | 5.6 | 608.5 | 楕円形 | 無 | 敲打痕 | 無 | 42 | 18 | |
| 297 | 699 | C15 | I・II | 流紋岩 | 6.2 | 7.7 | 5.8 | 415.5 | 不定形 | 無 | 磨痕 | 無 | 42 | 18 | |
| - | 046 | H6 | Ib | 安山岩 | 12.9 | 12 | 3.9 | 979.5 | 円形 | 磨痕 | 無 | 無 | - | - | |
| - | 052 | F5 | Ib | 砂岩 | 5.5 | 5.9 | 3.0 | 113.2 | 円形 | 磨痕 | 無 | 無 | - | - | |
| - | 354 | A15 | 堆土 | 凝灰岩 | 6.6 | 5.3 | 4.9 | 178.2 | 楕円形 | 敲打痕・磨痕 | 敲打痕 | 無 | - | - | |

表33 石皿一覧

| 掲載 No. | 整理 No. | 地区 遺構 | 層位 | 石材 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重さ | 使用痕 | | | 折損 | 揮 國 | 國 版 | 備考 |
|-----------|-----------|----------|----|-----|-----|-----|-----|---------|-----|----|-----|----|--------|------------|----|
| | | | | | | | | | 平坦面 | 側面 | 側面 | | | | |
| 78 | 194 | SK15 | I | 花崗岩 | 7.7 | 8.4 | 8.8 | 1,048.5 | 磨痕 | 無 | 破片 | 27 | 17 | 被熱板あり。白石か。 | |
| - | 645 | A15 | 堆土 | 安山岩 | 8.4 | 9.0 | 2.0 | 286.2 | 磨痕 | 無 | 1/2 | - | - | 石皿か。 | |

表34 錢貨一覧

| 掲載 No. | 整理 No. | 地区 遺構 | 層位 | 長さ | 幅 | 厚さ | 重さ | 備考 | | | 揮 國 | 國 版 | 備考 |
|-----------|-----------|----------|----|-----|-----|-----|-----|-------------------------------------|----|----|--------|--------|----|
| | | | | | | | | 備考 | 備考 | 備考 | | | |
| 302 | 625 | A15 | I | 2.6 | 2.6 | 0.1 | 3.4 | 「文久永寶」(草文)、孔:10.6cm×0.6cmの方形、初説文久3年 | | | 43 | 18 | |

第4章 自然科学分析

第1節 分析の概要

本節では、次節以降に記載する自然科学分析を実施した経緯と、結果の概要及び考察を述べる。

1 土器埋設遺構の土器内埋土のリン・カルシウム分析（第2節）

分析の経緯 調査では24基の土器埋設遺構を検出した。この遺構の性格については、土器を棺とする墓や再生を願う祭祀遺構といった説がある。このため、リン・カルシウム分析を行い、骨などが存在した可能性について検討し、遺構の性格付けの材料とする目的として実施した。分析対象としたのは、C区で検出した土器埋設遺構10基のうち、埋設土器の残存高が比較的大きいもので、底部が残存するSJ18、底部を欠損若しくは底面を抜いたSJ15、SJ21、SJ22の4基とした。また、比較試料としてE8杭近くの基盤層（III層）も合わせて分析した。

結果の概要と考察 埋設土器内部に堆積していた土壌と基盤層（III層）との比較では、カルシウムの含有量に差が見られなかったが、リンの含有量は埋設土器内埋土の方が多い箇所が確認された。この埋設土器内埋土に含まれていたリンは、骨や歯に由来する可能性があるものの、他の有機質から生じたものであることも考えられる。このため、土器埋設遺構の土器内から検出されたリンの由来は、遺構の状況や他遺跡での類例など考古学的所見も併せて検討する必要がある。今回の分析では、土器埋設遺構内に人骨が納められていたとの確証は得られなかった。

2 SJ14出土白色遺物の同定（第3節）

分析の経緯 土器埋設遺構であるSJ14の埋設土器内に堆積していた土壌中から、水洗選別によって土器や石器とは異なる白色遺物を確認した。外見上の特徴から骨片である可能性が考えられたため、これがどのようなものであるのか同定し、土器埋設遺構の性格を検討する材料とする目的として実施した。

結果の概要と考察 SJ14から出土した白色遺物は、外観において観察された、細かい発泡形態や亀甲状のひび割れた状態から、軽石の特徴とは異なっていた。しかし、成分分析等の結果から、骨ではなく軽石であることが判明したものの、近接する御岳のものとは異なる成分であった。

なお、他の土器埋設遺構等の遺構や遺物包含層からは、軽石のものは出土していない。また、この軽石が、埋設土器内に意図的に入れられたものか、土壌中に存在していたものが混入したものかは不明であり、土器埋設遺構の性格を検討する資料とはならなかった。

第2節 土器埋設遺構の土器内埋土のリン・カルシウム分析

1 はじめに

恵那市武並町の毘沙門遺跡において、縄文時代前期の土器埋設遺構24基が検出された。埋設土器内の埋土について、蛍光X線分析によるリン・カルシウム分析を行い、骨などが存在した可能性について検討した。なお、分析は竹原弘展（株式会社パレオ・ラボ）が実施した。

2 試料と方法

分析対象となる試料は、土器埋設遺構の土器内埋土4点（分析No. 1～4）と、比較用サンプルとして採取した基盤層堆積土1点（分析No. 5）の、計5点である（表35）。遺構の時期は、いずれも縄文時代前期後葉とみられている。

表35 分析対象一覧

| 分析No. | 遺構No.等 | 層位 | 試料名 | 底部残存状況 | 備考 |
|-------|--------|-----|-------------|--------|---------|
| 1 | SJ18 | I | 埋設土器内埋土サンプル | 残存 | |
| 2 | SJ21 | I | 埋設土器内埋土サンプル | 欠損 | |
| 3 | SJ22 | I | 埋設土器内埋土サンプル | 欠損 | |
| 4 | SJ15 | I | 埋設土器内埋土サンプル | 欠損 | |
| 5 | ES杭付近 | III | 基盤層堆積土サンプル | — | 比較用サンプル |

分析は、藤根ほか（2008）の方法に従って行った。この方法は、元素マッピング分析によりリン、カルシウムを多く含む箇所を面的に検出し、直接測定できるという利点がある。測定試料には、試料を乾燥後、極軽く粉碎して塩化ビニル製リングに充填し、油圧プレス機で20t・1分以上プレスしたものを作製、使用した。

分析装置は、エネルギー分散型蛍光X線分析装置である株式会社堀場製作所製分析顕微鏡XGT-5000Type IIを使用した。装置の仕様は、X線管が最大50kV、1.00mAのロジウム（Rh）ターゲット、X線ビーム径が100μm又は10μm、検出器は高純度Si検出器で、検出可能元素はナトリウム（Na）～ウラン（U）である。また、試料ステージを走査させながら測定して元素の二次元的な分布画像を得る、元素マッピング分析も可能である。

本分析では、まず元素マッピング分析を行い、元素の分布図を得た上で、リン（P）のマッピング図において輝度の高い箇所を選び、ポイント分析を行った。測定条件は、元素マッピング分析では50kV、1.00mA、ビーム径100μm、測定時間6000s、パルス処理時間P3に、ポイント分析では50kV、0.10～0.42mA（自動設定）、ビーム径100μm、測定時間500s、パルス処理時間P4に設定した。定量計算は、マグネシウム（MgO）、アルミニウム（Al2O3）、ケイ素（SiO2）、リン（P2O5）、硫黄（S03）、カリウム（K2O）、カルシウム（CaO）、チタン（TiO2）、マンガン（MnO）、鉄（Fe2O3）、ルビジウム（Rb2O）、ストロンチウム（SrO）、イットリウム（Y2O3）、ジルコニア（ZrO2）の14元素について行った。値は、装置付属ソフトによる標準試料を用いないファンダメンタル・パラメータ法で算出された半定量値である。

3 結果

各試料のリン及びカルシウムのマッピング図にポイント分析を行った各5ヶ所の位置を示した図

を写真7に、ポイント分析結果より酸化物の形で表した各元素の半定量値を表36に示す。なお、元素マッピング図は、元素ごとに輝度を相対的に比較できるように、各試料のプライトネスとコントラストを調整した。

分析の結果、分析No.1はリン(P2O5)が0.44~7.56%、カルシウム(CaO)が0.04~0.12%、分析No.2はリン(P2O5)が0.52~7.58%、カルシウム(CaO)が0.04~0.22%、分析No.3はリン(P2O5)が0.22~8.72%、カルシウム(CaO)が0.04~0.16%、分析No.4はリン(P2O5)が0.26~16.99%、カルシウム(CaO)が0.03~0.23%、分析No.5はリン(P2O5)が0.17~0.65%、カルシウム(CaO)が0.06~0.26%の値を示した。

表36 半定量分析結果 (mass%)

| 分析 No. | サンプル | MgO | Al ₂ O ₃ | SiO ₂ | P ₂ O ₅ | SO ₃ | K ₂ O | CaO | TiO ₂ | MnO ₂ | Fe ₂ O ₃ | Rb ₂ O | SrO | Y ₂ O ₃ | ZrO ₂ |
|--------|------|------|--------------------------------|------------------|-------------------------------|-----------------|------------------|-------------|------------------|------------------|--------------------------------|-------------------|------|-------------------------------|------------------|
| 1 | a | 0.00 | 20.81 | 64.01 | 2.78 | 0.14 | 2.06 | 0.05 | 0.81 | 0.93 | 8.34 | 0.03 | 0.01 | 0.01 | 0.03 |
| | b | 0.00 | 20.19 | 69.23 | 0.48 | 0.13 | 3.32 | 0.04 | 0.64 | 0.57 | 5.26 | 0.02 | 0.01 | 0.01 | 0.09 |
| | c | 0.00 | 13.19 | 77.07 | 0.44 | 0.28 | 2.21 | 0.12 | 1.04 | 0.08 | 5.51 | 0.02 | 0.02 | 0.00 | 0.02 |
| | d | 0.00 | 19.42 | 63.17 | 7.56 | 0.22 | 1.19 | 0.06 | 0.59 | 1.23 | 6.49 | 0.02 | 0.01 | 0.01 | 0.03 |
| | e | 0.66 | 24.69 | 57.29 | 0.59 | 0.43 | 1.77 | 0.04 | 0.79 | 4.40 | 9.28 | 0.03 | 0.01 | 0.01 | 0.03 |
| 2 | a | 0.60 | 25.51 | 52.64 | 7.58 | 0.42 | 1.83 | 0.08 | 0.71 | 1.49 | 8.90 | 0.03 | 0.01 | 0.01 | 0.18 |
| | b | 0.00 | 24.33 | 58.48 | 2.93 | 0.50 | 2.31 | 0.22 | 0.82 | 1.11 | 9.07 | 0.02 | 0.01 | 0.01 | 0.20 |
| | c | 0.00 | 20.02 | 67.29 | 0.64 | 0.42 | 2.25 | 0.05 | 0.61 | 1.21 | 7.45 | 0.02 | 0.01 | 0.01 | 0.03 |
| | d | 0.00 | 20.85 | 70.28 | 0.73 | 0.44 | 1.94 | 0.05 | 0.55 | 0.69 | 4.46 | 0.01 | 0.01 | 0.00 | 0.00 |
| | e | 0.60 | 18.88 | 68.68 | 0.52 | 0.25 | 5.78 | 0.04 | 0.37 | 0.49 | 4.33 | 0.03 | 0.01 | 0.01 | 0.02 |
| 3 | a | 0.18 | 24.53 | 56.70 | 8.72 | 0.38 | 4.94 | 0.16 | 0.49 | 0.52 | 3.34 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 |
| | b | 0.20 | 19.48 | 70.78 | 0.75 | 0.28 | 1.42 | 0.07 | 0.58 | 1.19 | 5.23 | 0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.01 |
| | c | 0.12 | 23.69 | 64.19 | 0.66 | 0.33 | 1.86 | 0.06 | 0.88 | 0.61 | 7.52 | 0.03 | 0.00 | 0.01 | 0.03 |
| | d | 0.00 | 15.97 | 73.86 | 0.57 | 0.23 | 1.42 | 0.08 | 0.47 | 0.88 | 6.47 | 0.02 | 0.00 | 0.01 | 0.02 |
| | e | 0.00 | 5.32 | 90.39 | 0.22 | 0.10 | 0.39 | 0.04 | 0.23 | 0.33 | 2.96 | 0.01 | 0.00 | 0.01 | 0.01 |
| 4 | a | 0.00 | 25.32 | 44.35 | 16.99 | 0.42 | 1.84 | 0.16 | 0.82 | 1.42 | 8.60 | 0.03 | 0.01 | 0.01 | 0.04 |
| | b | 0.01 | 10.57 | 87.30 | 0.26 | 0.18 | 0.59 | 0.03 | 0.08 | 0.20 | 0.76 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| | c | 0.20 | 23.85 | 66.36 | 1.36 | 0.51 | 1.90 | 0.05 | 0.65 | 0.24 | 4.84 | 0.01 | 0.00 | 0.01 | 0.03 |
| | d | 0.43 | 20.56 | 66.54 | 0.34 | 0.33 | 2.02 | 0.12 | 0.81 | 1.16 | 7.63 | 0.02 | 0.01 | 0.01 | 0.02 |
| | e | 0.00 | 25.02 | 61.24 | 0.93 | 0.27 | 2.43 | 0.23 | 0.56 | 1.00 | 8.24 | 0.03 | 0.01 | 0.01 | 0.03 |
| 5 | a | 0.00 | 18.67 | 71.86 | 0.17 | 0.16 | 2.28 | 0.26 | 0.38 | 0.16 | 6.03 | 0.01 | 0.00 | 0.00 | 0.01 |
| | b | 0.00 | 24.84 | 59.55 | 0.65 | 0.40 | 2.02 | 0.14 | 0.89 | 0.23 | 11.13 | 0.03 | 0.01 | 0.01 | 0.09 |
| | c | 0.47 | 22.07 | 65.63 | 0.22 | 0.37 | 1.81 | 0.06 | 0.61 | 0.20 | 8.51 | 0.02 | 0.01 | 0.01 | 0.01 |
| | d | 0.67 | 18.24 | 69.17 | 0.22 | 0.33 | 1.72 | 0.17 | 0.59 | 0.29 | 8.54 | 0.02 | 0.01 | 0.01 | 0.02 |
| | e | 0.00 | 19.11 | 67.74 | 0.41 | 0.18 | 3.64 | 0.15 | 0.79 | 0.22 | 7.52 | 0.02 | 0.01 | 0.01 | 0.19 |

4 考察

骨や歯は、ハイドロキシアパタイトCa5(Po4)3OHが主成分であり、すなわち蛍光X線分析ではリン(P)とカルシウム(Ca)が共に高く検出される。ただし、土壤中のリンとカルシウムは鉱物由来の可能性も考慮する必要があり、特にカルシウムは一般的にもともと土砂中に多く含まれている元素で、注意を要する。さらに、貝殻はもちろん、炭化材なども蛍光X線分析では高いカルシウム含有量を示す。このように、カルシウムからの検討では骨・歯以外の物質も多く検出されるため、分析ではリンを中心検討した。また、埋没した時には骨が存在していても、埋没中に分解拡散が進行し、現状ではほとんどリンが検出されない場合や、骨からビニアイトFe3(Po4)2·8H2Oが析出しているケースのように、骨由来のリンが多く検出される箇所でもカルシウムが少ないという場合もある。なお、骨や歯以外でリン、カルシウムとともに極めて多く含まれる物質として、尿の析出物がある。また、植物灰な

どもカルシウムとともにリンが多少含まれる。そのため、遺構の性格については、他の自然科学分析の結果、及び遺物の出土状況や類例などの考古学的所見も併せた総合的な判断が望まれる。

今回分析した試料のうち、比較用に測定した基盤層堆積土（分析No. 5）からは、リン含有量が明らかに多い箇所は検出されなかった。これに対し、土器内埋土の4点（分析No. 1～4）からは、いずれもリン含有量が明らかに多い箇所が検出された（表36の1-a、1-d、2-a、2-b、3-a、4-a、4-c）。いずれもリンにカルシウムは伴っていなかったものの、これらのリンは骨や歯に由来する可能性がある。マッピング図においても、土器内埋土の4点（分析No. 1～4）のリンのマッピング図は、比較用の基盤層堆積土（分析No. 5）のリンのマッピング図と比較して、ごく僅かではあるが全体的に輝度が高い傾向がみられた（写真7）。

5 おわりに

土器埋設遺構の土器内埋土について分析を行った結果、カルシウムは伴わないものの、リンが明らかに多く含む箇所が検出された。基盤層堆積土からはリンが明らかに多い箇所は検出されておらず、土器内埋土のリンは骨や歯に由来する可能性がある。遺構の性格については、他の自然科学分析の結果及び遺物の出土状況や類例などの考古学的所見も併せた総合的な判断が望まれる。

引用文献

藤根 久・佐々木由香・中村賢太郎2008「蛍光X線装置を用いた元素マッピングによるリン・カルシウム分析」『日本文化財科学会第25回大会研究発表要旨集』108-109.

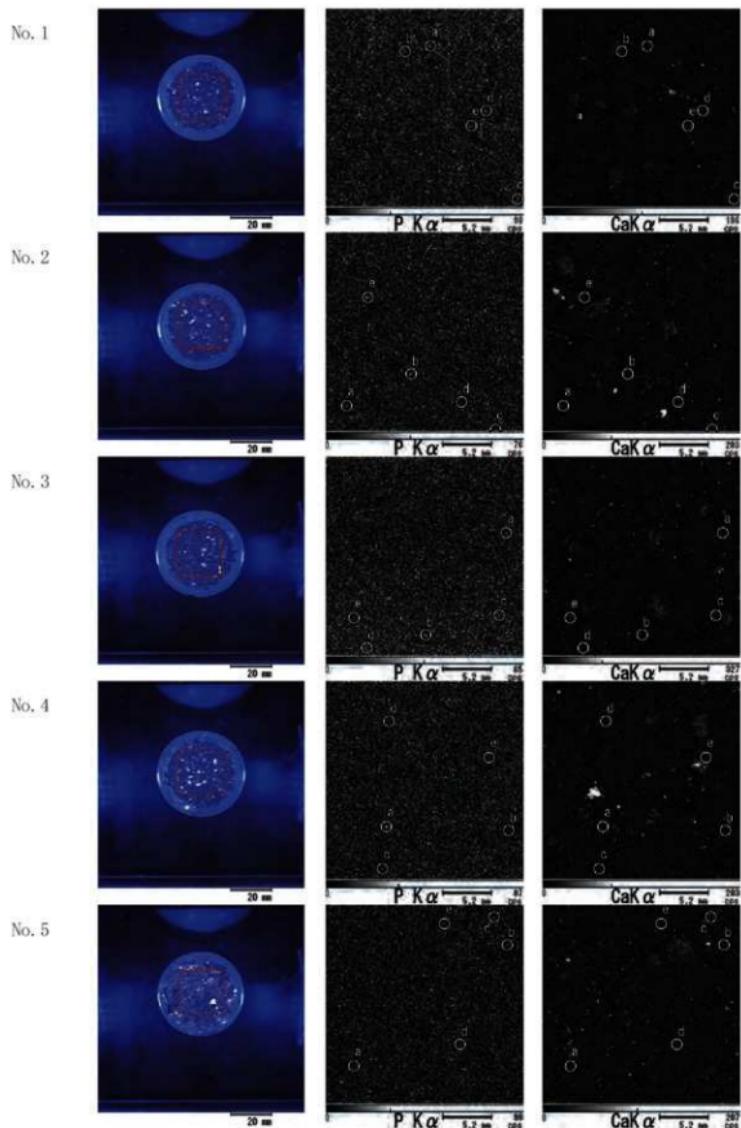


写真7 ブレス試料及びリンとカルシウムの元素マッピング図

第3節 SJ14から出土した白色遺物の自然科学分析

1 はじめに

土器埋設遺構SJ14から出土した白色遺物について、材質を調査した。なお、分析は藤根久・竹原弘展（株式会社パレオ・ラボ）が実施した。

2 試料と方法

分析試料は、SJ14から出土した白色遺物1点である（表37、写真8-1a～2b）。白色遺物は、焼骨片である可能性が指摘されている。遺構の時期は、縄文時代前期後葉とみられている。分析は、非破壊での蛍光X線分析とマイクロスコープ観察、白色遺物から脱落した粉末試料の電子顕微鏡付属のエネルギー分散型X線アナライザ分析（以下、SEM-EDS分析）を行った。

表37 分析対象遺物とその特徴

| 分析No. | 遺物名 | 遺構番号 遺構種別 | 層位 | 取上番号 | 試料の特徴 |
|-------|------|----------------|----|------|--|
| 1 | 白色遺物 | S019 土器埋設遺構 | 1層 | 0143 | 灰白色（2.5Y 8/1）、軽石質（細かい発泡）、亀甲状部あり、やや脆い、寸法1.6×1.4×0.8cm、重量0.60g |

蛍光X線分析は、エスアイアイ・ナノテクノロジー株式会社製エネルギー分散型蛍光X線分析計SEA1200VXを使用した。装置は、X線管が最大50kV、1000 μAのロジウム（Rh）ターゲット、X線照射径が8mmまたは1mm、X線検出器はSDD検出器（VorteX）である。この装置は、複数の一次フィルタが内蔵されており、適宜選択、挿入することでS/N比の改善が図れる。検出可能元素はナトリウム（Na）～ウラン（U）であるが、蛍光X線分析装置の性質上、軽元素の感度が若干低く、特に定量分析におけるナトリウムの検出精度は低い。測定条件は、管電圧・一次フィルタの組み合わせが15kV（一次フィルタ無し・Cl測定用）・50kV（一次フィルタPb測定用・Cd測定用）の4条件で、測定時間は各条件500～1000s、管電流自動設定、照射径8mm、試料室内雰囲気真空中に設定し、非破壊で測定した。定量分析は、酸化物の形で算出し、ノンスタンダードFP法による半定量分析を行った。

マイクロスコープ観察は、株式会社キーエンス製デジタルマイクロスコープを使用した。装置の仕様および撮影条件は、コントローラはVHX-8000で、カメラユニットVHX-7020にワイドレンジズームレンズVH-Z100R、リング照明OP-72402を装着し、大型フリーアングル観察システムVHX-S770に遺物をセットして、リング照明光下で観察した。

SEM-EDS分析は、軽石様物から脱落した粉末（耳かき0.5杯程度）をアルコール洗浄した後、懸濁液を取り除いた。採取した試料を直径10mm、深さ2mm程度のPP容器に入れ、エポキシ樹脂（デブコンET）で固化し、鉱物用プレベラートに張り付けた。精密岩石薄片作製機（ストルアス株式会社製、ディスクプラン-TS）を用いて平坦面（厚さ500 μm）を作製し、研磨フィルム（三共理化株式会社製、#1000, #2000, #4000）を用いて研磨した後、振動研磨機（ヴァーダー・サイエンティフィック株式会社製QPOL VIBRO M5651000 : 0.06 μmのAl2O3ソルゲル懸濁液を使用）で6時間研磨した。

研磨したプレベラートは、カーボンコーティング（マイワフォーシス株式会社製CADE）を用いて炭素蒸着を行った。蒸着の条件は、真空度が1.5Pa、炭素繊維と試料の間隔65mmで、炭素の膜厚10nmである。

SEM-EDS分析には、エネルギー分散型X線分析装置（日本電子株式会社製JSM-IT200+オックスフォード・インストゥルメンツ株式会社製AZtecOneシステム）を使用した。測定条件は、加速電圧20kV、ワーキングディスタンス(WD) 10mm、X線取り出し角度34度、照射電流Std.-PC75、測定時間オートである。測定は、平滑面の良いガラス片を20点測定し、スタンダードレス定量(XPP定量補正法)を行った。なお、化学組成が均一である始良Tnテフラ(AT：始良カルデラ)の火山ガラスを同時に測定した。測定元素は、酸化ナトリウム(Na2O)、酸化マグネシウム(MgO)、酸化アルミニウム(Al2O3)、酸化ケイ素(SiO2)、酸化リン(P2O5)、酸化カリウム(K2O)、酸化カルシウム(CaO)、酸化チタン(TiO2)、酸化マンガン(MnO)、酸化鉄(FeO)の10元素である。

なお、日本列島および近海の火山のテフラ（軽石含む）のうち、福徳岡ノ場軽石（北福徳カルデラ：2021年噴火）、鬼界アカホヤテフラ（K-Ah：鬼界カルデラ）、阿蘇4テフラ（Aso-4：阿蘇火山）、御岳第1テフラ（0m-pml：御岳火山）の測定値を示す。

3 結果

蛍光X線分析により得られた半定量分析の結果を表38に示す。また、測定位置を写真8-1bに示す。蛍光X線分析の結果、酸化アルミニウム(Al2O3)、酸化ケイ素(SiO2)、酸化リン(P2O5)、塩素(Cl)、酸化カリウム(K2O)、酸化カルシウム(CaO)、酸化チタン(TiO2)、酸化マンガン(MnO)、酸化鉄(Fe2O3)、酸化亜鉛(ZnO)、酸化ガリウム(Ga2O3)、酸化ヒ素(As2O3)、酸化ルビジウム(Rb2O)、酸化ストロンチウム(SrO)、酸化イットリウム(Y2O3)、酸化ジルコニア(ZrO2)、酸化バリウム(BaO)、酸化鉛(PbO)が検出された。

表38 蛍光X線分析による半定量分析結果 (mass%)

| 分析项 | Al ₂ O ₃ | SiO ₂ | P ₂ O ₅ | Cl | K ₂ O | CaO | TiO ₂ | MnO | Fe ₂ O ₃ | ZnO | Cr ₂ O ₃ | As ₂ O ₃ | Rb ₂ O | SrO | Y ₂ O ₃ | ZrO ₂ | BaO | PbO |
|-----|--------------------------------|------------------|-------------------------------|------|------------------|-------------|------------------|------|--------------------------------|------|--------------------------------|--------------------------------|-------------------|------|-------------------------------|------------------|------|------|
| 1 | 18.13 | 64.67 | 1.18 | 0.07 | 5.75 | 2.54 | 0.33 | 0.41 | 6.54 | 0.04 | 0.01 | 0.01 | 0.04 | 0.10 | 0.01 | 0.09 | 0.08 | 0.01 |

マイクロスコープ画像を写真8-2a、2bに示す。

SEM-EDS分析により得られた結果を表39に示す。平均値において、酸化ナトリウム(Na₂O)が2.79%、酸化マグネシウム(MgO)が0.07%、酸化アルミニウム(Al₂O₃)が11.26%、酸化ケイ素(SiO₂)が79.91%、酸化リン(P₂O₅)が0.03%、酸化カリウム(K₂O)が4.57%、酸化カルシウム(CaO)が0.42%、酸化チタン(TiO₂)が0.13%、酸化マンガン(MnO)が0.10%、酸化鉄(FeO)が0.71%であった。

表39 軽石様物の構成ガラスの化学組成（単位：%）

各元素の分析値は、比較的集中した値を示す（図51）。

4 考察

骨や歯は、ハイドロキシアパタイトCa₅(PO₄)₃OHが主成分であり、すなわち蛍光X線分析ではリン(P)とカルシウム(Ca)が共に高く検出される。

蛍光X線分析では、酸化リン(P₂O₅)と酸化カルシウム(CaO)は主成分といえるような含有量はなく、酸化ケイ素(SiO₂)や酸化アルミニウム(Al₂O₃)、酸化鉄(Fe₂O₃)、酸化カリウム(K₂O)などが多く含まれていた。実体顕微鏡観察では、多孔質なガラス質とみられる物質が観察された（図版1-2a）。以上の結果から、焼骨片ではなく、軽石の可能性が考えられた。そのため、脱落した粉末試料を使用して、SEM-EDS分析による同定を試みた。

軽石の化学組成の分析方法としては、軽石の全岩分析（蛍光X線分析）と軽石ガラスの成分分析(SEM-EDS分析)がある。

火山ガラスは、マグマの液体相が急冷し、結晶にならずに破碎されたものである。したがって、火山ガラスの化学組成から、マグマの液体相の化学組成がわかる。マグマは液体相とすでに結晶として晶出している鉱物結晶からできているため、マグマ全体の化学組成は鉱物結晶も含めて考えなければならない（黒川2005）。なお、両者の化学組成は一致しない場合が多い。全岩分析の場合、軽石全体の平均的な組成を調べるため、分析に必要な試料量が多く、遺物の軽石分析としては向きである。一方、SEM-EDS分析は小豆程度の量で分析可能であり、破壊は最小限である。

SEM-EDS分析を行った軽石様物は、外観において細かい発泡形態、亀甲状塊が見られ、火山噴出物の軽石の特徴とは異なり、人工物の可能性も否定できない試料であった。なお、この軽石様物は、やや脆いため、風化あるいは変質していたとみられる。

SEM-EDS分析を行った結果、既知の主なテフラ（軽石）と比較した場合、酸化ケイ素(SiO₂)がやや高い含有量を示すものの、特異な化学組成ではないと判明した。また、各元素の分析値は比較的集中した値を示した。以上の結果から、この軽石様物は、火山噴出物の軽石と考えられる。

ただし、近接する御岳火山のテフラとは明らかに異なる。また、筆者が所有するテフラ標準試料において、該当するテフラ（軽石）は見当たらなかった。

引用・参考文献

- 黒川勝己2005『テフラ学入門－野外観察から地球環境史の復元まで－』205p、地学団体研究会
町田洋・新井房夫2003『新編火山灰アトラス』336p、東京大学出版会

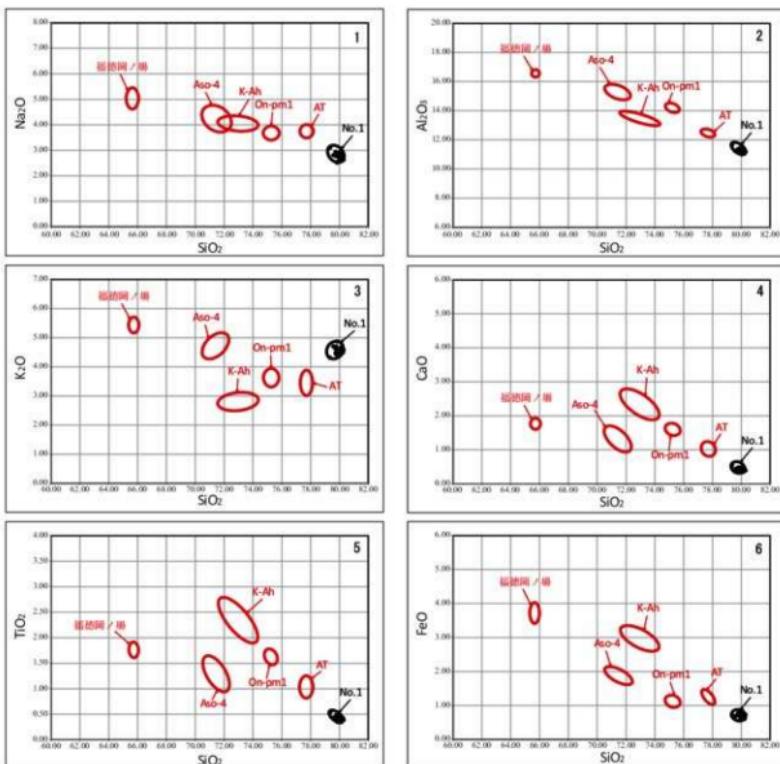


図 51 軽石質物ガラスと代表的なテフラ（軽石）の主な元素分布図

始良 Tn テフラ (AT : 始良カルデラ)、福徳岡ノ場軽石 (北福徳カルデラ : 2021 年噴火)、鬼界アカホヤテフラ (K-Ah : 鬼界カルデラ)、阿蘇 4 テフラ (Aso-4 : 阿蘇火山)、御岳第 1 テフラ (0m-pml : 御岳火口)

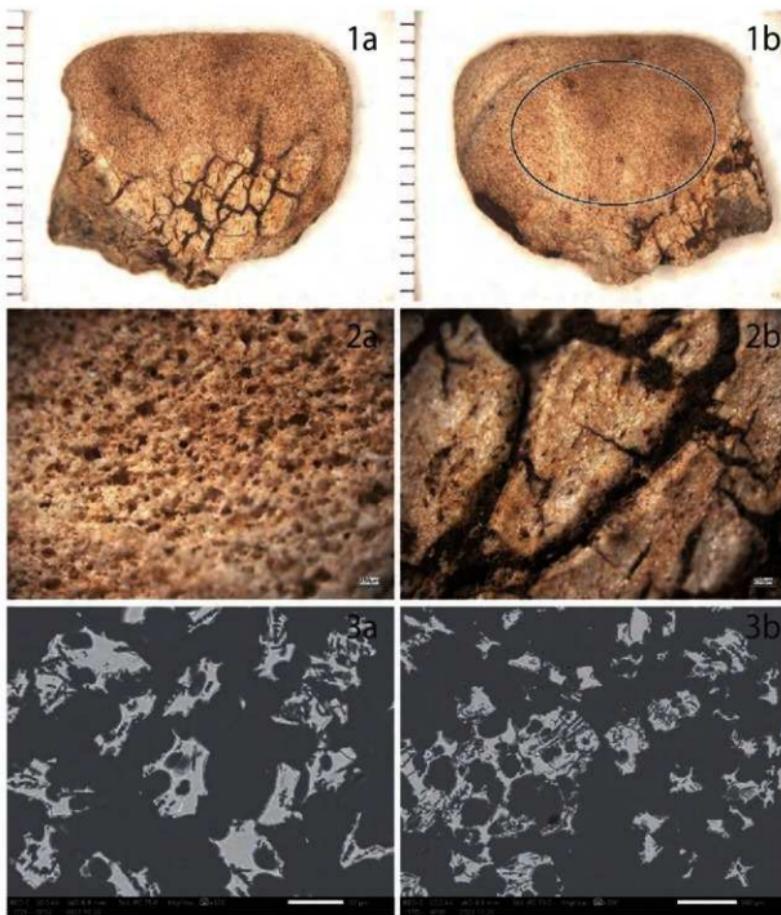


写真8 白色遺物とマイクロスコープ及び電子顕微鏡写真

1a-2b. 白色遺物及び表面のマイクロスコープ写真 (1b の楕円は蛍光X線分析位置)

3a-3b. SEM-EDS 分析用プレバラートの電子顕微鏡写真 (反射電子像)

第5章 総括

今回の調査では、主に縄文時代前期の遺構や遺物を検出し、古代から近世に至る遺物が少量出土した。当遺跡における土地利用の変遷を概観し、検出した遺構の中で特徴的な土器埋設遺構について検討し総括とする。

1 土地利用の概要

『恵那市史』に紹介された毘沙門遺跡は、地表面で採集された遺物から、縄文時代前期及び中期の遺跡とされている¹⁾。しかし、採集された土器が少量であるのに対して、石鏃が非常に多く、他にも石匙、石錐、磨石などがあることが記載されている。採集された土器の量が非常に少ないことから、居住地であるとすれば石器製作の場、居住地でないとすれば狩猟場としての性格が想定されている²⁾。

今回の発掘区は、遺跡範囲の南部にあたる月沢川沿いの狭い段丘上に位置する。遺跡の一部を調査したにすぎないが、縄文時代前期の遺構や遺物、少量ではあるが古代から近世の遺物を検出した。『恵那市史』で紹介された、縄文時代中期の遺物は確認できなかったことから、その時期の遺構は、今回の発掘区よりも北側に存在する可能性が考えられる。

縄文時代前期の遺構として、土器埋設遺構24基や溝状遺構、土坑、不明遺構を検出した。直接居住を示す遺構は確認できなかったが、土坑の中には墓の可能性が考えられるものがある。土器埋設遺構は、土器棺墓としての埋葬施設や祭祀遺構と考えられている³⁾。こうした遺構は、縄文時代前期では集落に近い場所に設けられることが多いため、発掘区よりも北側の、より開けた段丘上に居住域が展開している可能性が考えられる。

『恵那市史』で指摘された石鏃の量の多さは、今回の調査でも同様であったが、その他の石器類は比較的少ない。縄文時代前期の落合五郎遺跡では、発掘調査で出土した石器のうち、石鏃やスクレイバーの比率が高く、両者で8割近くになることが報告されている⁴⁾。毘沙門遺跡では、スクレイバーの出土量が少なく、磨製石斧が出土していないことなどが、落合五郎遺跡との大きな違いであり、この違いが、検出した遺構の性格の違いを示す可能性がある。

調査で出土した縄文土器は、北白川下層II b式や清水ノ上III式、諸磯a式と思われるものから、北白川下層III式や大麦田式、下島式などと思われるものが中心である。より古い北白川下層II a式は小破片を1点のみ確認したが、より新しい大歳山式は確認できなかった。また、遺構から出土した土器は、SD01で諸磯a式や諸磯b式と思われるものがあるが、土器埋設遺構や土坑からは、大麦田式や北白川下層III式、下島式などが中心であった。このため、縄文時代前期中葉から当地での活動が開始されているが、縄文時代前期後葉になり、土器埋設遺構や土坑などの遺構が残されるような土地利用が盛んに行われていたと考えられる。しかし、縄文時代前期末葉の大歳山式の段階になり突如として、土地利用の形跡が認められなくなる。

その後、8世紀、15世紀、19世紀の遺物が出土していることから、これらの時期に何らかの活動が行われていたと思われるが、遺構としては確認できなかった。なお、毘沙門遺跡の南東の丘陵上には竹折6号墳があり、また北側には、殿内外中世墓や下街道と呼ばれた名古屋城下町に至る街道が整備

されていることから、古墳時代の集落や中近世の町屋が、毘沙門遺跡の北部あるいは、近隣に存在していた可能性が考えられ、当地が断続的に利用されていたと思われる。

今回の調査では、遺跡範囲の南部の一部を調査しただけであり、土岐川沿いの開けた段丘上に当たる遺跡中央部から北部には、縄文時代前期の居住に関連する遺構や中期の遺構・遺物、さらに古代以降の遺構も残されている可能性が考えられ、今後の調査により明らかにされることが期待される。

2 土器埋設遺構

今回の調査で検出した遺構は、縄文時代前期後葉のものであったが、居住に関わるものではなく、墓若しくは祭祀に関わると考えられる遺構であった。特に岐阜県内では、この時期の土器埋設遺構が24基もまとまって確認された事例は他になく、特殊なものと言えることから、検出した土器埋設遺構の特徴について整理し、近隣県の調査例と比較し検討したい。

(1) 毘沙門遺跡の土器埋設遺構

検出した24基の土器埋設遺構は、すべて屋外に設置されたもので、焼土を伴わないと、炉とは考えられない。また、埋設された土器には、煮炊きの痕跡や炭化物の付着が認められるものが多い。24基の土器埋設遺構から出土した遺物を整理し、埋設土器の出土状況や遺存状態、土器片の出土位置と接合状況などを確認する中で、「意図的に破損した土器を埋設」「多様な埋設形態」「狭い範囲に密集して設置」の3点が毘沙門遺跡における土器埋設遺構の特徴と考えられた。

表40に埋設された土器の特徴をまとめたが、土器の埋設形態には、筒状の形態を保ったまま埋設し

表40 毘沙門遺跡埋設土器

| 遺構名 | 埋設形態 | 埋設土器の特徴 | 備考 |
|------|------|------------------------|-----------------------------|
| SJ01 | Bc3 | 胴部片を部分的に設置 | 石匙片出土 |
| SJ02 | A2 | 底部欠失土器の埋設 | |
| SJ03 | Bb3 | 胴下部片を方形に配置 | 西側に胴部片を重ねる |
| SJ04 | Ba3 | 胴下部片を円形に配置 | 底面を抜く |
| SJ05 | Bb3 | 胴部片を方形に配置 | |
| SJ06 | Ba4 | 底部片を円形に配置 | |
| SJ07 | Ba1 | 口縁部片を円形に配置（破断面加工、被熱） | 被熱した胴部片の一部、別個体底部片を入れる |
| SJ08 | A3 | 胴下部（底面なし）の埋設 | 西側に口縁部片を重ねる |
| SJ09 | Ba3 | 胴部片を円形に配置 | 土器内、掘方内に別個体の口縁部片を入れる |
| SJ10 | A3 | 胴下部（底面なし）の埋設 | |
| SJ11 | A3 | 胴下部（底面なし）の埋設 | 土器内に底面片を入れ、東側に口縁部から胴上部片を重ねる |
| SJ12 | A3 | 底部の埋設（胴部一部配置か） | |
| SJ13 | Ba3 | 胴下部片を円形に配置 | 南東側に胴部片を重ねる |
| SJ14 | Ba2 | 口縁部から胴部片を円形に配置 | 石鐵、駿石出土 |
| SJ15 | A3 | 胴下部（底部なし）を埋設 | |
| SJ16 | Bc3 | 胴部片を部分的に配置 | |
| SJ17 | Ba3 | 胴部片を円形に配置 | 石鐵出土 |
| SJ18 | A4 | 底部の埋設（胴部片一部円形配置か） | |
| SJ19 | Ba3 | 底部片（底面なし）を円形に配置 | |
| SJ20 | Ba3 | 底部片を円形に配置 | |
| SJ21 | Ba3 | 胴部片を円形に配置 | 東側に胴部片を重ねる |
| | | 胴下部（底面なし）を埋設し、胴部片を一部配置 | |
| SJ22 | A3 | | 南側に胴部片を重ねる |
| SJ23 | Ba3 | 胴部片を円形に配置 | 石錐出土 |
| SJ24 | Ba3 | 胴部片を円形に配置 | 楔形石器出土 |

たもの（埋設形態A）と、土器を破壊して破片化した後に土坑内に配置したもの（埋設形態B）がある⁵⁾。これまで土器埋設遺構の埋設土器は、埋設形態Aであることを前提として調査されてきた。しかし、今回の調査では、一旦土器を壊して破片化し、それを土坑内に並べた埋設形態Bとしたものが16基確認でき、これも土器埋設遺構の一形態とした⁶⁾。なお、埋設形態Bは土器片の配置状況により、「円や弧状に復元的に配置（Ba）」「方形など復元的ではない配置（Bb）」「部分的に土器片を配置（Bc）」に分類した。

埋設形態Aとしたものは8基あったが、底部が残存した状態（容器としての形状を保つ）で埋設したものは2基だけであり、底を抜いたものや、底部や胴下部を打ち欠いたものが多い。特に口縁部が残存するものはSJ02の1基だけであった。底部が残存した状態のものでも、口縁部や胴上部は欠失しており、意図的に除去されたと思われる。埋設形態Bとした、破片化した上で埋設したものは16基であった。このうち、土器片を復元するように円形や弧状に配置した埋設形態Baは12基あったが、9基は胴部片のみを使用するものであった。底部片を円形に配置するものはSJ06、口縁部から胴部片を復元的に配置するものはSJ14、口縁部片を円形に配置するものはSJ07の1基ずつであった。SJ14は、出土状況図では北西部の土器片が欠落しているが、この部分の土器片は一部残存しており⁷⁾、接合することができた。SJ07は、埋設土器が他とかなり異なる状態で、土器を一旦破壊したのち、一部の土器片は火にかけたことによる赤色化や煤の付着が見られた。また、埋設された口縁部片は、一部山形に加工されていた。さらに、口縁部片を並べて作り出された円形の空間内部に、胴部から底部の一部の破片を入れ、また、埋設土器下部から出土した底面の破片は別個体のものであった。土器片を方形に配置した埋設形態Bbは、SJ03とSJ05の2基である。いずれも出土状況図のようには接合せず、SJ03では西側に土器片を重ねて配置していた。部分的に土器片を配置したと思われる埋設形態Bcは、SJ01とSJ16である。埋設土器とするには、使用されている土器片が少ないが、土器片が立てた状態で置かれていることや、空間を作り出すように配置されていることから、土器埋設遺構とした。このように、土器埋設遺構に使用された埋設土器は、埋設形態A・Bとも欠損したものであり、完全な形の土器はなかった。また、埋設形態も多様であることが分かった。

図52に24基の土器埋設遺構の位置を示したが、東北東から西南西の方向に、帯状に分布しているよ

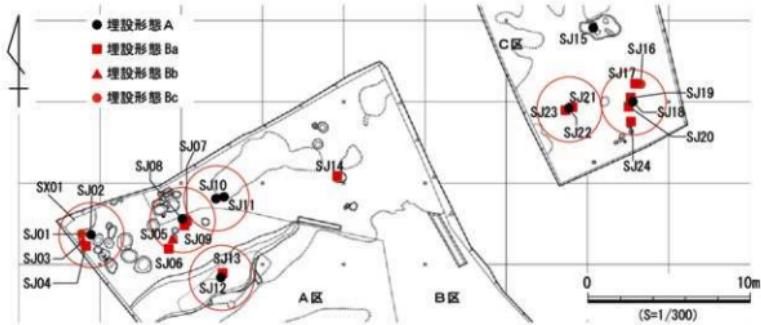


図52 土器埋設遺構位置図

うに見ることができる。南北の発掘区外に広がる可能性もあるが、A区・B区の南部やC区の北部では検出できなかつたことから、帯状に設置された可能性が考えられる。また、SJ14とSJ15を除く土器埋設遺構は、数基が狭い範囲に設置されているように見える。仮に埋設形態Aの土器埋設遺構を中心に、直径4mの円を描いた⁸⁾ところ、6つの円の中に2基から6基が近接して設置されていた。この土器埋設遺構の中には、重複関係があるものがあるが、埋設土器が接するように設置されたもの(SJ18とSJ19)や、重複関係の新しい方の掘方内に、古い方の埋設土器の一部がかかるもの(SJ07とSJ08、SJ12とSJ13、SJ22とSJ23)、楕円形の掘方の長軸方位が直交するもの(SJ03とSJ04、SJ10とSJ11)があり、何らかの関連性を持ち、近接して設置された可能性を伺わせる。

なお、土器埋設遺構内からは、人骨や獸骨の類は出土しなかつた。また、4基の土器埋設遺構の埋設土器内部の堆積土の分析からも、人骨の存在を示す結果は得られず(第4章第2節)、埋葬施設であることを積極的に示すものではなかつた。一部の埋設土器内部からは石器が出土したが、これが副葬されたものか、祭祀行為によるものか、混入したものかは不明である。しかし、意図的に入れられたと思われる、同一個体や別個体の土器片については、その出土状況から祭祀行為に伴う可能性を考えたい。

(2) 近隣の土器埋設遺構

土器埋設遺構には、屋外に設置されたものと、屋内の埋甕炉として設置されたものがある。岐阜県及び近隣県で、縄文時代前期の土器埋設遺構の検出例を検索したところ、岐阜県で6遺跡、長野県で7遺跡、愛知県で1遺跡、富山県で3遺跡において確認することができた⁹⁾(図53、表41)。確認した遺跡は、木曾川上流域に集中する傾向が認められ、やや離れた地域になるが、富山県でも確認できた。土器埋設遺構の中で、埋設土器内に人骨が残存し、埋葬施設であることが明確なのは、小竹貝塚の屋外に設置された4例だけであった。屋内に設置された土器埋設遺構は、大半が焼土や炭化物を伴っており、堅穴建物の炉(埋甕炉)として報告されていた。屋外土器埋設遺構と埋甕炉の両方が検出された遺跡は少なく、岐阜県では落合五郎遺跡、長野県では万場遺跡だけで、土岐川流域や矢作川流域と富山県は屋外土器埋設遺構、飛騨川流域と天竜川流域では埋甕炉だけが検出されている。屋外土器埋設遺構と埋甕炉とでは、分布域に差があると思われる。木曾川上流域においても、屋外土器埋設遺構か埋甕炉のどちらかが検出された遺跡が多い。

小御所遺跡では、3基の屋外土器埋設遺構が検出され、このうち2基は近接して設置されていた¹⁰⁾。落合五郎遺跡の屋外土器埋設遺構(図54-1)は、出土状況図からは土器片を復元的に配置したよう見え、第1号住居址の埋甕炉は、2基が接して設置されていた¹¹⁾。久須田遺跡15号住居址の埋甕炉(図54-2)は7基検出されたが、出土状況から2基が同時に使用され、炉としては4基と報告されている¹²⁾。田中洞遺跡では、2基の屋外土器埋設遺構が近接して設置されていた¹³⁾。万場遺跡では、屋外土器埋設遺構が11基、埋甕炉が16軒の堅穴建物で50基検出され、他の遺跡と比較して非常に多い。屋外土器埋設遺構は近接して設置されたものはないが、土器片を弧状に配置した可能性が考えられるもの(1号埋設土器、図54-3)がある。また、前期後葉に設置された4号埋設土器は、集落のほぼ中心部に位置しており、象徴的な遺構の可能性が考えられている。埋甕炉では、複数(2基~8基)設置された堅穴建物が11軒あり、埋甕炉も近接して設置されたものが多い¹⁴⁾。小竹貝塚で検出された4基の土器埋設遺構は、いずれも埋葬人骨の近くにあり、土器内から人骨(周産期や1歳前後)が出

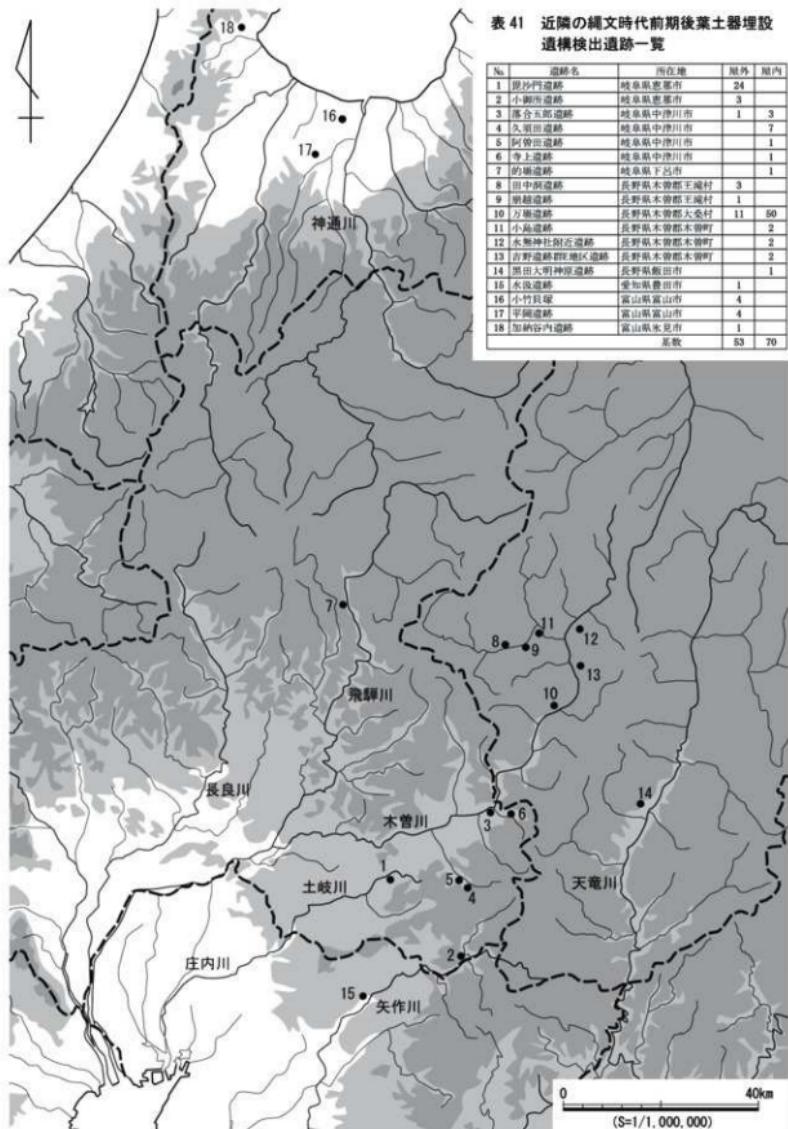


図53 近隣の土器埋設遺構検出遺跡位置図

土し、土器棺として報告されている¹⁵⁾。平岡遺跡では、屋外の土器埋設遺構が4基検出されているが、居住域内側の土坑墓の分布域に設置されていることから、埋葬施設と報告されている¹⁶⁾。

これらの土器埋設遺構では、意図的に破損した土器を埋設した例が多く、完形の土器を埋設したものは、屋外で4例、屋内で2例であった。底面のみを打ち欠いたものは、屋外で2例、屋内で1例であり、両者を合わせると屋外の20.1%、屋内の4.3%となり、屋外の比率が高い。人骨が出土した小竹貝塚では2基がほぼ完形のものであり¹⁷⁾、埋葬施設とされた平岡遺跡SK997の埋設土器は底面が円形に打ち欠かれたものであった。このため、棺として使用された埋設土器は、ある程度容器としての形状を保ったものである可能性が考えられる。

確認した屋外土器埋設遺構の埋設土器の大半は正位で設置されることから、上部が後世の削平を受

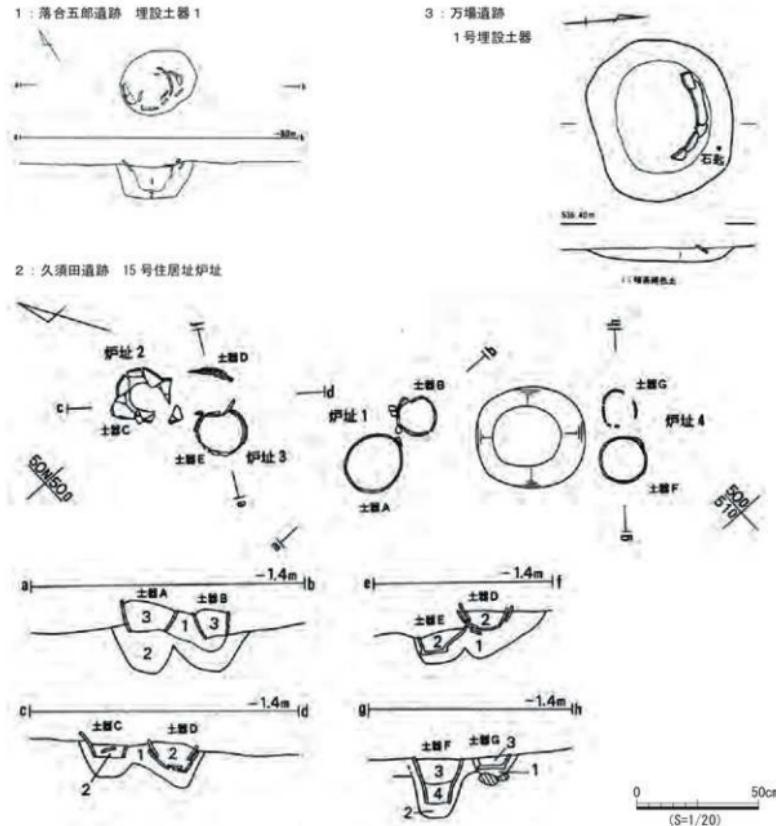


図54 他遺跡の土器埋設遺構（各報告書から一部変更して転載）

けた可能性がある。そこで、口縁部から胴部中位がない状態で検出されたものも含めると、20例で69.0%となる。毘沙門遺跡では完形土器がない上、胴下部から底部が残存し、埋設形態Aとなるものは7基で29.2%と他の遺跡と比較して低い比率である。なお、埋設形態Bに類似する例としては、落合五郎遺跡や崩越遺跡、万場遺跡で屋外の埋設土器3例がある。また、埋甕炉でも、万場遺跡には埋設形態Bに類似したものがある¹⁸⁾。

狭い範囲に近接して設置する例は、屋外では前述の小御所遺跡や田中洞遺跡で、2基が近接する例がある他は確認できなかった。しかし、埋甕炉では、落合五郎遺跡や久須田遺跡、万場遺跡で複数基が近接して設置された竪穴建物がある。屋外土器埋設遺構と埋甕炉では機能が全く異なるため、単純に比較することは適切ではないが、毘沙門遺跡での近接した設置の状況は、埋甕炉のそれと似ており、その範囲も竪穴建物の平均的な大きさである4mの中に収まる点も留意する必要があると思われる。

(3) 土器埋設遺構の性格

屋外の土器埋設遺構は、一般的に埋葬施設として扱われることが多く、特に縄文時代晚期のものは顕著である。中期から後期の土器埋設遺構についても、土器棺と報告される例が多い。これは、縄文時代晚期だけでなく、各時期の土器埋設遺構から人骨の出土例があるためである。

縄文時代前期においても、東北地方や北海道では¹⁹⁾、小竹貝塚のように人骨が伴う例があり、土器棺として報告されることが多いようである。しかし、毘沙門遺跡の土器埋設遺構は、小竹貝塚の土器棺とは異なり、完形の土器がなく、狭い範囲に近接して設置されるものがあることなど、竪穴建物内に設置された埋甕炉に類似した点がある。

また、土器棺としてヒトを納めるためには、ある程度の大きさが必要と思われることから、縄文時代前期の土器埋設遺構に使用された埋設土器の大きさ²⁰⁾の散布図を作成し(図55)、「毘沙門遺跡埋設形態A」「毘沙門遺跡埋設形態B」「小竹貝塚土器棺」「前期屋外埋設土器」「前期埋甕炉」に分けて表示した。散布図の多くが重複しており、大きさの差は明瞭ではないが、土器棺として使用された小竹貝塚例3点のうち、完形土器の2点は、最大径や残存高が25cm以上の位置にある。毘沙門遺跡の埋設土器や埋甕炉の大半はそれよりも小さく、毘沙門遺跡の埋設形態Bは残存高が低いものが多い。他の屋外埋設土器は、小竹貝塚例よりも大きなものから、残存高が5cm程度のものまである。土器棺として使用するためには、ある程度の容量が必要だと考えると²¹⁾、小竹貝塚の土器棺の大きさが、一つの目安となるのではないか。屋外の埋設土器では、上部を削平されたものがあることが考えられ、大きさだけで機能を特定できるものではない。しかし、毘沙門遺跡では、土器を一旦破壊し、破断面の加工や火にかけることなどをを行い、穴の中に土器片を配置して空間を作り出す、埋設形態Bとした土器埋設遺構がある。この埋設土器には、残存高が数cm程度しかないものがあり、土器棺としての機能は考え難いと思われる。近くに土坑墓の可能性が考えられる遺構が複数存在することもあり、埋設形態Aの中には、土器棺として使用されたものがある可能性も考えられるが、埋設形態Bは、他の性格を検討する必要があると思われる。山田康弘氏は、土器埋設遺構の内部からヒト以外のものを埋葬・埋納した事例があることから、「ヒトを対象とした土器棺墓であった可能性もあるかわりに、土器棺墓以外の性格をもった遺構であった可能性も極めて高い」とし、「縄文時代における再生・循環という円環的死生觀を具現化したものである」と述べている²²⁾。

今回の調査では、埋設土器の内部から具体的な性格を検討できる遺物は出土しなかったが、土器の

埋設形態により、埋葬施設以外の性格を検討できる可能性があると思われる。また、埋設形態Bの土器埋設遺構は、毘沙門遺跡の他限られた遺跡で、示された図からその可能性が考えられる遺構が少数確認できただけであり、今後の土器埋設遺構の調査にあたり、埋設土器の残存状態や出土状況、土器片の接合関係などより詳細な観察が必要であり、埋設形態の差が何によるものなのかを明らかにすることは今後の課題である。

今回の調査で検出した遺構は、縄文時代前期の墓若しくは祭祀遺構と思われる土器埋設遺構群が特徴的であり、墓の可能性が考えられる土坑群も確認されたことにより、墓域あるいは祭祀の場として利用されたと思われる。また、縄文時代前期の土器埋設遺構における、土器片を配置するという特徴的な埋設形態が確認され、また、屋内も含めて土器埋設遺構が木曾川上流域に多いことをあらためて

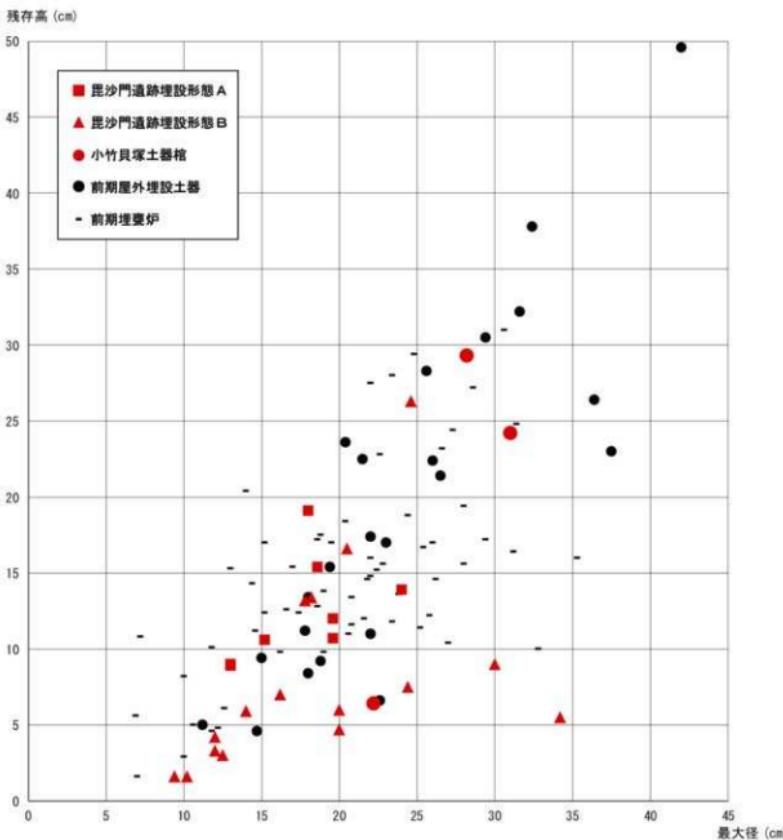


図55 埋設土器最大径と残存高の相関図

認識できたことは、当地域の特色を示すものとして貴重な成果となつた²³⁾。

注

- 1) 恵那市1980『恵那市史』史料編考古・文化財、105頁－107頁。
- 2) 恵那市1983『恵那市史』通史編第1巻、198頁。
- 3) 山田康弘2007「土器を埋める祭祀一層外土器埋設遺構を中心としてー」『原始・古代日本の祭祀』では、土器埋設遺構を子供の埋葬例だけでなく、再生・復活を願う「土器埋設祭祀」が存在したと述べている。
- 4) 中津川市教育委員会1988『落合五郎遺跡発掘調査報告書』、261頁。
- 5) 表7欄外に土器埋設遺構の埋設形態について記載した。なお、土器片を復元的に配置したのか、埋設後に土圧で割れたのかは、出土状況図や出土状況写真と土器片の接合状況の確認によって判断した。
なお、愛知県牛牧遺跡では、縄文時代後期の土器棺墓の中に、「土器片をその場で組み合わせることによって全体として棺を形成するもの」が報告されている（財團法人愛知県教育サービスセンター・愛知県埋蔵文化財センター2001『牛牧遺跡』）。また、川添和暉氏は、三本松遺跡の縄文時代後期の埋設土器に、土器片が全周しない事例があり、埋設土器を調査する上での課題を提示している（川添和暉2002『三本松遺跡出土の土器埋設遺構について』『研究紀要』第3号）。
- 6) 土器埋設遺構は、山田氏が定義する「土器そのものを、土器の大きさに見合った規模の土坑内に、なんらかの意図のもとに埋設したと考えられる遺構」（山田康弘2015「土器棺墓（土器埋設遺構）」『季刊考古学』第130号）を基本として検討したが、土器出土状況図や写真と接合状況を照合した結果、埋設形態Bを確認するに至り、さらに土器片を方形に配置するもの、部分的配置でも土器片を立てて置くものなども含めて、土器埋設遺構として扱った。
- 7) 埋設土器出土状況図に図化されていない土器片（胸部片）は、半截した際に出土したとの記録があるが、正確な出土位置は不明である。
- 8) 土器埋設遺構は、毘沙門遺跡のような屋外に設置されるものと、屋内に埋甕炉として設置されるものがあるが、縄文時代前期後葉の埋甕炉と報告されているものの中に、数基が密接して設置されているものがあり、県内でのこの時期の堅穴建物の大きさ（直径）の平均約4mを目安にして、円を描いた。
- 9) 長田友也氏の集成（長田友也2011『第2章考察 第3節水汲遺跡の位置づけ』『水汲遺跡 第2・3・5・6次調査』）を元にしたが、確認した発掘調査報告書には限りがあるため、遺漏もあると思われる。また、縄文時代研究会2019『第2回研究集会基礎資料集 列島における縄文時代墓制の諸様相』付属CD「遺跡一覧表・文献一覧表」を参照し、富山県前山II遺跡でも2基の土器埋設遺構の存在が示されていたが、発掘調査報告書を確認できなかつたため含めなかつた。なお、この遺跡一覧表によると、北海道や東北北部に縄文時代前期の土器埋設遺構が多く、他の地域では少ない。
- 10) 上矢作町教育委員会1998『上村川下流域の考古学的調査』、77頁。SB1（堅穴建物）の埋土を掘り込んで設置されていた。
- 11) 中津川市教育委員会1988『落合五郎遺跡発掘調査報告書』、19頁。
- 12) 中津川市教育委員会1991『久須田遺跡発掘調査報告書』、44頁－45頁。4基の炉の存在から、建物の建て替え若しくは重複の可能性が指摘されている。
- 13) 王滝村教育委員会1988『田中洞遺跡』、32頁。なお、縄文時代前期の埋甕として報告された2基の他、土坑の底面にさらに土器を埋めるための穴を掘って設置したもの（土坑9）も含めて3基とした。なお、土器埋設遺構は、墓の可能性が考えられる土坑と同じ場所に分布しているが、同じ時期の居住施設は調査では確認されていない。
- 14) 大桑村教育委員会2001『長野県木曾郡大桑村中山間総合整備事業地内埋蔵文化財発掘調査報告書』。弧状に分布する居住施設の内側に墓の可能性がある土坑群があり、土器埋設遺構はこの土坑群や居住施設に近接して設置されている。

- 15) 富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所2014『小竹貝塚発掘調査報告－北陸新幹線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告X－』。
- 16) 富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所2015『平岡遺跡発掘調査報告－主要地方道小杉婦中線改良事業に伴う埋蔵文化財発掘報告Ⅰ－』。理設土器としては15基が報告されているが、埋設した土器よりも一回り程度大きな穴（掘方）に土器を埋設した遺構。若しくは掘方が不明なもの4基を土器理設遺構とした。
- 17) 3号土器棺は完形で、2号土器棺は完形であるが底部に穿孔がある。
- 18) 23号住居址の炉址1などを埋設形態Bの可能性があると考えた。なお、埋設形態Bで使用される土器は、東海系の土器が多いように思われる。
- 19) 坂本真弓2005『青森県における縄文時代前期の土器埋設遺構』『研究紀要』第10号、藤原秀樹2017『北海道の土器埋設遺構について』『北海道考古学』第53輯を参照した。
- 20) 縄文時代前期の土器埋設遺構は、表41に記載した道跡の埋設土器の残存する内寸（残存する高さと最大径）を、報告書に掲載された図から計測した。このため、報告書に実測図が掲載されていない埋設土器は、計測できなかった。
- 21) 県内の数遺跡で出土した縄文時代晩期の土器棺の最大径と残存高を実測図から計測すると、どちらも30cmを超えるものが多い。
- 22) 山田康弘2015「土器棺墓（土器埋設遺構）」『季刊考古学』第130号。また、山田康弘2007「土器を埋める祭祀—屋外土器埋設遺構を中心として—」『原始・古代日本の祭祀』では、土器埋設遺構を子供の埋葬例だけでなく、再生・復活を願う「土器埋設祭祀」が存在したと述べている。
- 23) 長田友也氏は、縄文時代前期後葉の土器埋設遺構について「明確な用途の判断はやはり困難である。しかし、土器に見合う土坑を掘削し、そこへ意図的に土器を埋納した点を評価すれば、特異な行為であること疑いなく、埋葬施設を含めた特殊な遺構あるものと推察される。」「地理的な分布からは、愛知県三河地方山間部から岐阜県東濃地方・長野県木曽地域といったまとまりをみており、特に前期末葉に伴うものが多いという共通点からも、これらの時期・地域に共通する特殊遺構であるといえよう。」と述べている（長田友也2011「第VII章考察 第3節水汲遺跡の位置づけ」『水汲遺跡 第2・3・5・6次調査』244頁）。

参考・引用文献（第4章を除く）

- 財団法人愛知県教育サービスセンター・愛知県埋蔵文化財センター 2001『牛牧遺跡』（愛知県埋蔵文化センター調査報告書第95集）
- 赤塙仁・三上徹也 1994「下島式・晴ヶ峯式の再提唱とその意義—縄文時代前中期葉土器群の型式変化を通して—」『中部高地の考古学』IV、長野県考古学会
- 上松町教育委員会 2001『中山間総合整備事業地内埋蔵文化財発掘調査報告書 吉野遺跡群』
- 網谷克彦 1989『北白川下層式土器様式』『縄文土器大観 I 草創期 早期 前期』、小学館
- 網谷克彦 1999『北白川下層II b式の細分とII c式』『第12回縄文セミナー前期後半の再検討—記録集一』、縄文セミナーの会
- 飯田市教育委員会 1997『黒田大明神原遺跡』
- 内堀信雄・井川祥子 1996「美濃における古代土師器煮炊具の様相」『鍋と甕そのデザイン』、東海考古学フォーラム尾張大会実行委員会
- 恵那市 1980『恵那市史』史料編考古・文化財
- 恵那市 1983『恵那市史』通史編第1巻
- 恵那市教育委員会 2019『恵那市詳細分布調査報告書』（恵那市文化財調査報告書第46集）
- 王滝村教育委員会 1982『崩後遺跡』（王滝村発掘調査報告書2）
- 王滝村教育委員会 1988『田中洞遺跡』（王滝村の文化財3）
- 大桑村教育委員会 2001『長野県木曾郡大桑村中山間総合整備事業地内埋蔵文化財発掘調査報告書』
- 長田友也 2011「第VII章考察 第3節水汲遺跡の位置づけ」『水汲遺跡 第2・3・5・6次調査』（豊田市埋蔵文化財発掘調査報告書第49集）、豊田市教育委員会
- 長田友也 2019「中部・東海・北陸地方における葬墓制研究の現状」『第2回研究集会 発表要旨 縄文時代葬墓制研究の現段階』
- 上矢作町教育委員会 1998『上村川下流域の考古学的調査』
- 川添和暁 2002「三本松遺跡出土の土器埋設構造について」『研究紀要』第3号、公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財團・愛知県埋蔵文化財センター
- 木曾福島町教育委員会 1996『水無神社附近遺跡』
- 岐阜県企画部地域振興課 1989『岐阜県土地分類基本調査「恵那」、「中津川」』
- 岐阜県教育委員会 2004『岐阜県中世城館跡総合調査報告書』第3集（可茂地区・東濃地区）
- 財団法人岐阜県教育文化財団文化財保護センター 2003『尾元遺跡』（岐阜県教育文化財団文化財保護センター調査報告書第82集）
- 財団法人岐阜県教育文化財団文化財保護センター 2006『大平遺跡』（岐阜県教育文化財団文化財保護センター調査報告書第97集）
- 財団法人岐阜県文化財保護センター 1994『戸入村平遺跡』（岐阜県文化財保護センター調査報告書第11集）
- 財団法人岐阜県文化財保護センター 1995『西乙原遺跡・勝更白山神社周辺遺跡』（岐阜県文化財保護センター調査報告書第22集）
- 財団法人岐阜県文化財保護センター 1998『牧野小山遺跡C地区』（岐阜県文化財保護センター調査報

- 告書第39集)
- 坂本真弓 2005『青森県における縄文時代前期の土器埋設遺構』『研究紀要』第10号、青森県埋蔵文化財調査センター
- 縄文時代研究会 2019『第2回研究集会基礎資料集 列島における縄文時代墓制の諸様相』
- 公益財団法人富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所 2014『小竹貝塚発掘調査報告－北陸新幹線建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告X－』（富山県文化振興財団埋蔵文化財発掘調査報告第60集）
- 公益財団法人富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所 2014『大野中遺跡・七分一堂口遺跡・加納谷内遺跡発掘調査報告－能越自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘報告XII』（富山県文化振興財団埋蔵文化財発掘調査報告書第62集）
- 公益財団法人富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所 2015『平岡遺跡発掘調査報告－主要地方道小杉婦中線改良事業に伴う埋蔵文化財発掘報告I－』（富山県文化振興財団埋蔵文化財発掘調査報告書第65集）
- 豊田市教育委員会 2011『水汲遺跡 第2・3・5・6次調査』（豊田市埋蔵文化財発掘調査報告書第49集）
- 中津川市教育委員会 1978『中央高速自動車道路関係埋蔵文化財緊急発掘調査報告書（その2）』
- 中津川市教育委員会 1979『中村遺跡第1～2次』
- 中津川市教育委員会 1985『阿曾田遺跡発掘調査報告書－阿木川ダム建設に伴う埋蔵文化財発掘調査－』
- 中津川市教育委員会 1988『落合五郎遺跡発掘調査報告書』
- 中津川市教育委員会 1991『久須田遺跡発掘調査報告書』
- 財團法人長野県埋蔵文化財センター 1987『中央自動車道長野線埋蔵文化財発掘調査報告書1』（財團法人長野県埋蔵文化財センター発掘調査報告書1）
- 萩原町教育委員会 1993『の場遺跡』
- 藤原秀樹 2017「北海道の土器埋設遺構について」『北海道考古学』第53輯、北海道考古学会
- 増子康真 1996「縄文前期後半・大麦田式土器の再検討－岐阜県御望遺跡・市場遺跡の再検討－」『古代人』第57号、名古屋考古学会
- 増子康真 1999「東海地方 前期」『縄文時代』第10号第2分冊、縄文時代文化研究会
- 瑞浪市 1974『瑞浪市史歴史編』
- 瑞浪市教育委員会 1981『瑞浪市中央自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書』
- 瑞浪市教育委員会 2014『瑞浪市遺跡地図』 瑞浪市文化財調査報告第6集
- 三岳村教育委員会 2003『小島遺跡』
- 山岸洋一 1996「縄文前期『特殊突帯文土器』細分の可能性」『信濃』第48巻4号、信濃史学会
- 山田康弘 1997「縄文時代の子供の埋葬」『日本考古学』第4号、日本考古学協会
- 山田康弘 2007「土器を埋める祭祀－屋外土器埋設遺構を中心として－」『原始・古代日本の祭祀』、（株）同成社
- 山田康弘 2015「土器棺墓（土器埋設遺構）」『季刊考古学』第130号、株式会社雄山閣

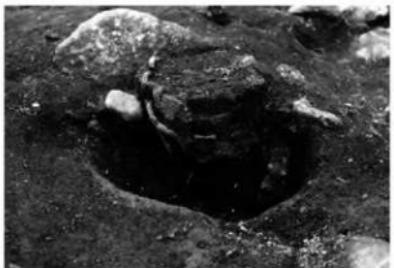
図版1 発掘区近景、土器埋設遺構（1）



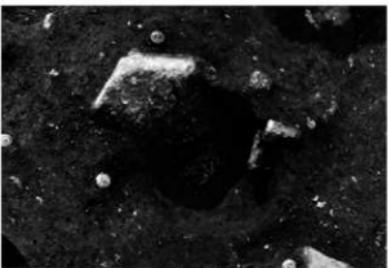
A区・B区全景（上が西）



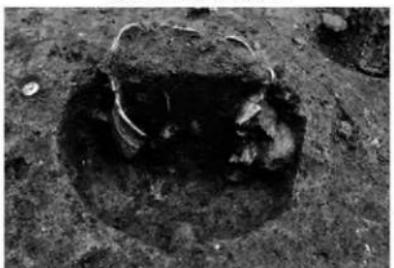
C区全景（上が東）



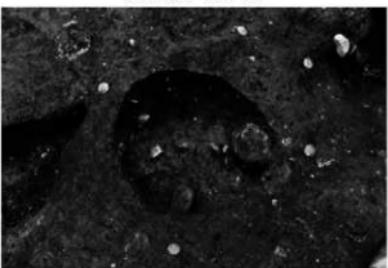
SJ01 土層断面（北東から）



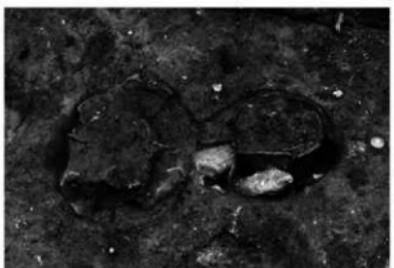
SJ01 挖方（東から）



SJ02 土層断面（東から）



SJ02 挖方（東から）

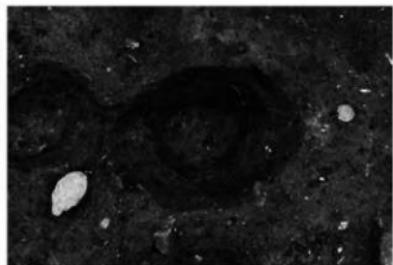


SJ03・SJ04（東から）



SJ03 埋設土器検出状況（北東から）

図版2 土器埋設遺構（2）



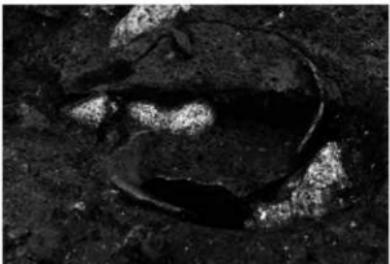
SJ03 堀方（東から）



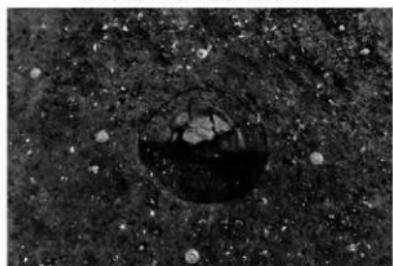
SJ04 土層断面（南東から）



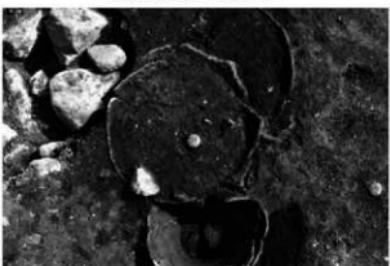
SJ04 埋設土器検出状況（南東から）



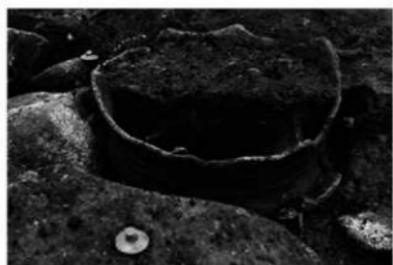
SJ05 土層断面（北から）



SJ06 土層断面（北西から）



SJ07 検出状況（北から）



SJ07 土層断面（北から）



SJ07 埋設土器検出状況（北から）

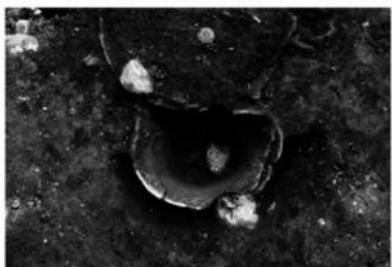
図版3 土器埋設遺構（3）



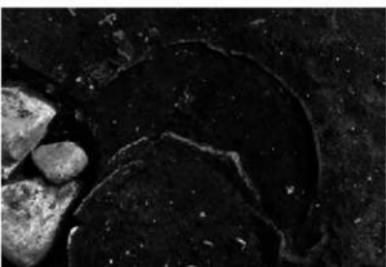
SJ07 挖方（北から）



SJ08 土層断面（北東から）



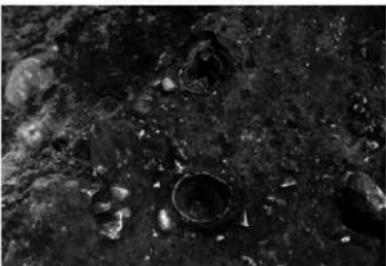
SJ08 埋設土器検出状況（北から）



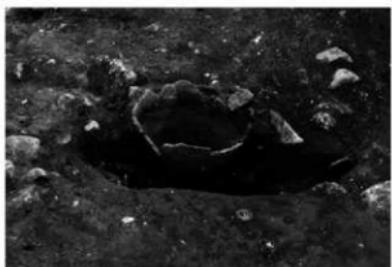
SJ09 検出状況（北から）



SJ09 埋設土器検出状況（北から）



SJ10・SJ11（西から）



SJ10 土層断面（西から）



SJ11 埋設土器検出状況（西から）

図版4 土器埋設遺構（4）



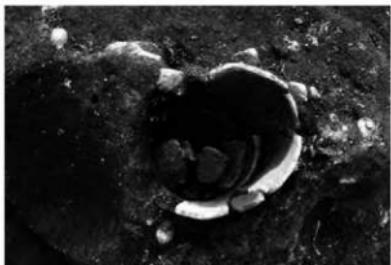
SJ10・SJ11 堀方（西から）



SJ12・SJ13 検出状況（南から）



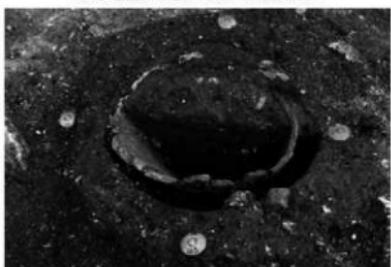
SJ12 埋設土器検出状況（南から）



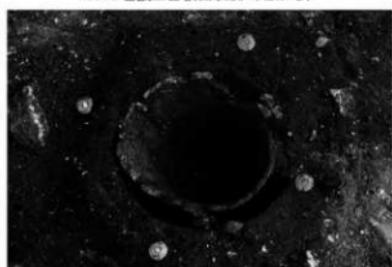
SJ13 埋設土器検出状況（南東から）



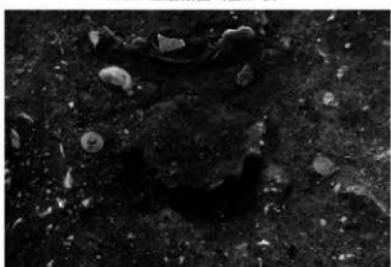
SJ14 埋設土器検出状況（北から）



SJ15 土層断面（西から）

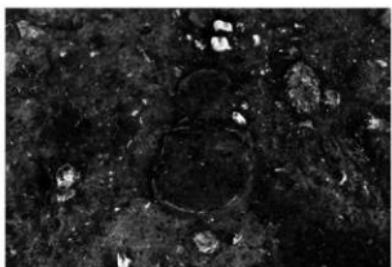


SJ15 埋設土器検出状況（西から）

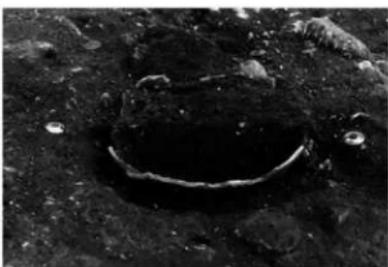


SJ16 土層断面（東から）

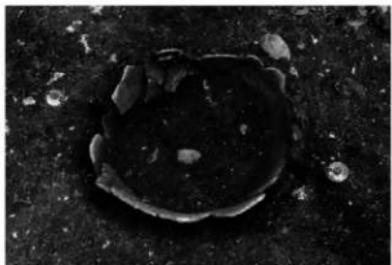
図版5 土器埋設遺構（5）



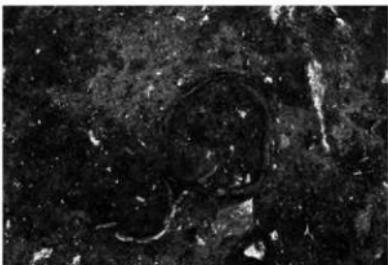
SJ16・SJ17 検出状況（西から）



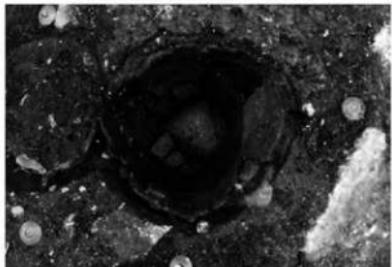
SJ17 土層断面（西から）



SJ17 埋設土器検出状況（西から）



SJ18・SJ19 検出状況（西から）



SJ18 埋設土器検出状況（西から）



SJ19 土層断面（西から）

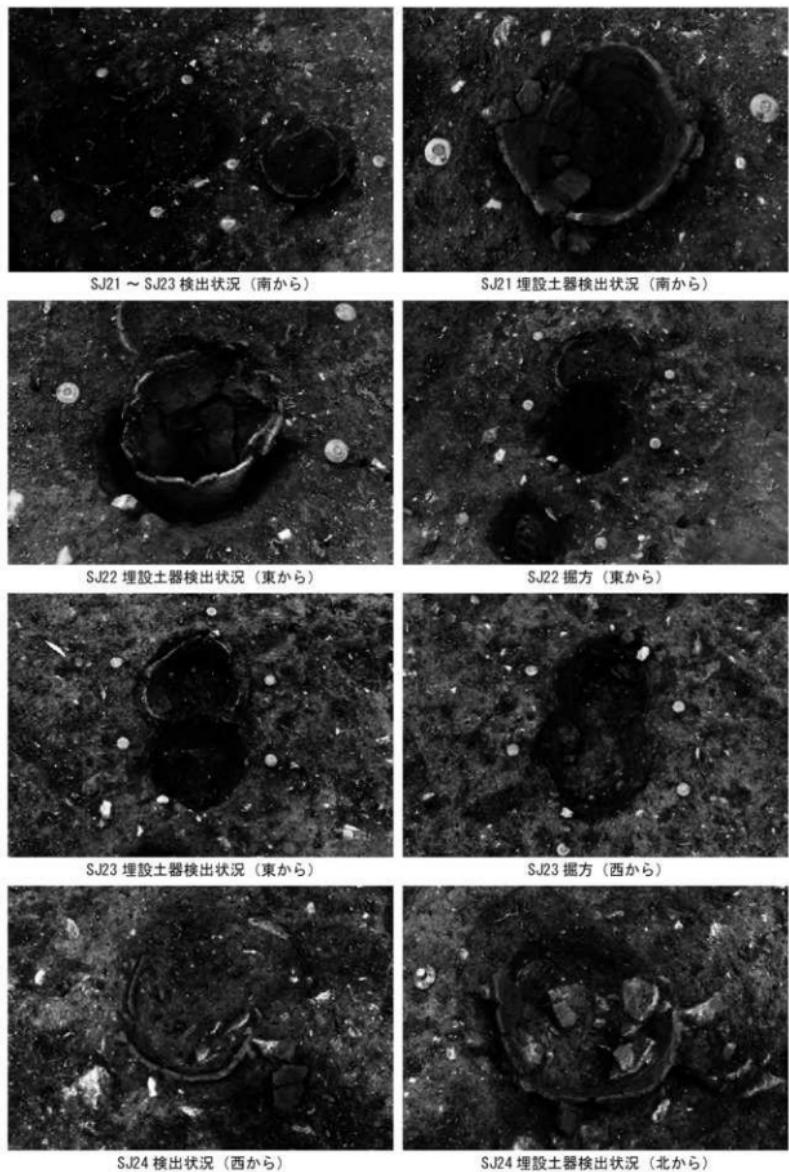


SJ18～SJ20（東から）



SJ20 埋設土器検出状況（東から）

図版6 土器埋設遺構（6）



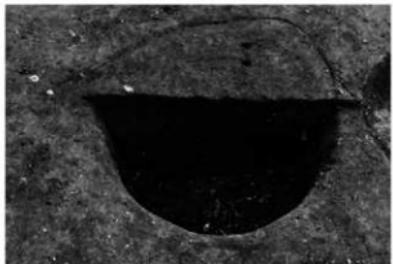
図版7 溝状遺構、土坑等



SD01（東から）



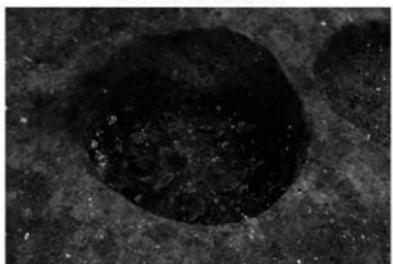
SD01（南から）



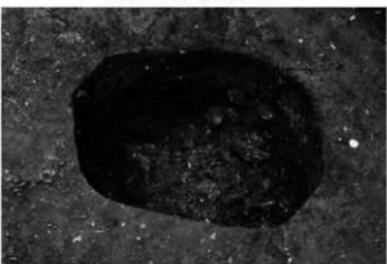
SK13 土層断面（東から）



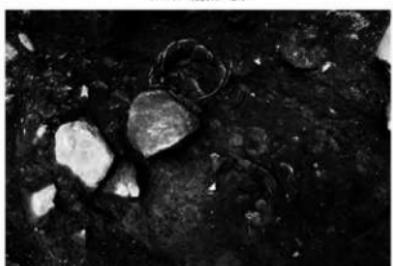
SK15 土層断面（北から）



SK13（東から）



SK15（北から）

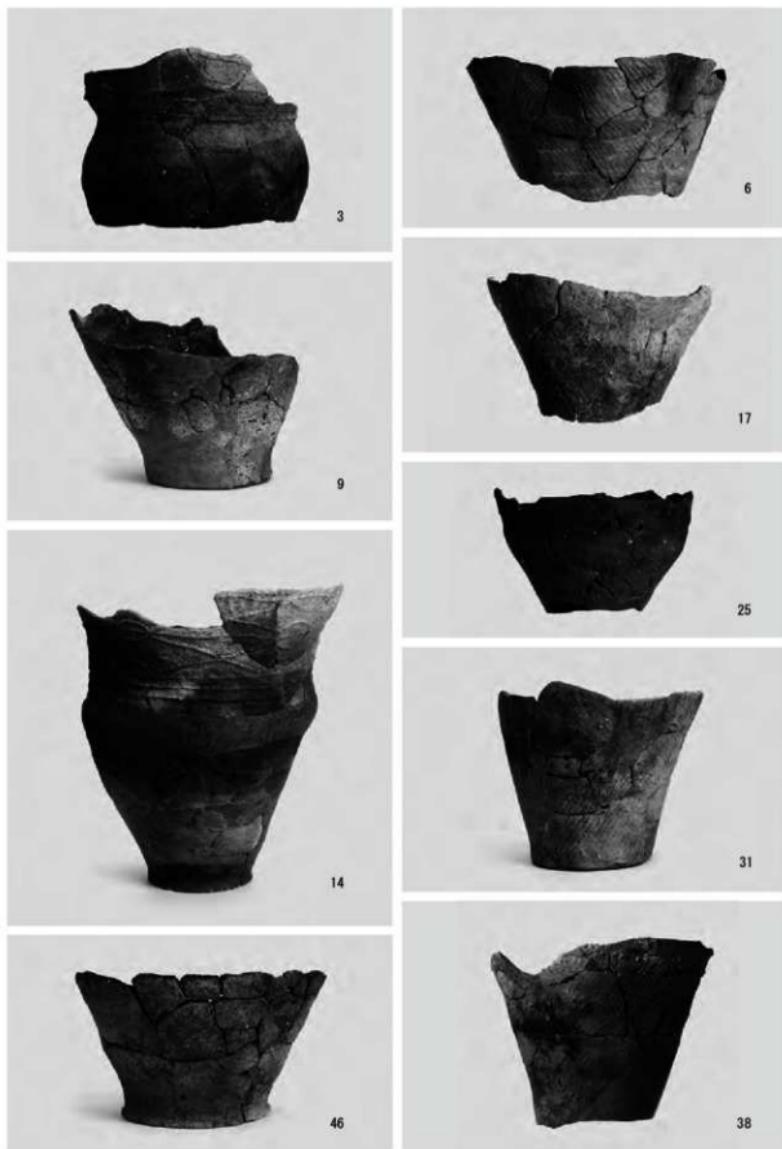


SX01 遺物出土状況（南から）

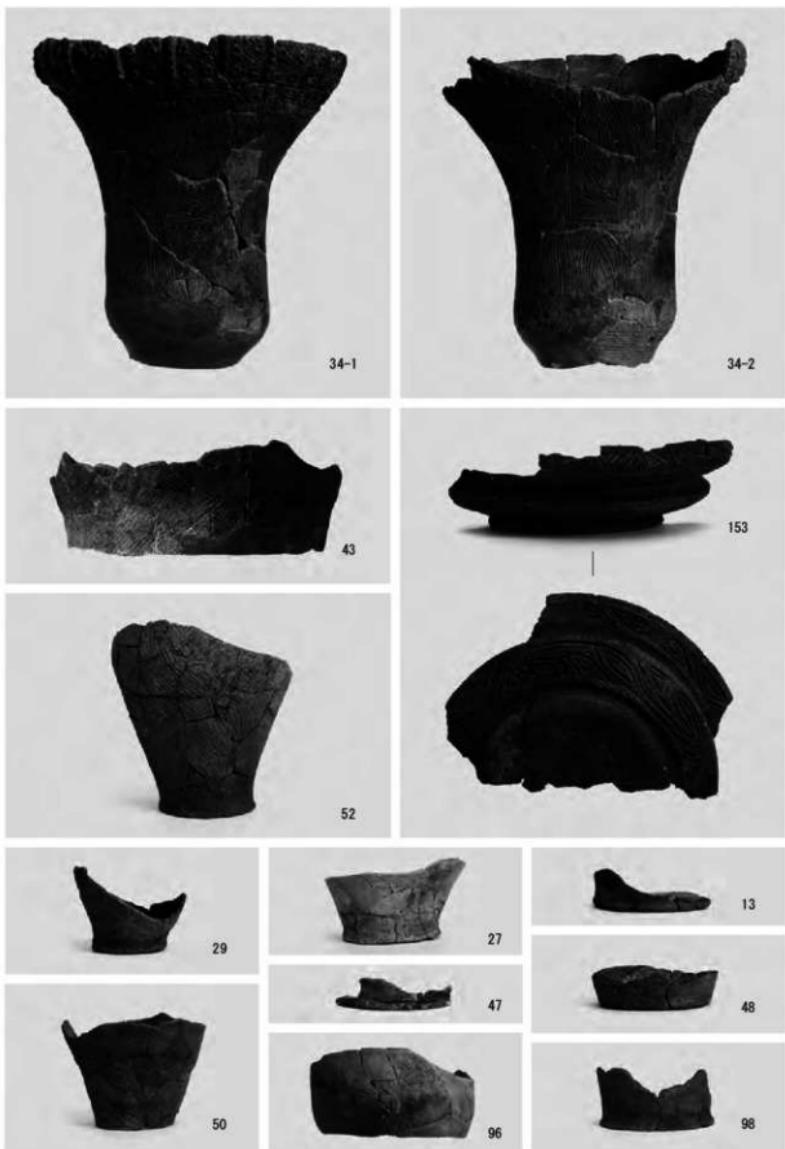


浅鉢（153）出土状況（東から）

图版8 出土遗物（1）

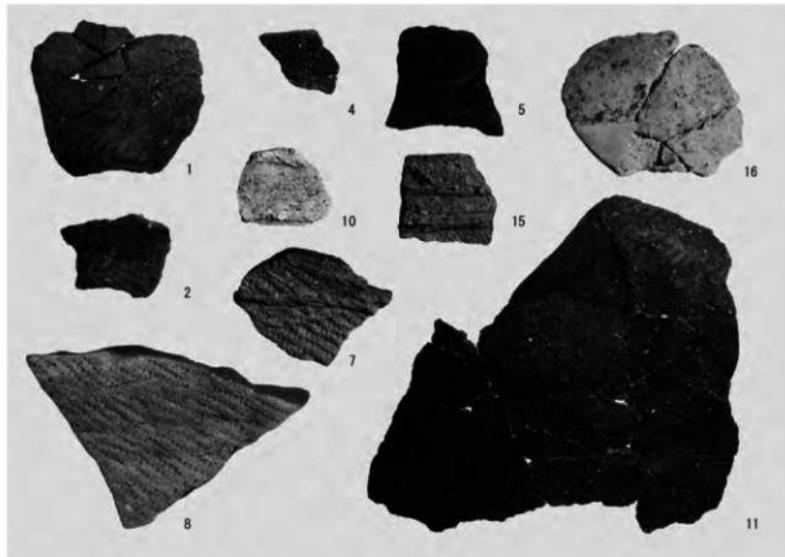


土器埋設遺構（1）

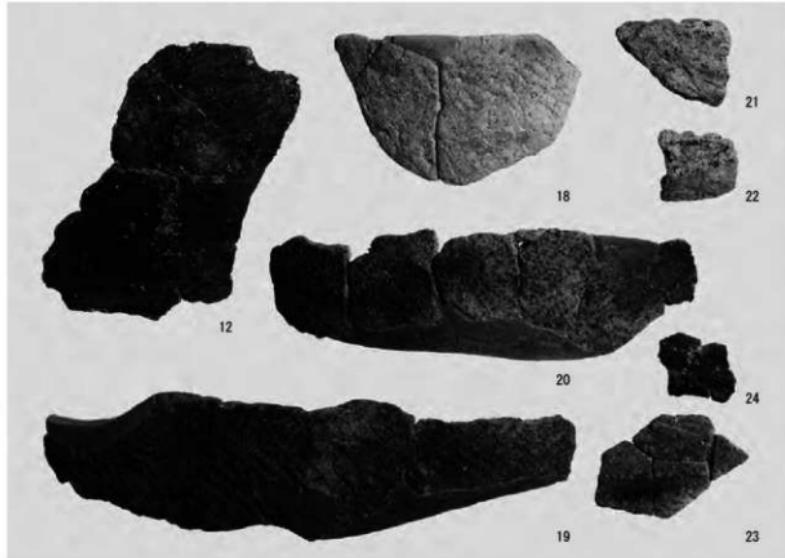


土器埋設遺構（2）、SX01（1）、包含層等（1）

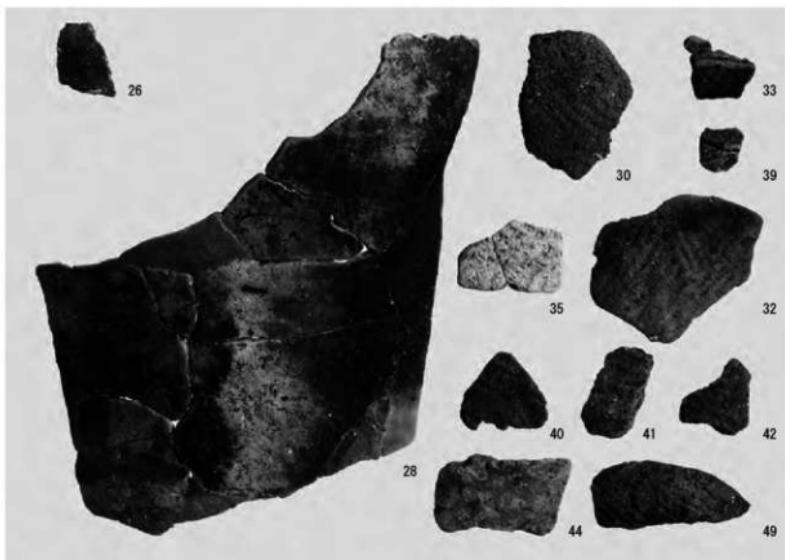
図版 10 出土遺物 (3)



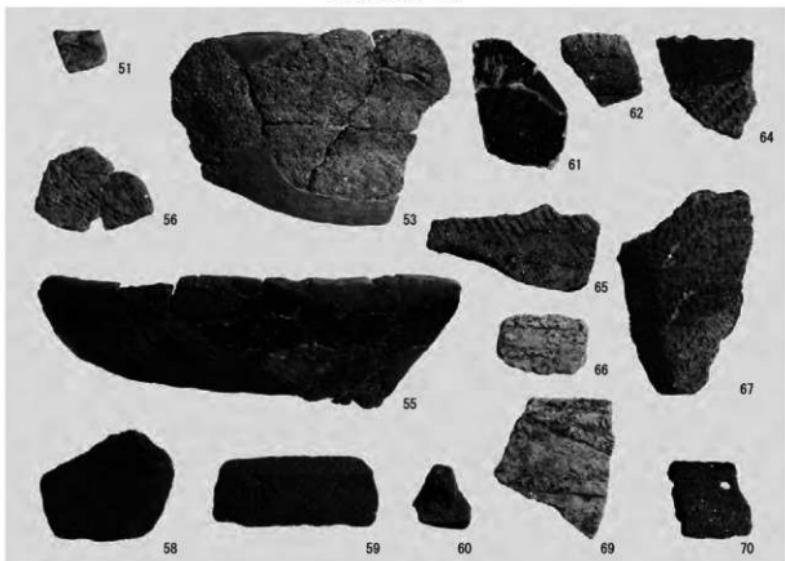
土器埋設遺構 (3)



土器埋設遺構 (4)

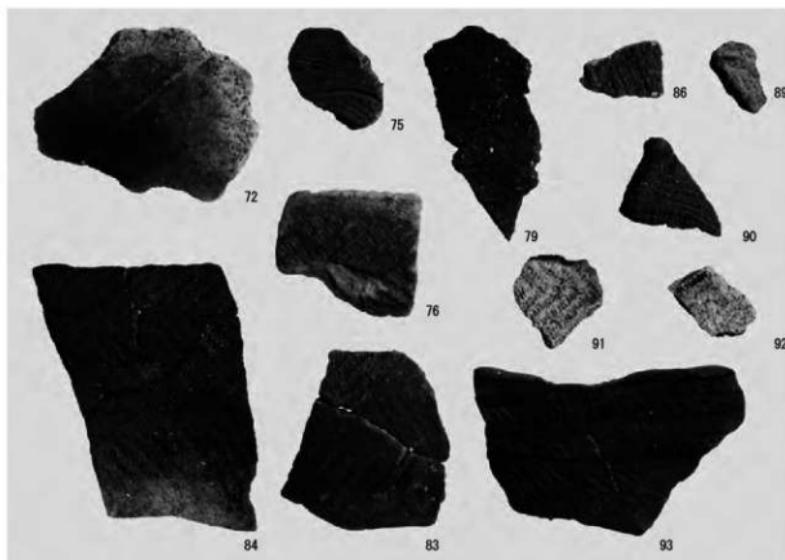


土器埋設遺構 (5)

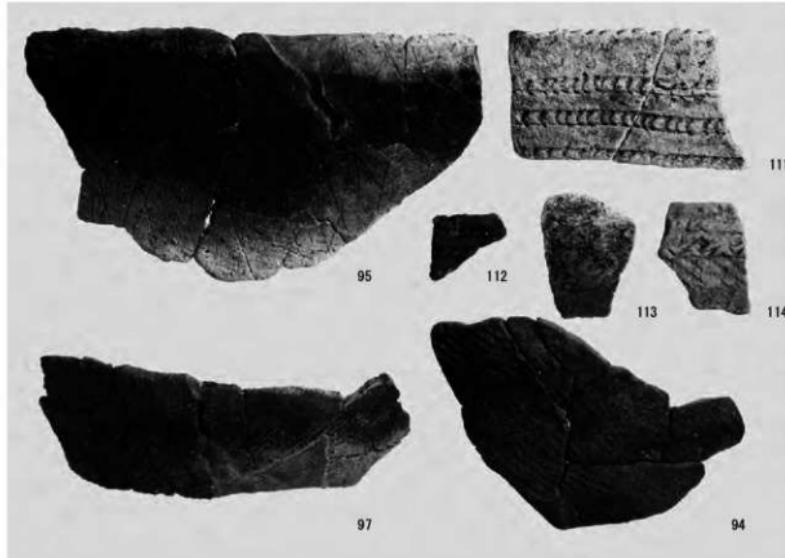


土器埋設遺構 (6)、SD01、土坑 (1)

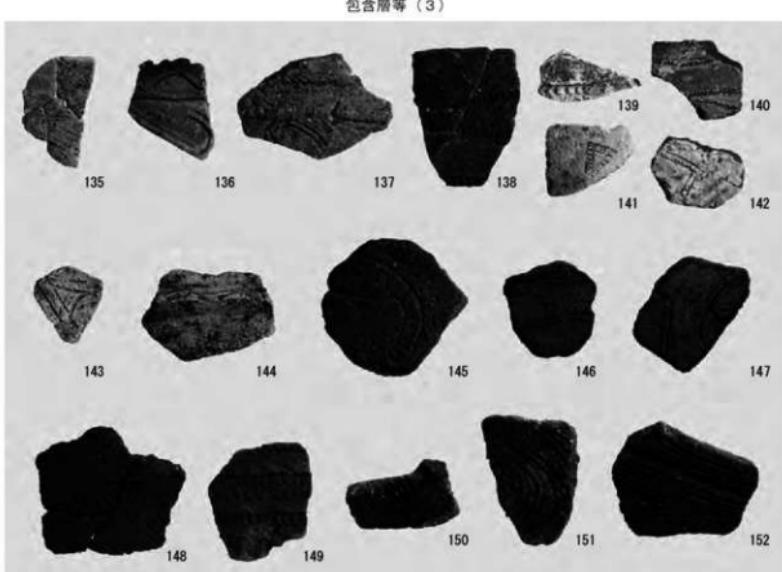
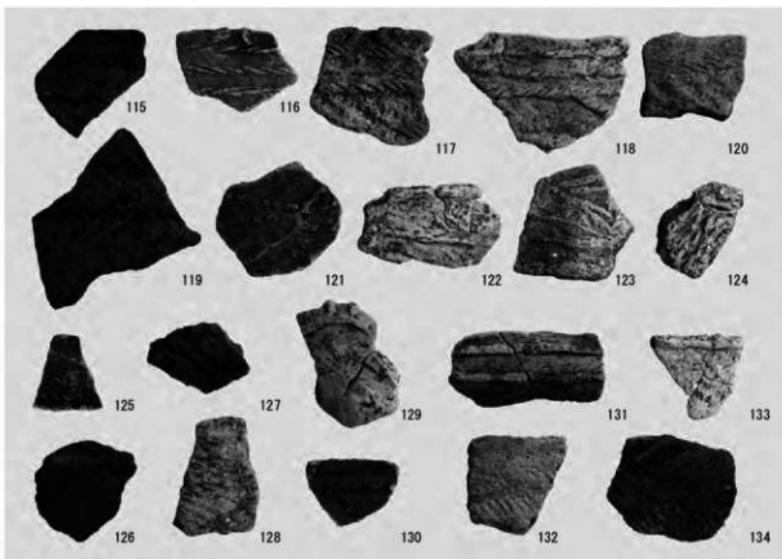
图版 12 出土遗物 (5)



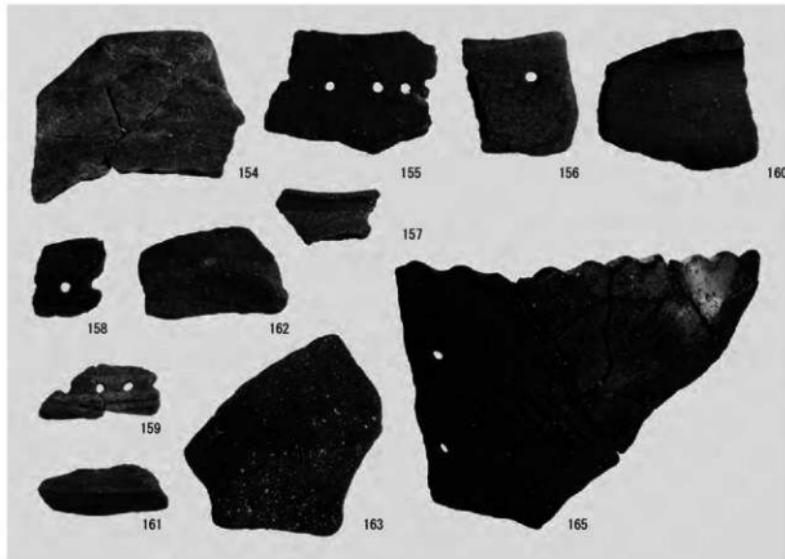
土坑 (2)、SX01 (2)



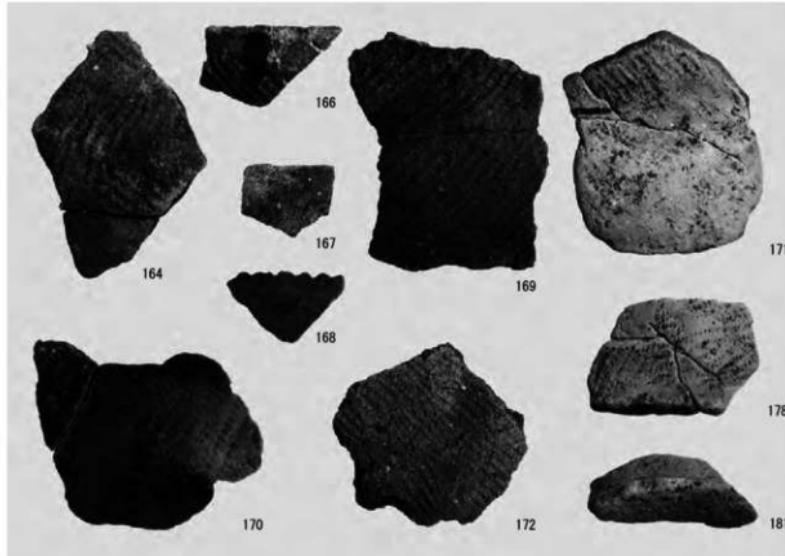
SX01 (3)、包含层等 (2)



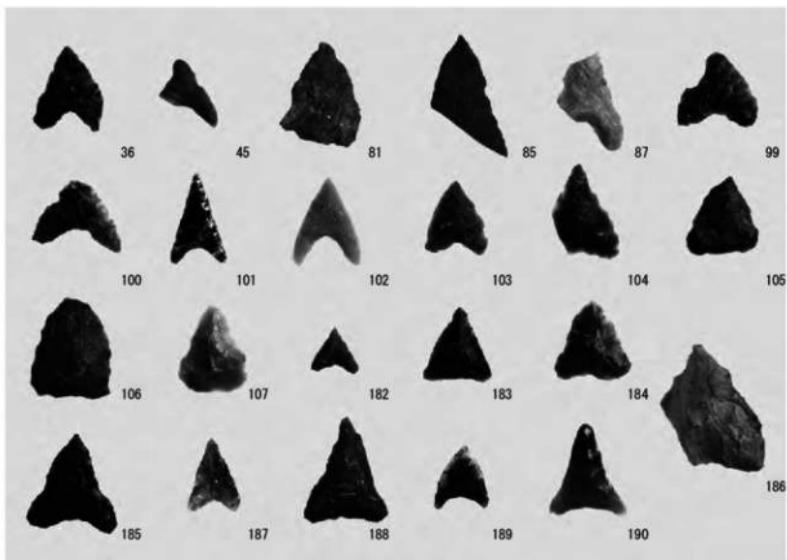
图版 14 出土遗物 (7)



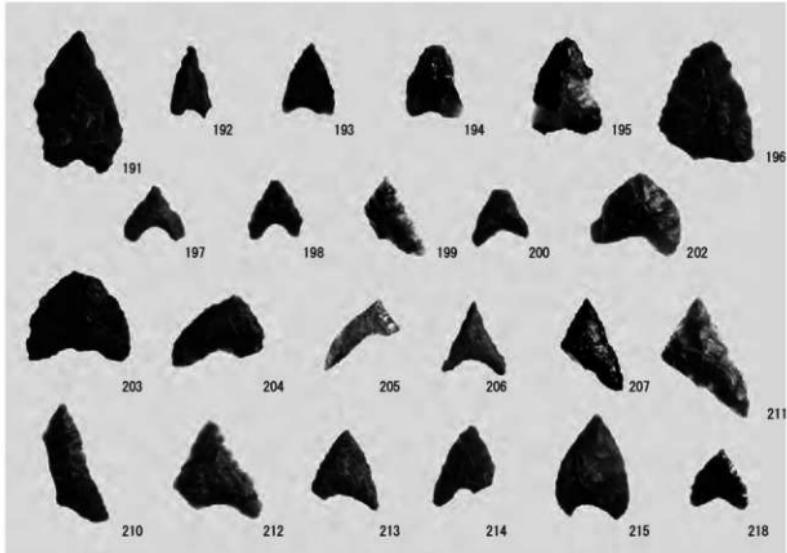
包含层等 (5)



包含层等 (6)

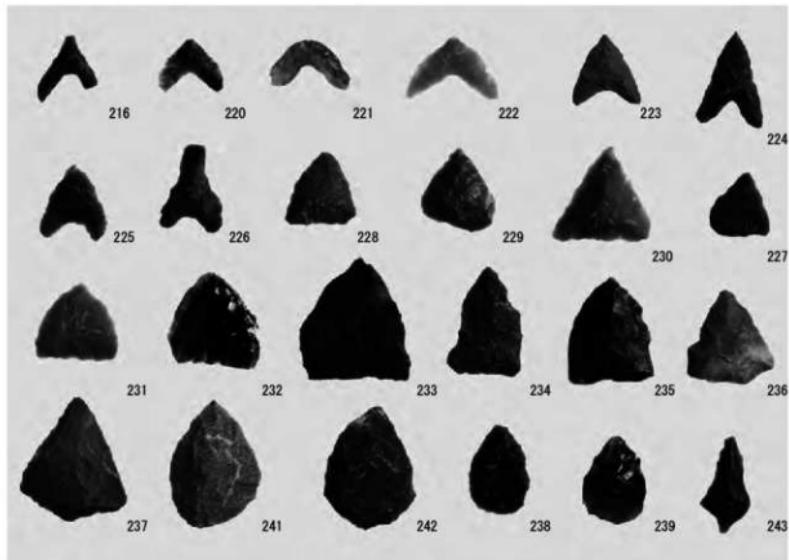


石器 (1)

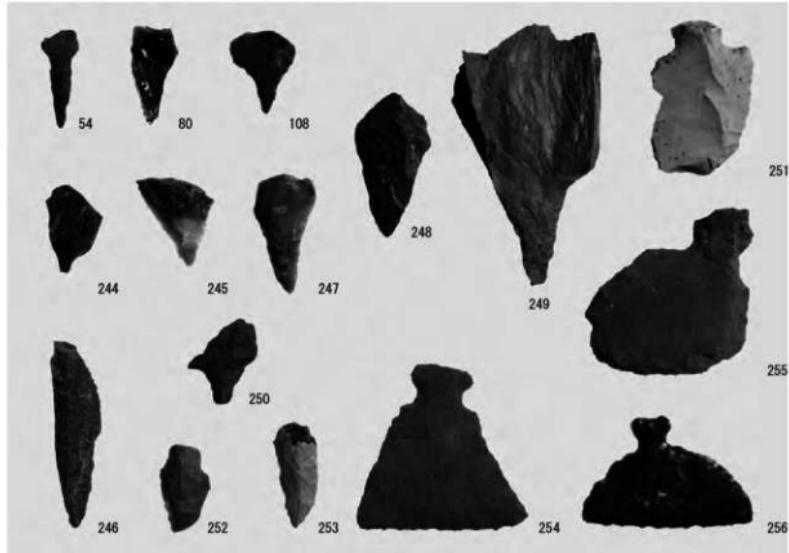


石器 (2)

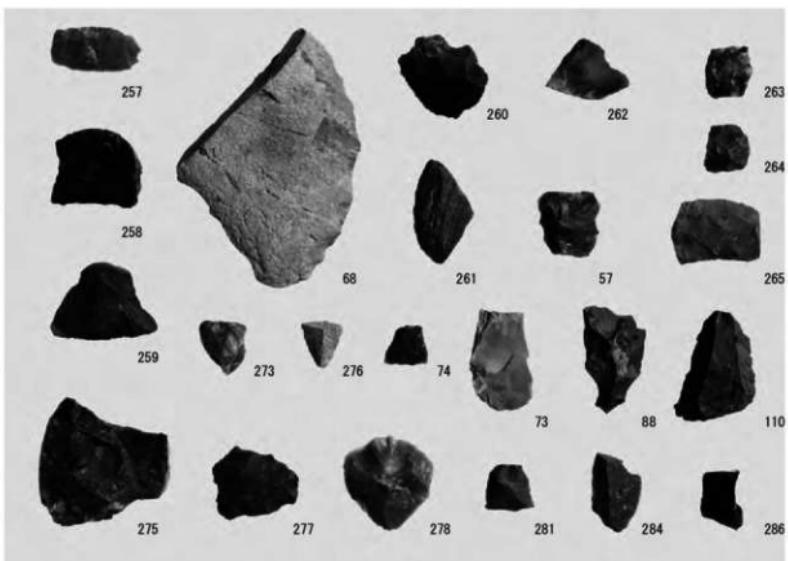
图版 16 出土遗物 (9)



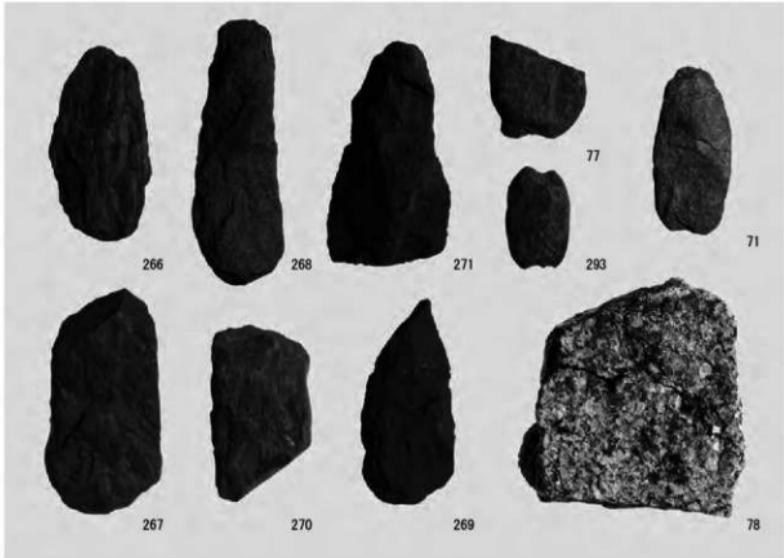
石器 (3)



石器 · 石匙

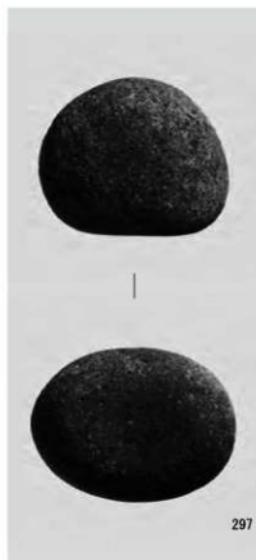
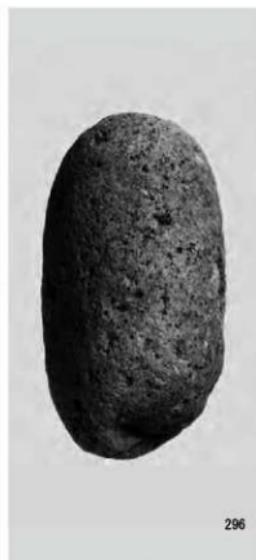


スクレイバー・石核・RF・MF

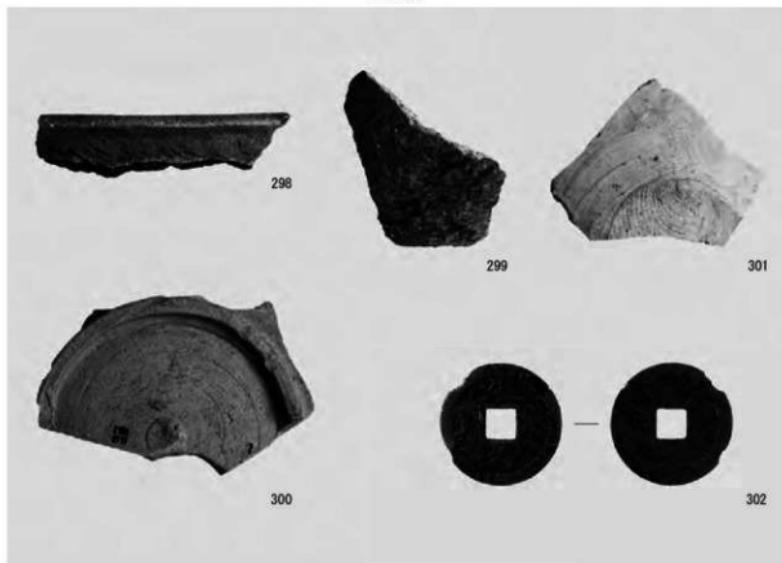


打製石斧・石錐・石皿

圖版 18 出土遺物 (11)



磨石類



土師器，須惠器，山茶碗，錢貨

報告書抄録

岐阜県文化財保護センター調査報告書 第164集

毘沙門遺跡

2024年3月8日

編集・発行 岐阜県文化財保護センター

岐阜市三田洞東1-26-1

印 刷 株式会社もとすいんさつ

